

大網白里市の高齢者福祉を考えるための
アンケート調査 結果報告書

令和 5年 4月

大網白里市

目 次

I. 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 表記等について	2
II. 在宅介護実態調査 集計結果	3
1 (A票) 調査対象者様ご本人について、お伺いします	3
2 (B票) 主な介護者の方について、お伺いします	16
3 (C票) 地域でいつまでも生活しつづけることについて	23
自由回答意見	27
III. 介護予防・日常圏域ニーズ調査 集計結果	34
1 あなた自身やご家族の暮らしの状況について	34
2 からだを動かすことについて	41
3 食べることについて	47
4 毎日の生活について	51
5 地域での活動について	61
6 たすけあいについて	66
7 健康について	72
8 認知症にかかる相談窓口の把握について	78
9 介護が必要となったときの生活等について	80
10 介護保険制度や高齢者福祉施策全般について	83
自由回答意見	84
IV. 第2号被保険者調査 集計結果	94
1 あなた自身やご家族の暮らしの状況について	94
2 健康について	98
3 就労や生きがい、ボランティア活動について	104
4 ご家族等の介護について	110
5 あなた自身に介護が必要となった時の生活等について	116
6 介護保険制度や高齢者福祉施策全般について	120
自由回答意見	121
V. 介護保険サービス提供事業者 集計結果	125
1 貴事業所の現状と取組みについて	125
2 従業員の確保について	130
3 サービスの質の確保・向上について	139
4 医療・介護の連携について	141

5 認知症の方への支援について	147
6 生活支援体制整備事業について	149
7 市の高齢者福祉について	151
自由回答意見.....	152

I. 調査概要

1. 調査の目的

令和6年度から8年度までを計画期間とする「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」策定の基礎資料とするため、要介護認定を受けていて自宅で生活をされている方、65歳以上で要介護認定をおもちでない方、同じく市内にお住まいの40～64歳の方、介護保険サービスの提供事業者を対象に、生活の状況や課題を把握するための調査を実施しました。

2. 調査の設計

調査実施期間	令和4年12月16日（金）～令和4年12月28日（水）
調査地域	大網白里市全域
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査種類	在宅介護実態調査 介護予防・日常圏域二一ズ調査 第2号被保険者調査 介護保険サービス提供事業者調査

- ・在宅介護実態調査（要介護認定を受けていて自宅で生活をされている方）

配布数	回収数（有効回収数）	回収率
1,000 票	437 票	43.7%

- ・介護予防・日常圏域二一ズ調査（市内にお住まいの65歳以上の方）

配布数	回収数（有効回収数）	回収率
1,000 票	599 票	59.9%

- ・第2号被保険者調査（市内にお住まいの40～64歳の方）

配布数	回収数（有効回収数）	回収率
400 票	149 票	37.3%

- ・介護保険サービス提供事業者調査

配布数	回収数（有効回収数）	回収率
100 票	54 票	54.0%

3. 表記等について

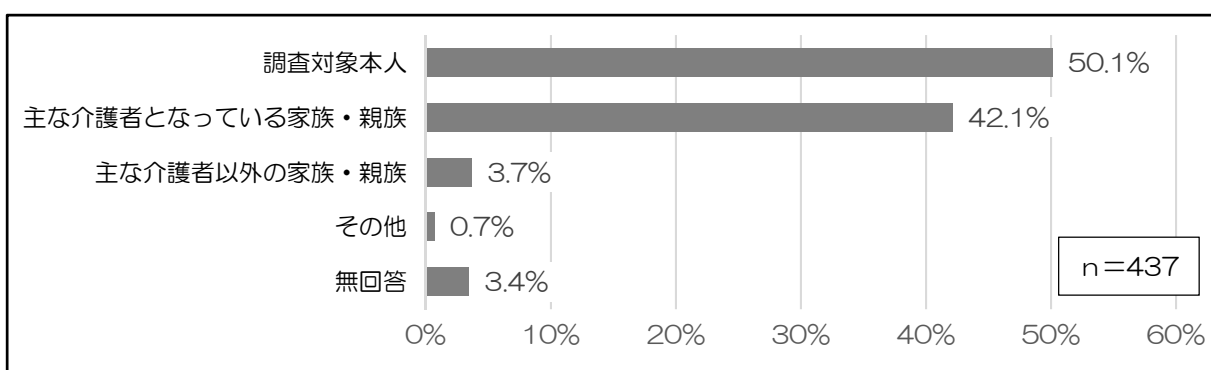
- ①設問のなかには前問に答えた方のみが回答する「限定設問」があり、その設問においては表中の回答者数が全体より少なくなっています。
- ②設問には1つのみ答える単数回答と、複数回答があり、複数回答の設問では表記の割合の合計が100%を超えます。(複数回答における無回答の割合は表示しておりません)
- ③割合は選択肢ごとに小数第二位で四捨五入しているため、表によってはその割合の合計が100%にならないものがあります。

Ⅱ. 在宅介護実態調査 集計結果

A票 調査対象様ご本人について、お伺いします

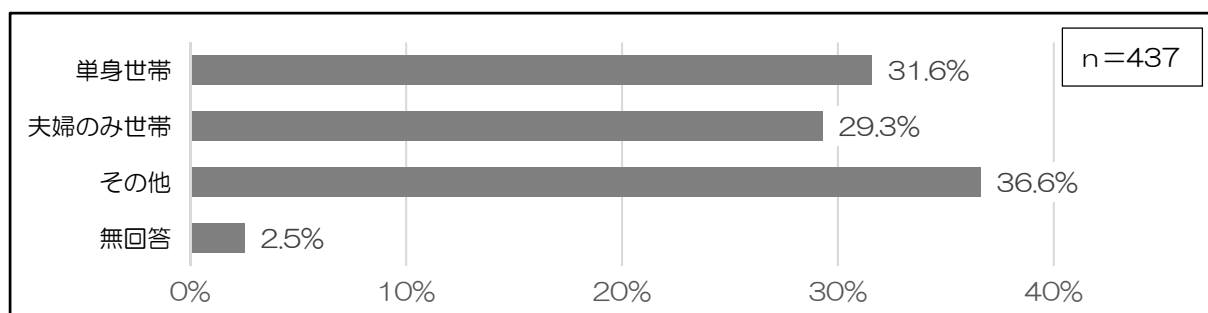
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（1つに〇）

「調査対象本人」（50.1%）が最も多く、「主な介護者となっている家族・親族」は42.1%、「主な介護者以外の家族・親族」が3.7%となっています。



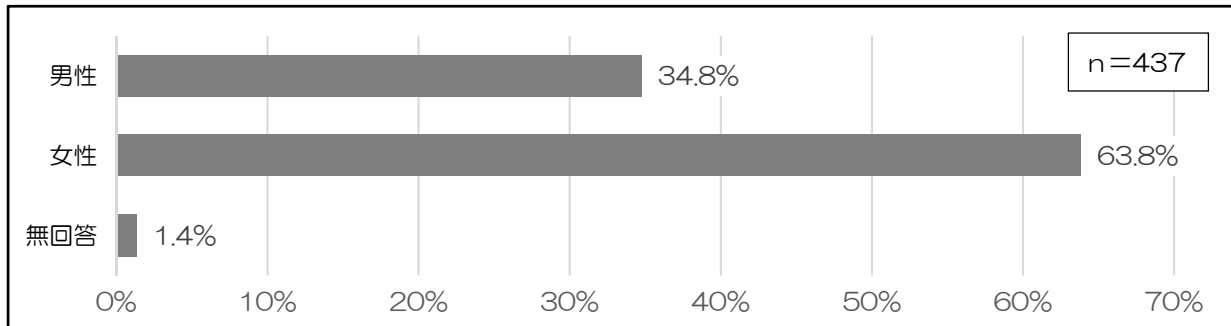
問2 世帯類型について、ご回答ください（1つに〇）

「単身世帯」は31.6%、「夫婦のみ世帯」は29.3%でした。



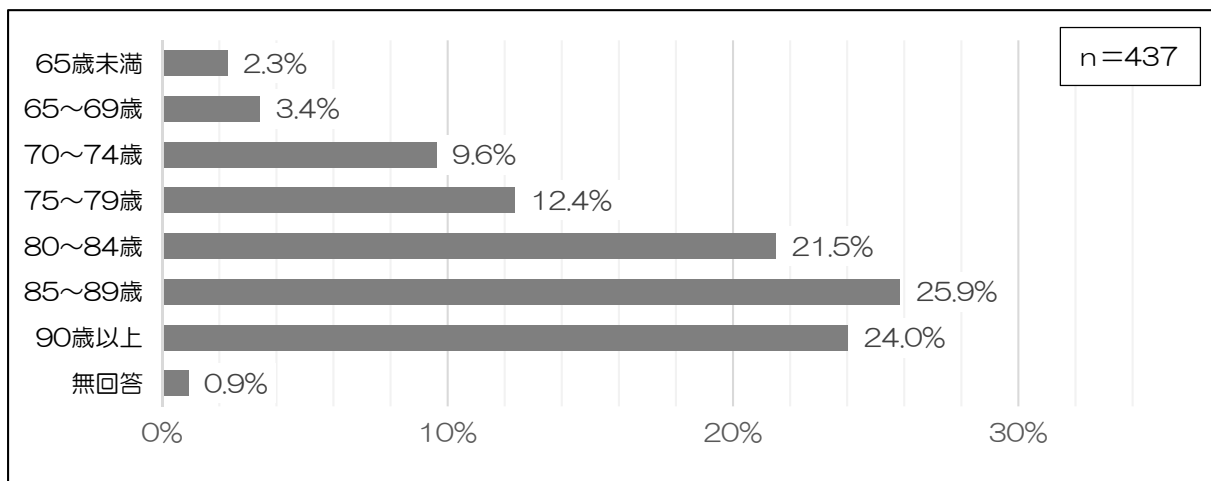
問3 ご本人の性別について、ご回答ください（1つに〇）

回答をいただいた方のうち「男性」は34.8%、「女性」は63.8%でした。



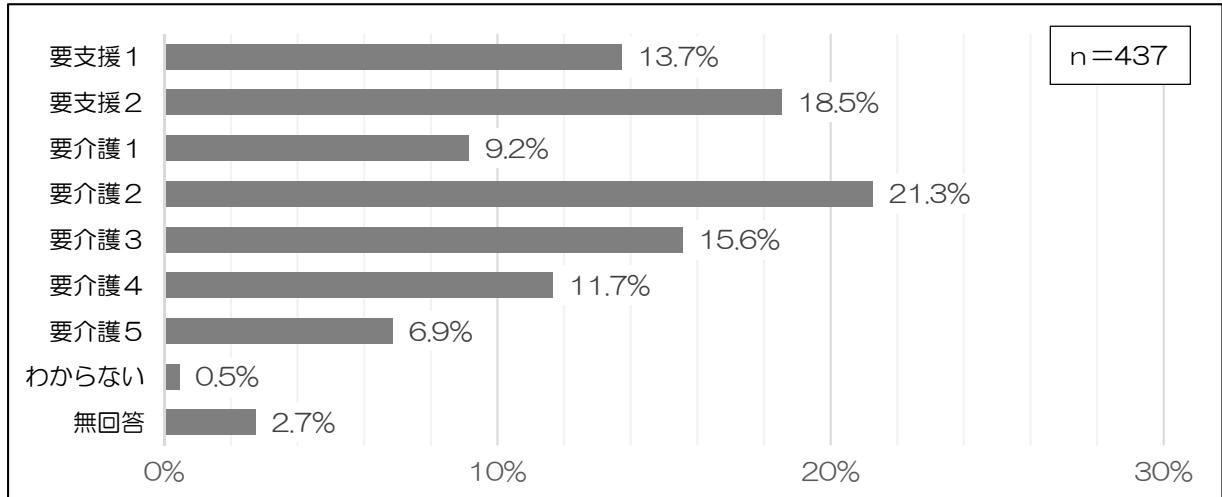
問4 ご本人の年齢について、ご回答ください（1つに〇）

「85～89歳」（25.9%）が最も多く、「80～84歳」（21.5%）と合わせると47.4%が80代でした。次いで「90歳以上」が24.0%でした。



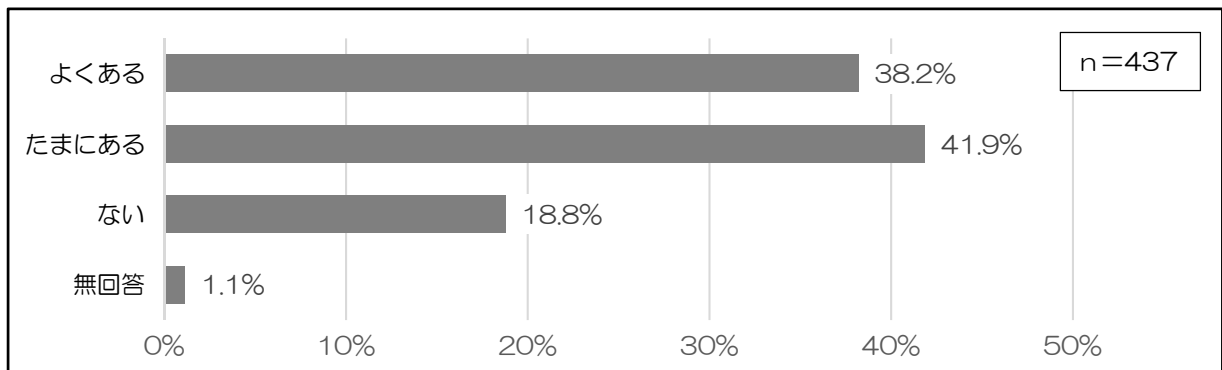
問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つに〇）

「要介護2」の方が最も多く21.3%、次いで「要支援2」の方が18.5%となりました。



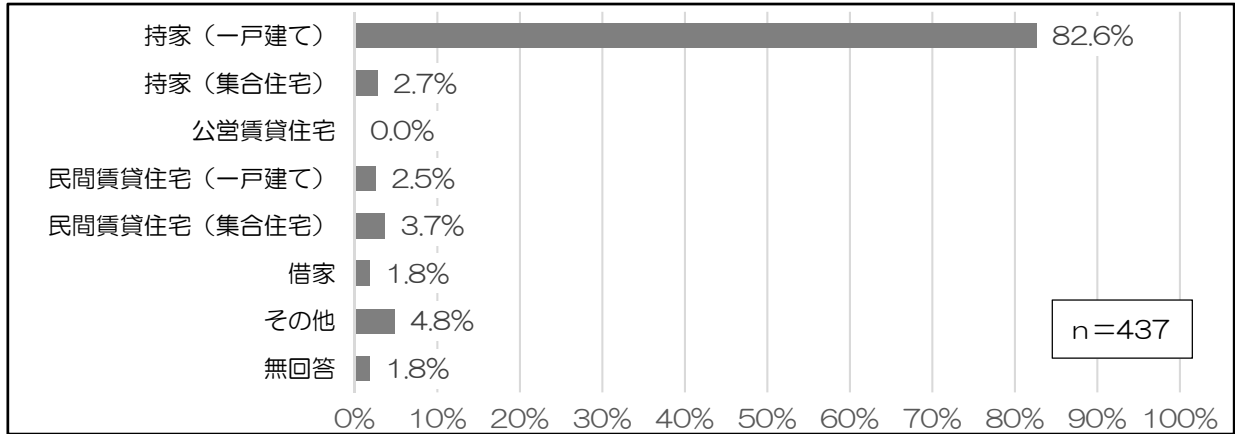
問6 日中、ひとりになることがありますか。（1つに〇）

「よくある」と回答した方は38.2%、「たまにある」の41.9%と合わせると80.1%がひとりになることがあると回答しています。「ない」は18.8%でした。



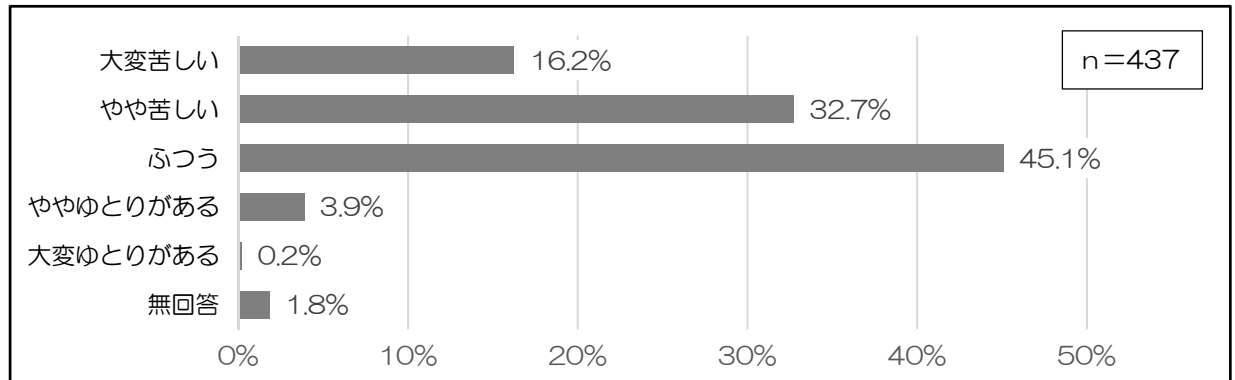
問7 ご本人のお住まいは、一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに〇)

「持家（一戸建て）」と回答した方が最も多く、82.6%となりました。



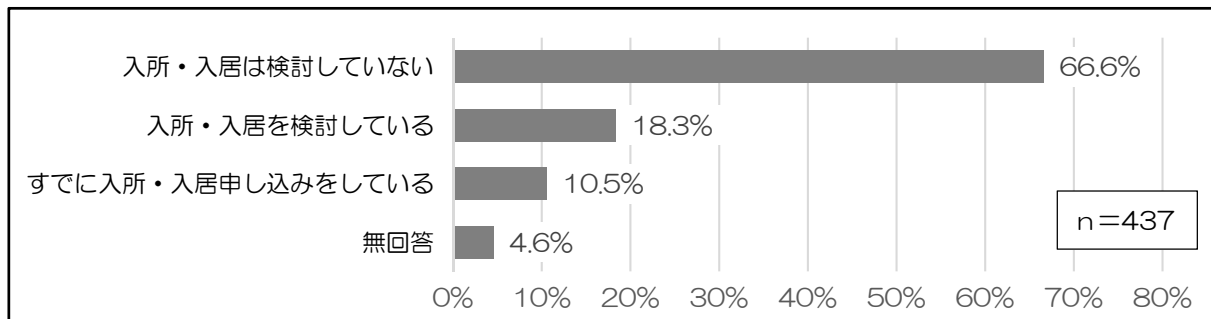
問8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに〇)

「ふつう」(45.1%)が最も多く、「やや苦しい」(32.7%)と「大変苦しい」(16.2%)を合わせると48.9%が「苦しい」と回答しています。



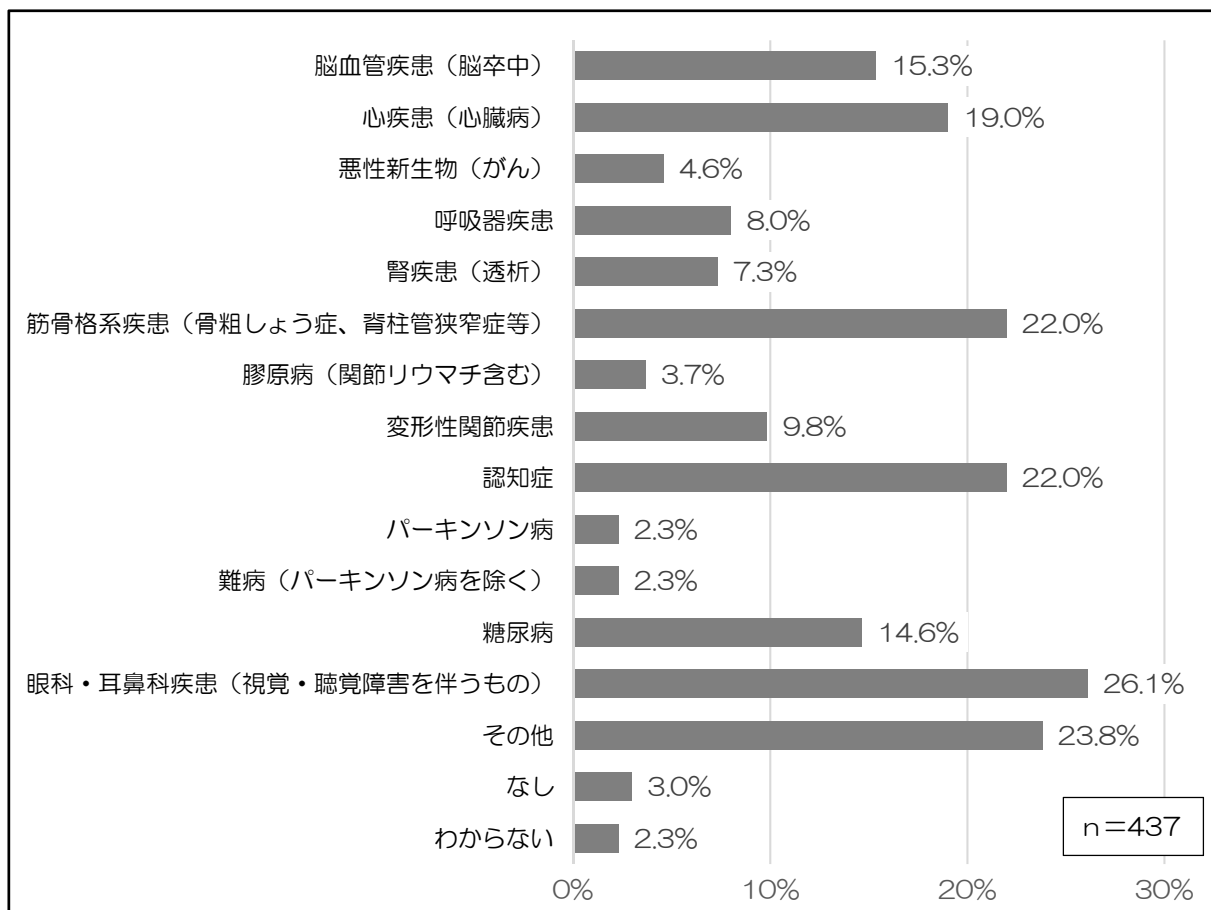
問9 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つに〇）

「入所・入居は検討していない」（66.6%）が最も多く、「入所・入居を検討している」（18.3%）と「すでに入所・入居申し込みをしている」（10.5%）を合わせると28.8%となります。



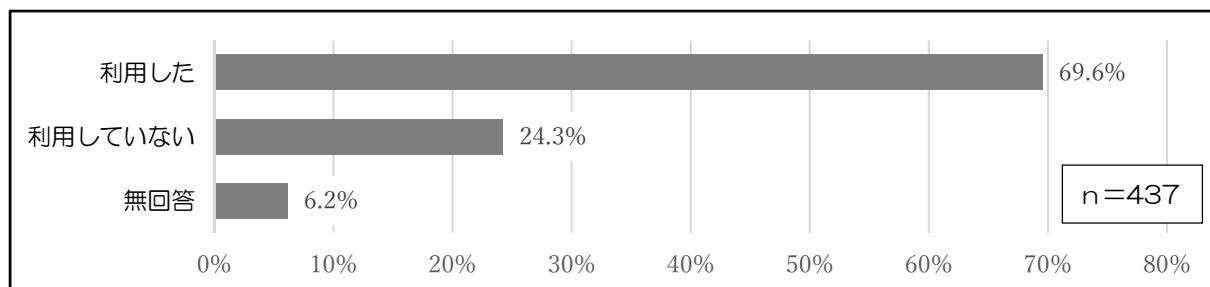
問10 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（〇はいくつでも）

眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）（26.1%）が最も多く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（22.0%）と「認知症」（22.0%）、「心疾患（心臓病）」（19.0%）と続きます。



問 11 令和4年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つに○)

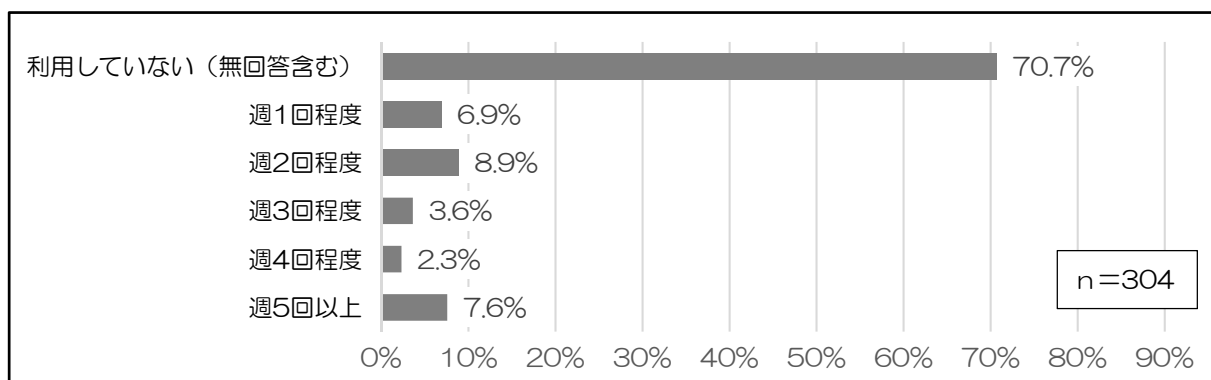
「利用した」と回答している方は69.6%。「利用していない」と回答した方は24.3%でした。



問 12 問 11 で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1. 利用していない)」を選択してください(それぞれ1つに○)。

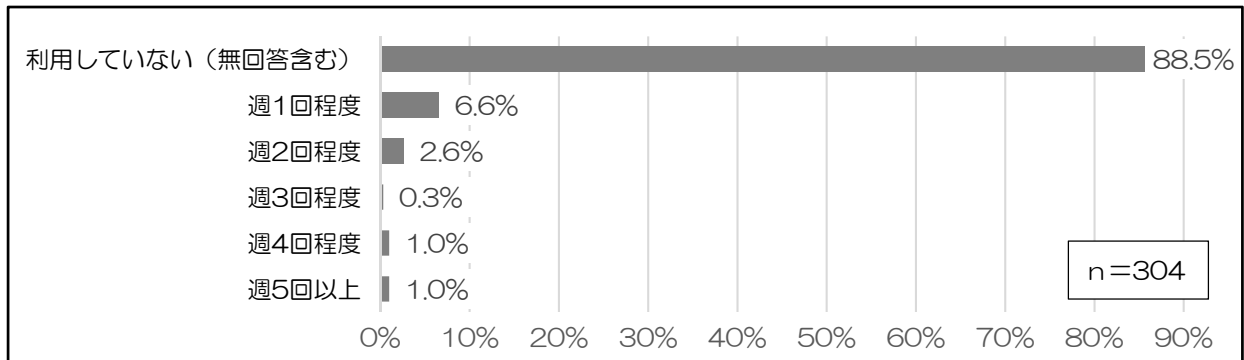
A. 訪問介護(ホームヘルプサービス)

週1回以上利用した方は29.3%で、利用していない方は70.7%でした。



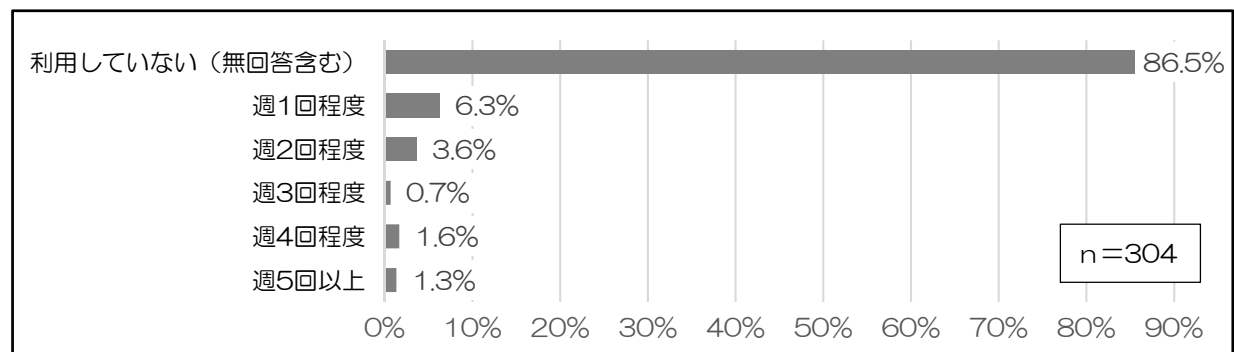
B. 訪問入浴介護

週1回以上利用している方は11.5%で、利用していないと回答した方は88.5%でした。



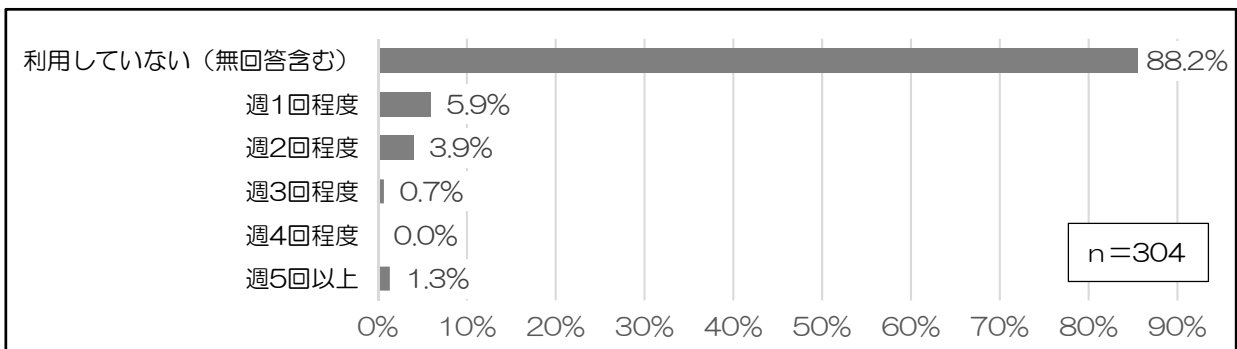
C. 訪問看護

週1回以上利用している方は13.5%で、利用していないと回答した方は86.5%でした。



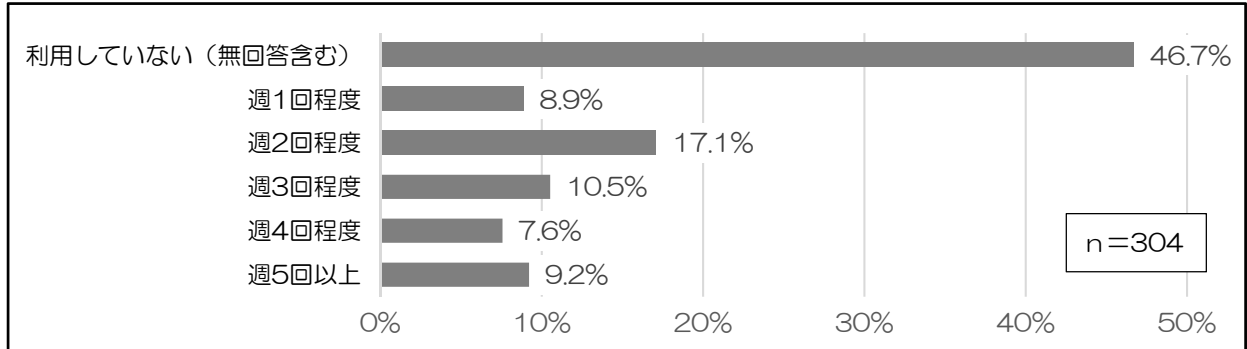
D. 訪問リハビリテーション

週1回以上利用している方は11.8%で、利用していないと回答した方は88.2%でした。



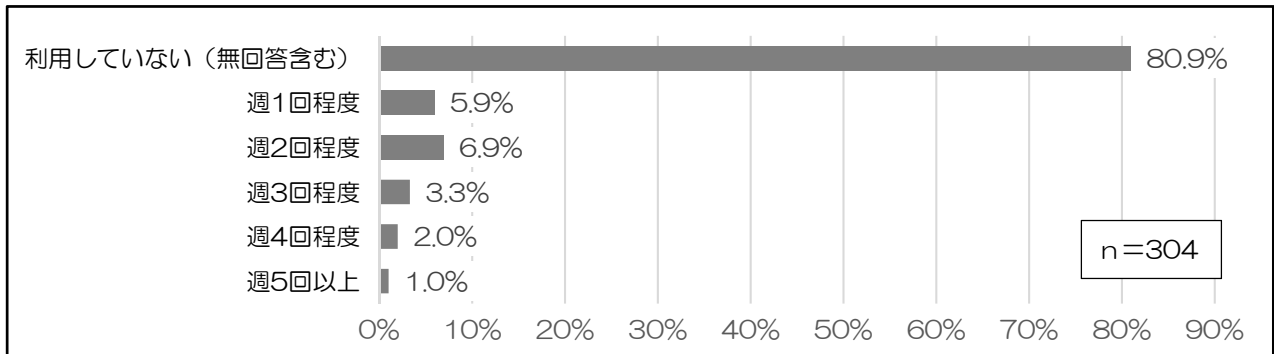
E. 通所介護（デイサービス）

週1回以上利用している方は53.3%で、利用していないと回答した方は46.7%でした。



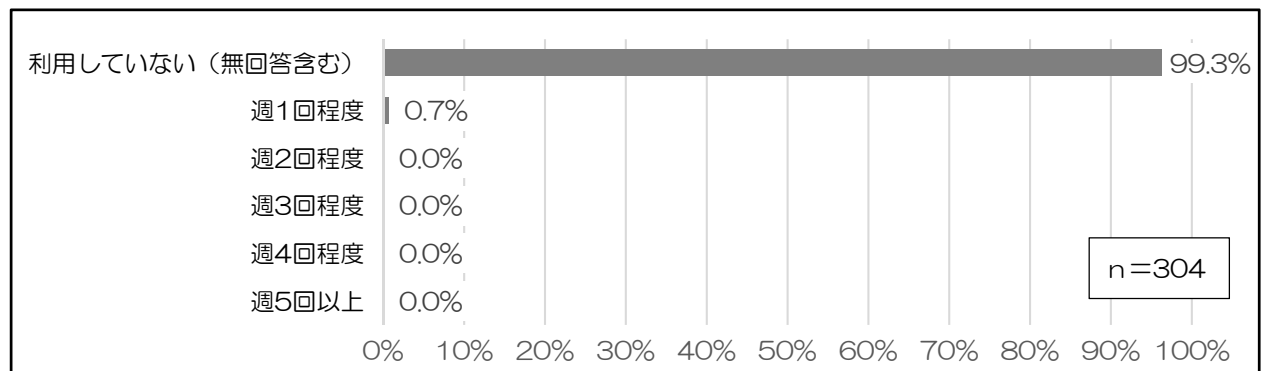
F. 通所リハビリテーション（デイケア）

週1回以上利用している方は19.1%で、利用していないと回答した方は80.9%でした。



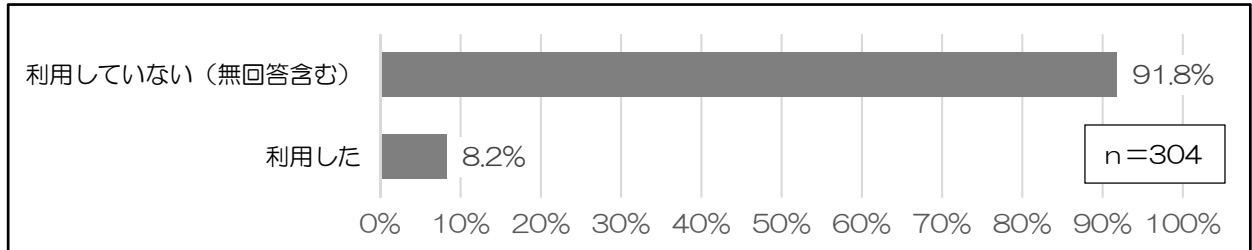
G. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）

週1回以上利用している方は0.7%で、利用していないと回答した方は99.3%でした。



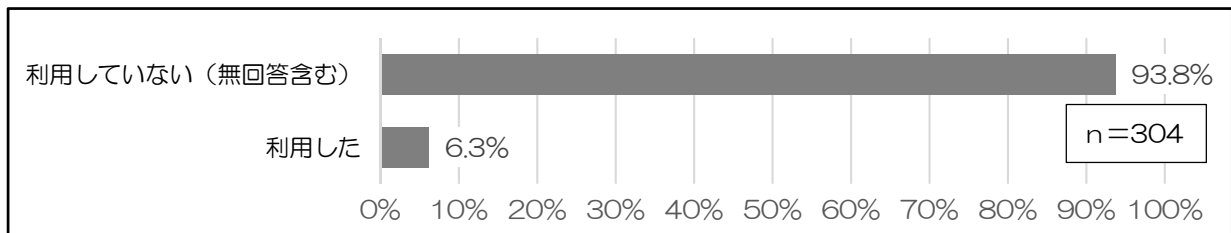
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

「利用した」と回答した人は8.2%で、「利用していない」は91.8%でした。



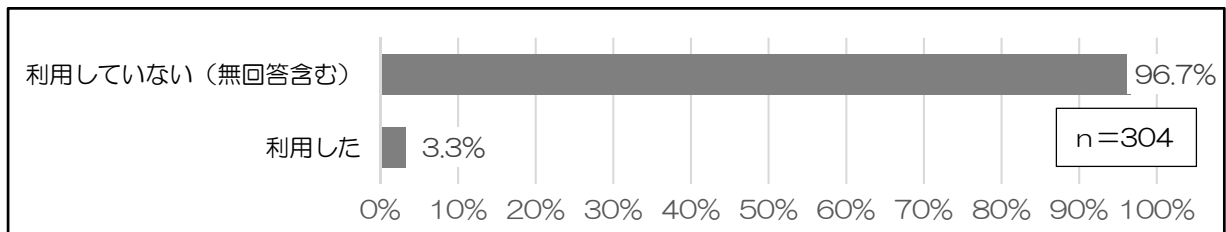
I. 小規模多機能型居宅介護

「利用した」と回答した人は6.3%で、「利用していない」は93.8%でした。



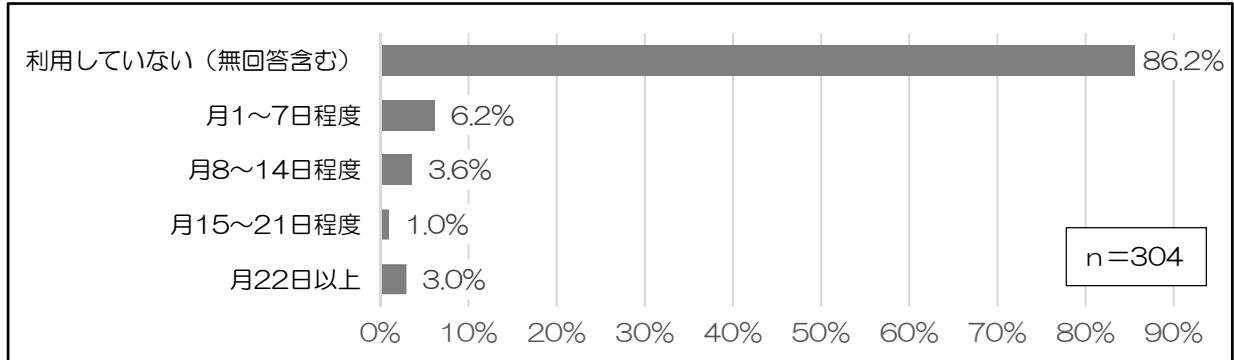
J. 看護小規模多機能型居宅介護

「利用した」と回答した人は3.3%で、「利用していない」は96.7%でした。



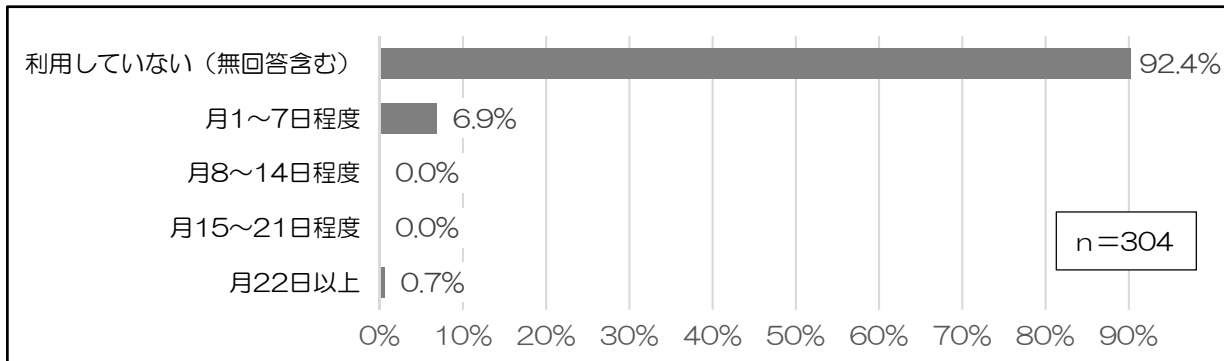
K. ショートステイ

「利用した」と回答した人は 13.8%で、「利用していない」は 86.2%でした。



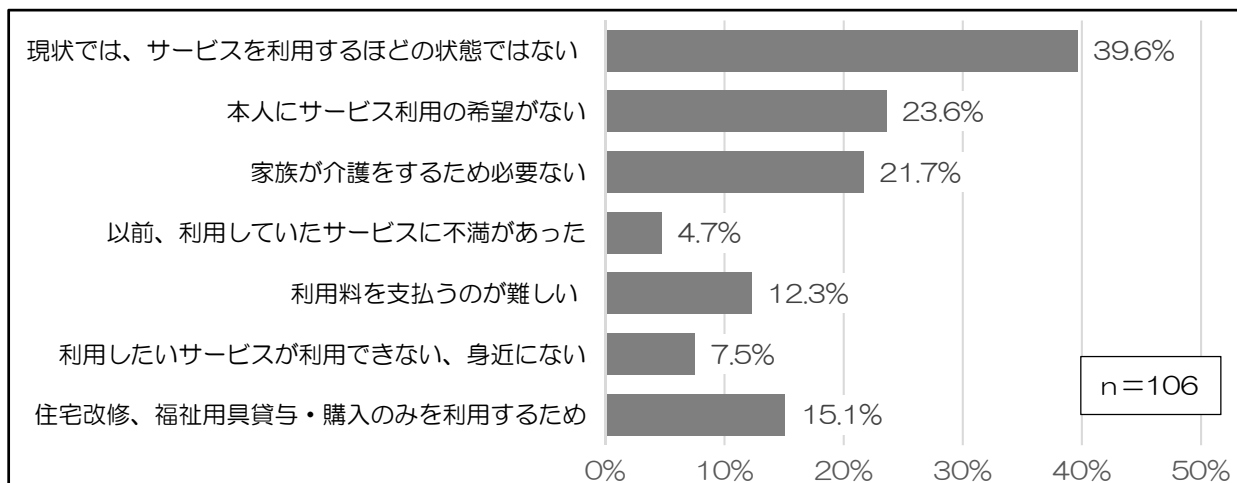
L. 居宅療養管理指導

「利用した」と回答した人は 7.6%で、「利用していない」は 92.4%でした。



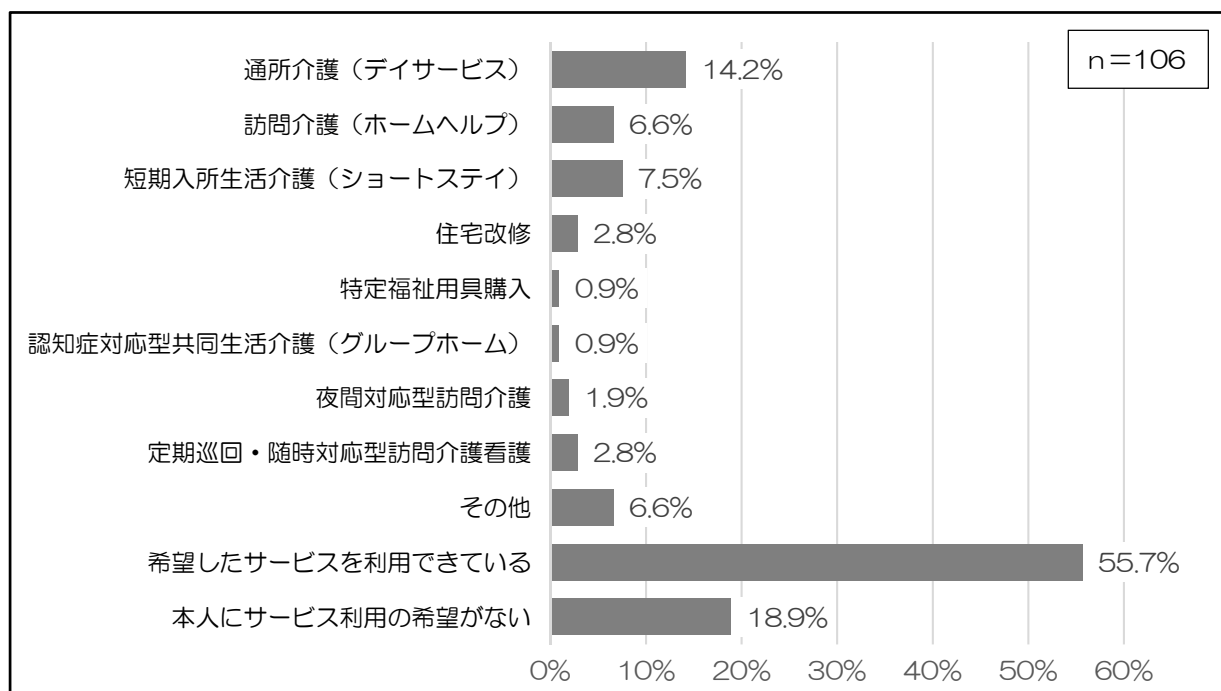
問 13 問 11 で「2.」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（〇はいくつでも）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」（39.6%）が最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」（23.6%）、「家族が介護をするため必要ない」（21.7%）と続きます。



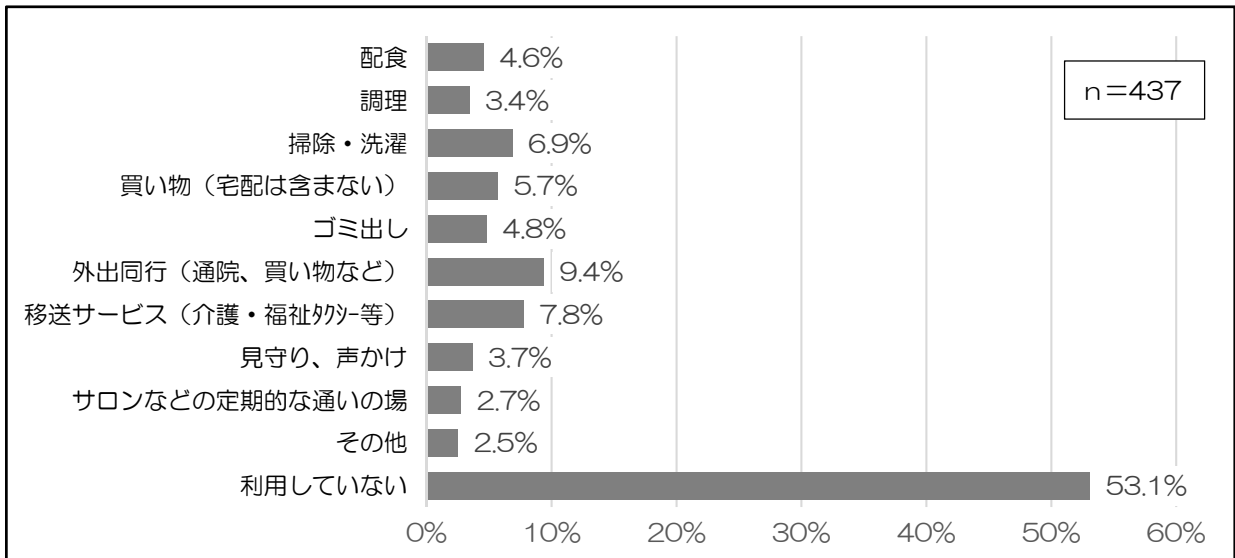
問 14 希望したが利用できていないサービスはありますか。（〇はいくつでも）

利用できていないサービスで最も多いのは「通所介護（デイサービス）」（14.2%）でした。次いで「短期入所生活介護（ショートステイ）」（7.5%）、「訪問介護（ホームヘルプ）」（6.6%）と続いています。一方、「希望したサービスを利用できている」は 55.7%、「本人にサービス利用の希望がない」は、18.9%となっています。



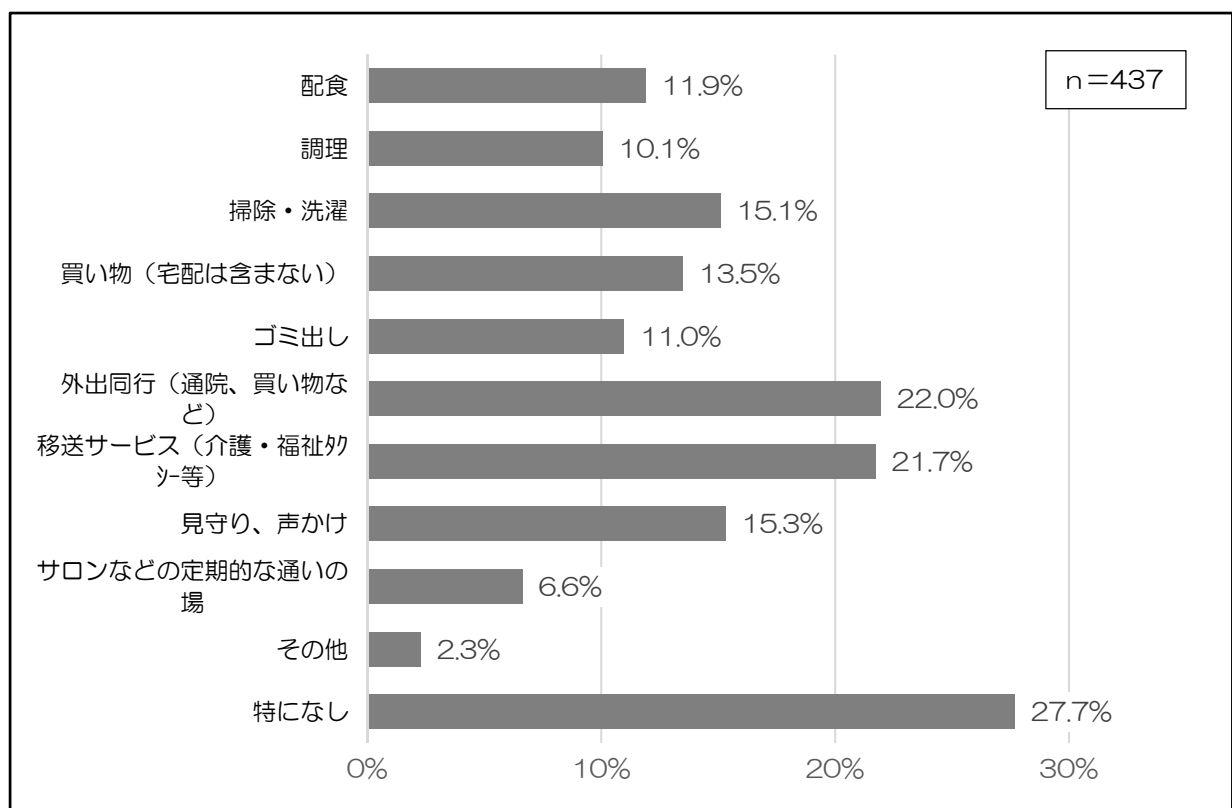
問 15 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（〇はいくつでも）

利用しているサービスは「外出同行（通院、買い物など）」（9.4%）が最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉ｸｯｰ等）」（7.8%）、「掃除・洗濯」（6.9%）、「買い物（宅配は含まない）」（5.7%）と続きます。「利用していない」は53.1%でした。



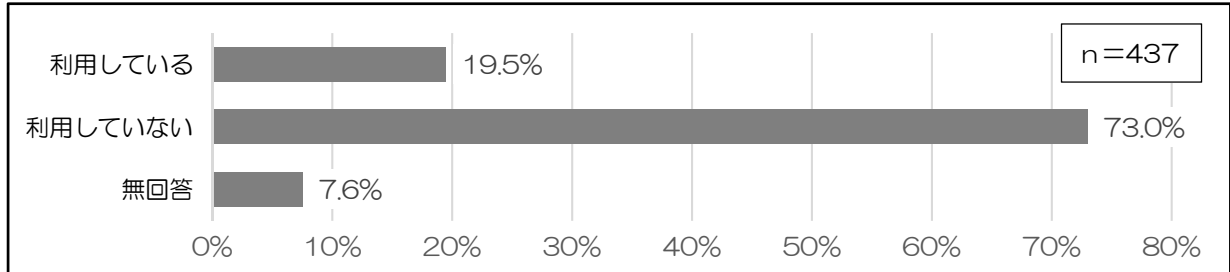
問 16 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（〇はいくつでも）

「外出同行（通院、買い物など）」（22.0%）、「移送サービス（介護・福祉ｸｯｰ等）」（21.7%）がほぼ同数で多く、「特になし」は27.7%でした。



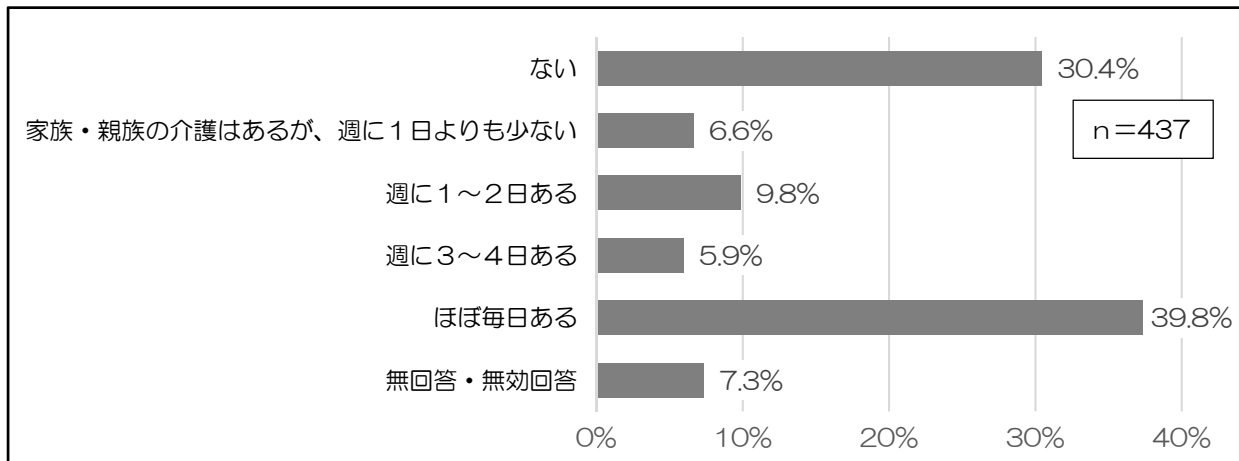
問 17 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つに○）

「利用している」と回答した人は19.5%、「利用していない」は73.0%でした。



問 18 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つに○）

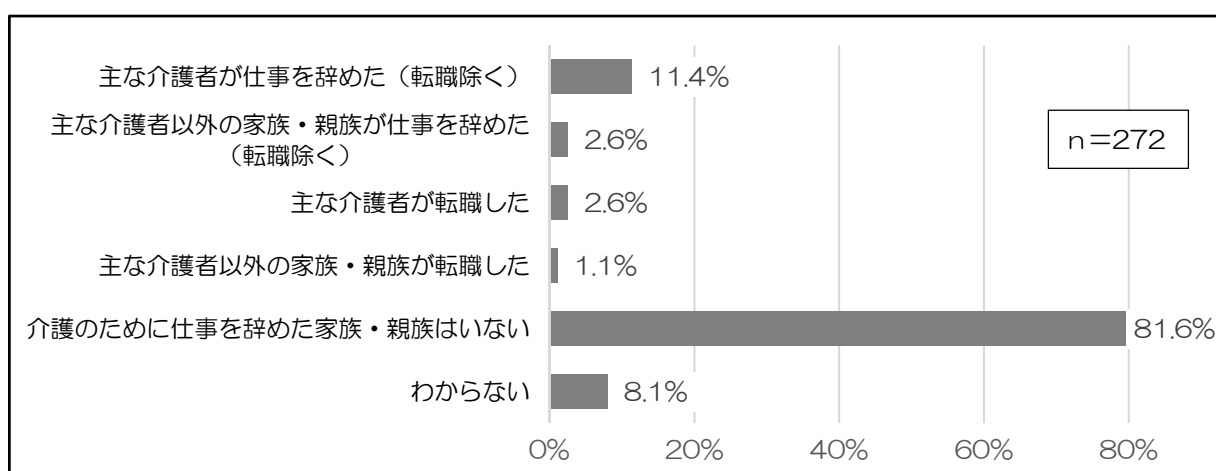
なんらかの介護があると回答した人は62.1%でした。「ほぼ毎日ある」は39.8%、「週に1～2日ある」は9.8%となっており、週1回以上介護がある人は55.5%でした。「ない」は30.4%でした。



B票 主な介護者の方について、お伺いします

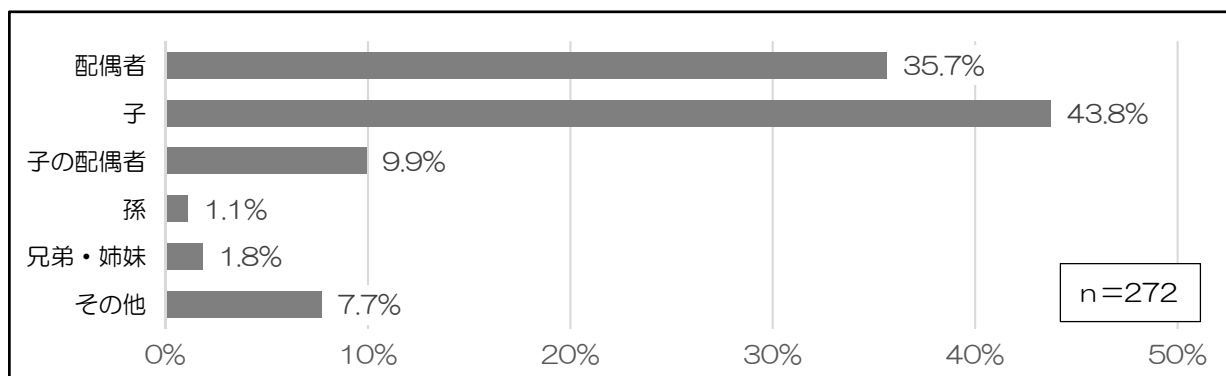
問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（〇はいくつでも） ※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」（81.6%）が最も多く、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は11.4%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職を除く）」「主な介護者が転職した」が2.6%となっています。



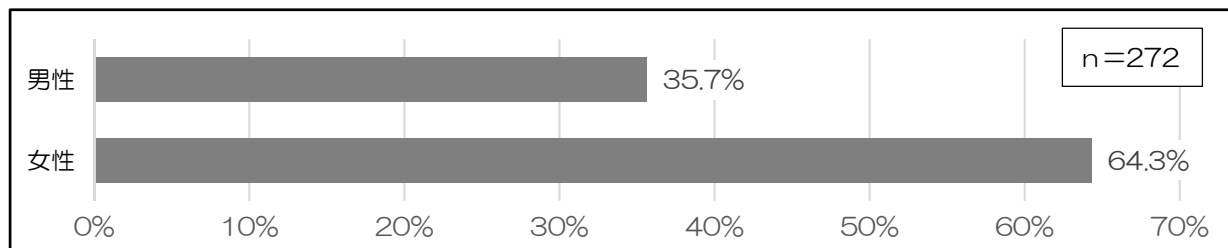
問2 主な介護者の方は、どなたですか（1つに〇）

「子」（43.8%）が最も多く、次いで「配偶者」（35.7%）と続きます。



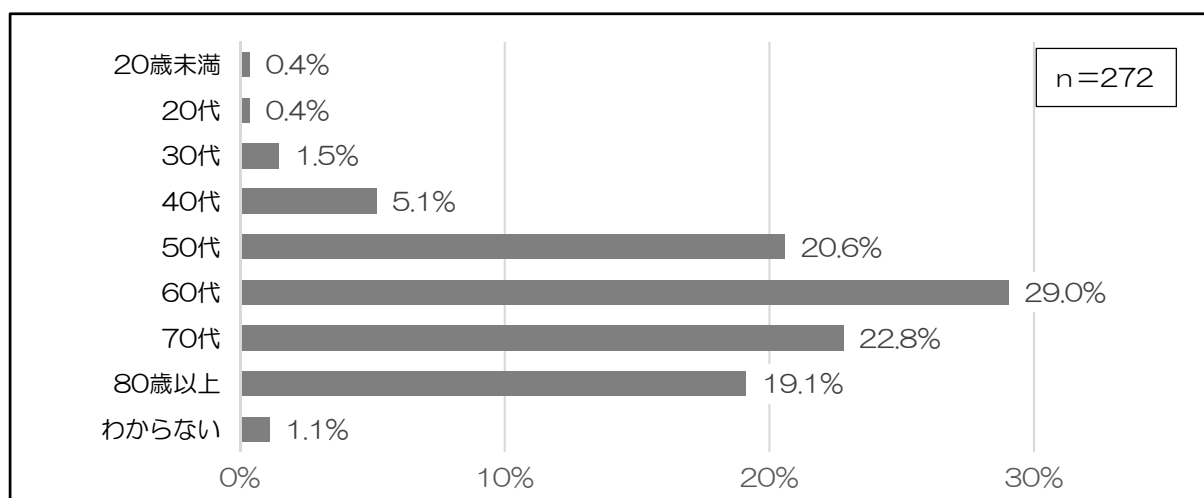
問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つに〇）

「男性」は35.7%、「女性」は64.3%でした。



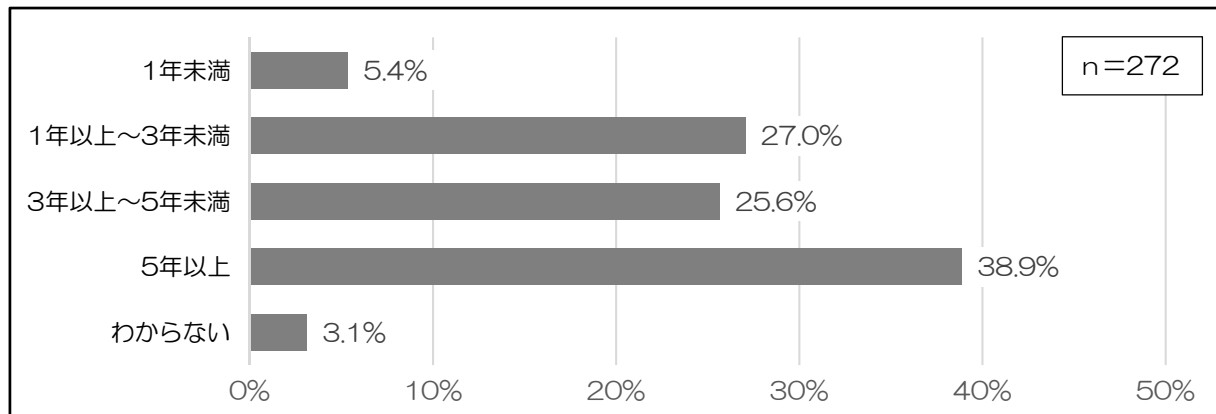
問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つに〇）

「60代」（29.0%）が最も多く、次いで「70代」（22.8%）、「50代」（20.6%）と続きます。60歳以上は70.9%でした。



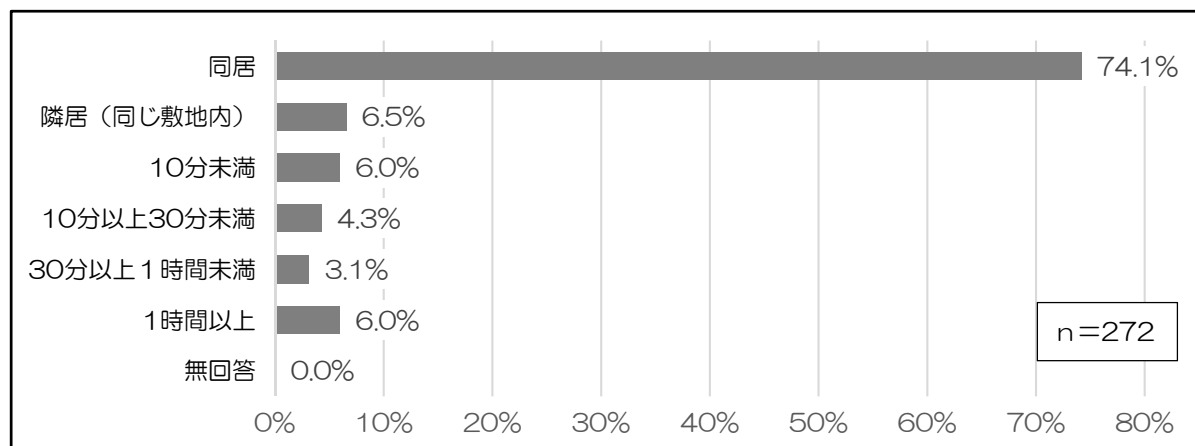
問5 主な介護者の方が初めて本人の介護に関わるようになってからどのくらい経ちますか。
(1つに〇)

「5年以上」(38.9%)が最も多く、次いで「1年以上～3年未満」(27.0%)、「3年以上～5年未満」(25.6%)と続きます。



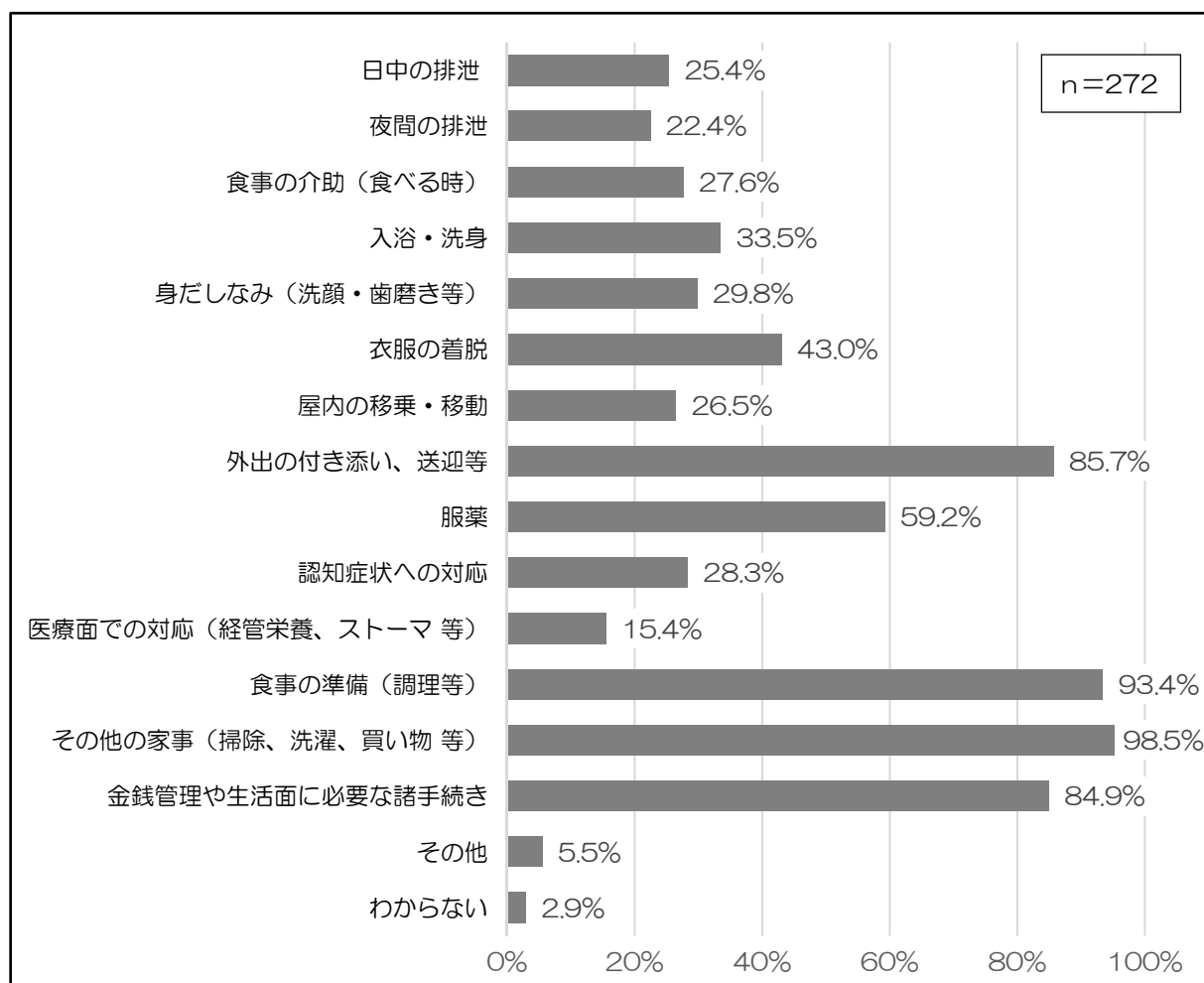
問6 主な介護者の方と、ご本人の住まいとの移動時間（移動手段は問いません）はどの程度ですか。(1つに〇)

「同居」(74.1%)が最も多く、「隣居（同じ敷地内）」(6.5%)と合わせると80.6%となります。一方、「1時間以上」は6.0%でした。



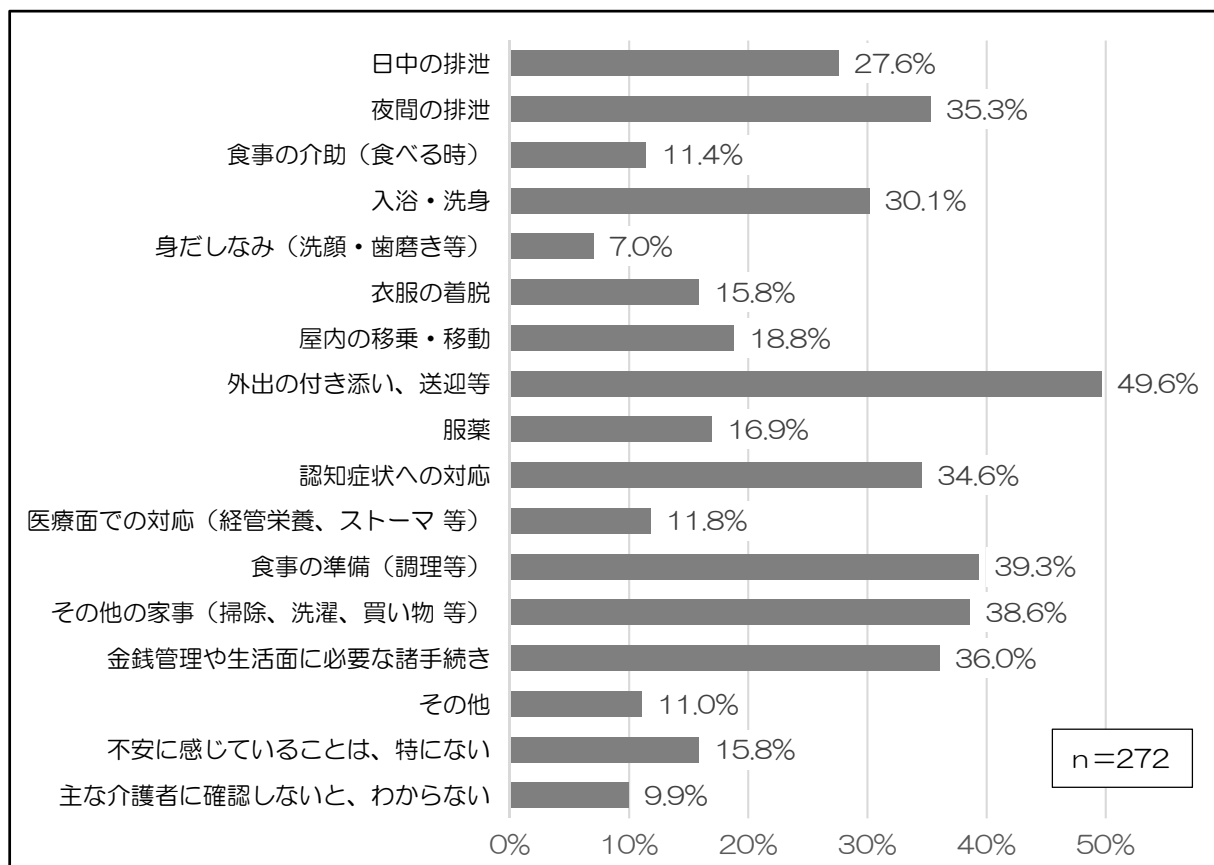
問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」（98.5%）が最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」（93.4%）、「外出の付き添い、送迎等」（85.7%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（84.9%）と続きます。



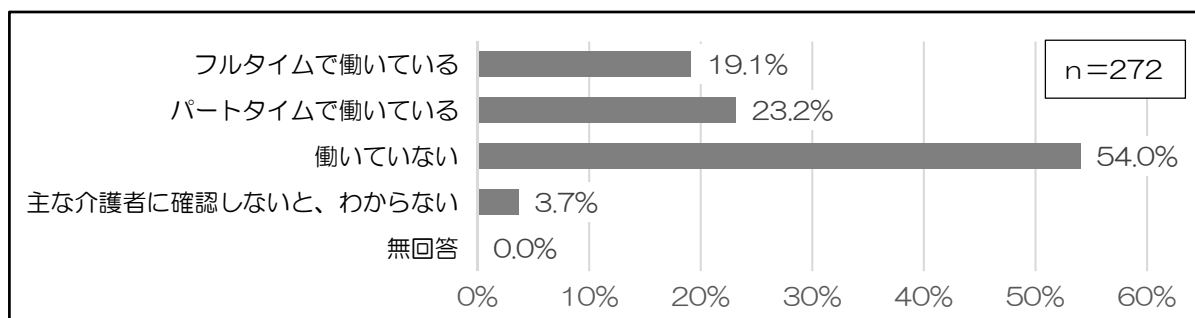
問8 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで〇）

「外出の付き添い、送迎等」（49.6%）が最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」（39.3%）、
「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（38.6%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（36.0%）と続きます。



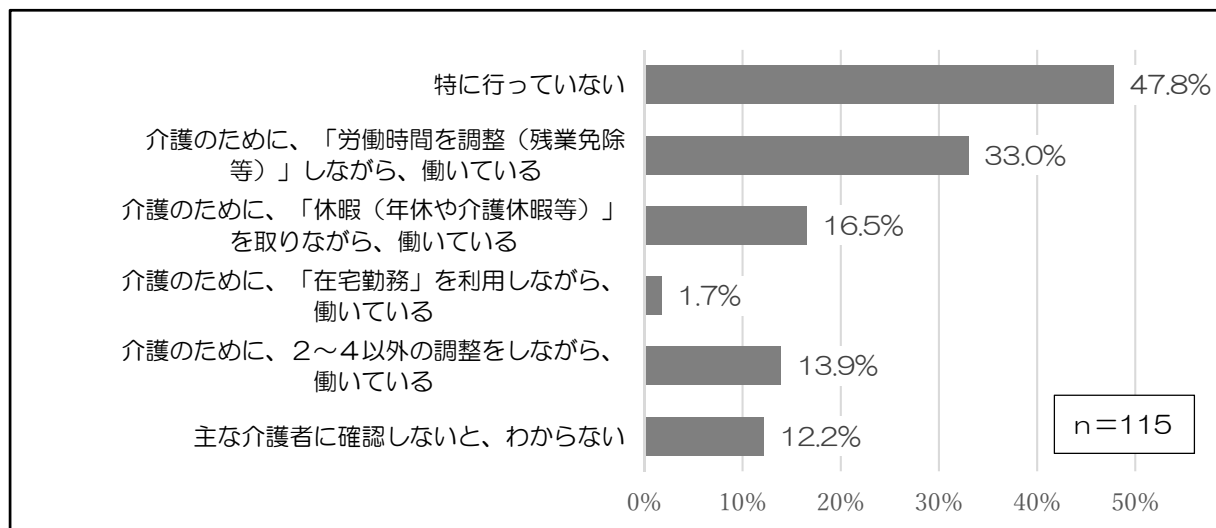
問9 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つに〇）

「働いていない」（54.0%）が最も多く、次いで「パートタイムで働いている」（23.2%）、「フルタイムで働いている」（19.1%）と続きます。



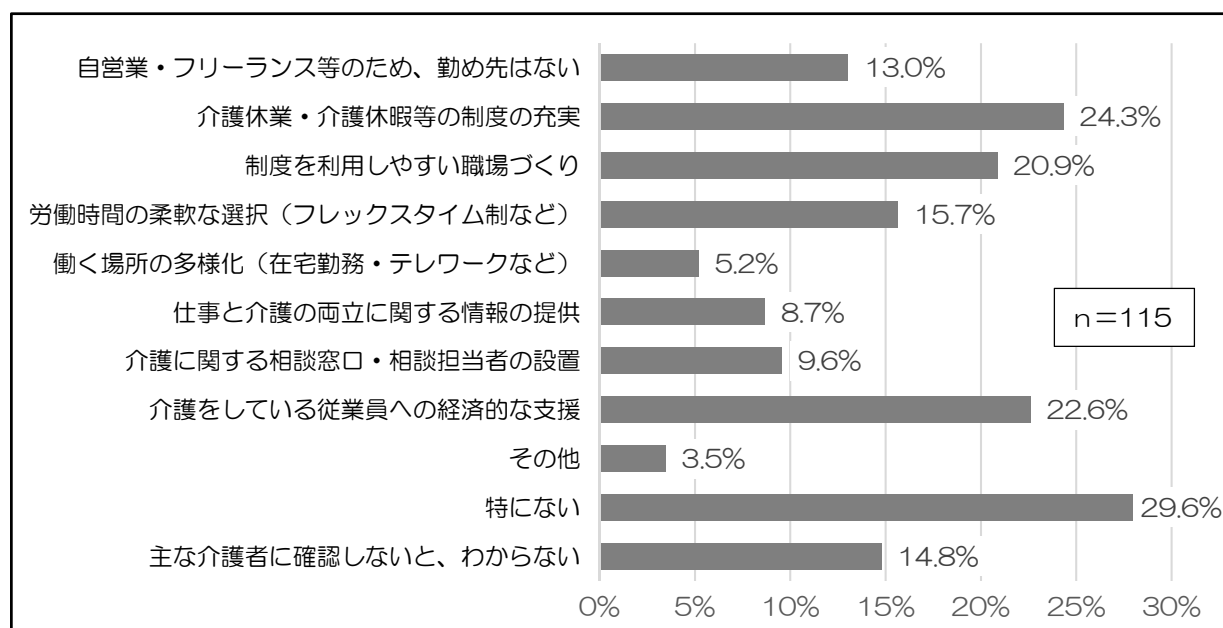
問 10 問9で「働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（〇はいくつでも）

「特に行っていない」（47.8%）が最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除等）」しながら、働いている」は33.0%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」は16.5%となっています。



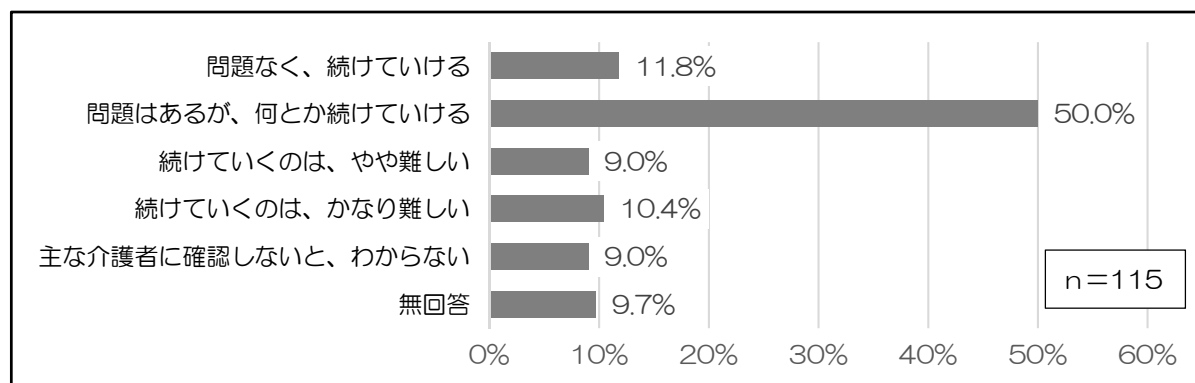
問 11 問9で「働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで〇）

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」（24.3%）が最も多く、「介護をしている従業員への経済的な支援」（22.6%）と続きます。「特にない」は29.6%でした。



問 12 問9で「働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つに〇）

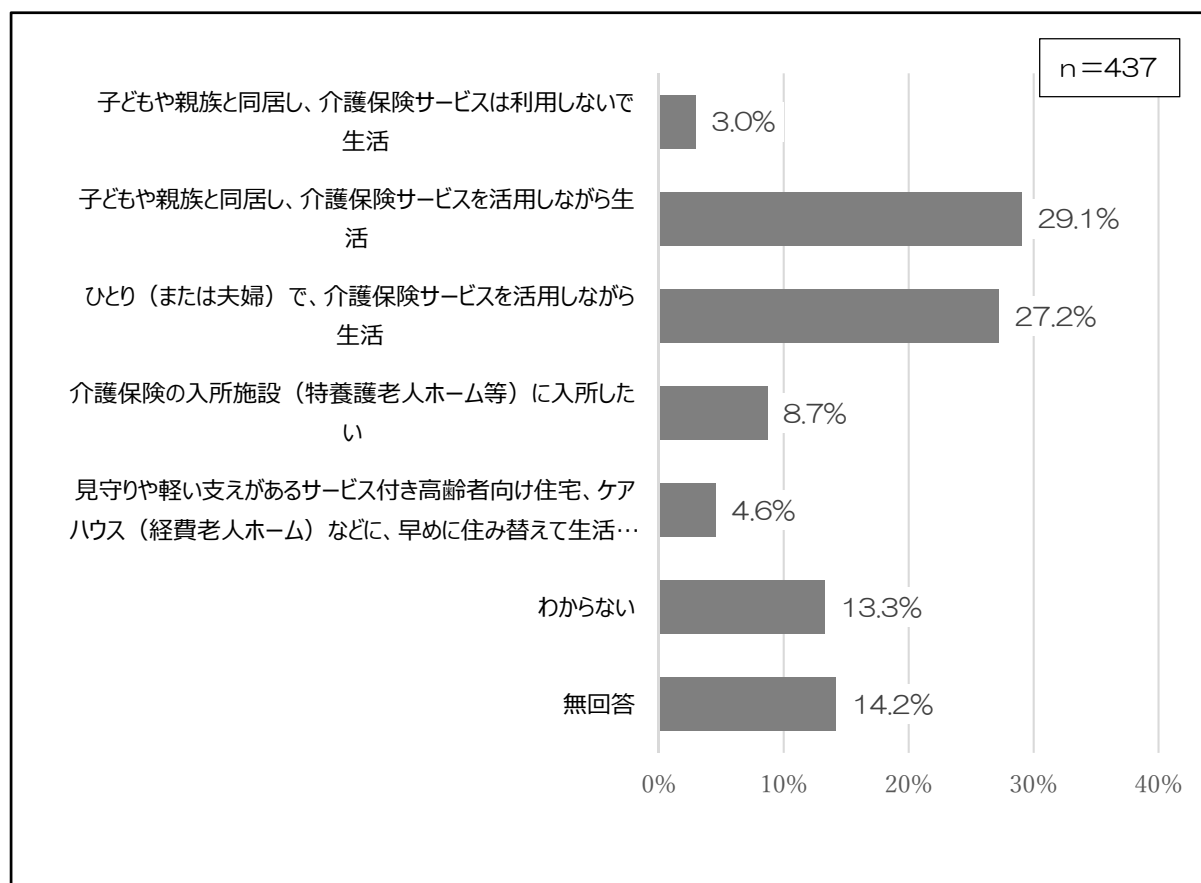
「問題はあるが、何とか続けていける」(50.0%)が最も多く、「問題なく、続けていける」(11.8%)と合わせると61.8%が続けていけると回答しています。一方、「続けていくのは、やや難しい」(9.0%)と「続けていくのは、かなり難しい」(10.4%)と合わせると19.4%が難しいと回答しています。



票 地域でいつまでも生活しつづけることについて

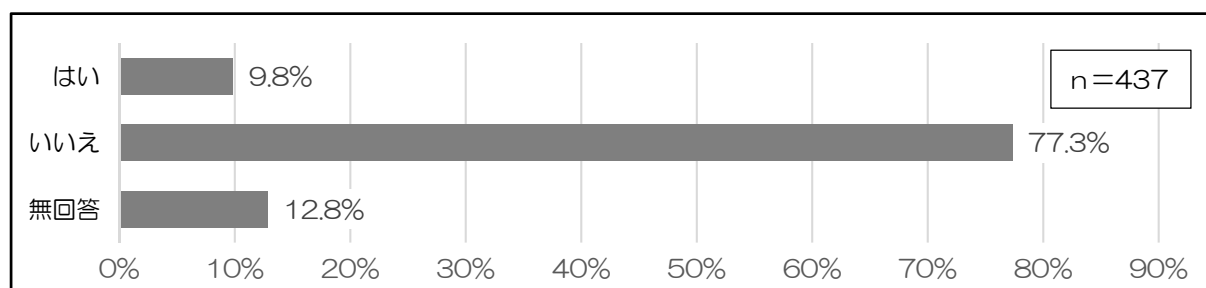
問1 ご本人は今後、どのように生活をしたいと思いますか。(1つに〇)

「子どもや親族と同居し、介護保険サービスを活用しながら生活」(29.1%)が最も多く、「ひとり(または夫婦)で、介護保険サービスを活用しながら生活」(27.2%)と合わせると56.3%が自宅で介護保険サービスを活用しながら生活したいと回答しています。



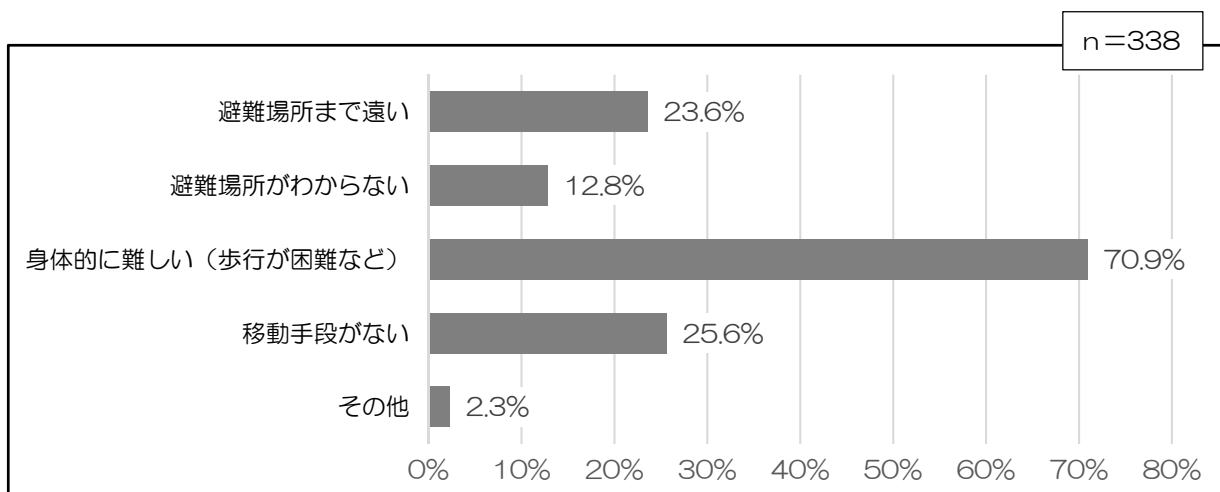
問2 災害時にご本人はご自宅から避難場所まで、ひとりで行くことができますか。(1つに〇)

「はい」と回答した人は9.8%で、「いいえ」と回答した方は77.3%でした。



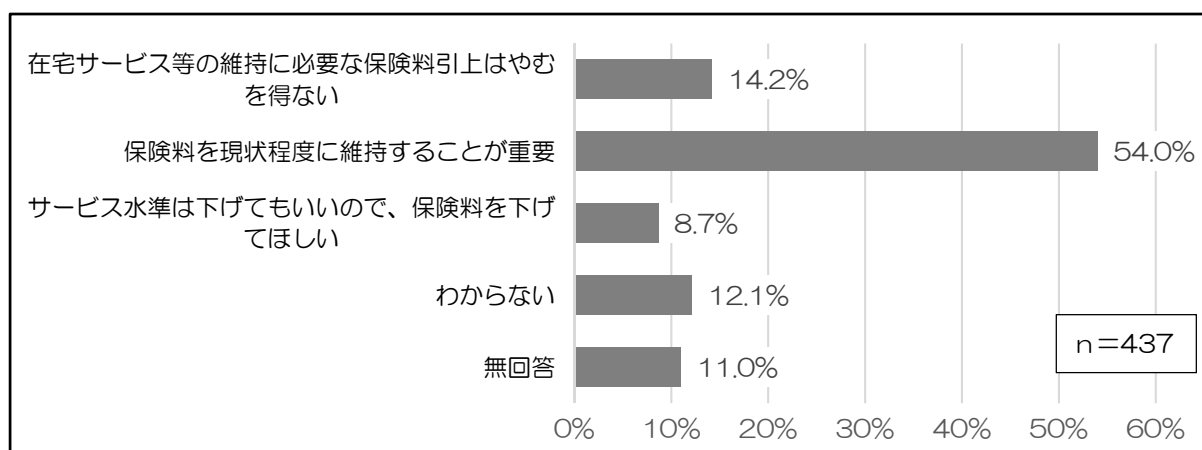
問3 ひとりで行くことができない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「身体的に難しい(歩行が困難など)」(70.9%)が最も多く、次いで「移動手段がない」(25.6%)、「避難場所まで遠い」(23.6%)と続きます。



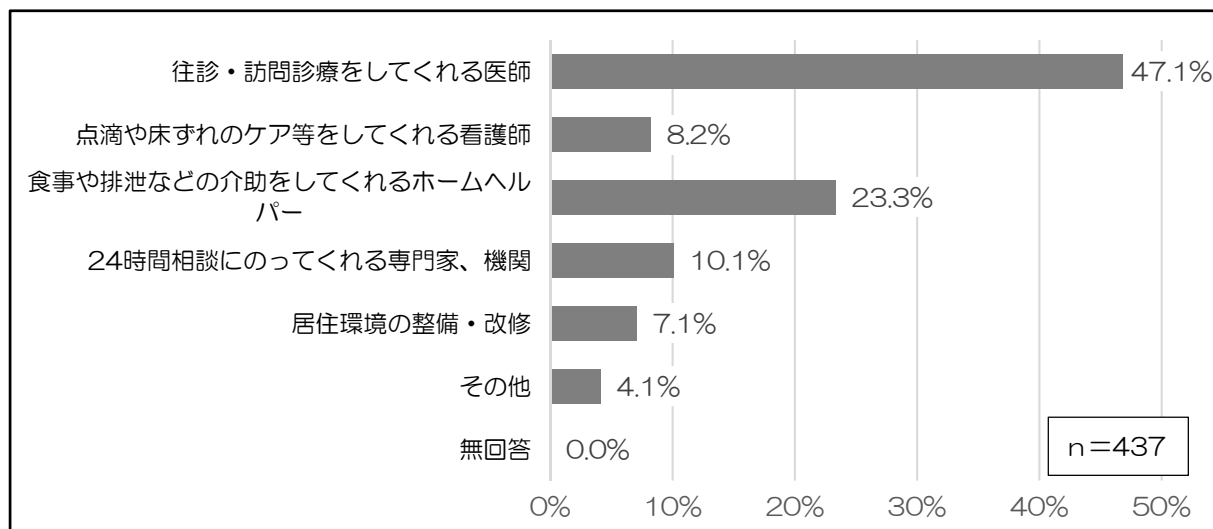
問4 今後の介護保険料について、お考えに近いものはどれですか。(1つに〇)

「保険料を現状程度に維持することが重要」(54.0%)が最も多く、次いで「在宅サービス等の維持に必要な保険料引上はやむを得ない」(14.2%)、「わからない」(12.1%)と続きます。



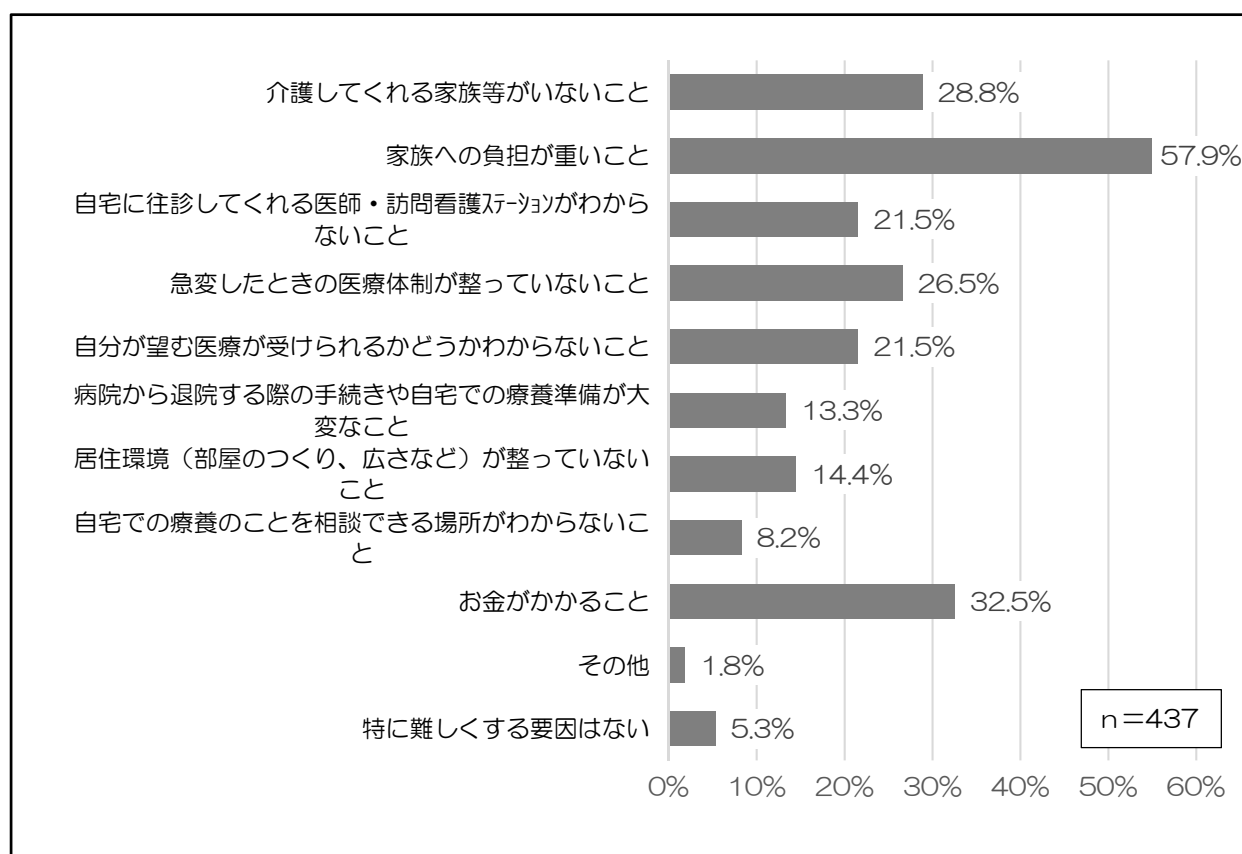
問5 自宅で最期まで療養するためには、主にどんなことが必要だと思いますか。(1つに〇)

「往診・訪問診療をしてくれる医師」(47.1%)が最も多く、次いで「食事や排泄などの介助をしてくれるホームヘルパー」(23.3%)、「24時間相談にのってくれる専門家、機関」(10.1%)と続きます。



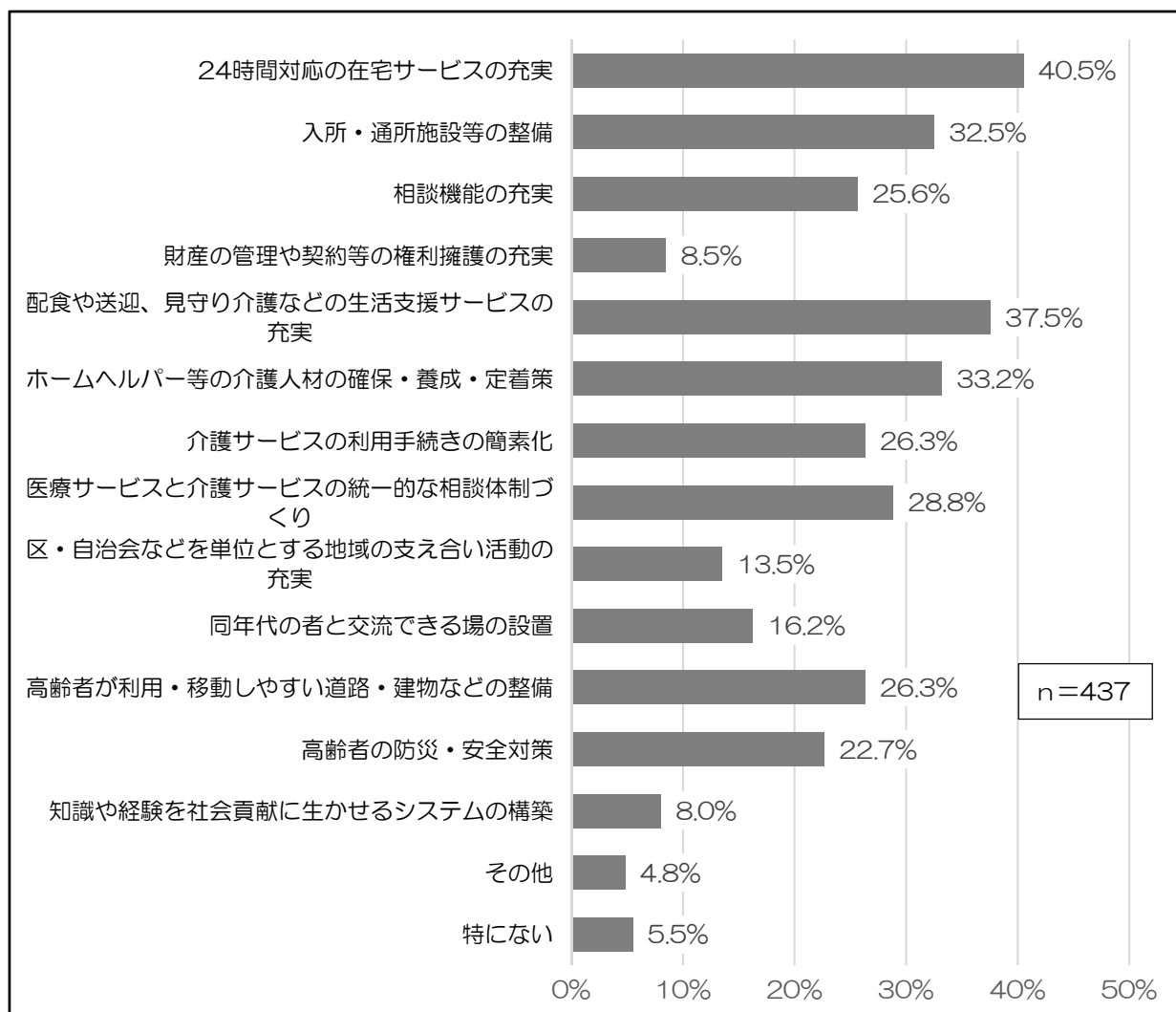
問6 自宅での療養を難しくする要因は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

「家族への負担が重いこと」(57.9%)が最も多く、次いで「お金がかかること」(32.5%)、「介護してくれる家族等がないこと」(28.8%)と続きます。



問7 高齢者の住み良いまちをつくるために、今後、大網白里市においてはどのようなことが重要と考えますか。(〇はいくつでも)

「24時間対応の在宅サービスの充実」(40.5%)が最も多く、次いで「配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実」(37.5%)、「ホームヘルパー等の介護人材の確保・養成・定着策」(33.2%)と続きます。



大網白里市の高齢者福祉政策について、ご意見・ご提案があれば、自由に記入してください。

私は、重度の喘息です。毎日が大変ですが夫が一生懸命に見てくれています。これ以上に悪くならないと良いのですが、毎日一生懸命にがんばっています。

デイサービスの支払いなど、ずい分と助けられております。これから状態が悪くなった時に、いろいろな経済面でも相談出来るところが欲しいです。今は何とかひとりで介護出来ているので大丈夫です。

市役所より貸し出している福祉自動車（車イス対応）が必要な時（通院）に借用できない。現在1台（？）を増やして欲しい。

介護保険料は上げないでいただきたい。

ホームヘルパーの定着の希望をのぞみます。3、4年デイサービスを利用していますが、ヘルパーさんの入れかわりがはげしいです。

現在、胆石やリュウマチ等で入院中なので代筆です。

長寿社会に伴い高齢者が高齢者を介護している現状である。ホームヘルパー等の人材を確保し、有事の際には即対応出来る体制を構築して頂きたい。

市役所の人によって、言う事が違う時があります。もう少し、手続きなどわかりやすくしてほしいです。

としよりでも何かたのしいことできればうれしいですボケナイようにね

私ども高齢者は家庭経済的に一般の老人ホームに入所は難しいので特別療養施設の数を増やしてほしい。誰でも高齢になります、必ず行く道です!!もっと高齢者福祉を充実して下さい。

高齢者に優しく手をさしのべてほしい。大網は在宅医師に恵まれて倖です

道路が舗装されていない為散歩がしにくい

認定にきてくださる方の対応も事務的で相談もしにくいです

これから介護する側も高齢になり運転もできないので介護タクシーなどの補助券をだしてもらえる等考えていただきたいと思います（通院、買い物 etc.）

出張スーパーもありがたいのですが遠いので近くにも来てもらえるとうれしいです

頑固で何も言う事かずに(両親共に)困る 長女

24時間見守りはとても心強く受け止めて感謝しています。これから商品の値上げで生活苦になります。今も切り詰めの生活で何とか残り少ない人生を日々元気で過ごせる社会であってほしいです。日常元気で暮らせる世の中、現状維持の体力と年金生活での日々を安定して生きられる毎日を希望します。

ケアマネージャー、デイサービス等みな様に良くして頂いて感謝致して居ります。

大網白里市の高齢者福祉施策や支援にはたいへん満足しております。

現在 91 才、週 1 回デイサービスをうけて居ります。日々楽しく過ごさせていただいて、満足致

して居りますがやはり、これからのことを考えると不安です
シニアカーがすれ違える様な安全・安心通行出来る歩道の早期実現 高齢者支援課の皆さんにいつもお世話になって本当にありがとうございます。大小かまわずご相談かけておりますがいつも快くわかりやすくお話をいただいております。終生頼りにいたしたく今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。
⑪の良い場所作りをお願いしたい。家にこもっているだけの生活になるので日中移動出来る事、変化があれば(公居の施設でなく)
ポストの場所が遠いので市役所の提出書類など郵便配達の人が回収していただける方法とかあったら良いのですが
市内に入所できる施設が必要、現在ケアマネさんに情報入手を依頼中、12月20日に1回目の面談決めたところ
ホームヘルパーの養成相談機能の充実
スーパーハヤシが閉店し皆さん困っています
いろいろな連絡手段としてWi-Fiの無料設備があるとよいです
避難しなければならない時に必要な歩行困難者はどう言う手段が有りますか？何時も心細く心配です。若さが無いし、体力も無い、車等も無い、歩行困難。
私はあるく事が出来ないのがつらいです
全体的なサービスの向上、充実
資金の援助の充実
訪問診療を利用しているが、コロナになった場合「往診はしません」と話がありました。災害時の避難所は体育館ではなく、中学校の空き教室(上階)に備蓄品も置いて整備して欲しい。できれば県立大網白里特別支援学校に身体に障害がある人・妊婦・就学児の母子・女性(元気な人は支援者として)避難でできるように交渉して欲しい。
問7の6に関連して…介護人材の所得が低い為、優秀な人材の確保ができないという現実を打開していただきたいです。私がお世話になっているヘルパーさんは秀逸な方ばかりです。低賃金の改善を切に要望いたします
私もデイサービス。妻も病気で内退院今年4回です。
家族にささえられて一生懸命生きています。なるべく家に居て皆と一緒にいたいと思っています。家族の手におえなくなった時は仕方がないので考えます。自宅で家族とすごしていただける見まもる家族に何か手当が出ないのか？夫と2人90才家族と一緒に今のままで終えられたらと今現在自分の出来ること一生懸命に皆になるべくめいわくをかけず一生を終えられるようにガンバルつもり。高齢者が生きていてよかったと思える町にして下さい。私は今は幸せです。
市役所(大網)に行かないといけない事が多いように感じます。出張所でもいろいろ対応出来るようにして欲しいです。1人にしておく時間が長くなると市役所に行くのも大変です。

<p>ひとりで住んでいますが、移動手段があまりにも不便です。(柳橋に住んでいます。浜バスもなくで)</p>
<p>少しやさしく、くわしく連絡を教えてください。</p>
<p>お世話になっています。現在娘と二人で過ごしています。ケアマネさんも時々顔を出して下さり話を少々ですが元気づけて下さり嬉しく思っています。又通院も毎月 1 回できています。(うじはらクリニック)先生と短時間ですが話をして元気づけていただいています。月 1 回の通院時間がかかりますが、とても元気になります。友達はいませんがデイサービスで週 1 回のおしゃべりを楽しんで過ごしています。交通の便が悪く 3 時間に通るバスのみがとても不便です。タクシーも利用しますが毎回は無理ですのでこまることもしばしば…</p>
<p>高齢者が安心して生活できる様に願っています。福祉タクシーをお願いします。</p>
<p>他の市に比べて対応が早く親切であると思います。</p>
<p>入所、通所施設の内容のわかるパンフレット等年に 1 度でも家庭に配って頂けたら有り難い。施設を利用したくても、金額等個人で調べるにはむずかしい。市で借してできる介護用具等も何かあるか解りません。介護に関する資料を充実させて欲しいです。(介護程度に沿った借し出し物品等も併せてお願いしたいです。</p>
<p>問 7 の 1 1、1 人で外出(散歩、歩行器使用)しようとするのですが、家の周りの道路事情が悪く、歩行器をあやつるのがたいへん(特に風の強い日、対向車があった場合等)です。つい外出するのがおっくうになります。メイン道路だけでなく歩道の整備を考えてもらいたい高齢者が安心して散歩できるようになれば、健康維持にもつながるのでは?</p>
<p>生協以外の宅配サービスがない地域なので食料・衣料・生活用品の買い物代行+お届けのようなサービスが欲しいです。通販はなれていないのとカードでの支払いが不安です。レストランの出前もガスとのみで肉類ばかりで食べられないので夢庵等の他のレストランやスーパー・コンビニ等のお届けサービスを広げて欲しいです。足が不自由で買い物に行けない者にとって生活必需品を即座に手に入れる方法がありません。歯ブラシやシャンプーなど生協では 2~3 品しかなく使い慣れた商品は買えません。食料品も冷蔵庫いっぱい買い込んでも不足するものは出てきます。都市部のようにスーパーやコンビニの宅配サービスの充実をぜひお願いします。レストランの出前も範囲を広げるよう市から働きかけてもらえませんか?食べ物の好みも難しくなっているので本人が食べたがっているものをたまには美味しく食べさせてあげたいです。(娘の私も足が悪く外出できないので本当に困っています)ネットバンキングやネットショッピングのやり方を自宅で教えてもらえるサービスはありませんか?</p>
<p>かきたいが手が動かない。</p>
<p>「安心・安全」と云う言葉をよく耳にします。そうなることを願わずにはいられません。人と人との笑顔の会話が大切ではないでしょうか?</p>

<p>高齢のため自動車を廃車したがそれによる影響は大きかった。お助け様等の外出支援サービスを受けているが、巡回バスではない買い物通院等に便利な外出支援サービスはできないものかと思えます。(不便な例) みどりが丘⇄大網駅のバスはあるが、みどりが丘⇄イオン・ベイシアの便はない。</p>
<p>年金内で入所できる施設があれば(できれば)最も良。今では約15~20万かかり、農家の国民年金では、後に負担がかかるので家族が寝ずでも看護しなければならないと思っています。</p>
<p>本人は世話をされることに拒否が強くある。認知症の進行や歩行困難で災害時どうなるか不安が大きい。</p>
<p>母がいつもお世話になっております。ありがとうございます。これからも高齢者(特に寝たきり障害のある方々)が安心して毎日が過ごせるような環境作りや災害時等の対策をよろしくおねがいします。</p>
<p>高齢者が利用しやすい公園がありません。主人は病気により半身マヒとなり、装具をつけて杖で歩いています。ほとんど家の中で車イスにすわり過ごしています。外の空気を吸ったり日光浴をさせてあげたいと思うのですが、どの公園も坂が車イスを押すにもきつく又段差があってなかなか中に入る事ができません。そのうち諦めるしかない状況だと思えます。駐車場までは行けますが、外に出られないのが現実です。健康でないと公園は利用できないなんて気の毒です。</p>
<p>障害者の福祉ももう少し考えて住みやすい市にしてほしいです。車椅子や杖歩行では大網街道を歩くのはとても危険が多く不自由です。</p>
<p>早い時期から看多機が設置されて利用できており大変助かります。重度対応かつ臨機応変に利用できるサービスはありがたいです。ただし、運営する側は大変ですから報酬に上乘せさせて下さい。</p>
<p>介護のためにベットとトイレと手押し車をかりていますが長くなると料金が大変なので古くなった場合は安く買い取りが出来るようにしてほしい手足がしびれて立ってする事はふらふらして何度もころんでいますとても大変です。主人は出掛ける事が多いので何とか頑張っていますが転倒しそうでこわいです。</p>
<p>現在は自分のことは自分で出来るし週一度のリハビリには送迎していただけるので充分ですが将来のことは考えにくく予想がつかいません。が、最後まで自分の家でヘルパーさんの助けをおかりして生活したいと考えております。</p>
<p>市内はデイスティ等は多くあるがショートステイ、グループホームが少ない。 私の母も市内のグループホームの空きが無かったため千葉市内に引越しをさせて千葉市内のグループホームに入居させた。 グループホームはそこに居住していないと入居できない事から又高齢者が増える事からグループホームを増やして欲しい。 今後デイホームの申請者(社)にはショートステイやグループホームを併合している福祉施設に許可をして欲しい。デイホームが安易に増えているように感じる。</p>

<p>81、88才の介護の毎日で私たちが亡くなった後どうして暮らしていくのだろうと心配で夜も寝られません。せめて老人ホームに入居できればと思いますがとても高額で入れません。年金は毎年きちんと払っていますが、それだけでは生活ができません。こんな世の中でいいのでしょうか？</p>
<p>自動車の免許を返上したが、通院等の移動に不便。タクシーを使っているが、1割負担しているがもう少し市の福祉で5割位の負担をお願いしたい。市のバスも全域通っていない。千葉の病院までタクシーで往復16,000円かかる。</p>
<p>オムツ代助成が要介護4以上というのは見直してほしい。認知症で排泄が出来ないが身体は不自由ではない場合要介護2や3になる事が多いと思いますが、父も4になって施設に入ることが出来ました。施設に入ったら助成券は使いません。あまり意味がなかったし、4になるまでオムツやウェットティッシュ手袋消臭剤など負担が大きかったです。</p>
<p>大網病院で予約でTELするもすぐ他の病院か開業院に行くように言われ他の開業院に行ったらもっと早くくれば早く直る病気だからとお医者さんに言われました。 今の病気は带状疱疹が3ヶ月以上まだ直っていません。理不尽な言葉（はTELで受ける看護婦さん）です。いつも生保でお世話になっているのでみじめでたまりません。</p>
<p>大網白里市が主催になって老人の喫茶店を作って楽しくゆっくり過ごす場を作って欲しいです。</p>
<p>母の入所している介護施設は、介護度によって移動できるので最後（期）まで安心して預けられます。骨折し病院から退院する時に本来なら特養を利用するよう勧められましたが介護施設の方で見て頂く事ができ施設の方へ感謝の気持ちでいっぱいです。 高額な価格ですが母の年金で賄えているので私共の負担にはなりません。 長い介護生活になり大変ですが施設の方と家族に支えられて乗り切っています。</p>
<p>現在入院中12月19日ひなたホームクリニックが往診に来てくれてその前は何でもなかったのに急にかるい咳が続きすぐに肺炎だから入院した方がよいとの事。手続きをして下さり救急車で九十九里病院に入院93才で高齢のためどうなるか心配です。</p>
<p>足で歩いて聴聞したり観察したり今回のような質問紙法も大切とは思いますが福祉は身をもって調査対応していただくことが大切だと思います。 限られた予算で苦勞されていることは良くわかりご苦勞には感謝しますが、人間の行動様式の改善は大変な事だと思います。一例を挙げるなら年老いた人間が安心して歩ける道路市内で何メートルありますか、おたずねしたいです。住みよい大網白里町はどこから具現化してるのですか。失礼をお許し下さい。神経痛で指先が難しく乱暴な文字ですみません。</p>
<p>介護者が仕事と介護の両立が出来るようなシステムがほしい。</p>
<p>是非移動しやすい道路の整備をお願いします。健常者でも歩きなくそうな歩道が多いです。道幅を広げて凸凹をなくしてください。介護用の歩行器やカートを使う場合ヨーロッパの石畳のような石をならべたような道路も器具がひっかかって歩きにくいです。</p>

<p>ホームヘルパーさんの家事援助や生活支援の仕事の範囲をひろげ教育をして下さい。家事能力家事に関する考え方は個人それぞれで一律ではありません。四角い畳を丸く掃くばかりではごみはすべて見えないところにかくれてしまう…それでも仕事をしたというヘルパーさんを何人か見えました。デモシカのヘルパーさんは困ります。</p>
<p>時刻表を見なくても外に出れば公共の乗り物がすぐつかまる土地柄ではないので、やはり外出するにはタクシー等を利用することになりますが、料金は上がっていくばかりです。要支援者の方にも割引券等があれば嬉しいです。</p>
<p>個人的に病院等の事をしておりますが送迎的な事が又つきそいな事が費用もかかりむずかしいです。</p>
<p>年齢が（90才）同じくらいの人サロンがほしい。今まで利用したところは70代が多く母と参加すると皆私に話しかけてくるため。母のために行っているの、母に話しかけてほしい。</p>
<p>出張所でできる事を増やしてほしいです。大網まで行くのは大変です。</p>
<p>急に具合が悪くなった時に、どこに（電話）すれば良いのかが解らないので、その時のために「ここに電話を」と役所の電話を覚えておいてくだされば安心なのですが、家の目に付く所に貼っておけば安心です。</p>
<p>火事、地震等、災害の際、本人が寝たきりの為、逃げ遅れてしまう可能性が高い、特に火事の場合、本人が動けると動けない場合では、生命を左右する。消防署などは寝たきりの家族がいる家庭を把握してくれると助かる。（該当する住所を本人たちにあらかじめ申請させて登録データベース化すれば容易だと思う。）</p>
<p>介護タクシー（福祉）の事で詳しく教えてください。</p>
<p>主人が歩行困難でも要支援2なのでデイサービスのリハビリ利用やお風呂など制約があり、満足なサービスを受けられないのが残念です。</p>
<p>移動するのに気軽にお願出来るシステムがあるとアリーナとか役所内のイベントを観たり、体験したいと思います。</p>
<p>年寄りが歩きやすい道路</p>
<p>歩道があるのか、ないのか、わからない場所などがあります</p>
<p>施設等の金額（長く入所していると不安になる）</p>
<p>ご苦労様です。いつもお世話になりまして本当に有難うございます。</p>
<p>2号保険者です。現在、福祉用具・訪問リハビリを利用しております。介護保険を利用しておりますが、まだ高齢者までは至っておりませんので、一般的な感想になります。 高齢者世帯が多い中、地域での関わりが少なく、家族（夫婦）で何とか生活している方が多くおられます。相談するところがわからない、何に困っているかも解らない方もいます。介護保険住宅改修費以外に市単独の改修支援事業があれば尚良いと思います。（主人は、マヒであり開き戸を引き戸</p>

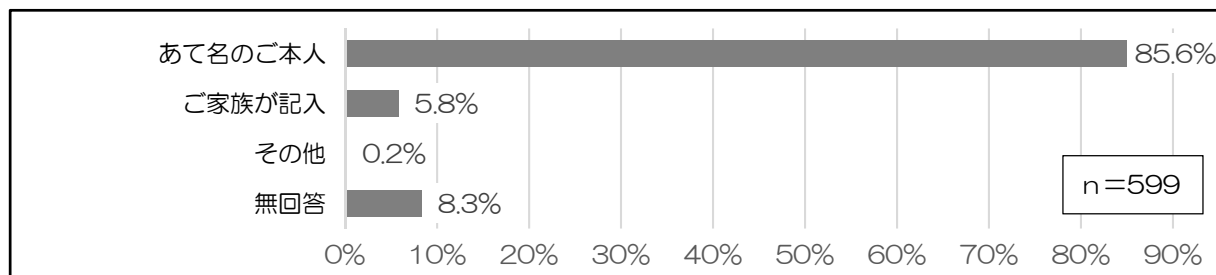
にする改修を自費で行いました)
ボランティアの数を増やす。定年組や仕事についていない方や学生の夏休みなど人的資源のシステム作り、金銭での解決にたよらない助け合いポイント集めなど楽しく参加してもらい税金の支出などが増えない仕組みを作り出す。いつもありがとうございます。
大網白里市は、福祉が充実している町だと思います。(高齢者のための) 今後もよろしくお願いたします。
高齢者への声掛け、配慮が自然に身につく環境施策
免許を返納した高齢者の移動手段としてバスやタクシーの無料パスの配布、また利用増のためのバス循環のコース及び増便を実施してほしい。また、このようなアンケートは調査するだけでなく、市民の高齢者のため実施してください。
日々の生活に永田駅を利用している者です。下り線のホーム階段をJRと話し合いエレベーター設置など検討してください。以前、町の見解では「くるりんバス」は駅があるのでまわさないとの事でしたが、買い物を持っての階段は大変でたえられません。この地域には、老人が多く、車の免許返納をすると買物難民です。どうぞ前向きに検討してください。町のスローガン「老人に住みよい町づくり」とあった様ですが！
急に母親が倒れ、今後どう介護していくのか不安でした。病院の方が色々教えて下さり助かりました。介護認定はケアマネが丁寧に指示して下さいましたが、障害者手帳が発行されるくらいの障害があったのに、書類のみが退院後に渡されるのみで、よくわからず、動き出したのは、1年以上もたってからであった。結果1級になり、いろいろな税の軽減があったが、過ぎ去っていたため、受けられていない。もう少し、ひとつひとつ丁寧な説明がいただきたいかった。ケアマネ選びもよくわからず、評判等もわからず、失敗した感が残ってます。ケアマネの指導充実をお願いしたいです。介護のスタートは、とても大切なのだと感じています。
都内に住んでいた時は、おむつの支援サービスがあり7000円/月を使うことができた。また、障害手帳を持っているので、介護タクシーが利用できるようにタクシー券の配布が毎年あった。これらのサービスが大網白里でも受けられるようにしてほしい。
お金の面、仕事をつづけていく事が(職場の環境、職場の待遇) 介護がとても大変です。
高齢者で要介護者の場合の外出が出来ない現況、介護タクシーがほしい。県内利用できる割引チケット制にして頂ければ自由に使える。
介護、支援の認定の見直し(全盲に近いので要支援2の見直し、ほとんど自費でサービスを受けている)
杖をついて歩行しているが道路面が悪くよく転んでいる。運転免許証を返納しているので歩いての移動が大変だ。病院に行くのが不便だ。白子の方1直線はあるが?南北にほしい。コースに研究予知が必要では。

Ⅲ. 介護予防・日常圏域二一ズ調査 集計結果

1 あなた自身やご家族の暮らしの状況について

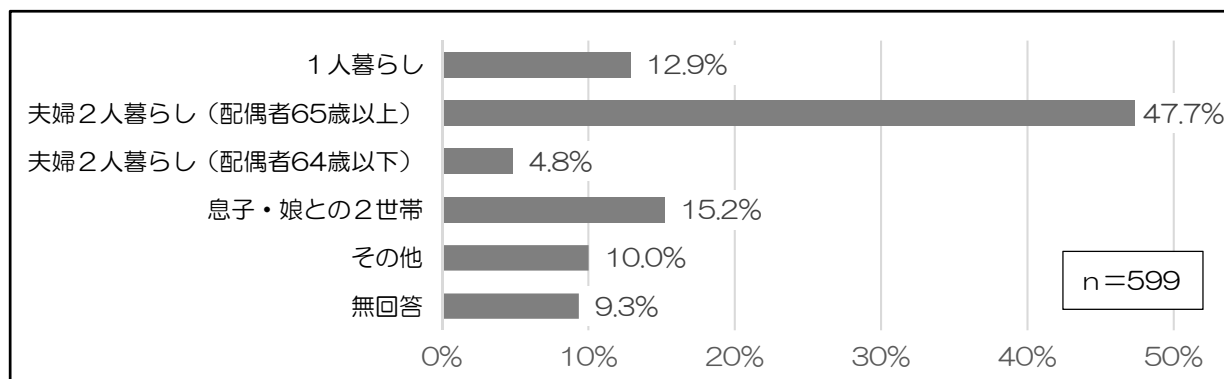
問1-1 調査票を記入されたのはどなたですか。(〇は1つ)

「あて名のご本人」が85.6%と最も多く、「ご家族が記入」は5.8%となっています。



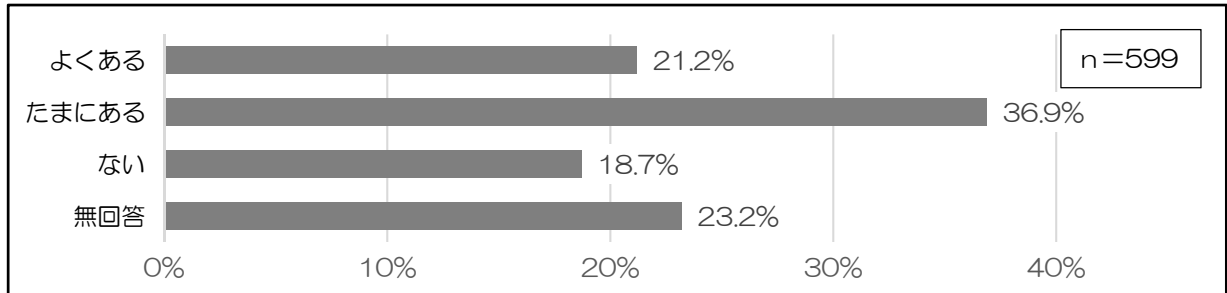
問1-2 家族構成を教えてください。(〇は1つ)

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(47.7%)が最も多く、「息子・娘との2世帯」は15.2%、「一人暮らし」は12.9%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」は4.8%でした。



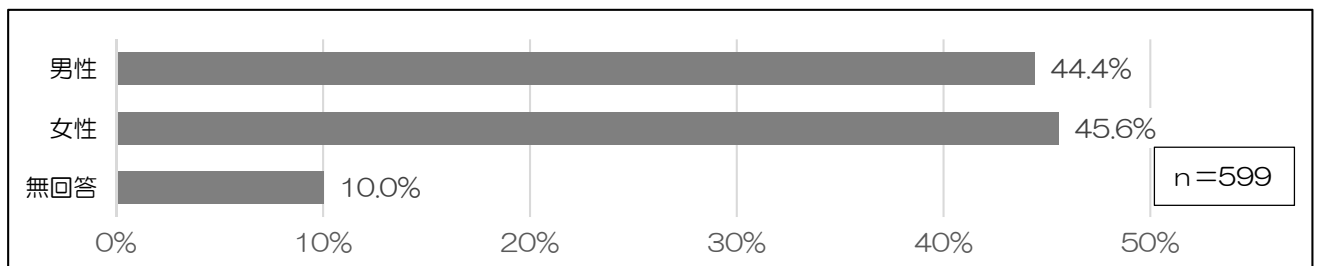
問1-2(1) 日中、ひとりになることがありますか。(〇は1つ)

「たまにある」が36.9%と最も多く、「よくある」は21.2%、「ない」は18.7%となっています。



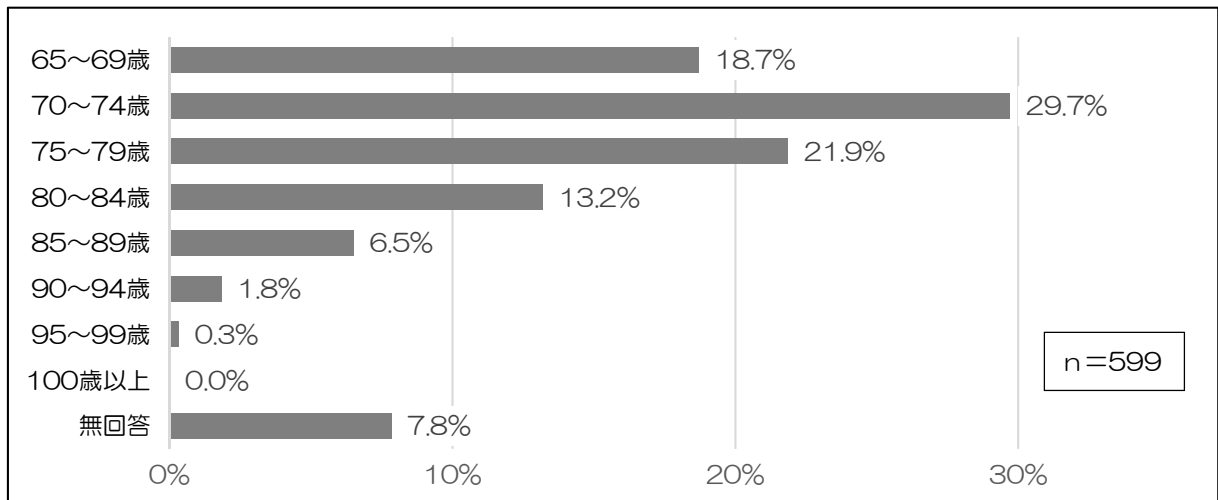
問1-3 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

「男性」が44.4%、「女性」が45.6%となっています。



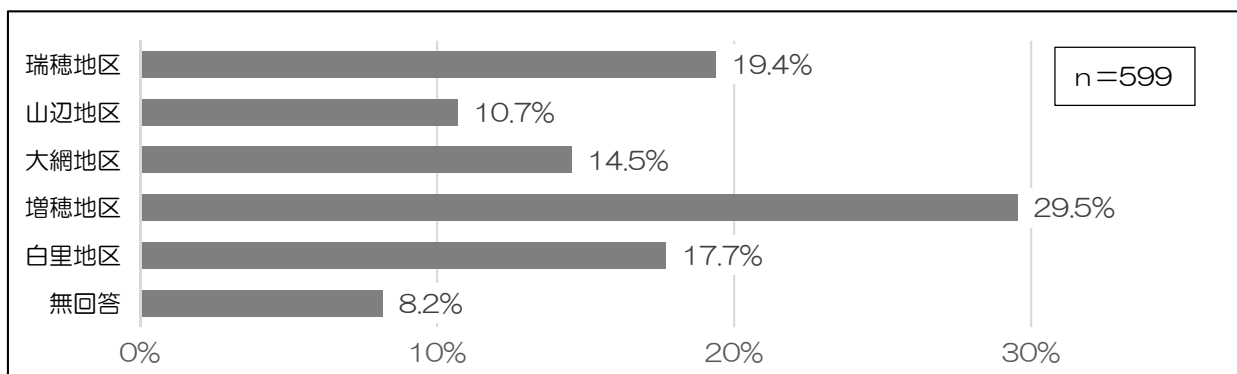
問1-4 あなたの年齢（令和4年12月1日現在）を教えてください。（〇は1つ）

「70～74歳」（29.7%）が最も多く、「75～79歳」が（21.9%）と合わせると51.6%が70代でした。「65～69歳」は18.7%、80歳以上は21.8%となっています。



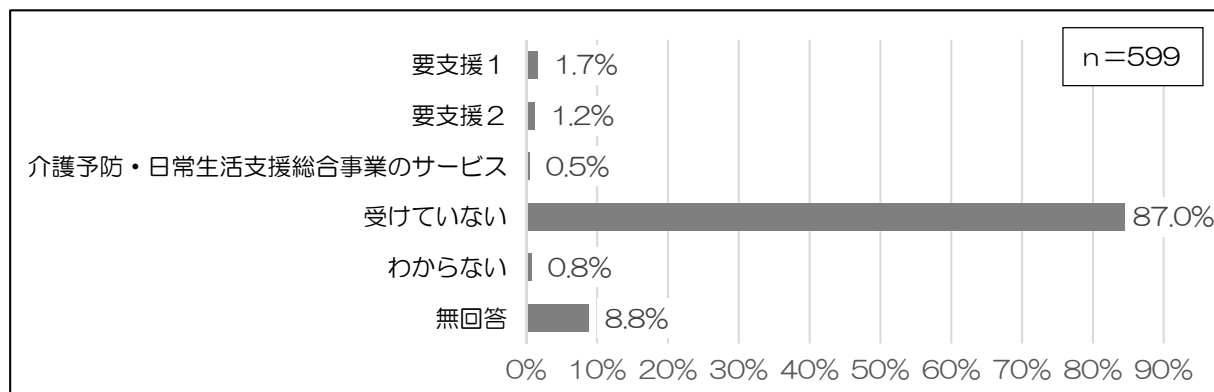
問1-5 お住まいの地域は次のどれにあてはまりますか。（〇は1つ）

「増穂地区」（29.5%）、「瑞穂地区」（19.4%）、「白里地区」（17.7%）、「大網地区」（14.5%）、「山辺地区」（10.7%）でした。



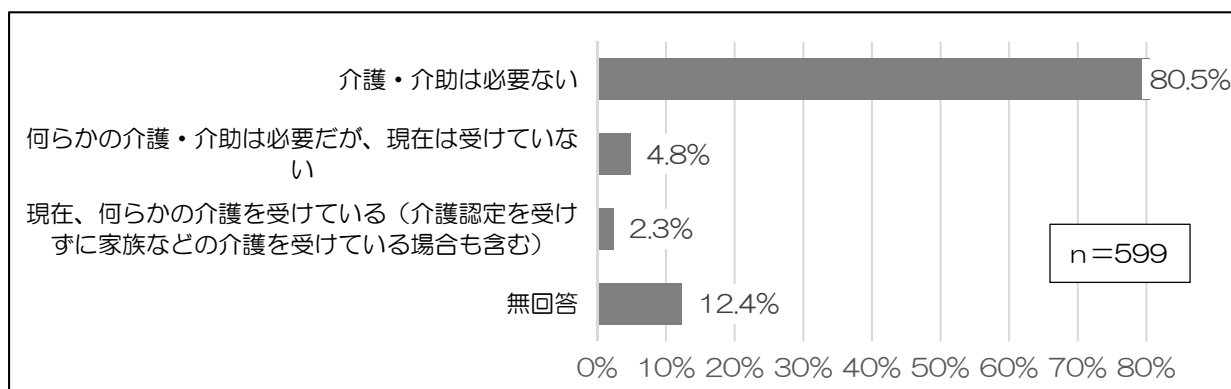
問1-6 あなたは、以下の認定またはサービスを受けていますか。(〇は1つ)

「受けていない」(87.0%)が最も多く、次いで「要支援1」(1.7%)、「要支援2」(1.2%)、「介護予防・日常生活支援総合事業のサービス」(0.5%)と続きます。



問1-7 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(〇は1つ)

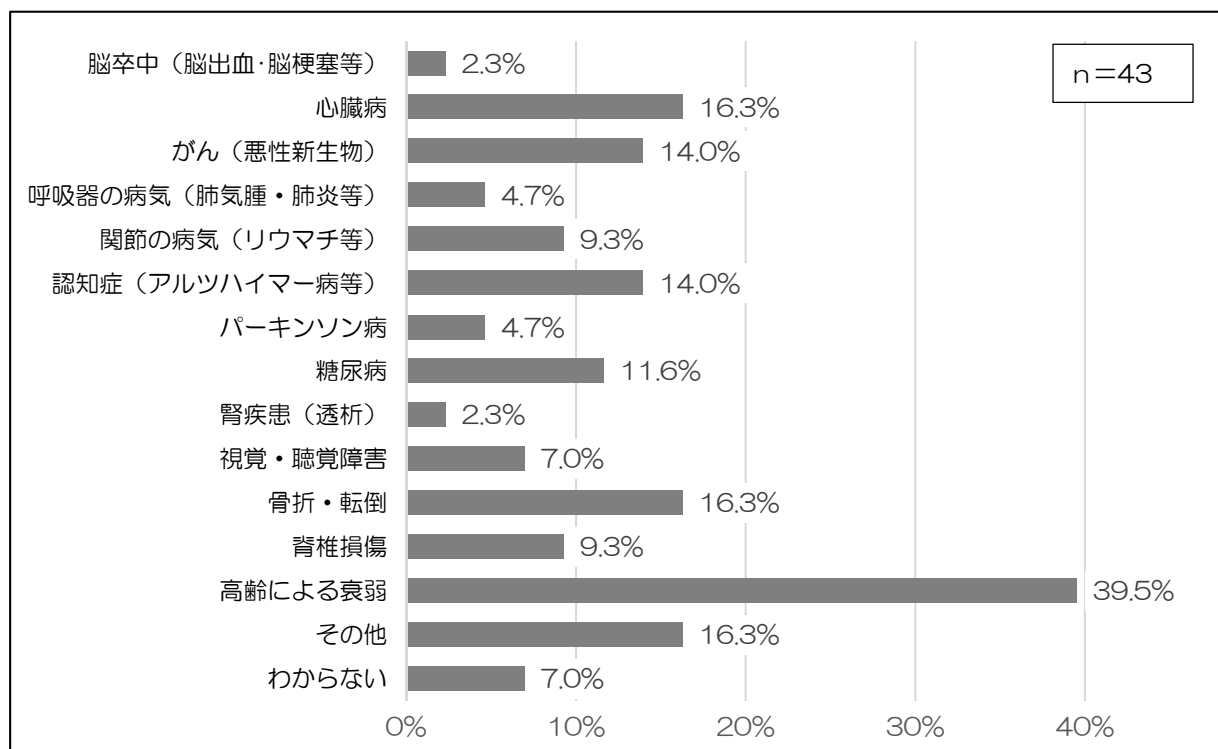
「介護・介助は必要ない」が80.5%と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が4.8%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が2.3%となっています。



【問1-7で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

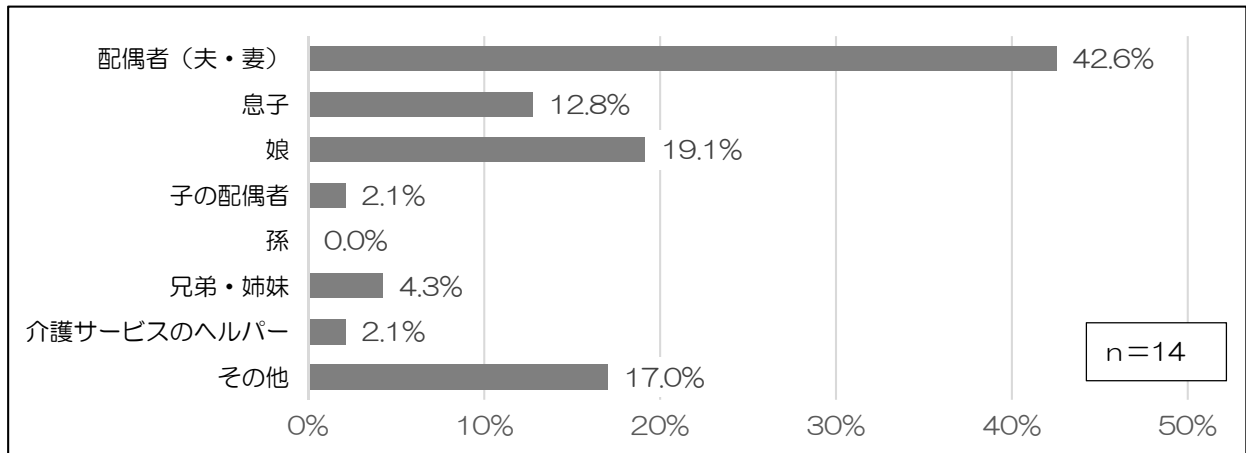
問1-7(1) 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)

「高齢による衰弱」が39.5%と最も多く、次いで「心臓病」「骨折・転倒」「その他」(ともに16.3%)、「がん(悪性新生物)」「認知症(アルツハイマー病等)」(ともに14.0%)と続きます。



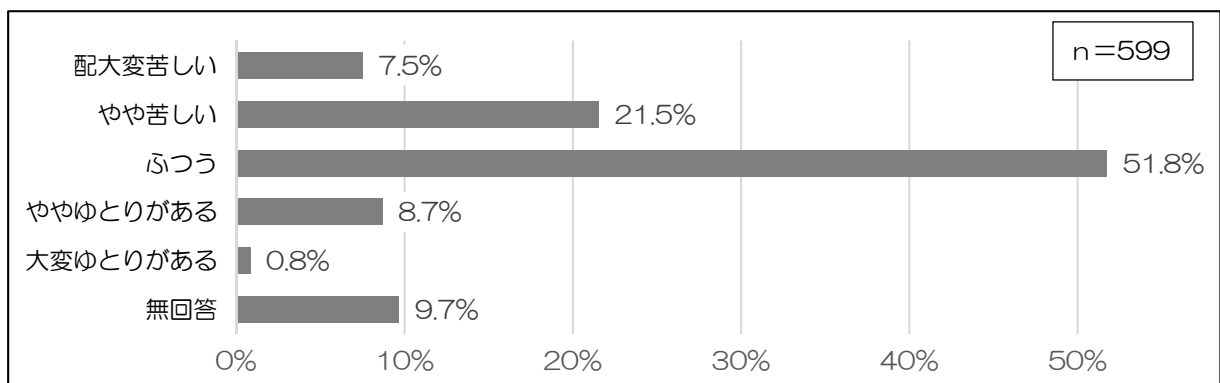
【問1-7で「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】
 問1-7(2) 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

「配偶者(夫・妻)」が42.6%と最も多く、次いで「娘」(19.1%)、「息子」(12.8%)と続きます。



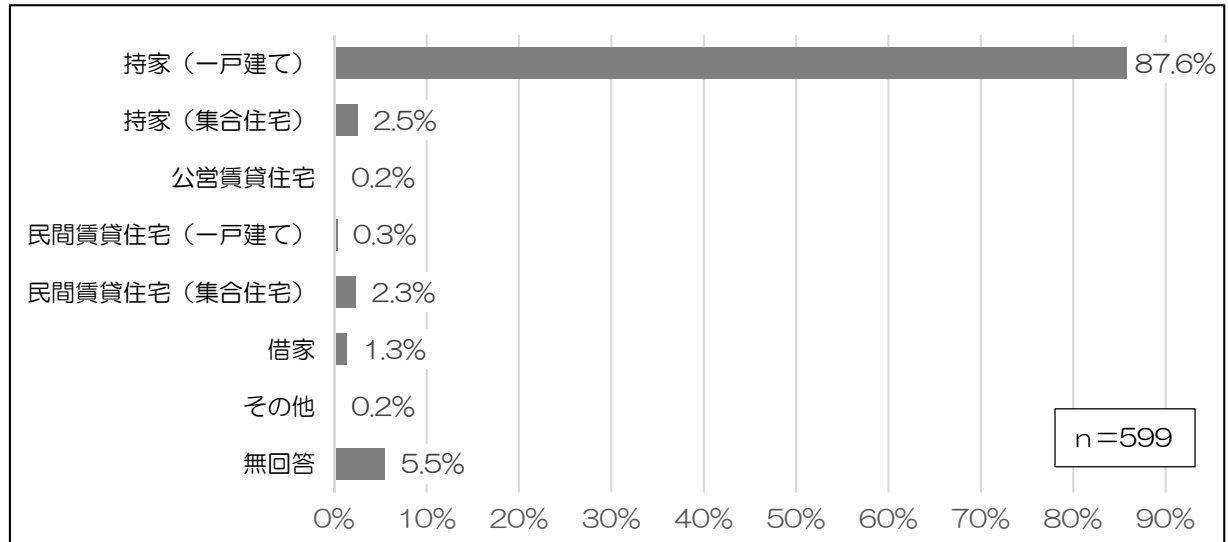
問1-8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

「ふつう」が51.8%と最も多く、次いで「やや苦しい」(21.5%)、「ややゆとりがある」(8.7%)と続きます。



問1-9 あなたのお住まいは戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇は1つ)

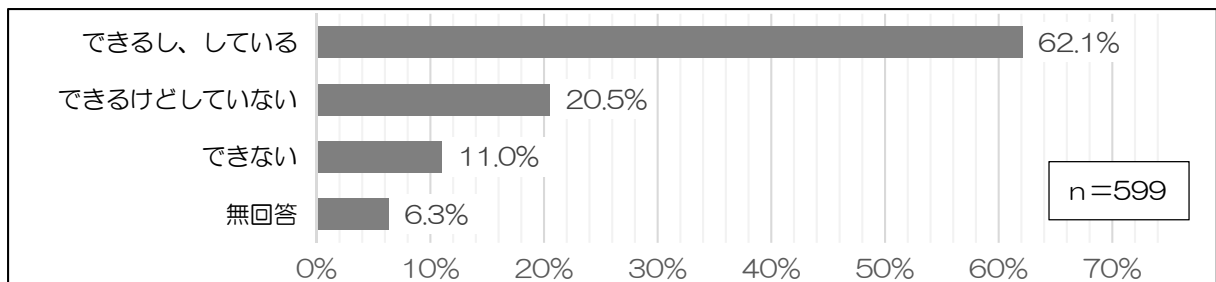
「持家（戸建て）」(87.6%) が最も多く、次いで「持家（集合住宅）」(2.5%)、「民間賃貸住宅（集合住宅）」(2.3%)、「借家」(1.3%) と続きます。



2 からだを動かすことについて

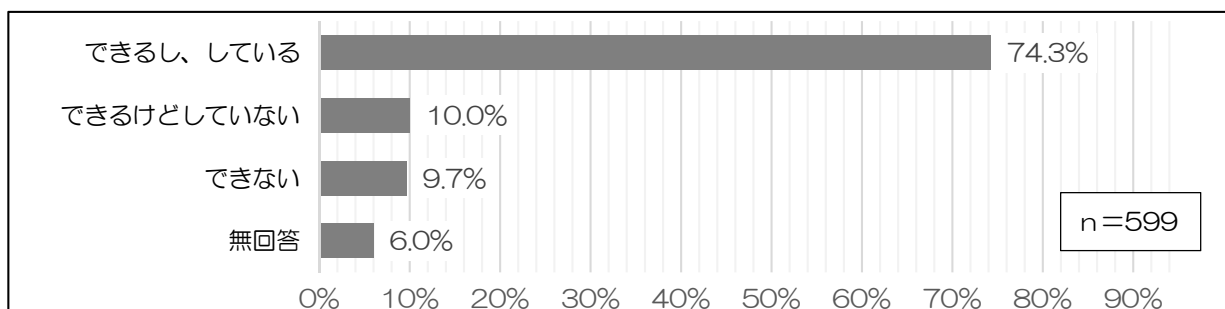
問2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(〇は1つ)

「できるし、している」(62.1%) が最も多く、次いで「できるけどしていない」(20.5%)、「できない」(11.0%)、と続きます。



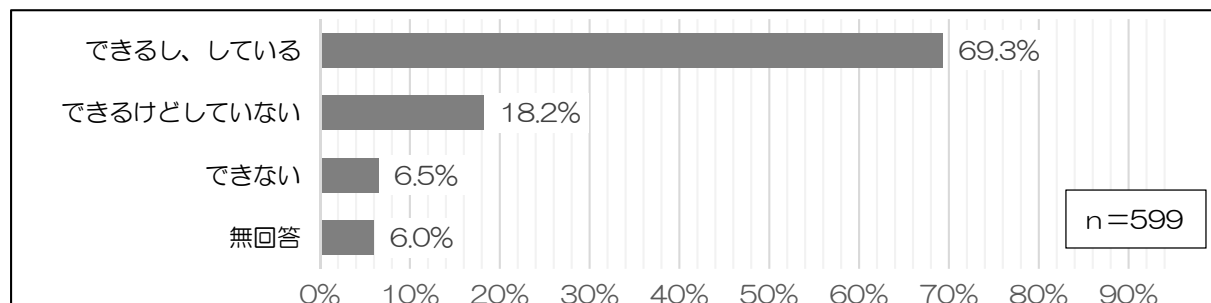
問2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(〇は1つ)

「できるし、している」(74.3%) が最も多く、次いで「できるけどしていない」(10.0%)、「できない」(9.7%)、と続きます。



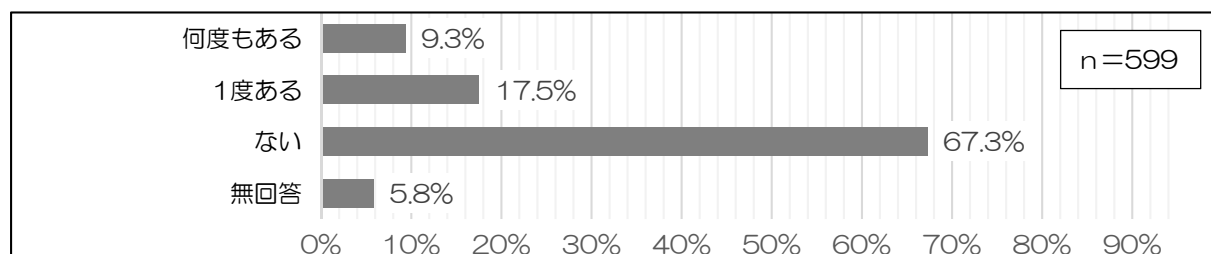
問2-3 15分位続けて歩いていますか。(〇は1つ)

「できるし、している」(69.3%)が最も多く、次いで「できるけどしていない」(18.2%)、「できない」(6.5%)、と続きます。



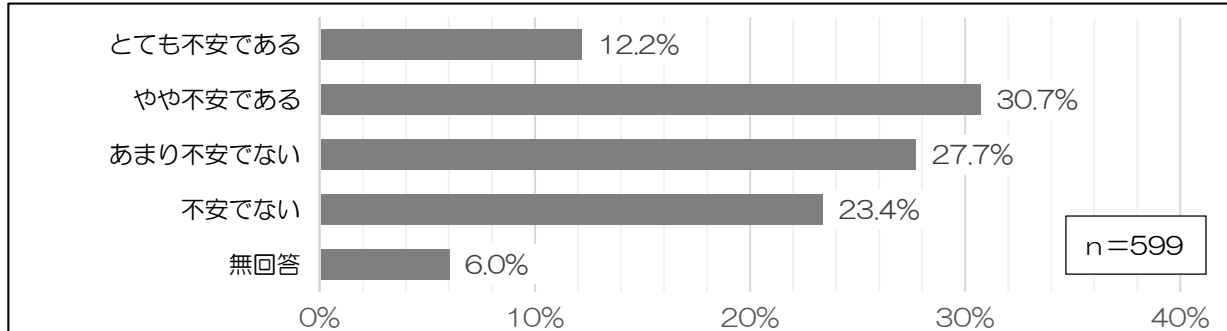
問2-4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(〇は1つ)

「ない」(67.3%)が最も多く、「1度ある」(17.5%)、「何度もある」(9.3%)を合わせると26.8%が転んだ経験があると回答しています。



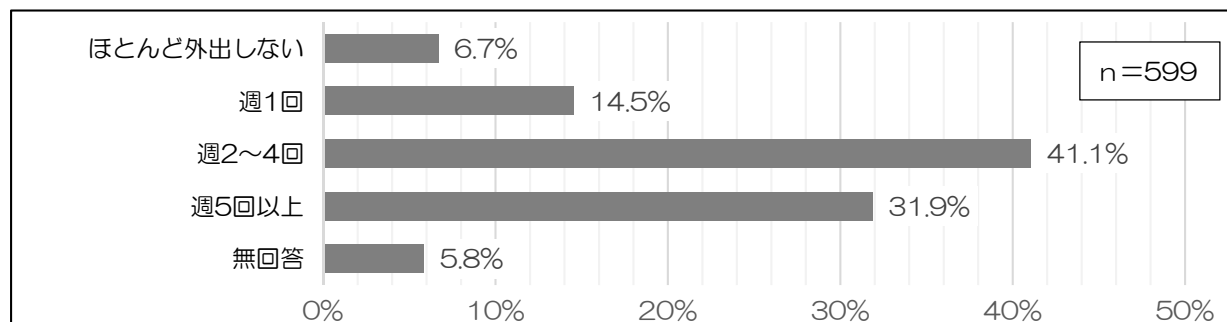
問2-5 転倒に対する不安は大きいですか。(〇は1つ)

「やや不安である」(30.7%)が最も多く、「とても不安である」(12.2%)と合わせると42.9%が不安を感じています。「あまり不安でない」は27.7%、「不安でない」は23.4%となっています。



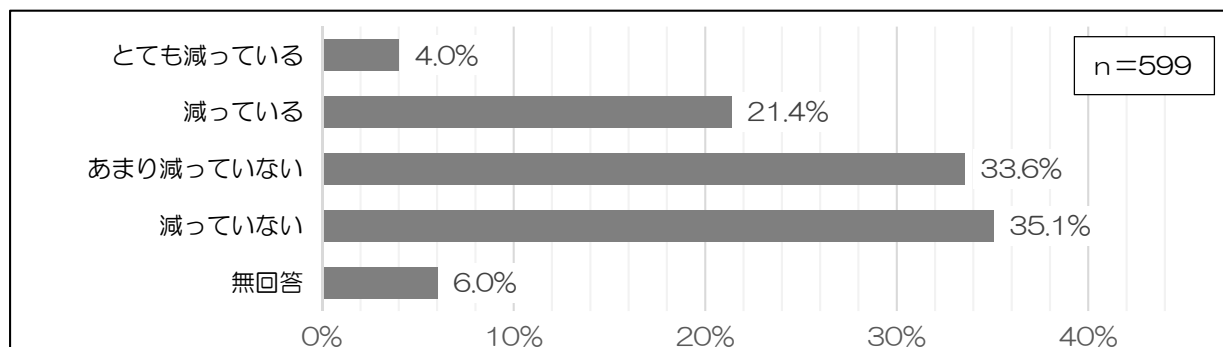
問2-6 週に1回以上は外出していますか。(〇は1つ)

「週2~4回」(41.1%)が最も多く、「週5回以上」(31.9%)、「週1回」(14.5%)と続きます。「ほとんど外出しない」は6.7%でした。



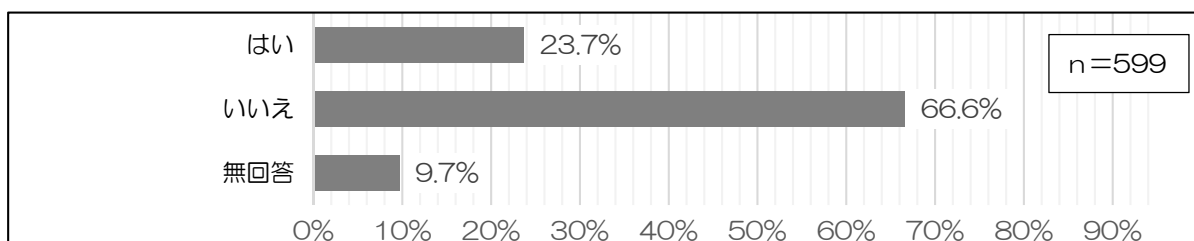
問2-7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇は1つ)

「減っていない」(35.1%)が最も多い一方、「減っている」(21.4%)と「とても減っている」(4.0%)を合わせると25.4%が減っていると回答しています。



問2-8 外出を控えていますか。(〇は1つ)

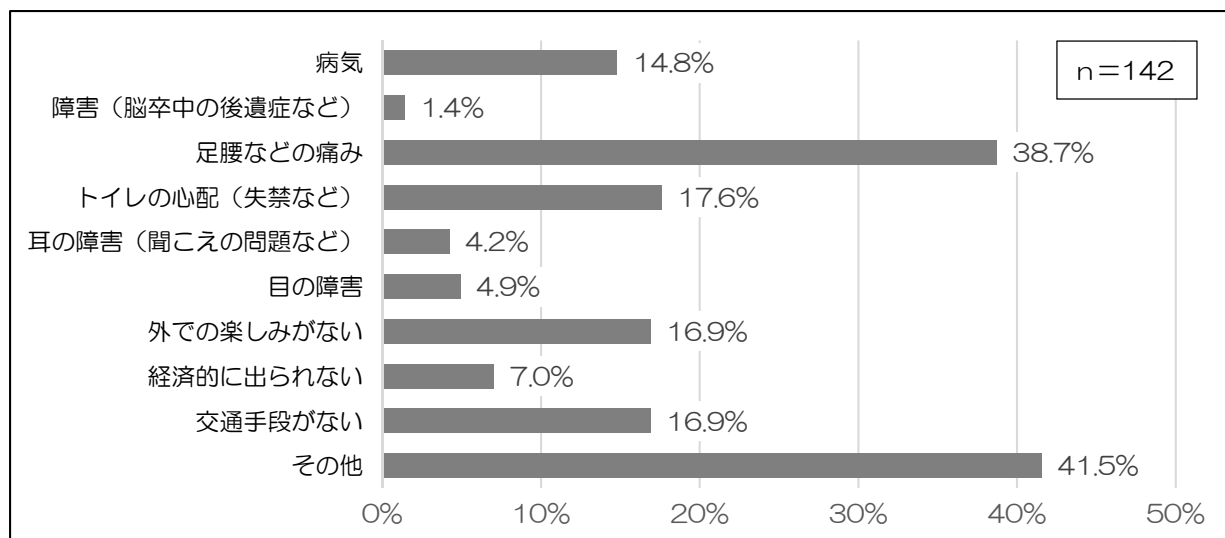
「いいえ」と回答した人は66.6%、「はい」と回答した人は23.7%でした。



【問2-8で「1. はい」の方のみ】

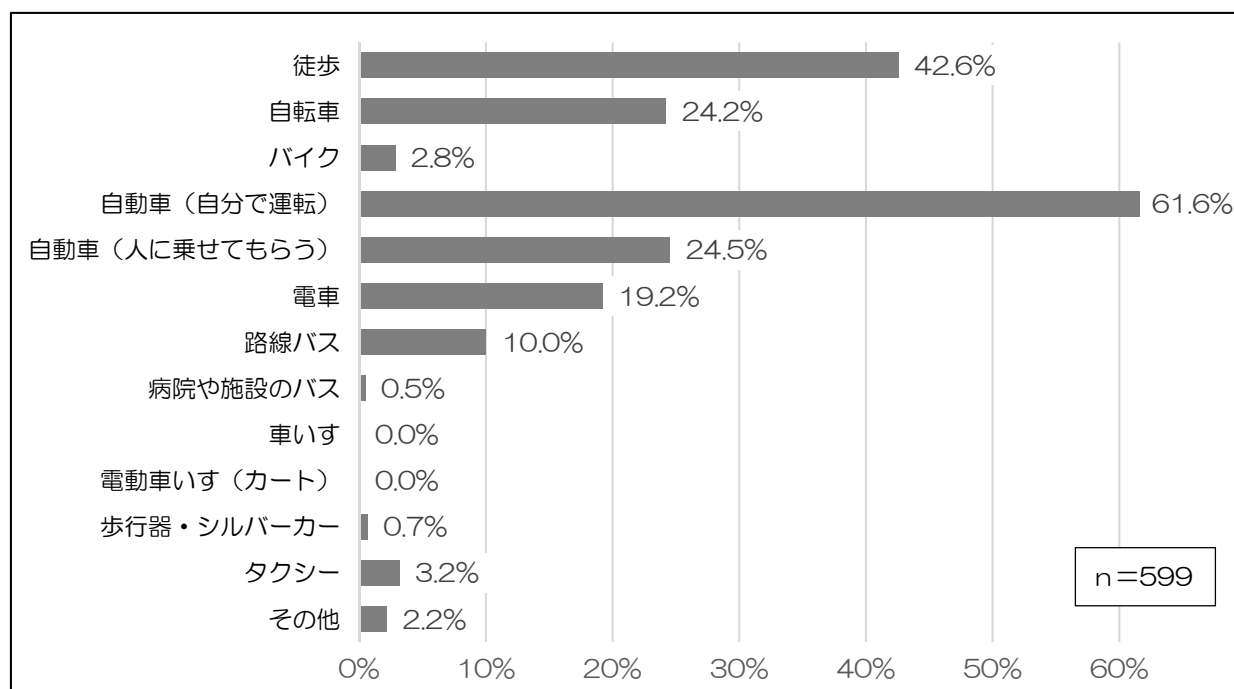
問2-8 (1) 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

「足腰などの痛み」(38.7%)が最も多く、次いで「トイレの心配(失禁など)」が(17.6%)、「外での楽しみがない」「交通手段がない」(いずれも16.9%)と続きます。



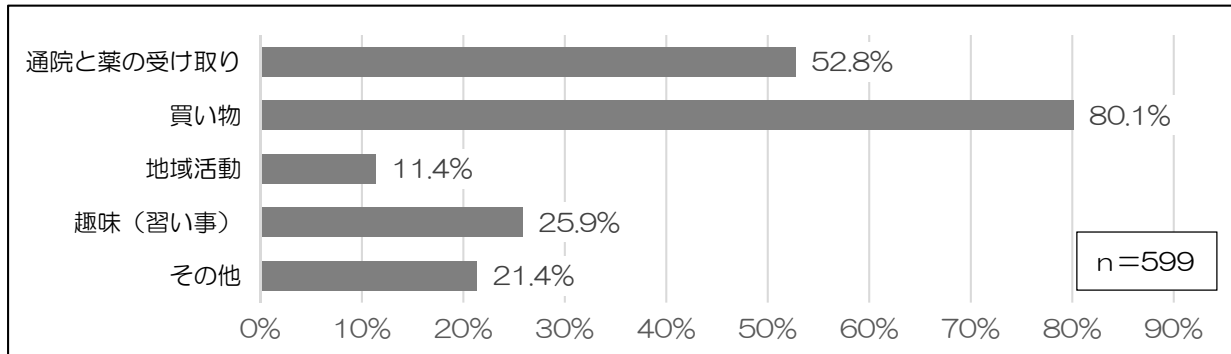
問2-9 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

「自動車(自分で運転)」(61.6%)が最も多く、次いで「徒歩」が(42.6%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(24.5%)と続きます。



問2-10 外出する目的は何ですか。(〇はいくつでも)

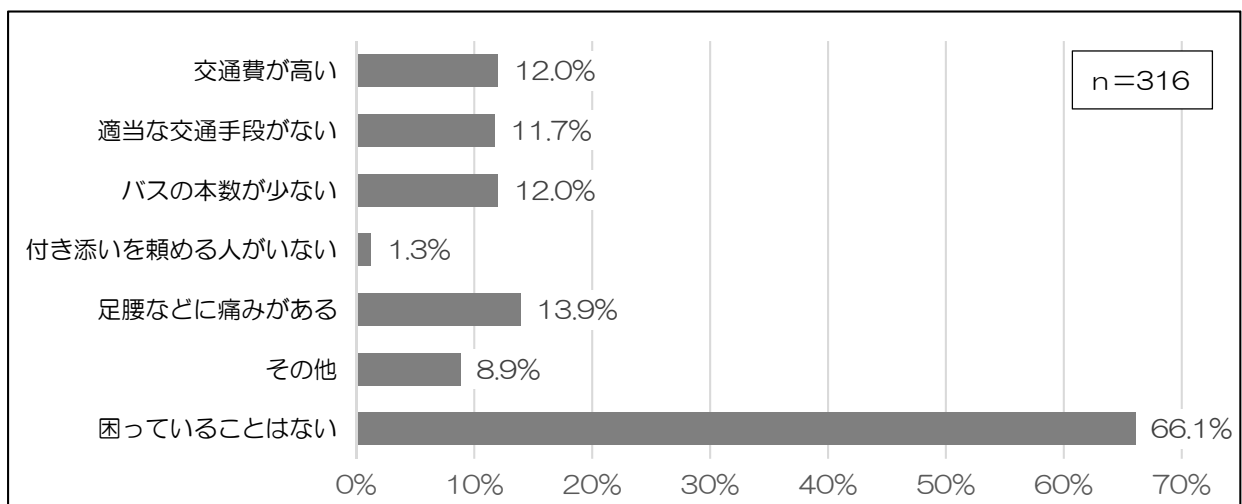
「買い物」(80.1%)が最も多く、次いで「通院と薬の受け取り」が(52.8%)、「趣味(習い事)」(25.9%)と続きます。



【問2-10で「1. 通院と薬の受け取り」を選んだ方】

問2-10(1) 病院・薬局に行く際に、困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「足腰などに痛みがある」(13.9%)が最も多く、「交通費が高い」「バスの本数が少ない」(いずれも12.0%)と続きます。「困っていることはない」66.1%でした。



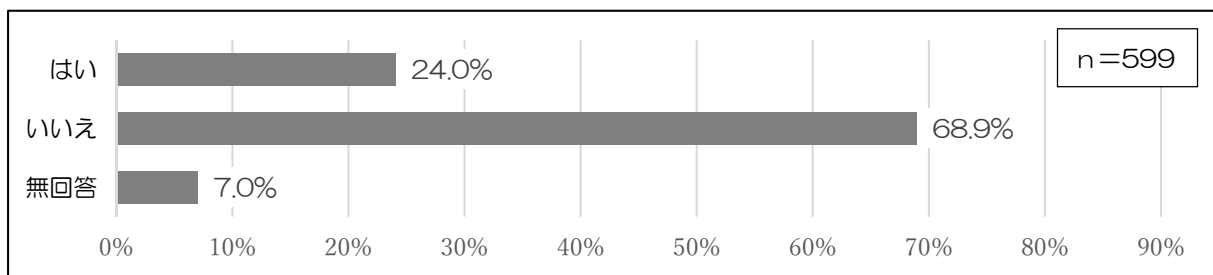
3 食べることについて

問3-1 身長・体重（数値を記入）

省略

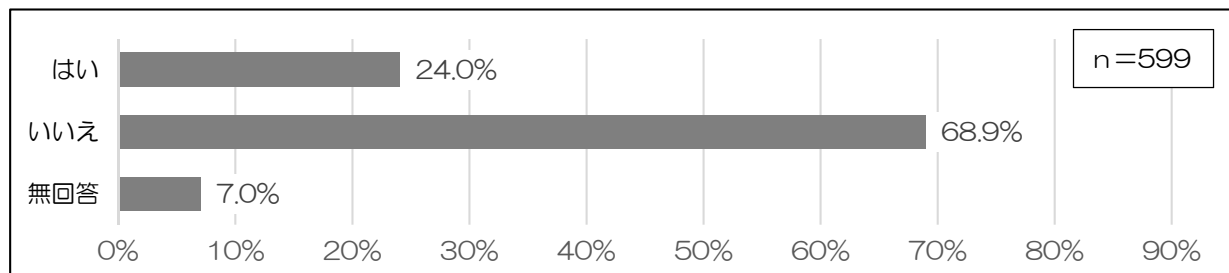
問3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（〇は1つ）

「いいえ」が68.9%、「はい」が24.0%でした。



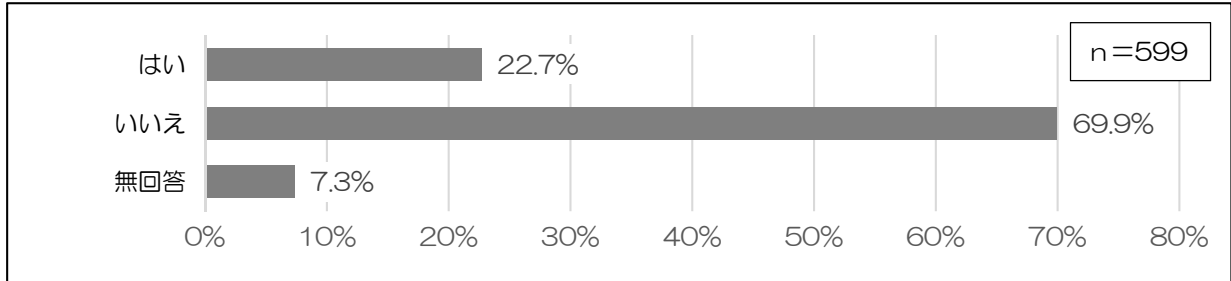
問3-3 お茶や汁物等で、むせることがありますか。（〇は1つ）

「いいえ」が68.9%、「はい」が24.0%でした。



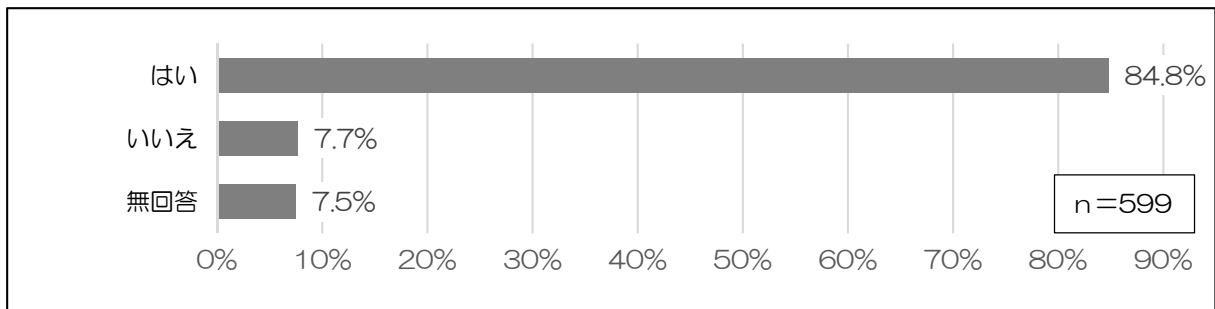
問3-4 口の渇きが気になりますか。(〇は1つ)

「いいえ」が69.9%、「はい」が22.7%でした。



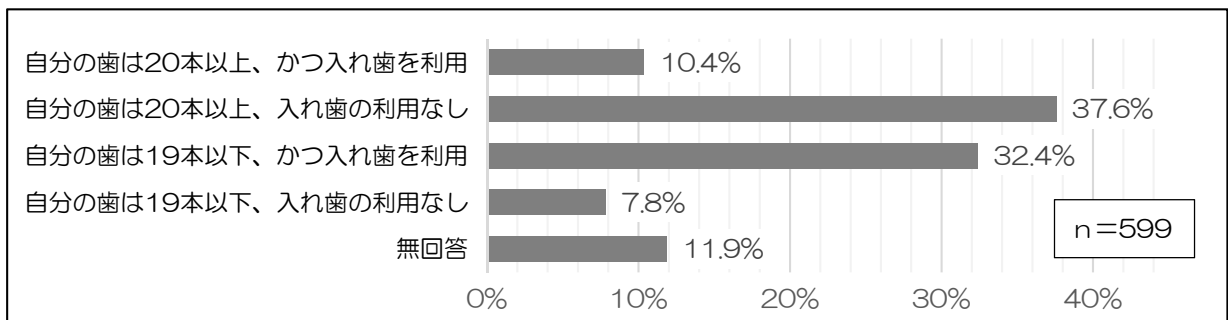
問3-5 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(〇は1つ)

「はい」が84.8%、「いいえ」が7.7%でした。



問3-6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)(〇は1つ)

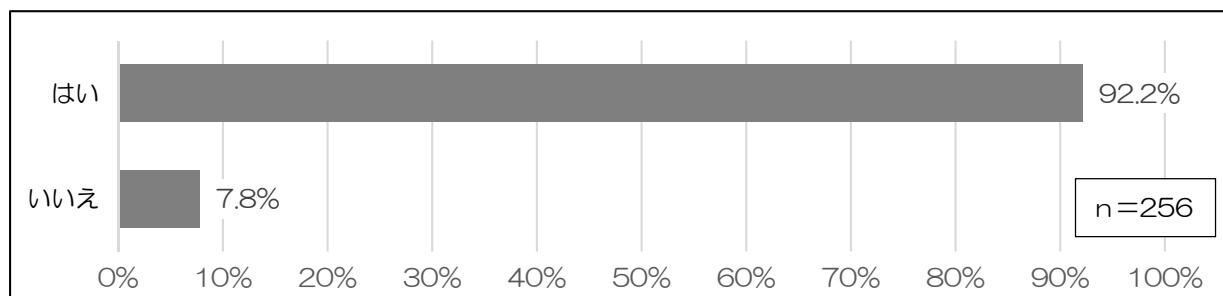
「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(37.6%)が最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(32.4%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(10.4%)となっています。



【問3-6で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

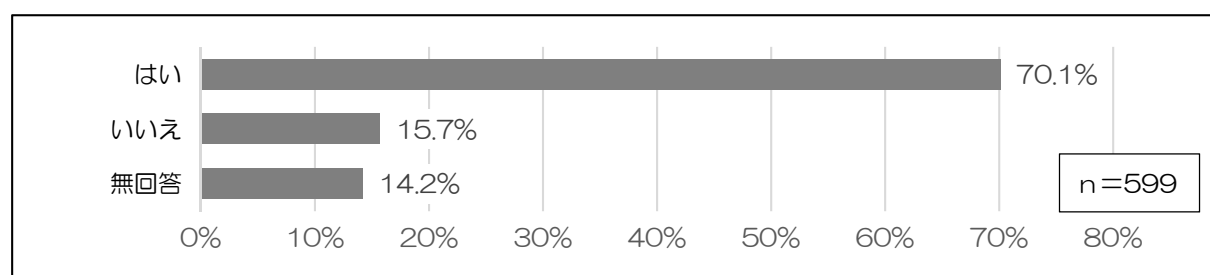
問3-6 (1) 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(〇は1つ)

「はい」が92.2%、「いいえ」が7.8%となっています。



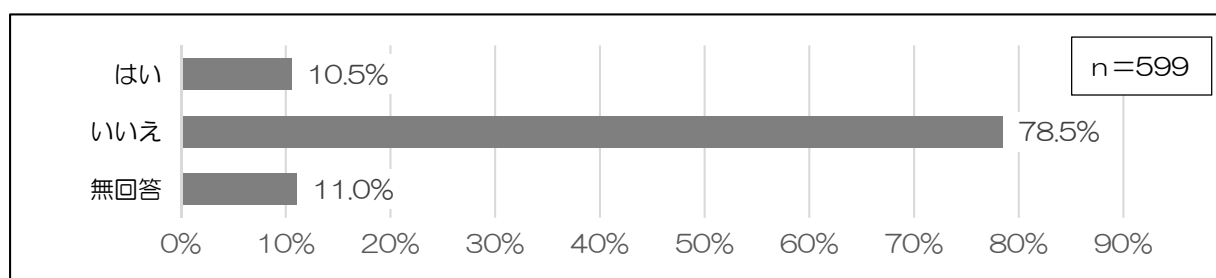
問3-7 噛み合わせは良いですか。(〇は1つ)

「はい」が70.1%、「いいえ」が15.7%となっています。



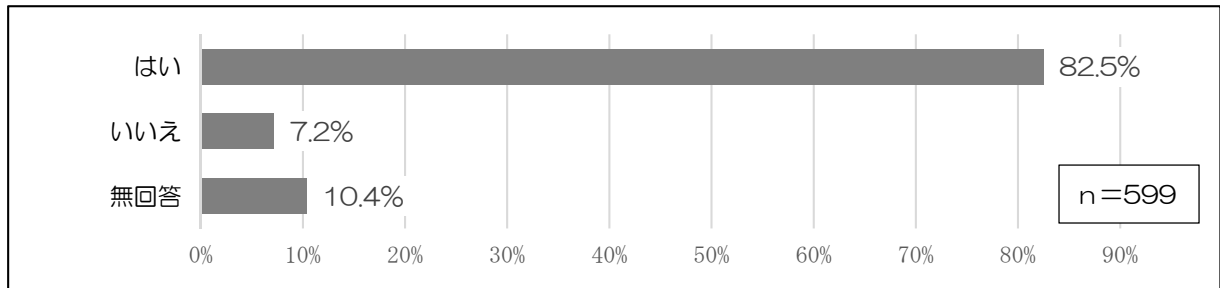
問3-8 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。(〇は1つ)

「はい」が10.5%、「いいえ」が78.5%となっています。



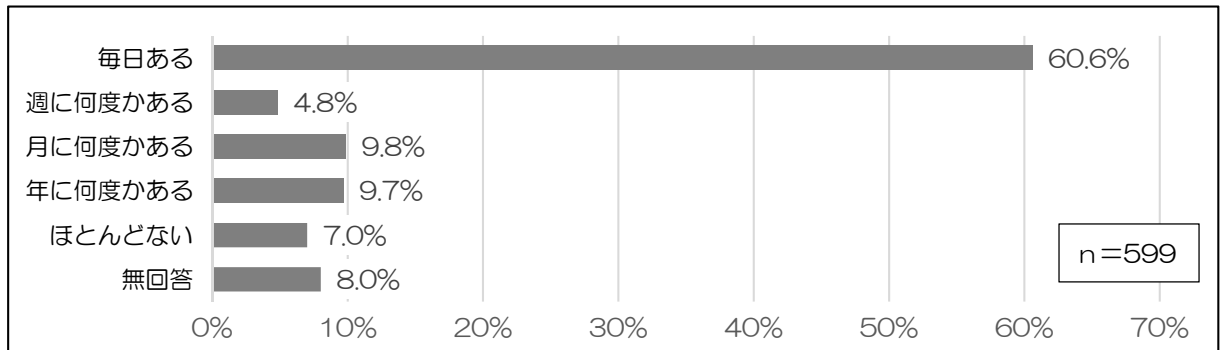
問3-9 3食(朝・昼・晩)食べていますか。(〇は1つ)

「はい」が82.5%、「いいえ」が7.2%となっています。



問3-10 どなたかと食事をとる機会がありますか。(〇は1つ)

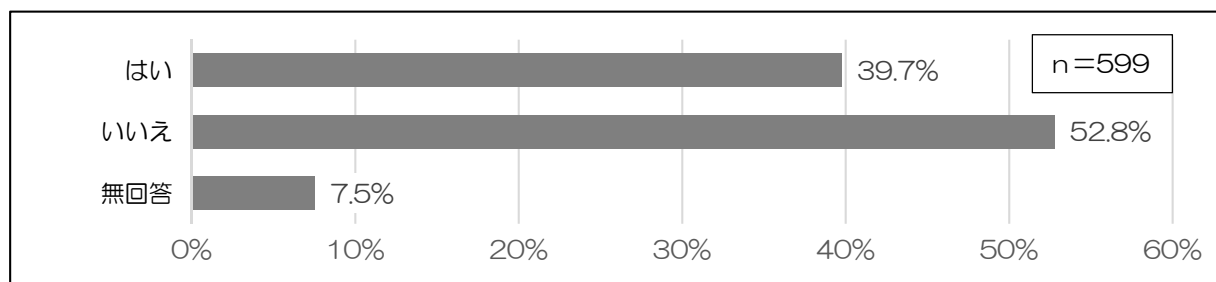
「毎日ある」(60.6%)が最も多く、次いで「月に何度かある」(9.8%)、「年に何度かある」(9.7%)と続きます。「ほとんどない」は7.0%となっています。



4 毎日の生活について

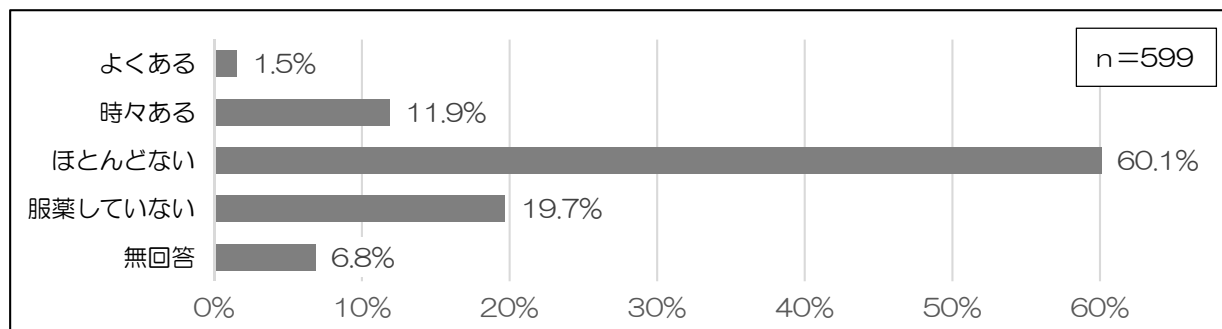
問4-1 物忘れが多いと感じますか。(〇は1つ)

「はい」が39.7%、「いいえ」が52.8%となっています。



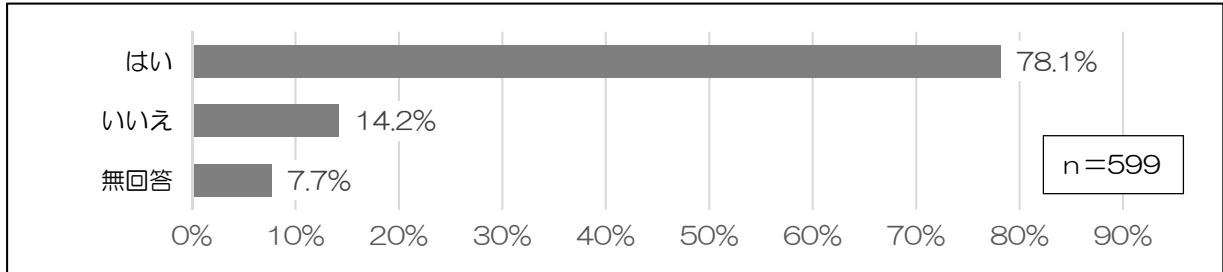
問4-2 医師から処方された薬を飲み忘れることはありますか。(〇は1つ)

「ほとんどない」が60.1%、「時々ある」と「よくある」を合わせると13.4%の方があると回答しました。「服薬していない」は19.7%となっています。



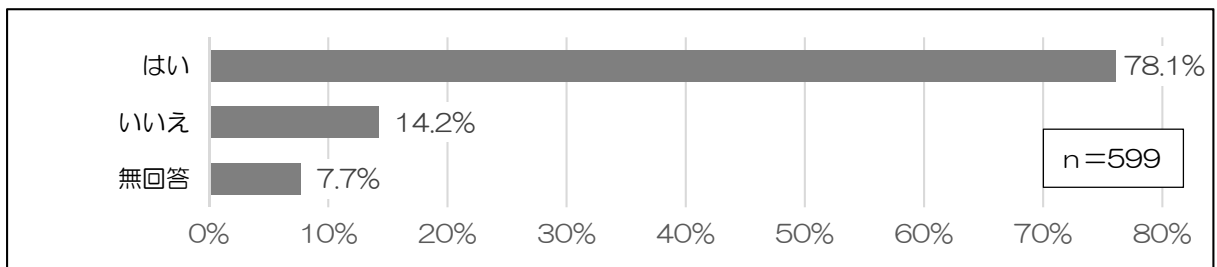
問4-3 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(〇は1つ)

「はい」が78.1%、「いいえ」が14.2%となっています。



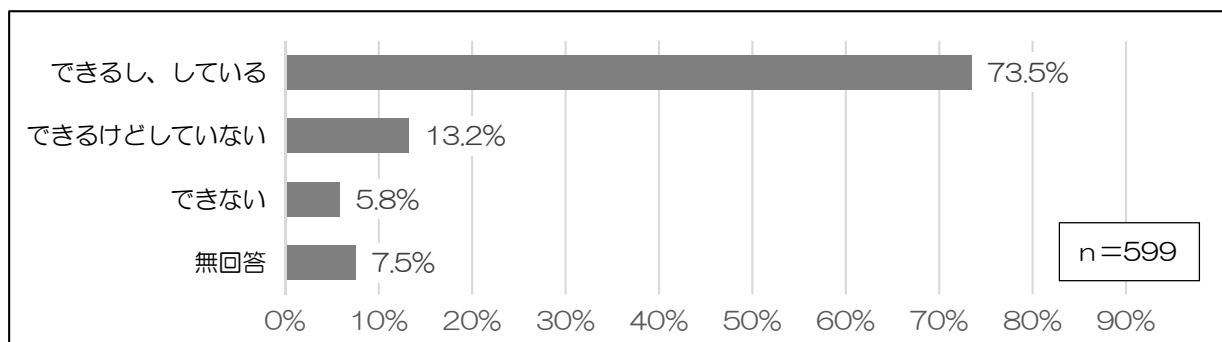
問4-4 今日が何月何日かわからない時がありますか。(〇は1つ)

「はい」が78.1%、「いいえ」が14.2%でした。



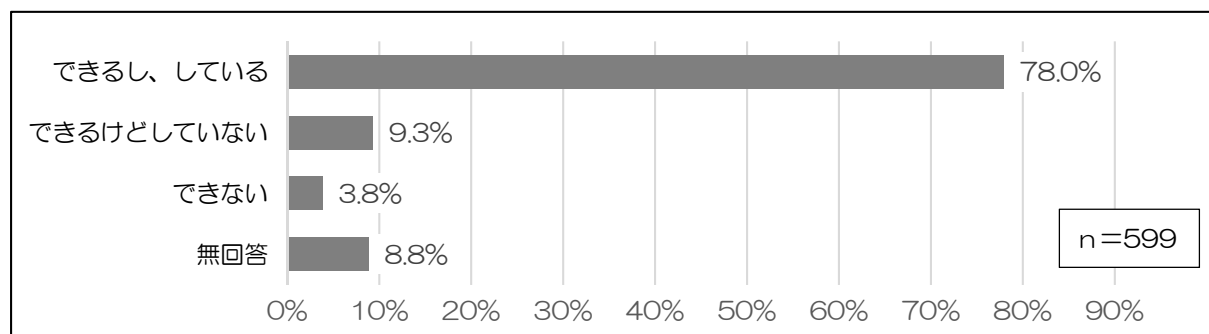
問4-5 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(〇は1つ)

「できるし、している」(73.5%)が最も多く、「できるけどしていない」(13.2%)、「できない」(5.8%)となっています。



問4-6 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(〇は1つ)

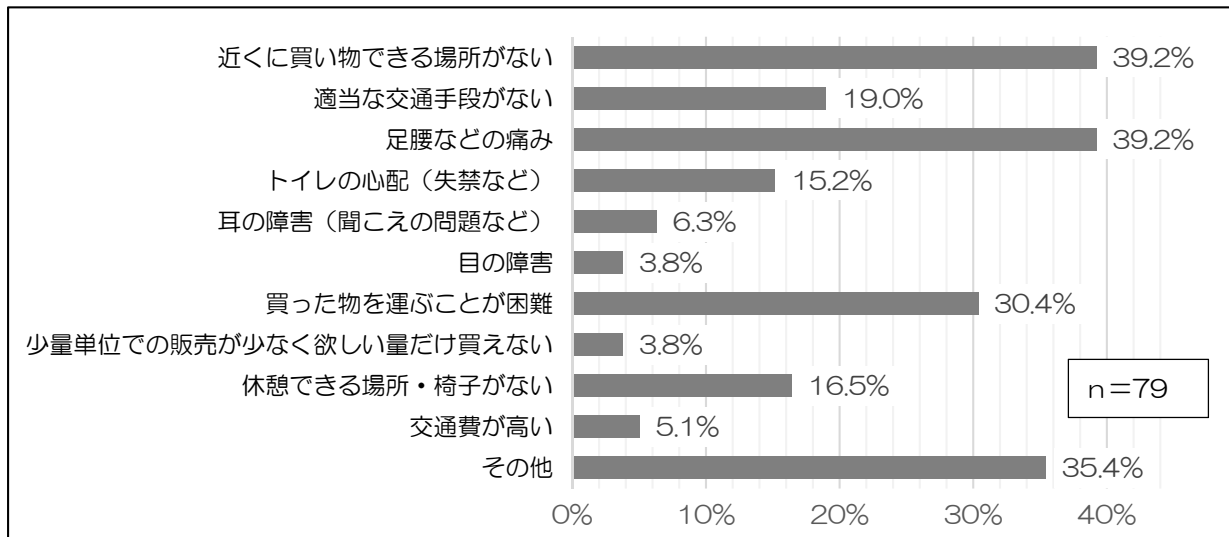
「できるし、している」(78.0%)が最も多く、「できるけどしていない」(9.3%)、「できない」(3.8%)となっています。



【問4-6で「2. できるけどしていない」「3. できない」の方のみ】

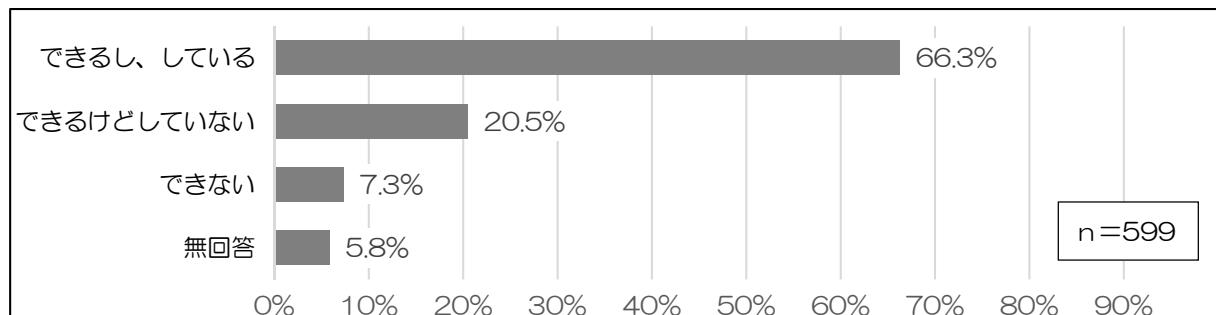
問4-6(1) 買い物ができない、あるいはしない理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「近くに買い物できる場所がない」と「足腰などの痛み」(いずれも39.2%)が最も多く、「買った物を運ぶことが困難」(30.4%)、「適当な交通手段がない」(19.0%)と続きます。



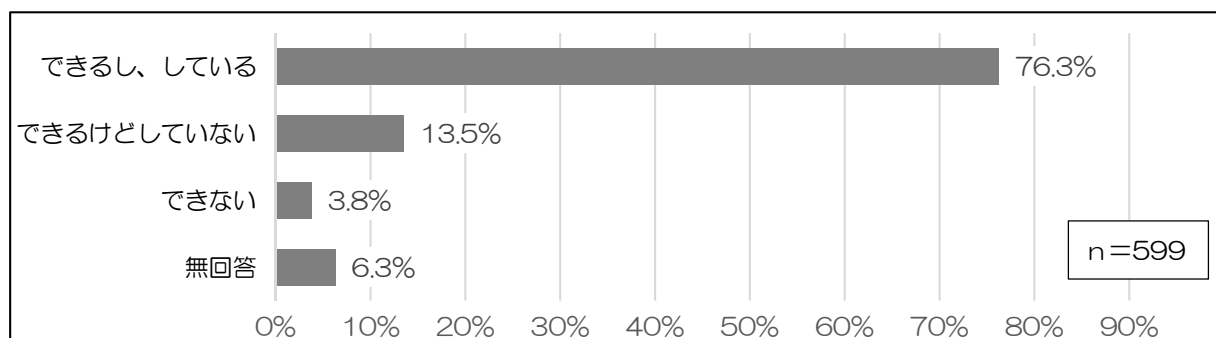
問4-7 自分で食事の用意をしていますか。(〇は1つ)

「できるし、している」(66.3%)が最も多く、「できるけどしてない」(20.5%)、「できない」(7.3%)が続きます。



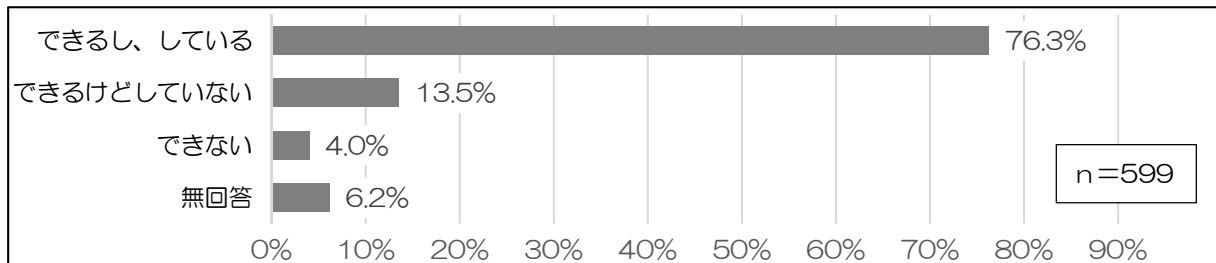
問4-8 自分で請求書の支払いをしていますか。(〇は1つ)

「できるし、している」が76.3%と最も多く、「できるけどしてない」は13.5%、「できない」は3.8%となっています。



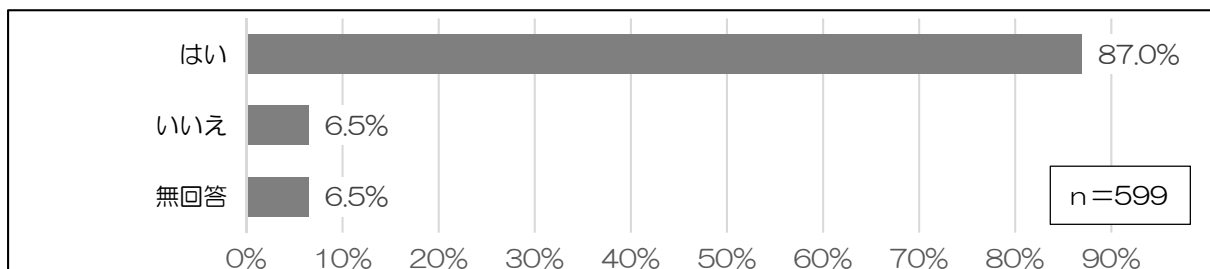
問4-9 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(〇は1つ)

「できるし、している」が76.3%と最も多く、「できるけどしていない」は13.5%、「できない」は4.0%となっています。



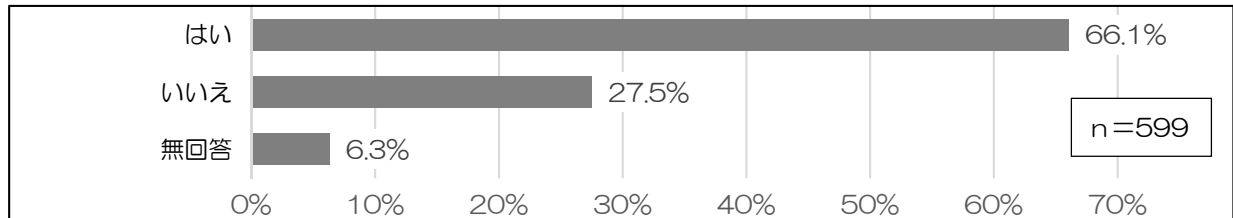
問4-10 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。(〇は1つ)

「はい」が87.0%、「いいえ」は6.5%となっています。



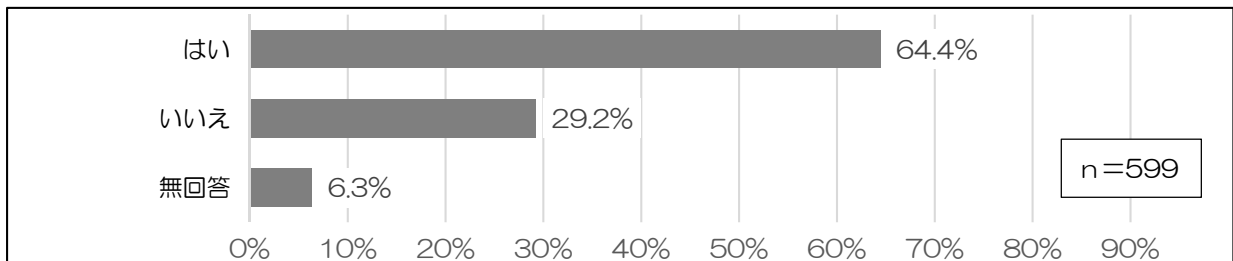
問4-11 新聞を読んでいますか。(〇は1つ)

「はい」が66.1%、「いいえ」は27.5%となっています。



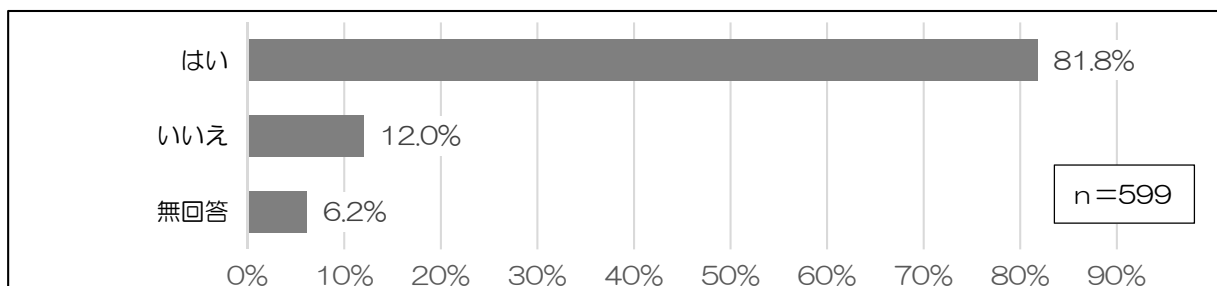
問4-12 本や雑誌を読んでいますか。(〇は1つ)

「はい」が64.4%、「いいえ」は29.2%となっています。



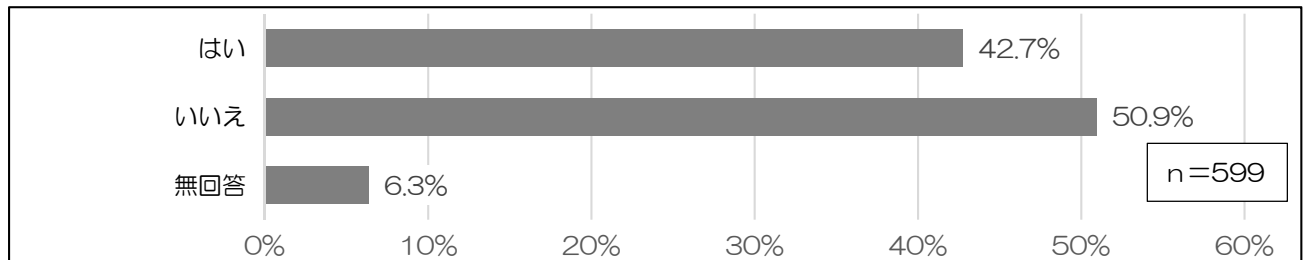
問4-13 健康についての記事や番組に関心がありますか。(〇は1つ)

「はい」が81.8%、「いいえ」は12.0%となっています。



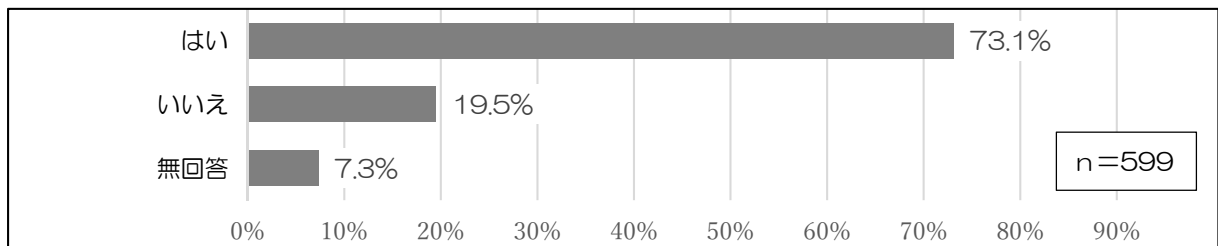
問4-14 友人の家を訪ねていますか。(〇は1つ)

「はい」が42.7%、「いいえ」は50.9%となっています。



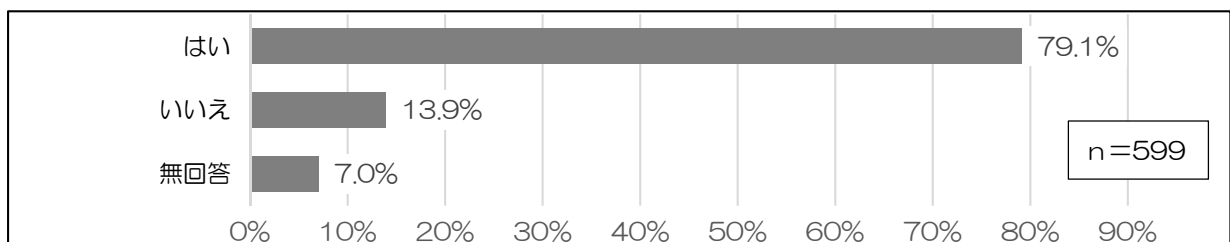
問4-15 家族や友人の相談にのっていますか。(〇は1つ)

「はい」が73.1%、「いいえ」は19.5%となっています。



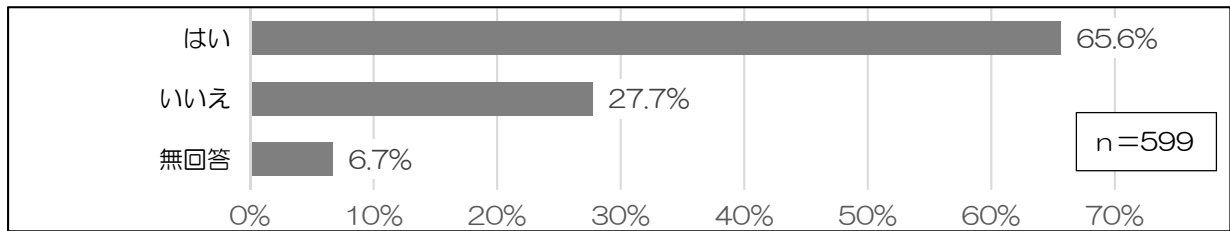
問4-16 病人を見舞うことができますか。(〇は1つ)

「はい」が79.1%、「いいえ」は13.9%となっています。



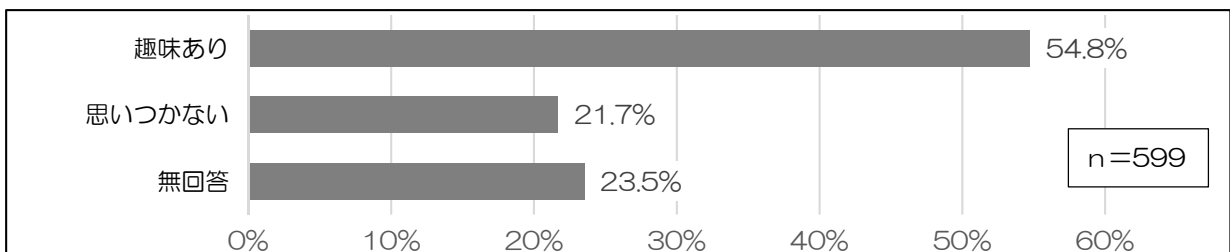
問4-17 若い人に自分から話しかけることがありますか。(〇は1つ)

「はい」が65.6%、「いいえ」は27.7%となっています。



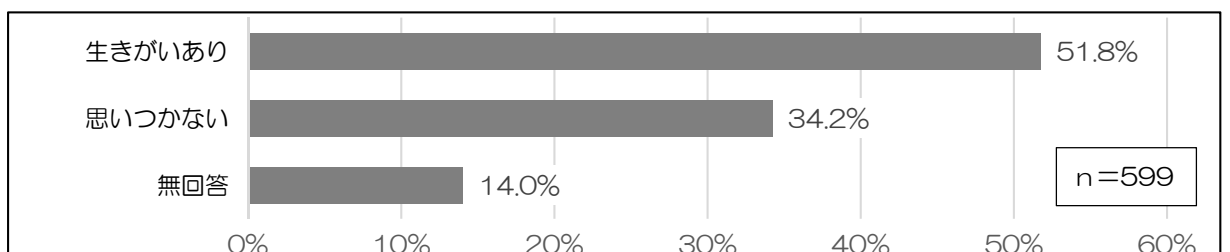
問4-18 趣味はありますか。(〇は1つ)

「趣味あり」が54.8%、「思いつかない」は21.7%となっています。



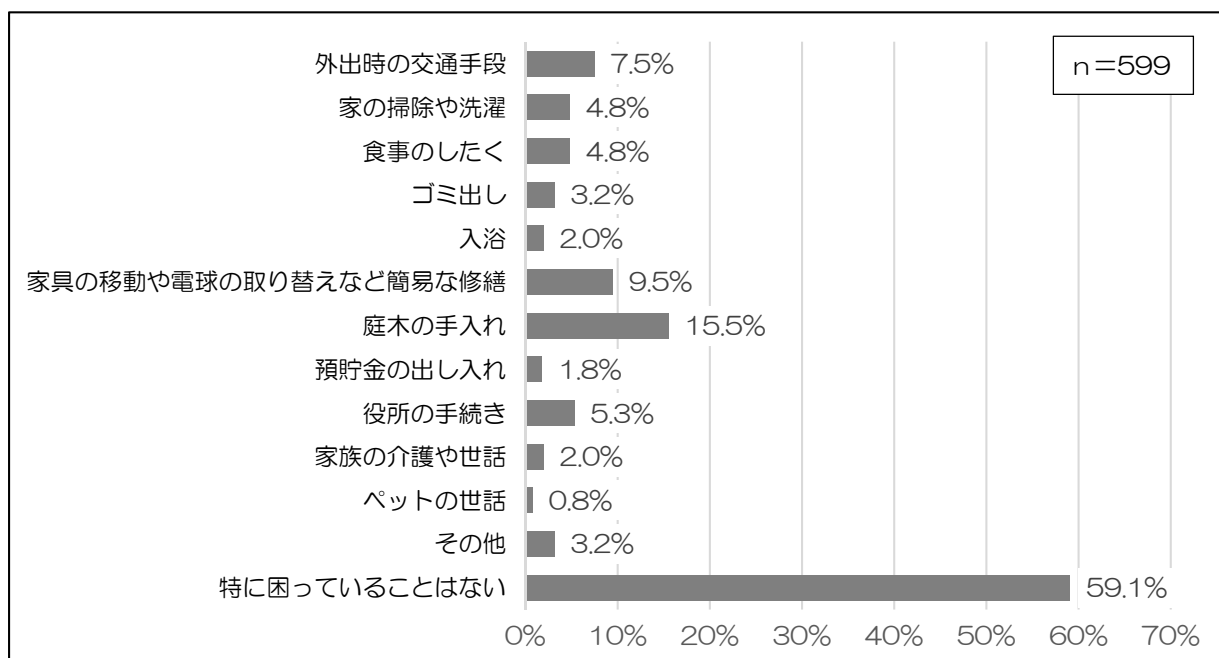
問4-19 生きがいがありますか。(〇は1つ)

「生きがいあり」が51.8%、「思いつかない」は34.2%となっています。



問4-20 あなたが現在日常生活の中で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

「庭木の手入れ」(15.5%)が最も多く、次いで、「家具の移動や電球の取り替えなど簡易な修繕」(9.5%)、「外出時の交通手段」(7.5%)が続きます。「特に困っていることはない」は59.1%でした。

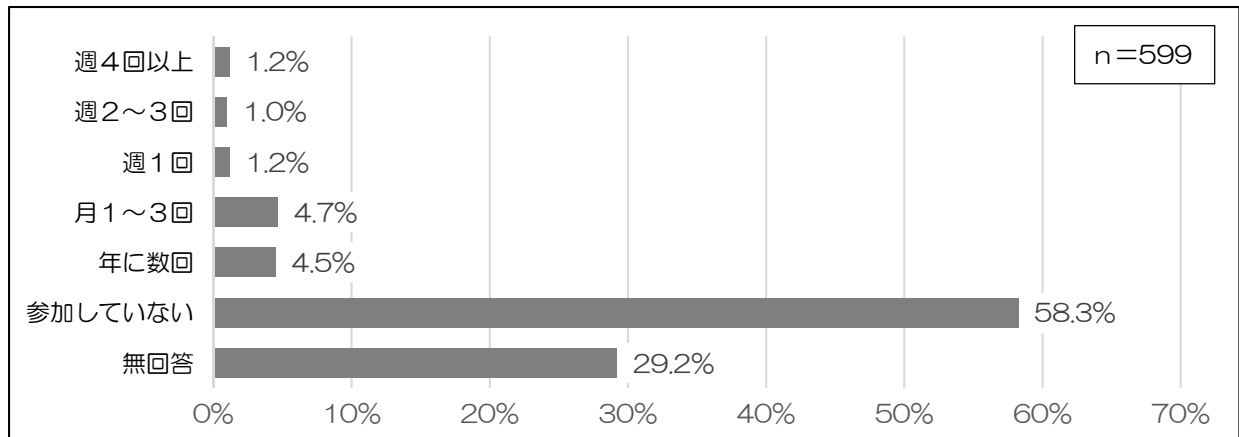


5 地域での活動について

問5-1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

① ボランティアのグループ

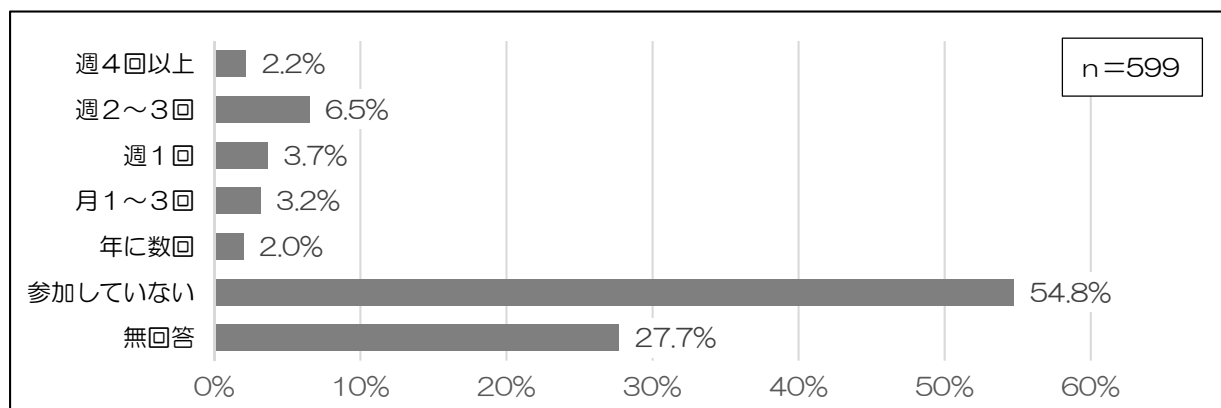
「参加していない」(58.3%)が最も多く、次いで「月1～3回」(4.7%)、「年に数回」(4.5%)と続きます。参加したことがある方は12.6%でした。



問5-1 参加頻度

② スポーツ関係のグループやクラブ

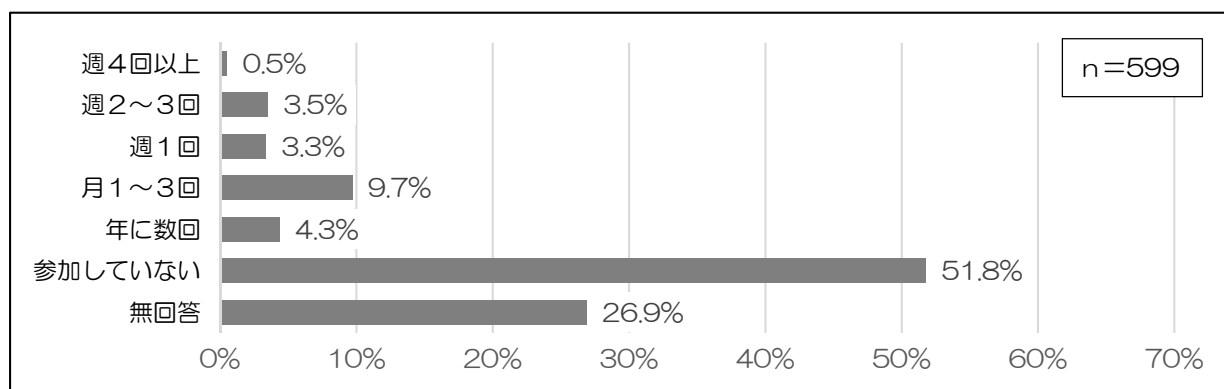
「参加していない」(54.8%)が最も多く、次いで「週2～3回」(6.5%)、「週1回」(3.7%)と続きます。参加したことがある方は17.6%でした。



問5-1 参加頻度

③ 趣味関係のグループ

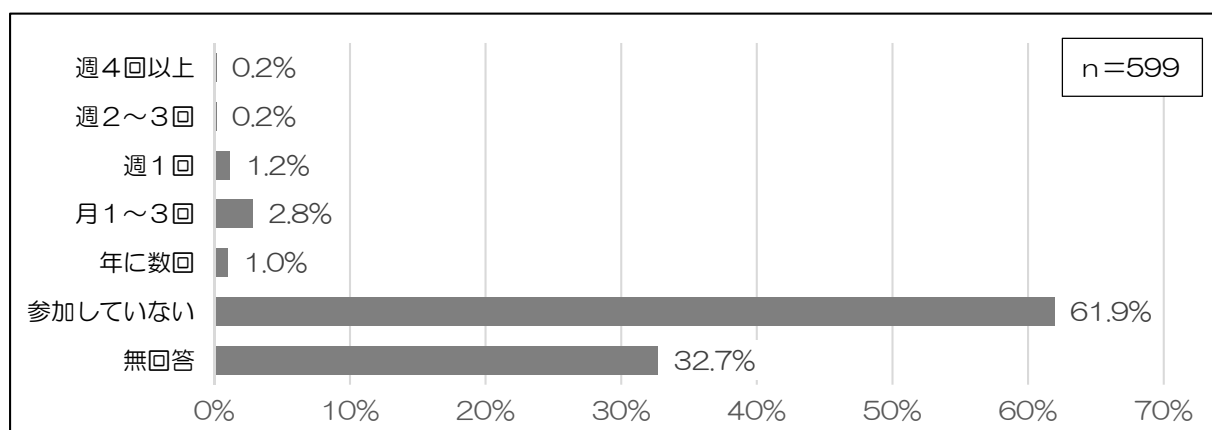
「参加していない」(51.8%)が最も多く、次いで「月1～3回」(9.7%)、「年に数回」(4.3%)と続きます。参加したことがある方は21.3%でした。



問5-1 参加頻度

④ 学習・教養サークル

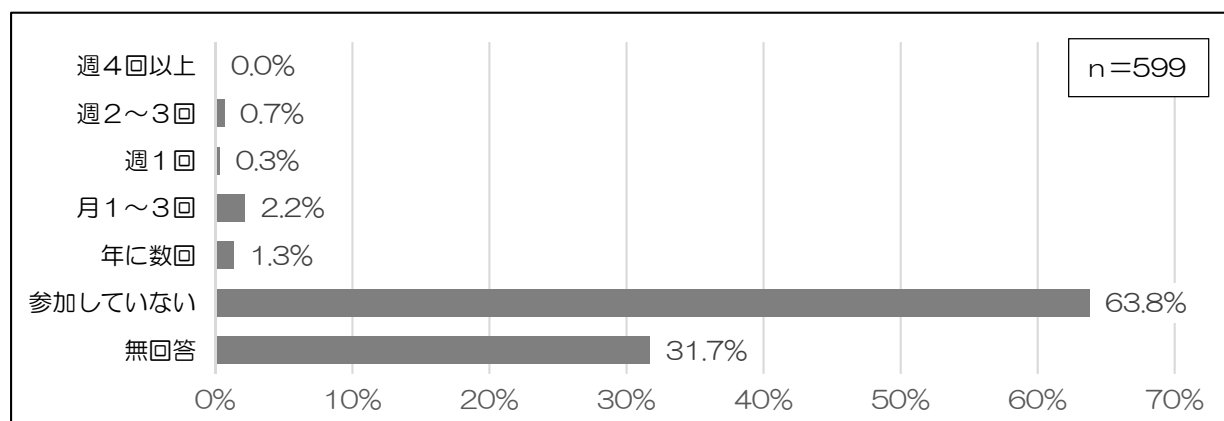
「参加していない」(61.9%)が最も多く、次いで「月1～3回」(2.8%)、「週1回」(1.2%)と続きます。参加したことがある方は5.4%でした。



問5-1 参加頻度

⑤ (いきいき元気クラブなど) 介護予防のための通いの場

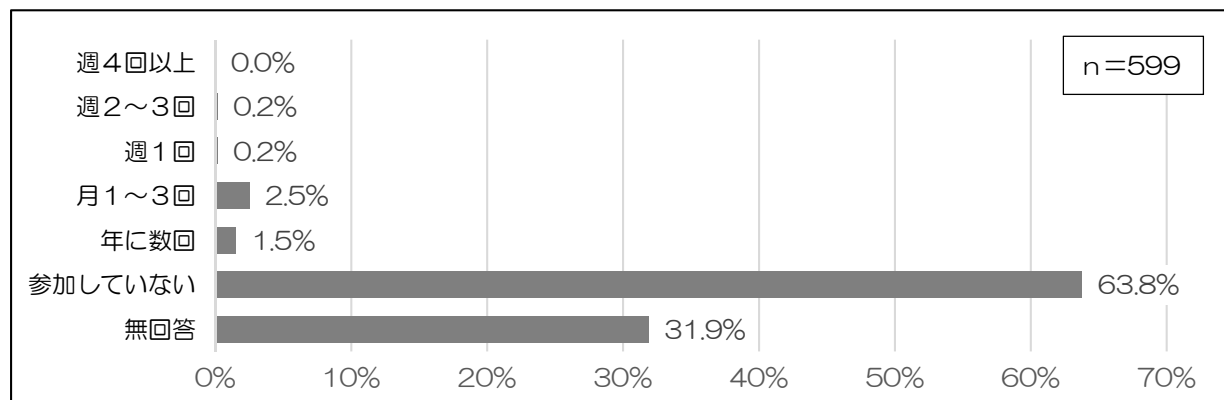
「参加していない」(63.8%)が最も多く、次いで「月1~3回」(2.2%)、「年に数回」(1.3%)と続きます。参加したことがある方は4.5%でした。



問5-1 参加頻度

⑥ 老人クラブ

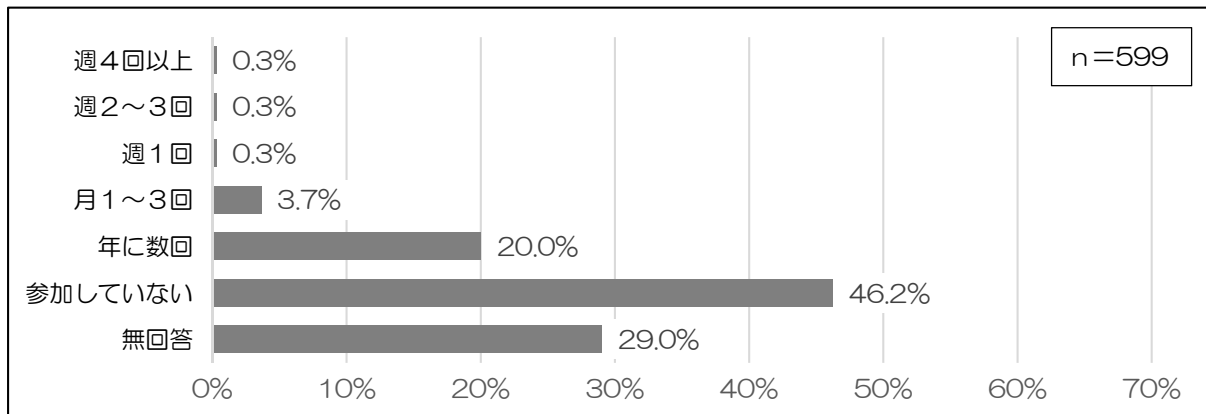
「参加していない」(63.8%)が最も多く、次いで「月1~3回」(2.5%)、「年に数回」(1.5%)と続きます。参加したことがある方は4.4%でした。



問5-1 参加頻度

⑦ 区・自治会

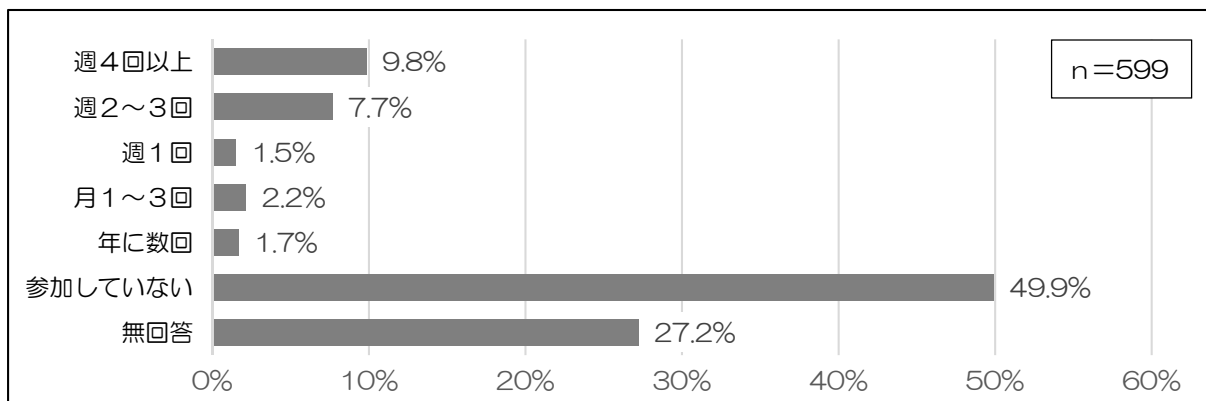
「参加していない」(46.2%)が最も多く、次いで「年に数回」(20.0%)、「月1～3回」(3.7%)と続きます。参加したことがある方は24.6%でした。



問5-1 参加頻度

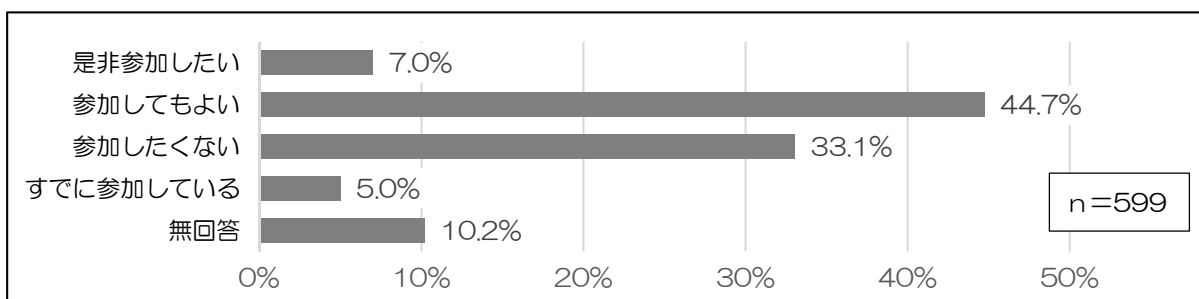
⑧ 収入のある仕事

「参加していない」(49.9%)が最も多く、次いで「週4回以上」(9.8%)、「週2～3回」(7.7%)と続きます。参加したことがある方は22.9%でした。



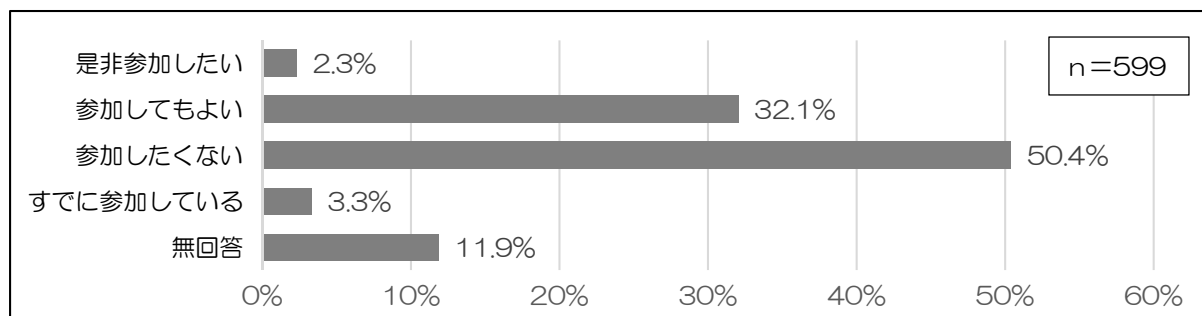
問5-2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

「参加してもよい」(44.7%)が最も多く、次いで「参加したくない」(33.1%)、「是非参加したい」(7.0%)と続きます。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると51.7%となります。「すでに参加している」は5.0%でした。



問5-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

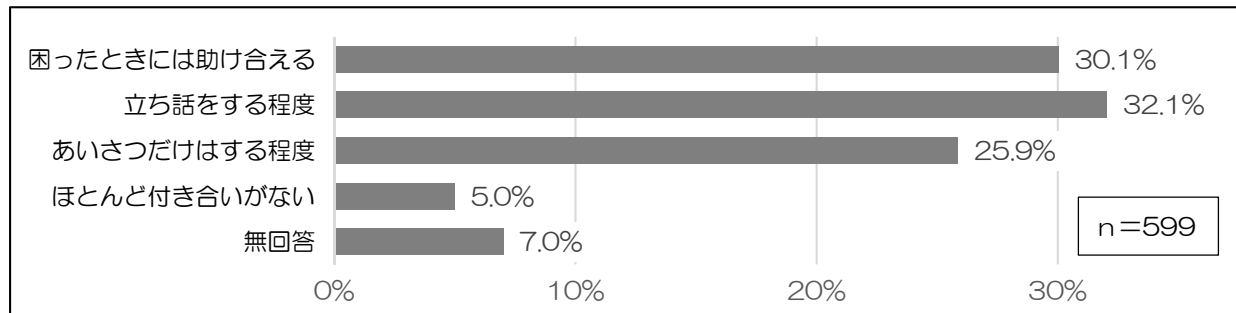
「参加したくない」(50.4%)が最も多く、次いで「参加してもよい」(32.1%)、「すでに参加している」(3.3%)と続きます。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると34.4%となります。



6 たすけあいについて

問6-1 近所の人とはどの程度のお付き合いをしていますか。(〇は1つ)

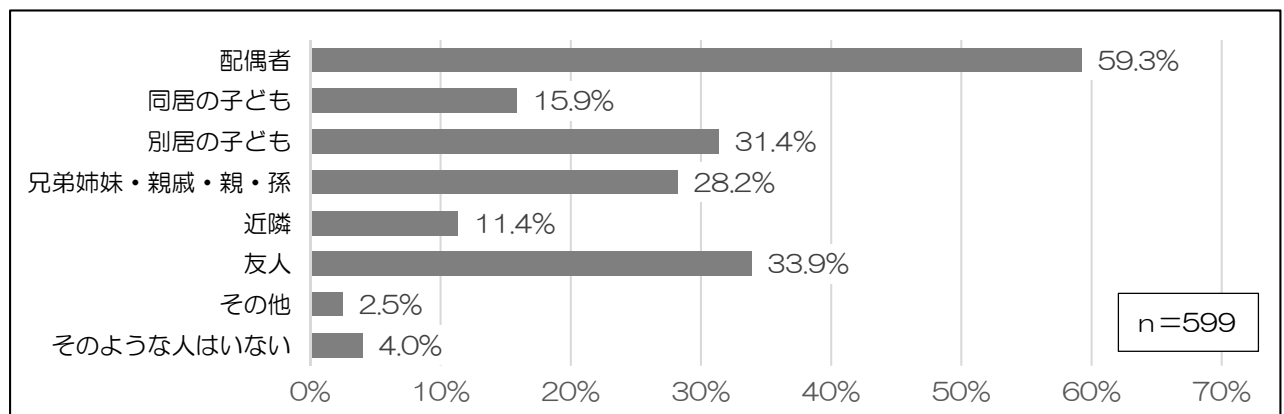
「立ち話をする程度」(32.1%)が最も多く、次いで「困ったときには助け合える」(30.1%)、「あいさつだけはする程度」(25.9%)と続きます。



問6-2 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。(〇はいくつでも)

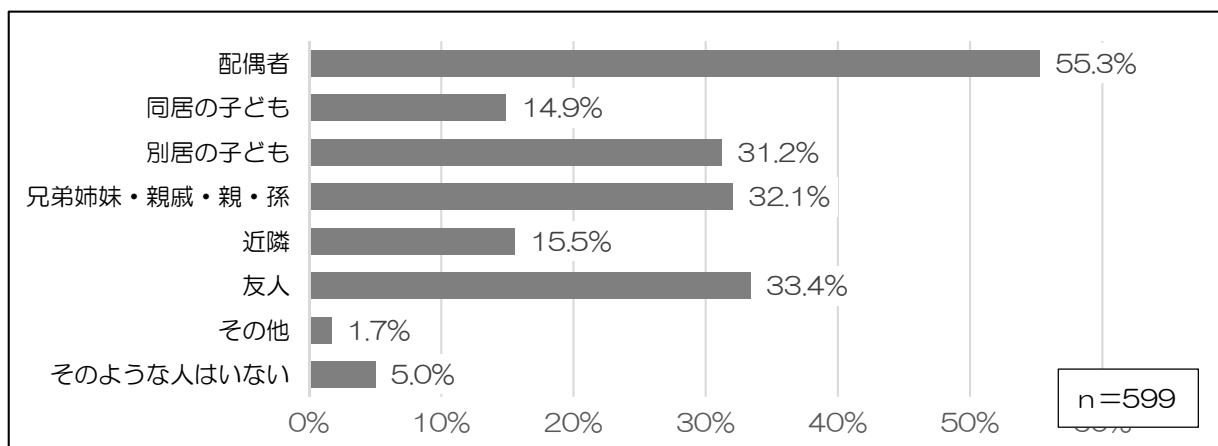
「配偶者」(59.3%)が最も多く、次いで「友人」(33.9%)、「別居の子ども」(31.4%)と続きます。



問6-2

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。(〇はいくつでも)

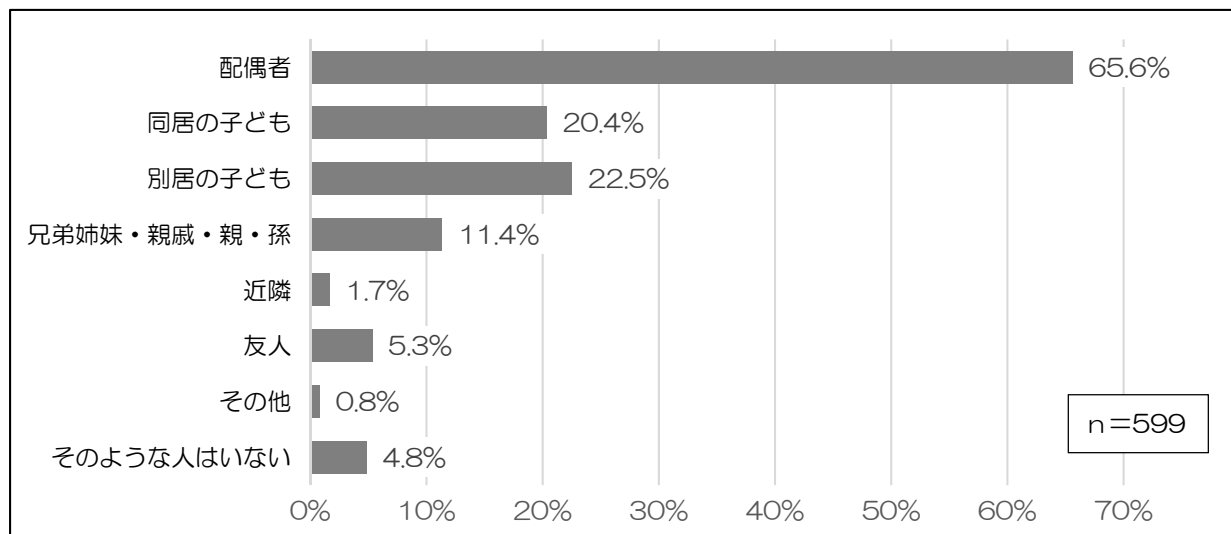
「配偶者」(55.3%)が最も多く、次いで「友人」(33.4%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(32.1%)と続きます。



問6-2

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(〇はいくつでも)

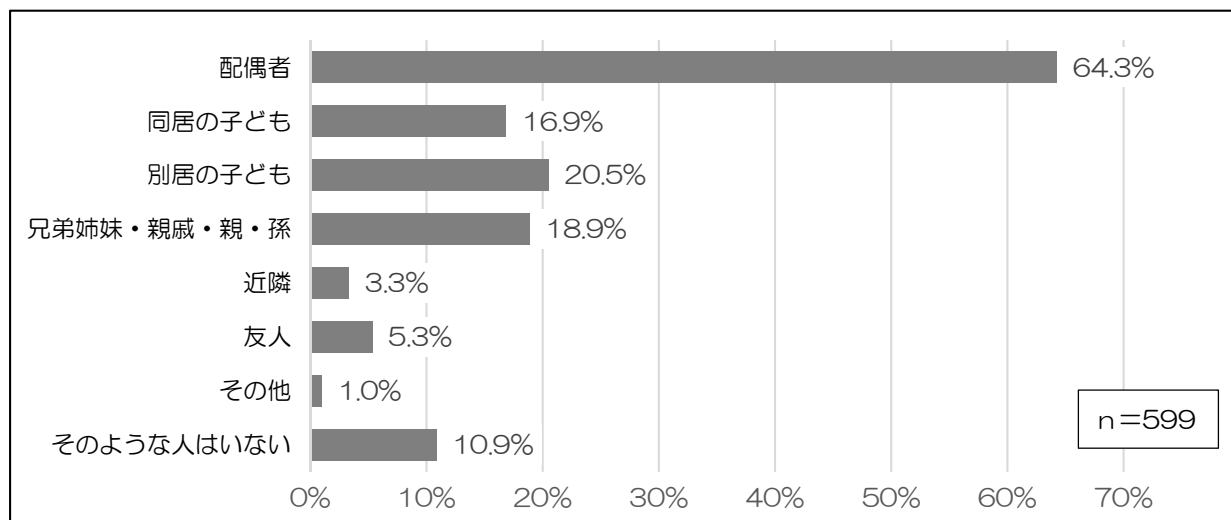
「配偶者」(65.6%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(22.5%)、「同居の子ども」(20.4%)と続きます。



問6-2

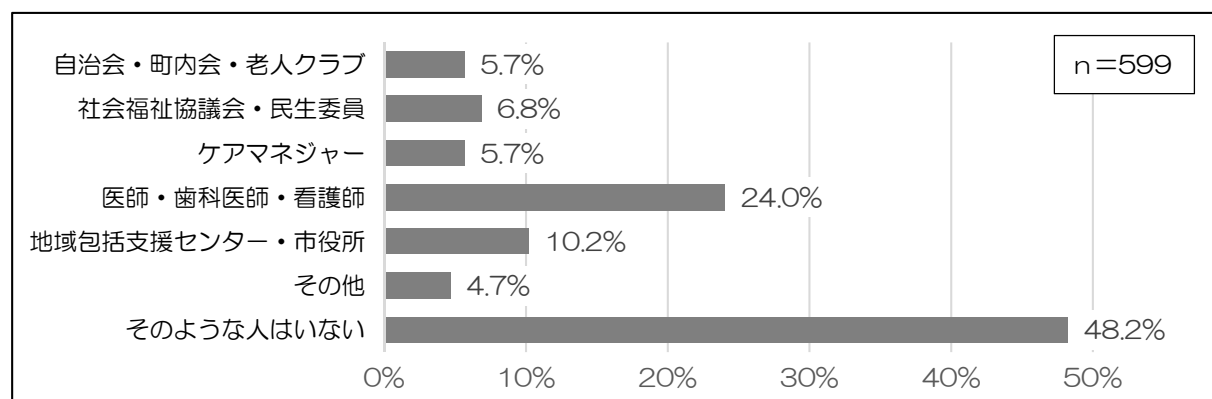
(4) 反対に、看病や世話をしあける人はどなたですか。(〇はいくつでも)

「配偶者」(64.3%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(20.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(18.9%)と続きます。



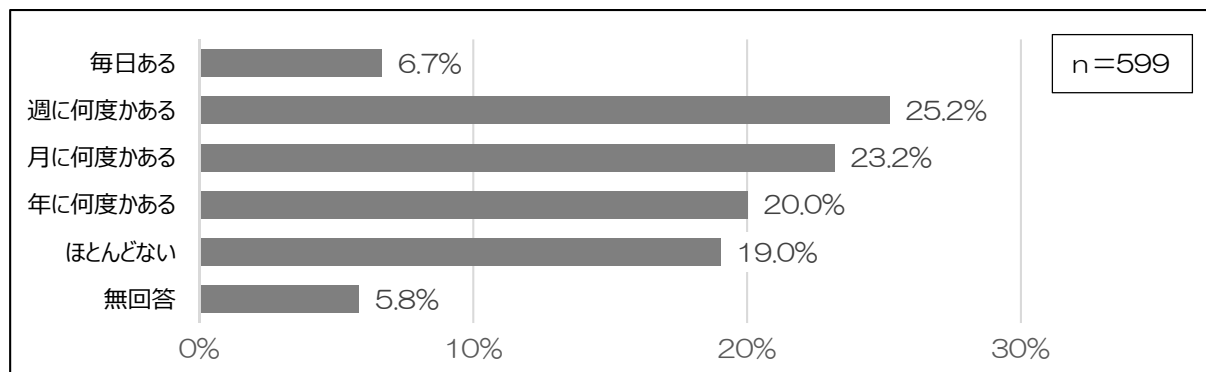
問6-3 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(〇はいくつでも)

「そのような人はいない」(48.2%)が最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」(24.0%)、「地域包括支援センター・市役所」(10.2%)と続きます。



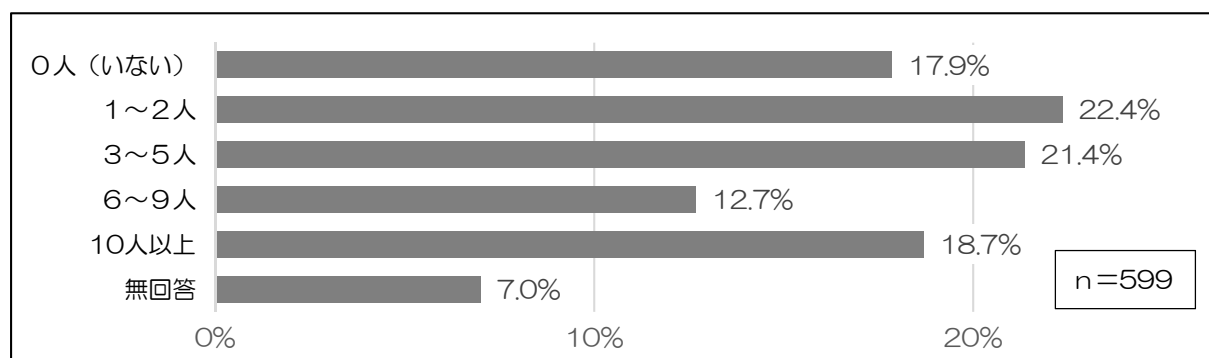
問6-4 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)

「週に何度かある」(25.2%)が最も多く、次いで「月に何度かある」(23.2%)、「年に何度かある」(20.0%)と続きます。



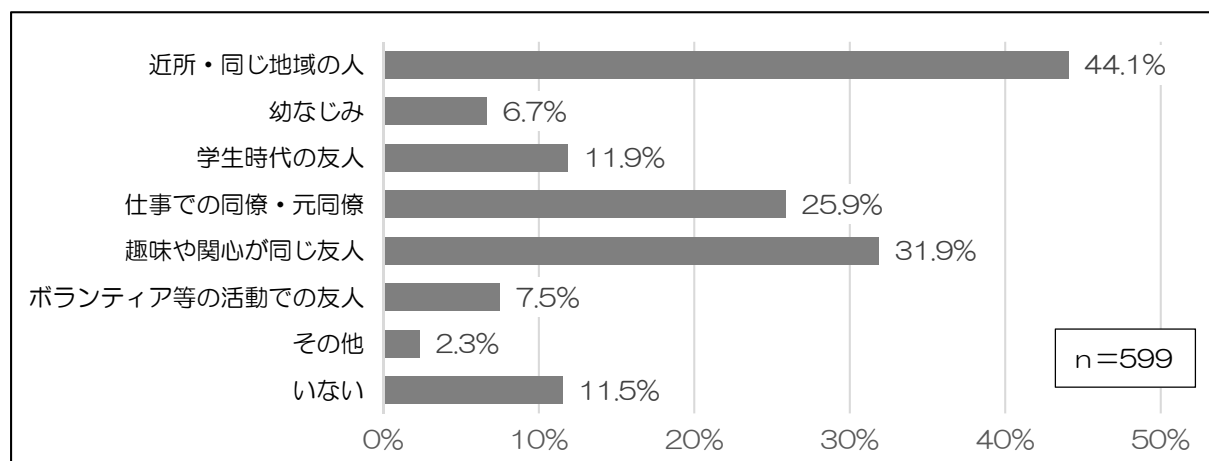
問6-5 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(〇は1つ)

「1~2人」(22.4%)が最も多く、次いで「3~5人」(21.4%)、「10人以上」(18.7%)と続きます。「0人(いない)」は17.9%でした。



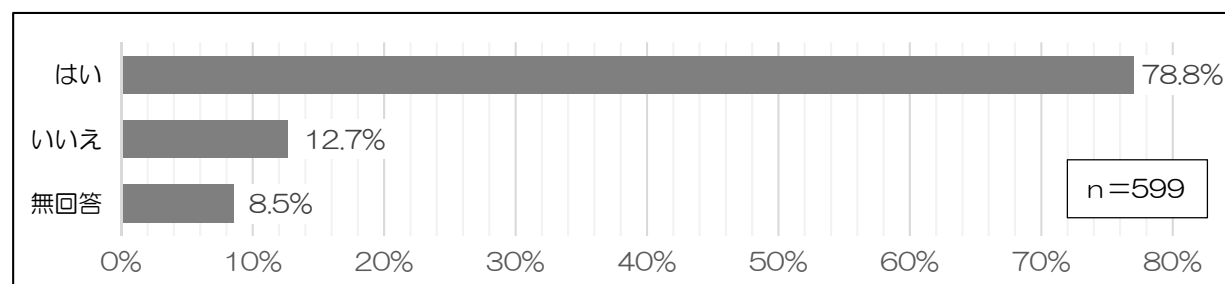
問6-6 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

「近所・同じ地域の人」(44.1%)が最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(31.9%)、「仕事での同僚・元同僚」(25.9%)と続きます。



問6-7 災害時にあなたはご自宅から避難場所まで、ひとりで行くことができますか。(〇は1つ)

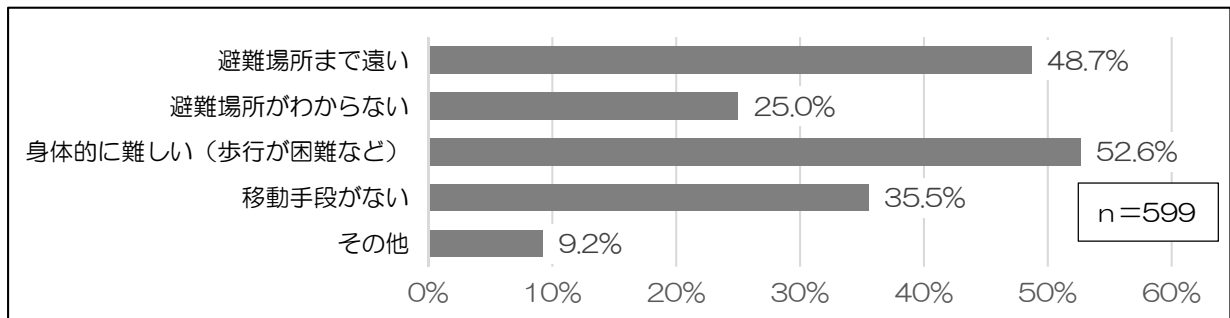
「はい」が78.8%、「いいえ」が12.7%でした。



【問6-7で「2. いいえ」の方のみ】

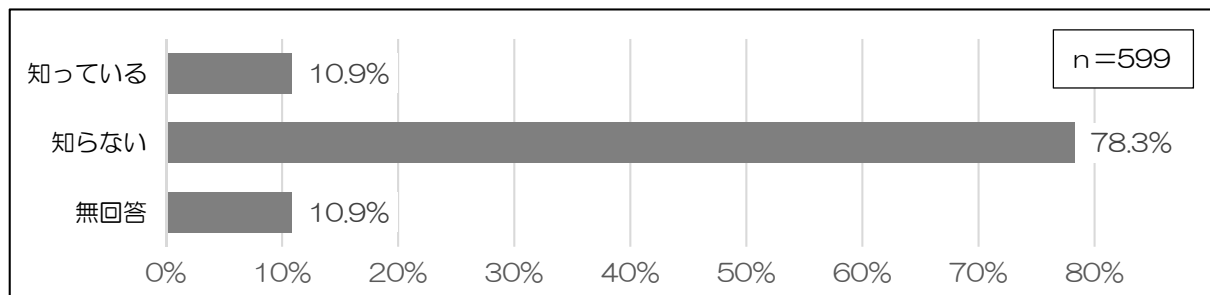
問6-7 (1) ひとりで行くことができない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「身体的に難しい(歩行が困難など)」(52.6%)が最も多く、次いで「避難場所まで遠い」(48.7%)、「移動手段がない」(35.5%)と続きます。



問6-8 市が補助を行っている高齢者への生活支援をご存知ですか。知っている場合は具体的な事業名等をご記入ください。(〇は1つ)

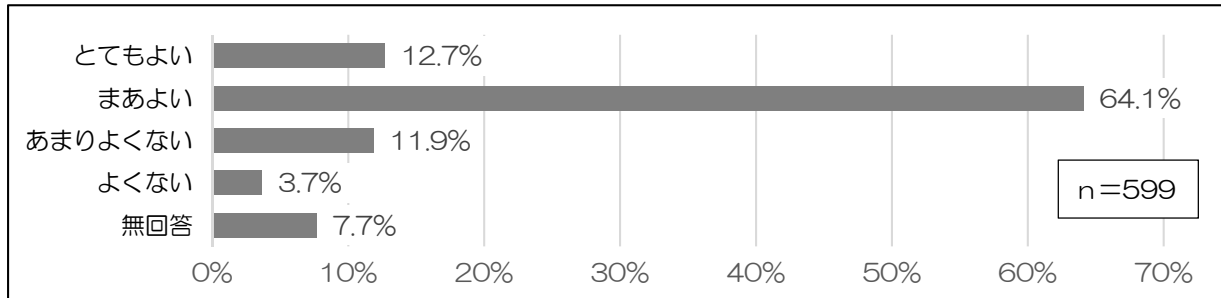
「知らない」と回答した方は78.3%、「知っている」と回答した方は10.9%でした。



7 健康について

問7-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

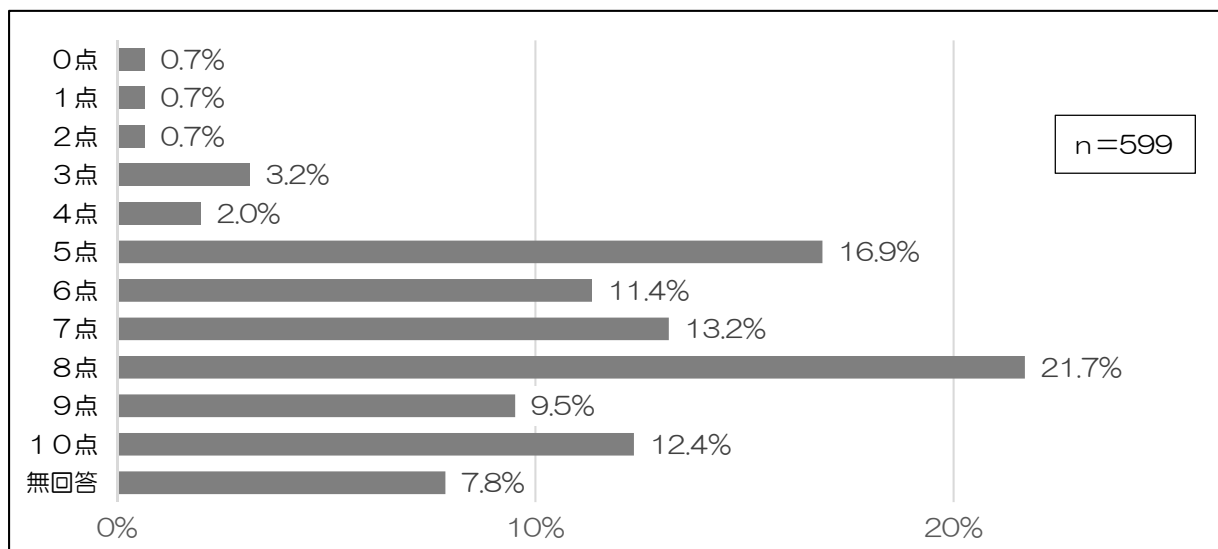
「まあよい」(64.1%)が最も多く、次いで「とてもよい」(12.7%)、「あまりよくない」(11.9%)と続きます。「よくない」は3.7%でした。



問7-2 あなたは、現在どの程度幸せですか。

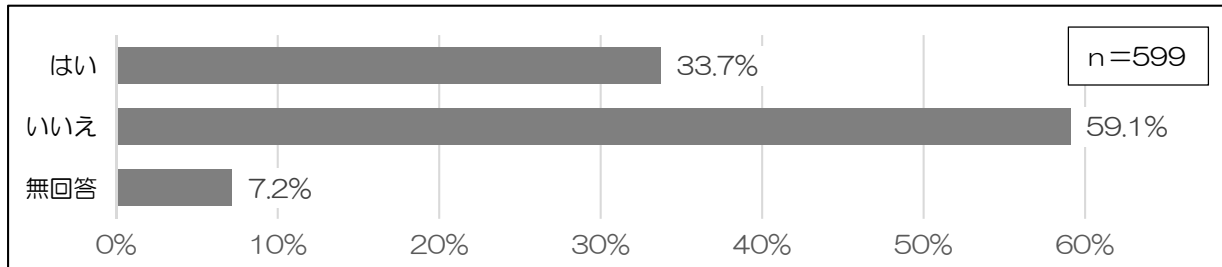
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に〇)

「8点」(21.7%)が最も多く、次いで「5点」(16.9%)、「7点」(13.2%)と続きます。



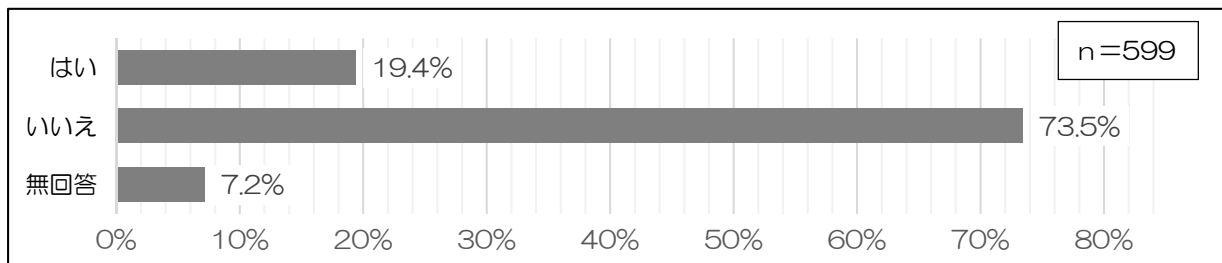
【問7-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(〇は1つ)

「いいえ」と回答した方は59.1%、「はい」と回答した方は33.7%でした。



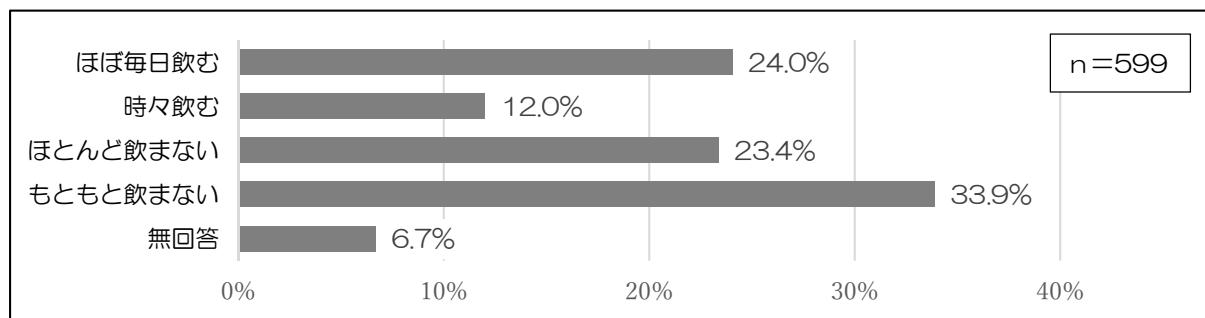
問7-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇は1つ)

「いいえ」と回答した方は73.5%、「はい」と回答した方は19.4%でした。



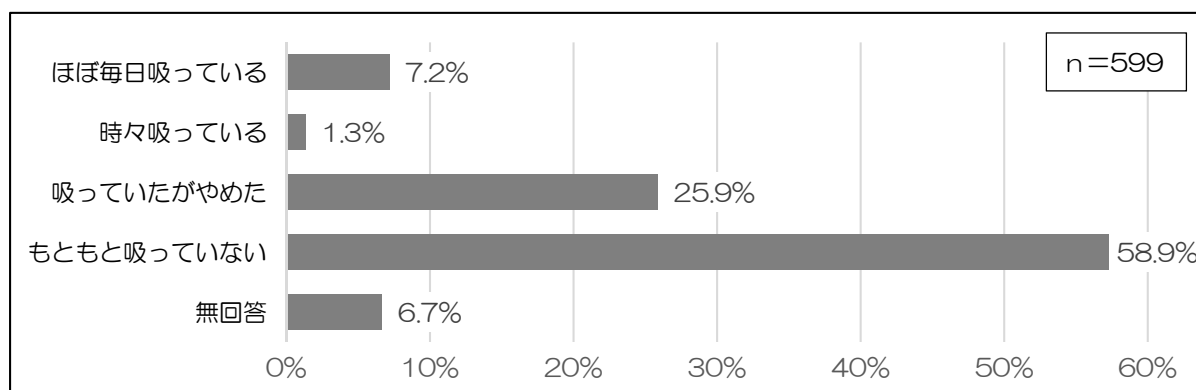
問7-5 お酒は飲みますか。(〇は1つ)

「もともと飲まない」(33.9%)が最も多く、次いで「ほぼ毎日飲む」(24.0%)、「ほとんど飲まない」(23.4%)と続きます。「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」(12.0%)を合わせると36.0%となります。



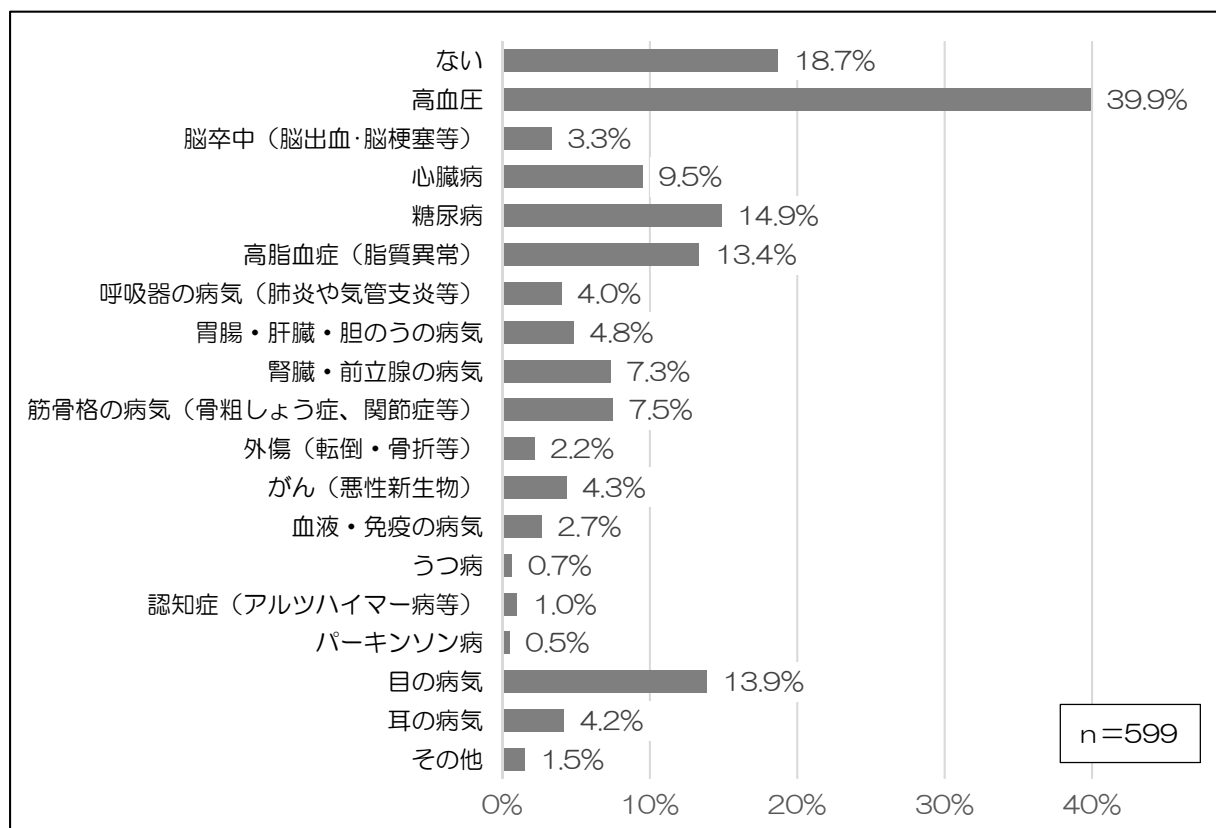
問7-6 タバコは吸っていますか。(〇は1つ)

「もともと吸っていない」(58.9%)が最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(25.9%)、「ほぼ毎日吸っている」(7.2%)と続きます。「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」(1.3%)を合わせると8.5%となります。



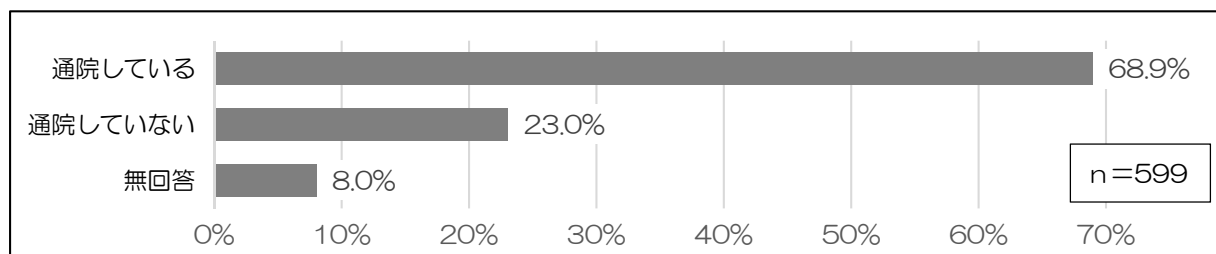
問7-7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

「高血圧」(39.9%)が最も多く、次いで「糖尿病」(14.9%)、「目の病気」(13.9%)と続きます。「ない」は18.7%でした。



問7-8 現在、定期的(2か月に1回以上)に通院していますか。(〇は1つ)

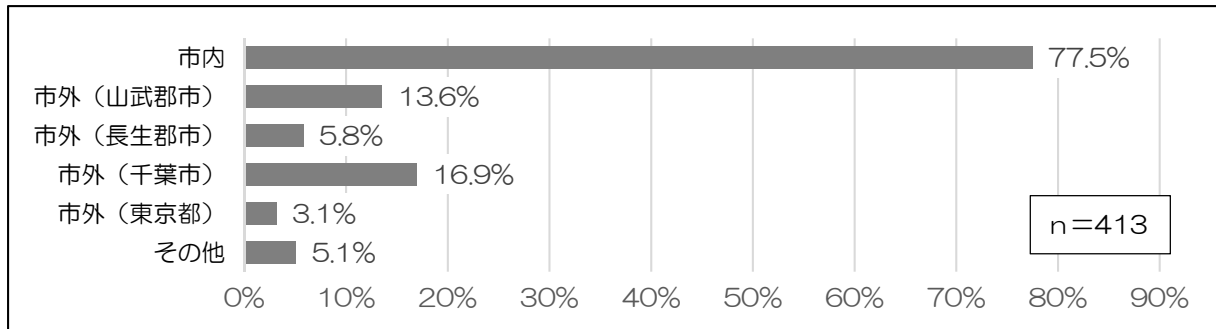
「通院している」と回答した方は68.9%、「通院していない」と回答した方は23.0%でした。



【問7-8で「1. 通院している」の方のみ】

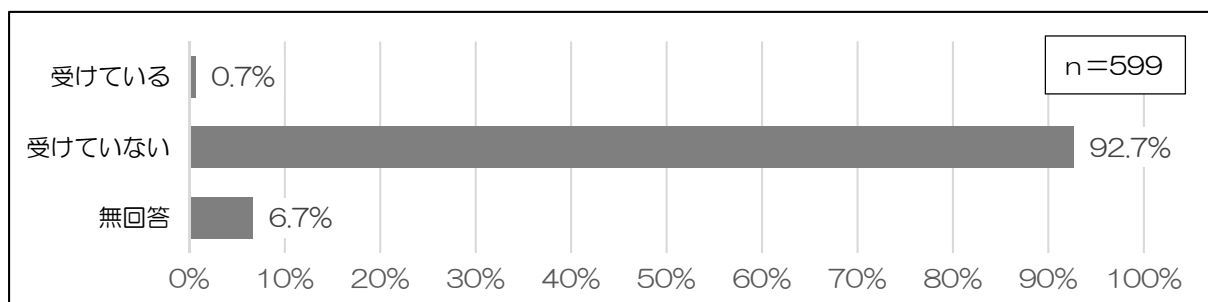
問7-8 (1) 定期的に通院している医療機関はどちらですか。(〇はいくつでも)。

「市内」と回答した方は77.5%、「市外」と回答した方は39.4%でした。



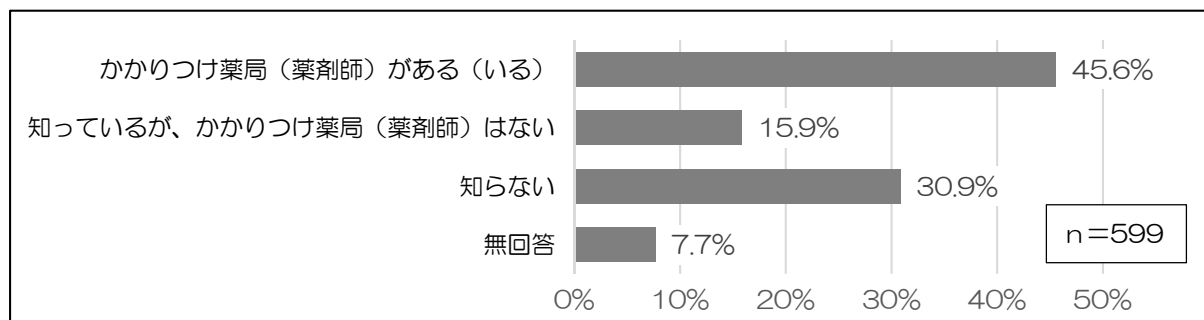
問7-9 現在、往診（家庭への医師の訪問）を受けていますか。(〇は1つ)

「受けている」と回答した方は0.7%、「受けていない」と回答した方は92.7%でした。



問7-10 薬の服用・管理をはじめ、体調や食事の管理など、健康全般の相談ができる「かかりつけ薬局（薬剤師）」をご存知ですか。（〇は1つ）

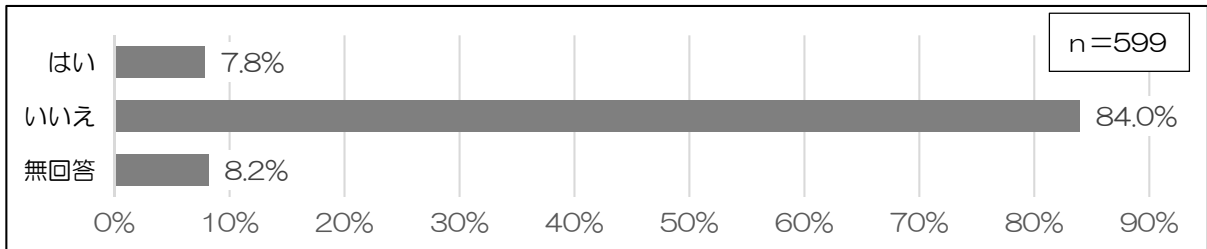
「かかりつけ薬局（薬剤師）がある（いる）」と回答した方は 45.6%、「知っているが、かかりつけ薬局（薬剤師）はない」と回答した方は 15.9%、「知らない」と回答した方は 30.9%でした。



8 認知症にかかる相談窓口の把握について

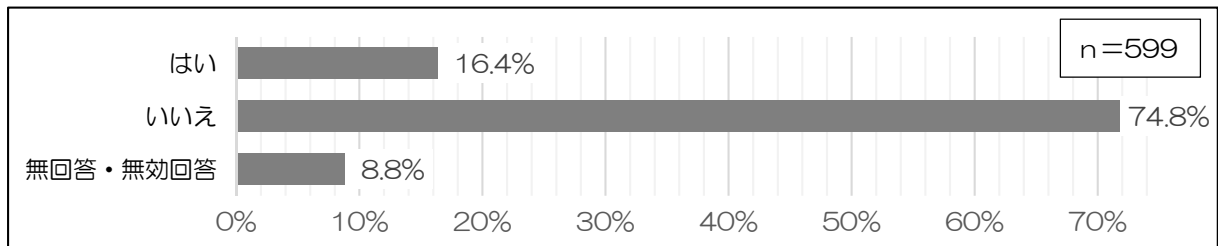
問8-1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

「はい」と回答した方は 7.8%、「いいえ」と回答した方は 84.0%でした。



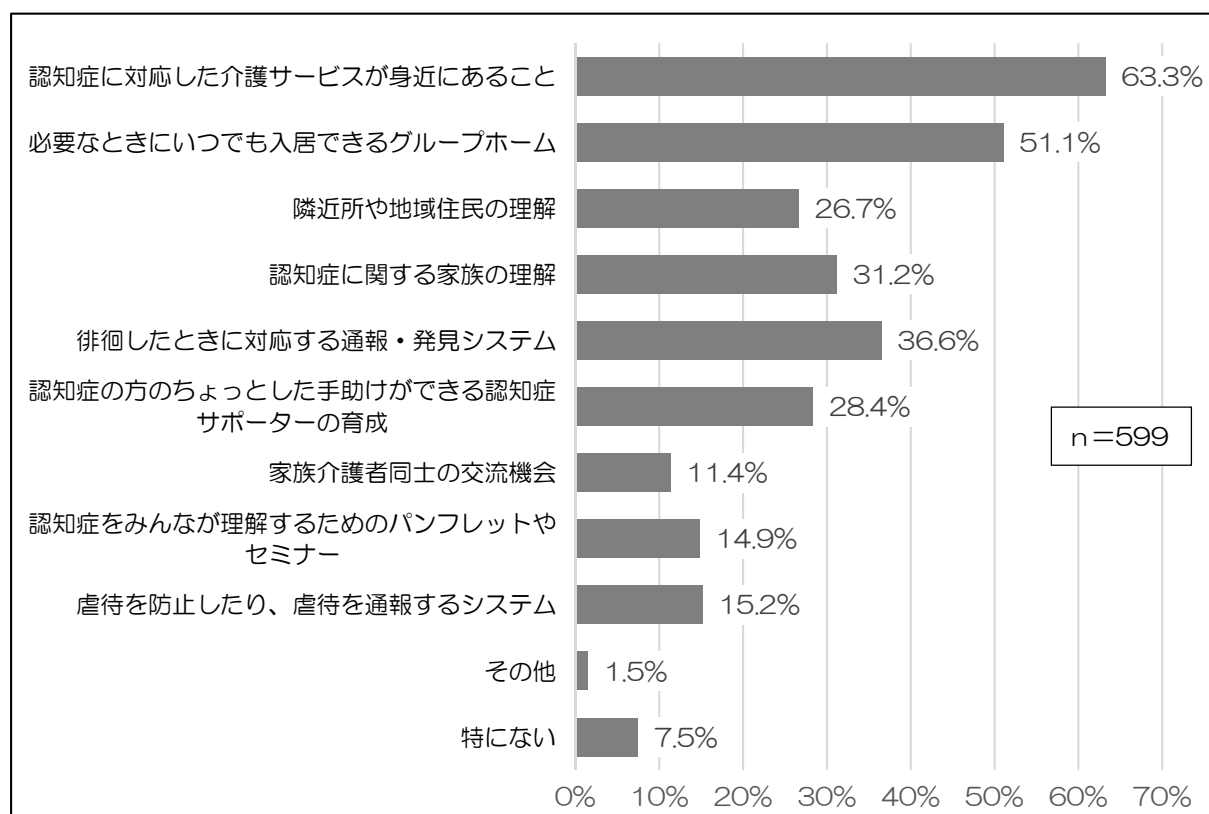
問8-2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

「はい」と回答した方は 16.4%、「いいえ」と回答した方は 74.8%でした。



問8-3 認知症の方が増加していますが、特に必要だと思う支援やサービスはどれですか。
(〇はいくつでも)。

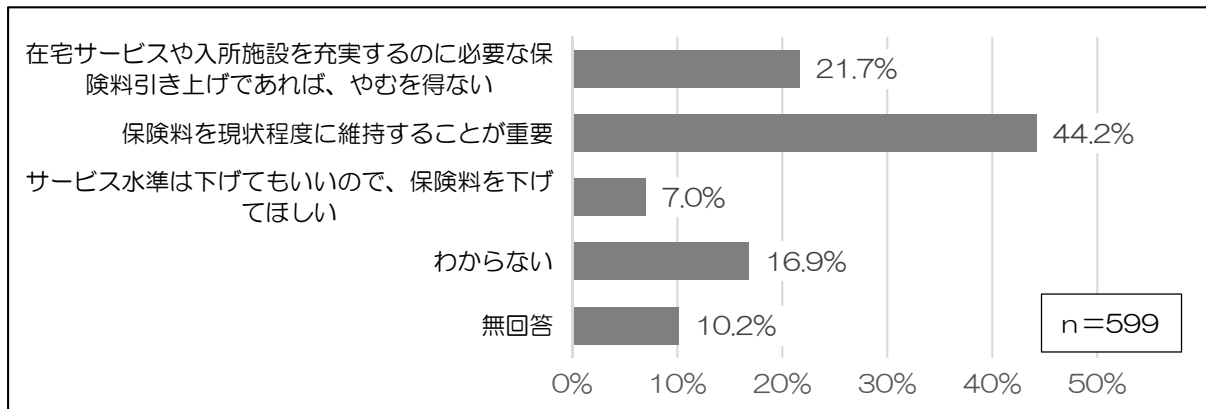
「認知症に対応した介護サービスが身近にあること」(63.3%)が最も多く、「必要なときにいつでも入居できるグループホーム」(51.1%)、「徘徊したときに対応する通報・発見システム」(36.6%)と続きます。



9 介護が必要になったときの生活等について

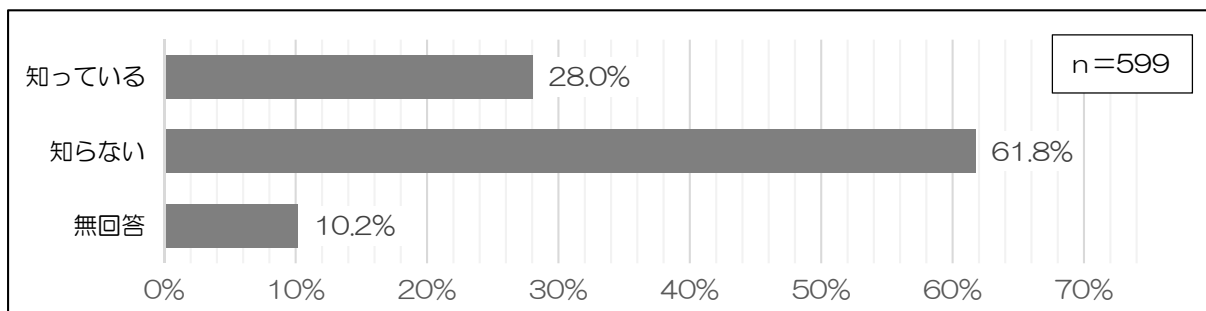
問9-1 今後の介護保険料について、お考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)。

「保険料を現状程度に維持することが重要」(44.2%)が最も多く、「在宅サービスや入所施設を充実するのに必要な保険料引き上げであれば、やむを得ない」(21.7%)、「サービス水準は下げてもいいので、保険料を下げしてほしい」(7.0%)と続きます。



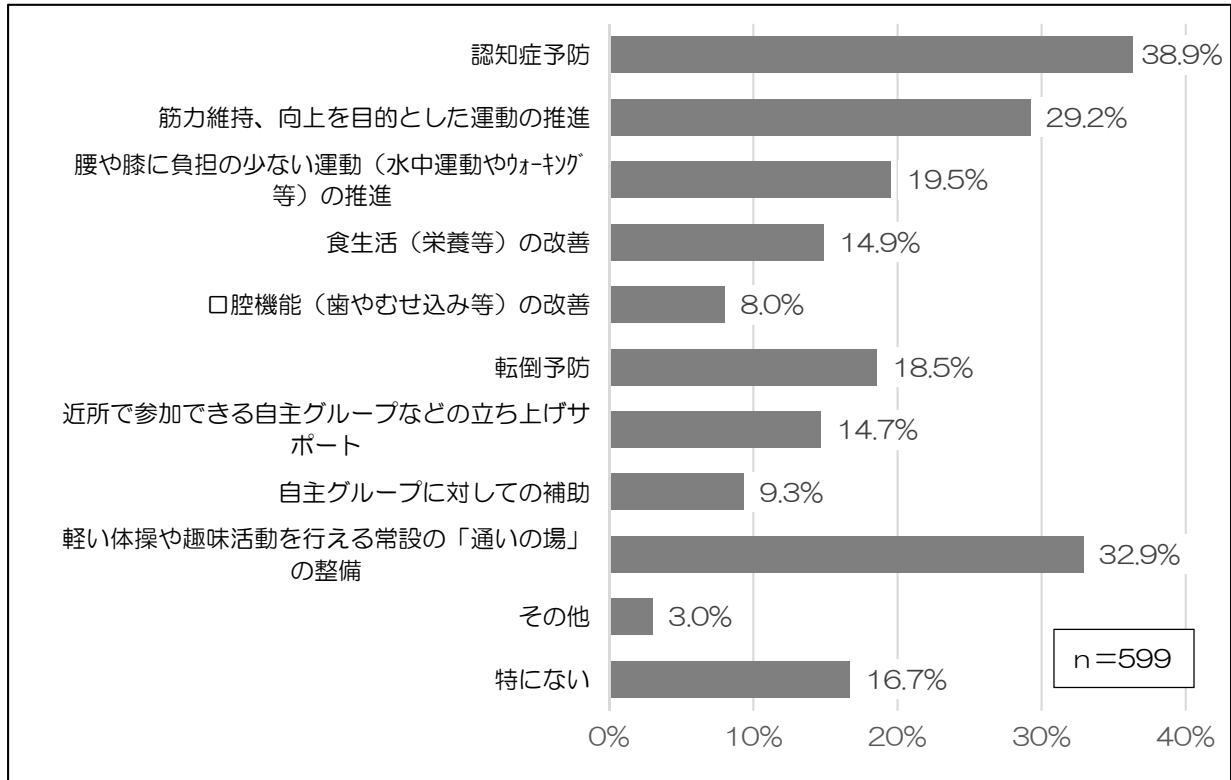
問9-2 地域包括支援センター（高齢者の介護予防のお手伝いや各種相談への対応、財産の管理や契約等の権利擁護に関する窓口で、市役所 高齢者支援課内）をご存知ですか。(〇は1つ)

「知っている」は28.0%、「知らない」は61.8%でした。



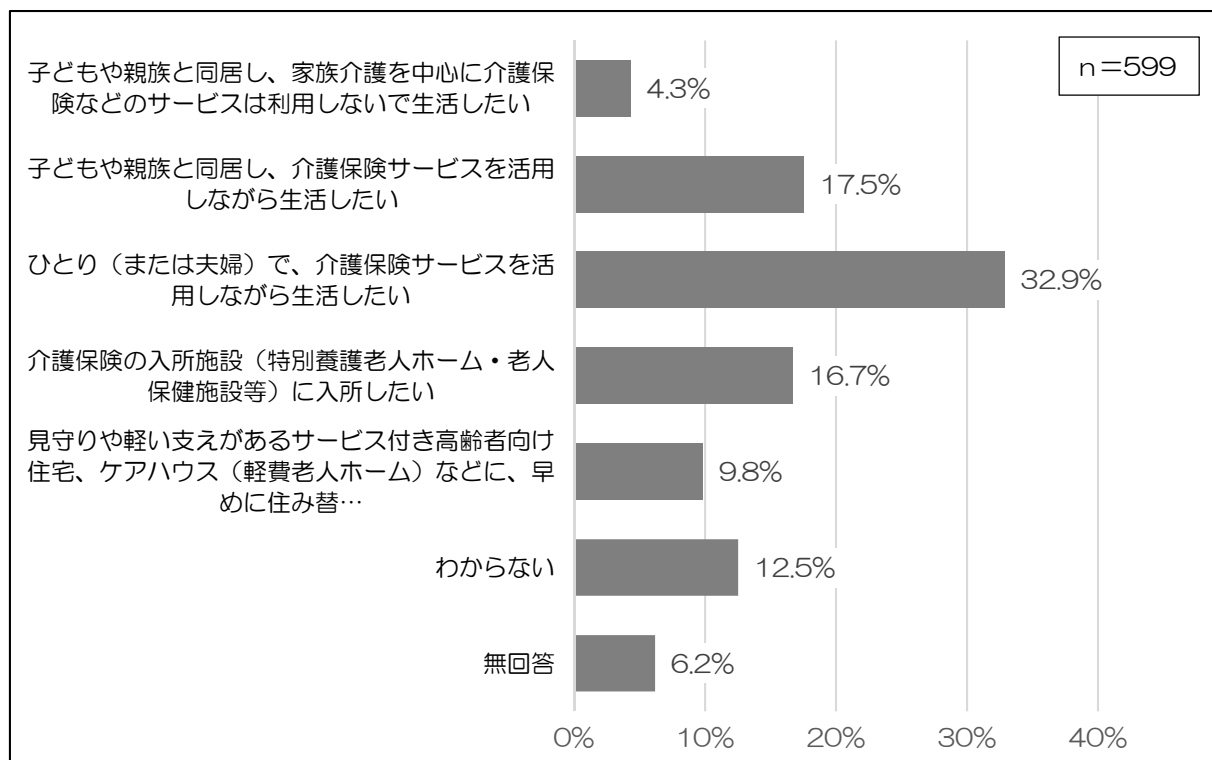
問9-3 介護予防に関して、市に力を入れてほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)。

「認知症予防」(38.9%)が最も多く、「軽い体操や趣味活動を行える常設の「通いの場」の整備」(32.9%)、「筋力維持、向上を目的とした運動の推進」(29.2%)と続きます。



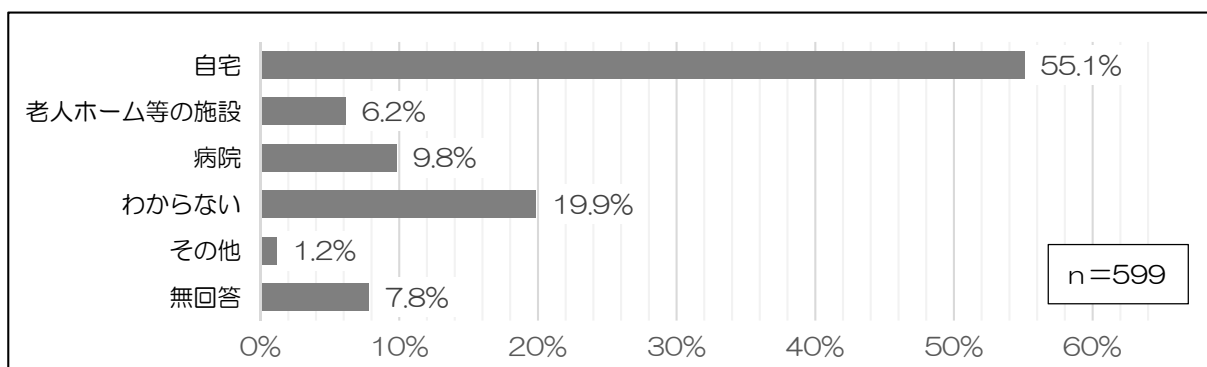
問9-4 あなたご自身は、将来的に、どこで介護を受けるのが理想ですか。現在、要介護状態でない方も、寝たきり等になったと仮定してお答えください。(〇は1つ)。

「ひとり(または夫婦)で、介護保険サービスを活用しながら生活したい」(32.9%)が最も多く、「子どもや親族と同居し、介護保険サービスを活用しながら生活したい」(17.5%)、「介護保険の入所施設(特別養護老人ホーム・老人保健施設等)に入所したい」(16.7%)と続きます。



問9-5 あなたご自身は、最期をどこで迎えたいと思いますか。仮定してお答えください。(〇は1つ)。

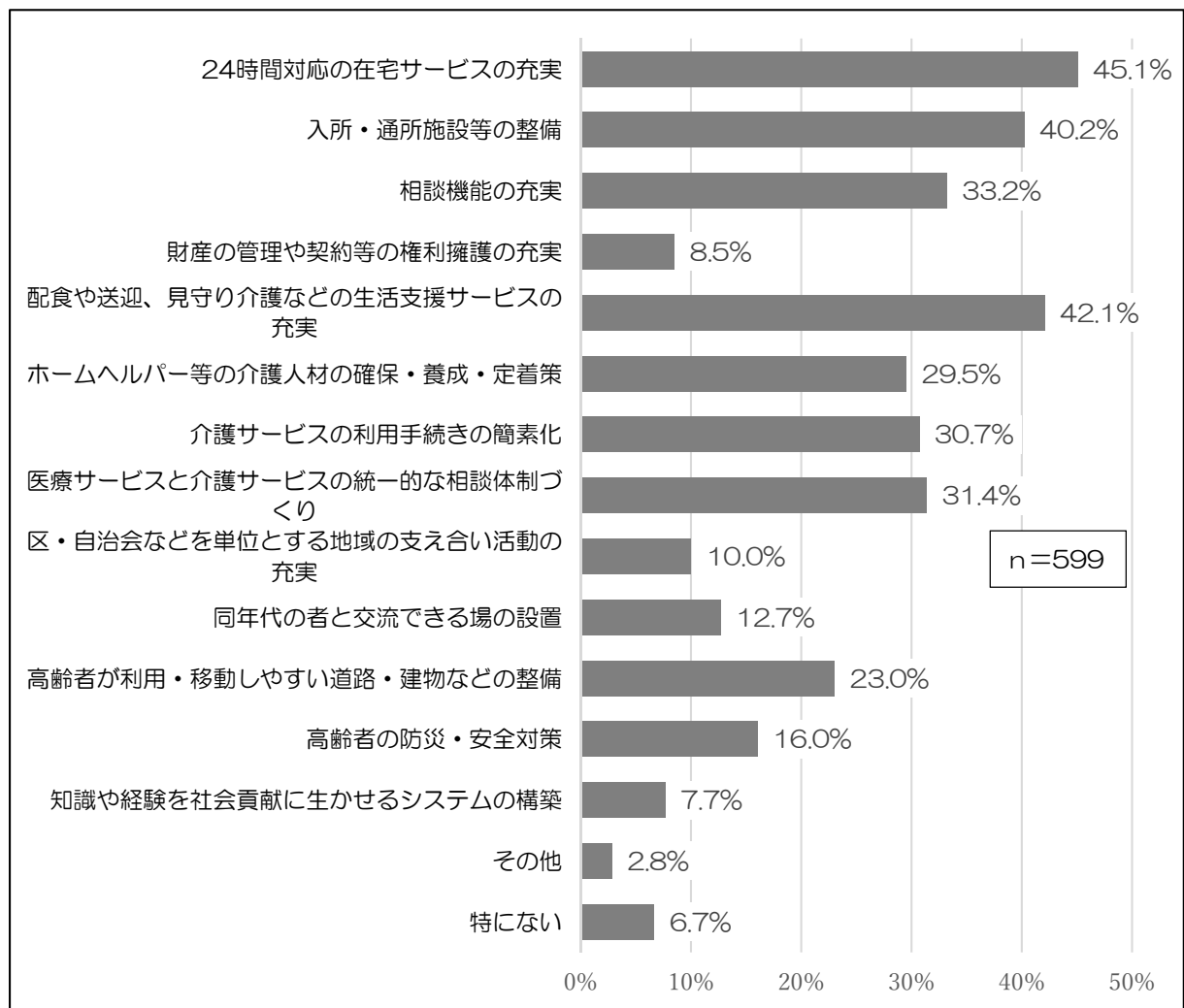
「自宅」(55.1%)が最も多く、「病院」(9.8%)、「老人ホーム等の施設」(6.2%)と続きます。「わからない」は19.9%でした。



10 介護保険制度や高齢者福祉施策全般について

問10-1 高齢者の住みよいまちをつくるために、今後、大網白里市においてはどのようなことが重要と考えますか。(〇はいくつでも)

「24時間対応の在宅サービスの充実」(45.1%)が最も多く、「配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実」(42.1%)、「入所・通所施設等の整備」(40.2%)と続きます。



大網白里市の高齢者福祉施策について、ご意見・ご提案があれば、自由に記入してください。

高齢者福祉計画、介護計画が一日も早く完備実施されんことを希望致しております。

コミュニティバスを市内全域に走らせて欲しい（一定金額で）
介護タクシーを安く利用できるように

この種のアンケートの回答傾向は人数を増やせば増やす程回答傾向を掴めているのではありませんか。設問や集計を外注していることに不満を感じます。どのようなことなら行政ができるかを示し賛否を問うてほしい。計画に載せてというが、実施率を広報で知らせて欲しい。

老人、人間生きていく限り老いていきます。

大勢の人が集まって気軽に政治・社会問題を語る討論会の場があると老人の何割かが更に活性化する。
老人も難しい問題で考え人と話すことで頭が働くようになる全ての老人が好むとは思わないが喜んで参加する人も多々あるのではないか。

多くの人が人生の最後は自宅で終わりたいと思っていると思う。
そこで在宅介護を更に充実させ、家族の迷惑にならずとも介護をしてほしい。
そのための料金値上げはやむを得ないと思う。

市として高齢者の面倒は見ない、助けない、相談にはのらないの3ない運動が必要と思われる。高齢者の自律神経を高めることが大切だ。働けるうちは働いて、それがPPKにつながると思う。自分の道は自分で切り開き、泣き言は言わない。

高齢の両親の介護・看取りをしてきたが、大網地区の道路は高齢者や車いすの通行が不可能な箇所が多すぎる。

みどりが丘にも巡回のバスをお願いしたい。今は車の運転ができるが、そのうち車も無理になり、買い物もできなくなると思う。現在70歳。駅までのバスも本数が少ないため、よろしくお願いします。

運転免許証の返納後の買い物等外出時の交通手段の充実。

アリーナ・柿餅周辺に広大な霊園・樹木葬等の施設を作ってほしい。高齢になると、遠方にある墓参りが体力的にきつくなってくるのでぜひ作ってもらいたい。

「高齢者福祉施策」とは？どんなことをやっているのか、何をしてくれるのかがわからない（現在関りがないため）。

昔は公的制度による介護制度・支援がなかったと思うが、現在は多額の保険料（税金）を徴収され腹立たしい限り。

近くにスーパーがなく、現在は車の移動ができるが運転できなくなったら買い物に行けない。病院にも通えない。将来が不安。市で週に1回でよいので近所の人と乗り合わせができる交通手段が欲しい。

大網の巡回バス

今後多くなる高齢者が行動しやすくなるよう、例えば地区自治会館と大網駅→市役所→大網病院（またはイオン）→を結ぶ巡回バス（マイクロバスで可）を充実させ、高齢者の利用しやすい料金設定が重要（日中の本数も）

現状は特に介護は必要としていないが、82歳、81歳の夫婦の心配は間もなく訪れる介護の時期にすんなりと施設に入れるかどうか。今後介護は子どもや連れ合いでない専門家のお世話になりたい。それが子どもや相方にとって1番ベストな判断ではないかと思う。今の若い人達にとっても今の世代で将来的な楽な親の世話は自分たちの幸せに通ずることだと確信している。自治体は何よりそれを優先してほしい。予防も必要だが、それよりなってからだと思う。

町づくりについては意見・提案といわれ心遣いをしてもらっているが、高齢施設ではどうしてじいさんばあさんに「咲いた 咲いたチューリップの花が～」と歌うのだろうか。いつまでこんなバカにした話が続くのだろうか。カラオケ（嫌いですが）等々他にも音楽はたくさんある。

これから仕事と地域をつなぐ情報、交通のネットワークを進めてほしい。意見を聞いていただきありがとうございます。よろしくお願いします。

独り住まいの人を見守ることが福祉として最も大切なことと考える。町にとっても負担が少ないのではないかと思う。

以前実家の母が施設入所を希望したが順番待ちで100人を超えるとのことと他の市町村を探した経験があるため、希望者が安心しては入れる施設、特に特別養護老人施設の十分な余裕のある施設の設置を希望する。

<p>知らないこと等があったので施策について理解できる様な文策を実施してほしい。</p>
<p>年金生活で介護保険料を払い続けているが、今までに何一つ恩恵を受けたことはない。病院通いにタクシーを利用しているが（目が不自由のため）タクシー代のクーポン券のようなものを作ってほしい。</p>
<p>食料品等の買い物の便が良くなるような策を希望。</p>
<p>高齢者医療保険料をもっと安くしてほしい。 （この10～15年間で病院への通院 2回のみ。 泌尿器科、眼科 各1回のみ。 耳鼻科 補聴器メーカーの勧めで耳垢を取り除いただけ）</p>
<p>空き家をうまく利用し、県外の人を呼び求めたい。道の駅のような大きな店や、食堂または年寄りたちが集まって和やかに過ごせる場所が欲しい。</p>
<p>施策の実施、実行に期待したい。</p>
<p>65歳を少し過ぎた年齢のため、高齢者という認識は特にない。、、、がいずれはお世話にならなくてはいけないかもしれないとは思っている。現在、脳も身体も健康であるためこの状態をできるだけ長く続けられるよう心掛けてはいい。健康な高齢者になってもらうことが一番の施策だと思う。そのためには同年齢の集団だけではなく、年下や子供とのふれあい交流できる場や機会の構築がいいと思う。</p>
<p>ボランティアは無料と考えている方が多くいるのが現状。市はボランティア活動に予算を組み、自由に使えるようにすることが必要。</p>
<p>近隣の方々の様子からいろいろな施策や支援があると気づいている。いざ自分がその立場になったらという考えで日々過ごしていきたいと思う。</p>
<p>医療保険料の増加で市の財政を圧迫しないため&ピンピンコロリの高齢者を目指し無料で健康・体操・食事アドバイス等が週一回または月2回程度利用できるサークル・教室があるといいなと思う。ヨガもよい。よろしくお願いします。病院通いしないシニアのためのバックアップをお願いしたい。</p>
<p>ご苦労様です。 やることはたくさんあると思うが、ほとんど重要なことばかり。できることからひとつずつやって頂ければOK。</p>
<p>車の免許変更した際、タクシー利用券等の優遇について考えてほしい。 この意見のまとめを広報等にのせ、回答が欲しい。</p>
<p>在宅介護サービスのいい街に住みたい。しかしながら、この種の福祉への財務上の優先度は低く抑えられている。介護サービスには人・物・金の基盤が必須とされているが、充実される実現性は極めて低い。将来は暗い。</p>

<p>考えなければいけない事でしょうがこんなに沢山・・・暗くない自分が老け込んでいく気持ちになる。元気で明るく生活できるようなことが聞きたい。</p> <p>とても重く感じる。自分がだめになって行く気がする。アンケートも良いかもしれませんが私はいやです。感じ方の違いでしょうが色々聞かれるとさみしくなる。もう少し考えたほうが・・・</p>
<p>各種、保険・税金の無料化。</p>
<p>週一回のデイサービスで、5万請求が来た人がいます。大綱は高くてお世話になれないので、いつまでも健康でいなければと思います。職員と施設の方が来て、言ったそうです。</p>
<p>年金生活なのにすぐには入れる施設が近くにない！！高額な施設ばかりなので・・・心配です。なので自宅にて療養生活を送らないといけないのではと思っている。</p> <p>皆がそのうちやってくる、経験する事なので、もう少し高齢者にやさしい、めんどろ見の良い町であってほしい！！</p>
<p>いろいろ有りがとうございます。</p>
<p>空き家が多くなっています。自宅も今後どうなるか気がかりです。</p>
<p>高齢者に環境の良い施設をもう少し増やしてほしいです。</p>
<p>将来的に一番の不安は交通手段です。特に白里地区は公共交通機関が皆無に近いと思います。現在は自家用車で（買物、通院、通勤、その他）対応していますが、車の運転が不可能となった場合、陸の孤島となります。本市にとって市街地外地域の共通の問題であり、困難な課題と存じます。行政の適切な対応をお願いします。</p>
<p>根本的に市の高齢者福祉政策そのものが明確に理解していないのはきっと多くの人たちだと思うので、まずはパンフレット等の準備をして頂き、広報等を通じて情報提供をお願いしたい。</p> <p>又、何よりも大切なのは健康維持を持続させるための各種スポーツ教室等を企画してはどうでしょうか。</p>
<p>交通は車が無いと不便です。年を取ったら運転することが心配。</p> <p>健康第一、経済の問題（年金生活）。毎日年をとる事。</p>
<p>色々これから事を考えさせられるアンケートでした。今は健康であれば幸せと思っています。（夫婦とも）</p> <p>いきいき元気クラブは続けてほしいと思います。</p>
<p>現在、どのような高齢者福祉政策があるかまったく知らないで、わかりやすいようにパンフレットなどで知らせてほしい。「例えば～で困った時の相談は〇〇へ」というふうに！</p>
<p>車がないと生活が不自由なところ、まだ主人の車で買物等出来てますが、この先不安。</p>

もう少し高齢者福祉施策全般で「何をやっているのか」パンフレットくらい作って宣伝したほうが良い。

水彩画の講師です。市が募集している各教室が10人以上というのは財政上分かりますが、同好会も含むというのは疑問があります。高齢化がすすみ、市の人口も下降ぎみの現在、各同好会も人数集めに必至で、へ移行せざるクラスが増えてきてます。使用料金が頂けるのであれば財政面からもマイナスにならないと思いますが？高齢者福祉を考えるのであれば考慮をお願いします。

今後高齢者が増加していくと思う。現在、介護度の認定が厳格すぎると思う。家族の負担は大きくなる一方である。介護職員の増加と、認定の基準を緩めることを望む。

施策について肌で感じられない。

中部コミュニティの2階ホールで独居老人を対象とした音楽活動をしたことがあったが、1階の図書室からうるさいので音出しを止めてほしいと云われた。そもそもステージのあるホールの真下になぜ図書室を配置したのか？保健文化センターも同様にステージのあるホールの真下に図書室がある。そこでも音楽活動は止めてほしいと云われた。

区には入っていないので（入れてもらえなかったので）大網白里市の高齢者福祉施策の事も回覧板等もありませんので、まったく市の事は解らないです。

少子・超高齢化社会なので施策、予算等を全体面から検討してほしい。
高齢者が自立、自律した生活を送れるように介護予防策がほしい。
介護サービスを利用しない高齢者が気軽に行ける場所（サロンなど）がほしい。
介護サービスの担い手が不足しているが、沢山の健康年齢の高齢者が対応できるのでコーディネートしてほしい。社協主催の介護支援ボランティアや生活サポーターに興味あり参加したい。

高齢者年齢を70歳以上で良いと思う。

介護保険料が去年は2か月11,000円だったのが、今年は16,000円になった。去年はいつもより少し多く働いたからでしょうか？（介護保険料は年金から引かれています。）

予算が軍事費にならない様に希望致します。

他の市に比べて対応が早く、親切だと思います。

年若い一人で生活する様になっても買い物できる環境があれば自活できると思うので、そんな事が身近にあるといいなと願っている。

電車通勤が長く地元の顔見知りが少ないので、サークルや交流の場を通して知人、友人、話し相手を作っていきたいと思います。

大網白里市役所近くに社会福祉協議会があります。そちら有償ボランティアのパンフレットが置いてありますが、業社(株式会社などが運営)さんが有料で行っています。個人所有の車(白ナンバー)を持たず通院や買い物の送迎もしています。事故トラブルが発生したときには社会福祉協議会は一切関与しないとの事です。送迎を行っているドライバー(白ナンバー)が一切の責任を負うそうです。ドライバーに対しての負担が重いですね。勿論ドライバーは業社の社員ではありません。通院、買い物について送迎を役所で無償行ってほしいですね。又社会福祉協議会で紹介しているので利用する人は公的な機関と勘違するでしょう。問題トラブルが発生します。

不安、心配事がなく楽しかったと最後をむかえるように制度を充実してほしい

医療と介護の統一的な相談機関とそのことを市民に衆知する広報をより充実させていただきたい。また高齢者の経験を生かしたシステム(社会貢献や町内会活動などについて)をより整備していただきたい。

介護用品取り付け(手すり等)について上限 20 万円で申請している内、個人負担は 1 割ですが、残り 9 割を市が負担しているとしたら業者によっては安い材料で高額請求していると聞いたことがあります(業者の従業員)。違法な請求がないかチェックする方がいるのか心配です。検討して見て欲しいです。

介護保険が高い

せっかくのアンケートがただのアンケートに終ることなく確実に実施してほしい。特に 10 番の要望は私どもにとって身にせまった事ばかりです。今は介護の支援を受けていませんが必要になった時安心してらせる様なしくみ作りをぜひお願いしたい。住んでよかったと思う市、安心して住み続けられる市、誰もが安心してらせる市を目指しているのですから。

私は足が悪い為、外出する時は杖を使用していますが、常に下を見て歩いています。杖が側溝の鉄蓋の中へ入ってしまいドッキとして事があったり舗装されている道路でも安全性を高めてほしい場所が結構あります。自由に書きました。

知識不足です。これから学んでいきます。

老人クラブ等お誘いありましたが、子供と同じで高齢者も個人差が激しいので・・・。地域的に買物等の交通手段が大変になると思います。移動が困難になったら先々を考えながら生活していくことできめこまやかなサービスが必要かと思います。

高齢者の単身世帯に対して訪問して生活支援サービスの充実を検討してもらいたいと思います。

今のところ健康状態良好の為、年数回の歯石を取り除くだけで相談するかかり医者等いません。接種等できないで戸惑っています。高額な保険料はほとんど使用していません。

最近高齢者が運転する自動車のマナーの悪さ(信号無視、一時不停止、歩行者妨害等)が目立つことから高齢者の命を守る為に行政と警察とが連携して対応策を作成実施してほしい。高齢者講習等実施しても運転する者の考え方を考える方策を考えないと今と全く変わらない状況が続いてしまうと理解している。よろしく願い致します。

①市営のガスが全市民が利用できる配管を設置してほしい

②だれでも利用できる温泉があってもいいのでは！！

市長、市議会で取り上げて下さい。(住み良い街をはやく見てみたいね)

高齢者施設の地図 場所、規模、入居費等

高齢者にも一日1～2時間位の仕事をさせてもらえたら生きがいがあり元気になると思います。(かんたんな仕事)サービスでも良い

高齢者の知識や経験を分野別に集積しノウハウを次の世代に残せるシステム作りをする。そのために地元活性化は欠かせない要素となるので現在も続く神社活動(初詣、節分、お祭り)等に持続応援のため補助金を支給する。

保険料の引き下げ・即時対応

高齢者や子供達にとって住み良い町づくり。例えば散歩でもできる環境作り、一歩出れば車社会になった事が私の中では問題と感じます。

特別養護老人ホームがもう少しあり、何年も入所待ちがなくなってくれるといかな?、、、

現在は夫婦とも健康のため特に福祉等について考えてはいません。

自動車免許をそろそろ返納しなければと思っていますが、返納しにくい場合に徒歩ではスーパーまで遠すぎる。バスは一日に2便位ではどうしようもない。ぜひ改善してほしい。

介護保険が高い(健康な人にとって)、普段から健康維持についてそれなりに対策を講じている努力している。(トレーニング、早めの病気対策し予防、病院など)費用を使っている人などに対して、介護不要で日常を過ごしている人、介護保険を使っていない人に対して保証の意味での制度があってもいいのでは?健康への意識を高める(増進)ための政策としていいのでは。介護されている人、介護直前の人ではなく要介護にならないための政策。

介護保険を使わなきゃと損する凡調がある様に思います。利用していない人の努力などを考慮してもいいと思いますが、皆が利用すればパンクします。この制度が上手に利用とささえあう様になればいいのですが、現実は何?

いろいろ意見はあるが、今までの市政をみるととっても無駄ですね。

四天木はスバハヤシが。

近くに郵便局、市の出先機関がないので増やしてほしい。移動に困るので簡単に利用できる乗り物（バス・タクシー）がほしい。独居老人の見回り回数を増やしてほしい。もっと簡単なアンケートにしてほしい。

大網病院の診療科の増設と内容の充実をお願いします。高齢者にとっては病院が遠いとか。診療科が少ないため遠くの病院に行くことになるのは一番大変です。

年金額が減らされている中では、いろんな面での値上がりがあって、食事面や燃料費等の節減をやらざるを得なくなってきています。クーポン券も利用させてもらっていますが、なおの追加があれば助かりますのでよろしくお願いします。

介護者が働きやすい環境を作してほしい。休憩場所がないグループホームあり何年前から自分ので休めるようになった。冬は寒く夏は暑い。いままで働いていて休憩室がない職場ははじめてだった。出勤朝8：00なのにほーむのゴミを捨てるために大網白里市は朝八時までなので早くきてゴミを捨てるのはおかしい。出勤は7：30が普通だと思う。夜勤の退社もだらだらやっていた。すぐには帰れない。国が介護者に支給されているお金を月々の給料で払うのではなく半年にしボーナスで払い途中でやめた人は会社に取りられてしまうそのお金はどう使っているのか残っている人で分けていてほんとひどいと思う。

65歳になったときに送迎付の運動教室に参加しました。とてもよかったと思います。しかし10年たった今、当時よりも現在の方がその必要性を感じています。年とともに衰えていく足腰、フレイル状態になりつつあり、今後の日常生活に不安をかかえる日々です。再開は無理なのでしょうか。同年会の方々とのお話によく拳がります。

おかげで私は介護を受けてはいません。介護を受ける人、介護される人の苦勞をなかなか実感がわかりません。お世話になる前に制度のお話を聞きたいと思います。

意見ではないが現役会に勤務して、回答しにくいし資料にならないと思う。

転勤で大網にきて40年、歳を重ね思うことは、友人との交流、子供たち、若い方達との交流が一番とおもいます。産業も観光も少ない大網、若い方達が来なくなる町づくりをしてほしいです。健康体操、卓球他色々、文化的のもいろいろあるけどアリーナ、中部コミュニティ、豊かな婦人の家、家とおくて、くるまないと動けない。コミュニティバスは本数も少ない、回る地域が限られている。金谷、みどりがおか、その奥は足がないまた各々の施設アリーナにはプールがない中部コミュニティ、アリーナ、もう少し広い舞台もないので結局東金になり中途半端。ちょっと休憩するスペースもない、大網の顔の駅前～全く魅力がない。健康の町、駅周辺にスポーツ施設、お茶のできる施設、文化活動ができる置物もぜんぶそろった施設を建てて欲しい。そして一時間に二回くらい大網全域にコミュニティバスを回して欲しい。バスがだめなら後期高齢者にはタクシーの割引券を配布する。電車にのって、降りてみたいになる町にしてほしいです。40年間全然変わらない町では発展はないです。駅前の開発を説に願います。増穂、白里も大事だけど。大網の顔が一番。このままだと老後・転居考えている方沢山いらっやいます。危機感を感じてほしい。

<p>一人暮らしのため急に身体の具合が悪くなったとき、どうしたらいいか？不安あります。</p>
<p>息子は結婚して家族がいますのでやはり日頃は私と娘と二人での生活で娘は障害を持っていますので、私も高齢者の不安はありますが、親としては体が動けるまでは責任がありますが、高齢ですので大網白里市の高齢者支援課にはお世話になりたいと思います。</p>
<p>当アンケートは健康増進課による集団健診の問診票と内容が重複しておりわざわざランダムな抽出によるアンケートの依頼の必要性を感じない。問診票の利用目的に加筆して情報の共有を可能にしてはどうかと考える。アンケートをとってほしい項目として、フレイル予備軍の把握だけでなく「情報弱者ではないか」通販などをネットで使いこなせるか、外部との連絡手段にスマホなどを使えるか、買い物時のセルフレジが難なくできるか Etc.、、、答えによって高齢者支援課がすべきサポートも見えてくると思います。</p>
<p>私は年金だけでは生活が苦しく、週二回、夜老人ホームでパートとして働いています。介護保険料や国民保険料やその他税金が高齢者には高すぎます。今後働くことができなくなった時を思うと不安です。</p>
<p>市役所の方は、いつも親切で気持ちがいいです。今後ともよろしくお願い致します。</p>
<p>市の実施している事柄で、知らないことがあった（広報か？）</p>
<p>高齢者がこれからもたくさん増える中、お年寄りにやさしい市にして欲しいです。</p>
<p>市所有の市バス、以前は無料で月1回程、千葉県内を廻っていただけたと思うのですが、最近全く使えなくなりました。少し有料でも市バス利用再開してもらえないでしょうか？現在、個人所有の車に乗り合いで県内を見学しております。運転手は後期高齢者、乗せてもらう方も楽しめません。</p>
<p>「憲法25条、全て国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」こそ高齢者福祉の原点であることを認識し、行政はそれに対応すべきである。「ロシア、中国、北朝鮮の脅威」に対しても軍事力にのみ頼るのではなく「一人一人が豊かに生きられる」社会を築くことこそ日本の防衛の方向であり、国民は命をかけて日本を守ろうとするのではないか。</p>
<p>市で何をやっているのかの情報がない。もっと知らせて欲しい。（新聞をとっていないので広報とかも入らない）</p>
<p>夫（86歳）が肝臓がんで通院治療しております。現在は自力でやっと自分の身の回りの事が出来ますが、妻（私82歳）と二人の生活でやっとです。市のいずれの課に相談し、介護認定など受けたらよろしいのかわかりません。現在、東京の病院で治療しております。</p>
<p>あまりにも楽しめる場所が少なすぎる町である。何もかも何もない町でどこと言ってもわからない程。高齢者にとって楽しめる場所を作って欲しい。お茶を飲む空間、絵を鑑賞する空間、音楽を聴く空間など・・・</p>

現代では離婚が当たり前の様ですが、私どもは今年金婚式を無事迎えました。他の市町村ではお祝いの品々があったと聞いております。高齢者が元気に金婚式が出来る事に市としては袋書1枚でいいですから今後お祝いメッセージを出せる事に該当者はとても嬉しく感じると思います。次回の方のためにもよろしくお願ひします。朝の体操を本年5月で11年目を迎えますが人数は横ばいです。広報に載せたりして広く知られると人が集まるかと思ひます。現在は15名位で30分位してあります。最高齢92歳1番元気で皆さんのお手本になつたいます。

皆さん運転免許証返納の年齢に向かひます。一人で病院に向かえない。食事も作れない。家族なしの一人の生活。防災面での不安さ・・・etc。(移動しやすい道路は理想的ではあるが田舎道までには限界がある)出来ないのであれば医者やヘルパー、配食、見守りなどを更に充実させ、こちら側に向かってくれることが理想的である。又はサービス付き経費老人ホームの充実も大切なポイントになると考へる。拠点をこのような老人ホームにし、その中で色々事を充実させていけば良いのではないか。あまりにも老人ホームの内容が秘密になっているので、市でランク付けを行ない自分に合つたところを選べるようにするのも良い。車を手放す年齢に近づいているため、不安がつくる。路線バスもマイクロバスが良いと思う。田舎道に入れるように又予約等の気軽さが必要。今回のアンケートには年齢の幅がありすぎると思ふので「自分が～になってしまつたらどのようなサービスを必要とするか」で行なつたいただけるとより具体的な参考になるものになるのではないのでしょうか？ますます充実した大網白里市になることを期待します。

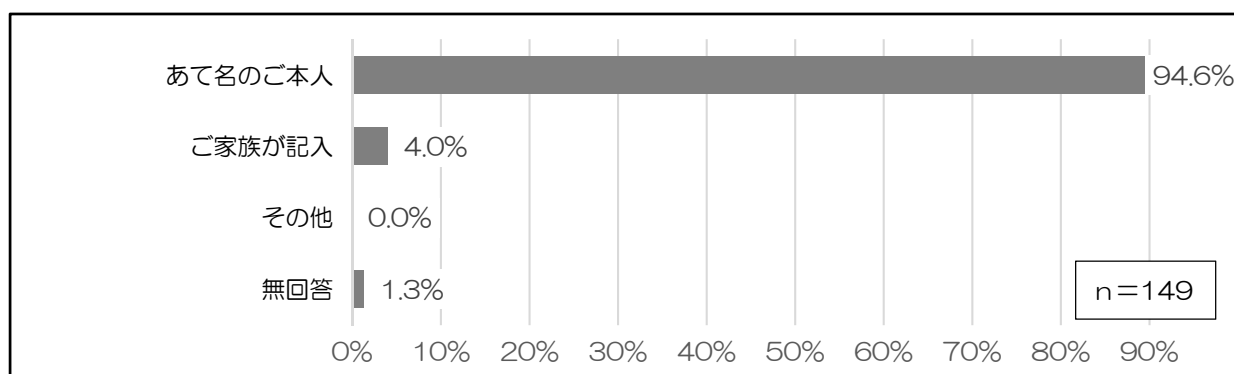
みずほ台コミュニティバスを出してほしい。公園トイレを洋式にしてほしい。

IV. 第2号被保険者調査 集計結果

1 あなた自身やご家族の暮らしの状況について

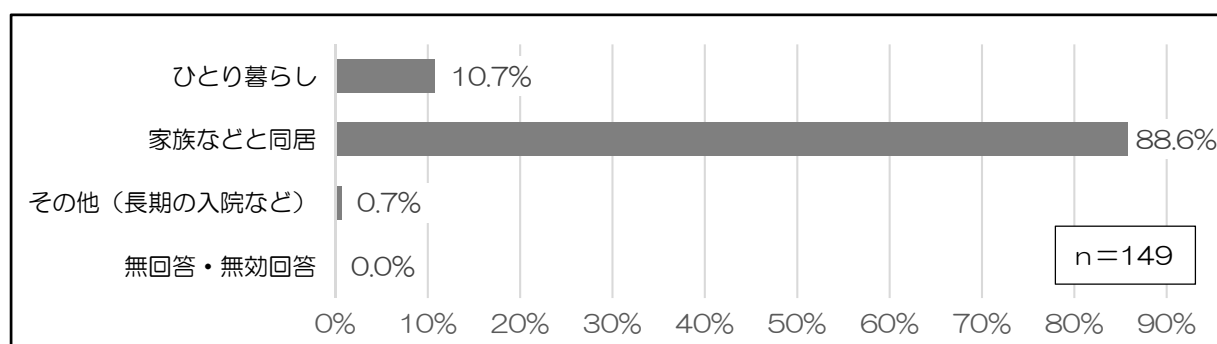
問1-1 調査票を記入されたのはどなたですか？（〇は1つ）

「あて名のご本人」が 94.6%、「ご家族が記入」は 4.0% でした。



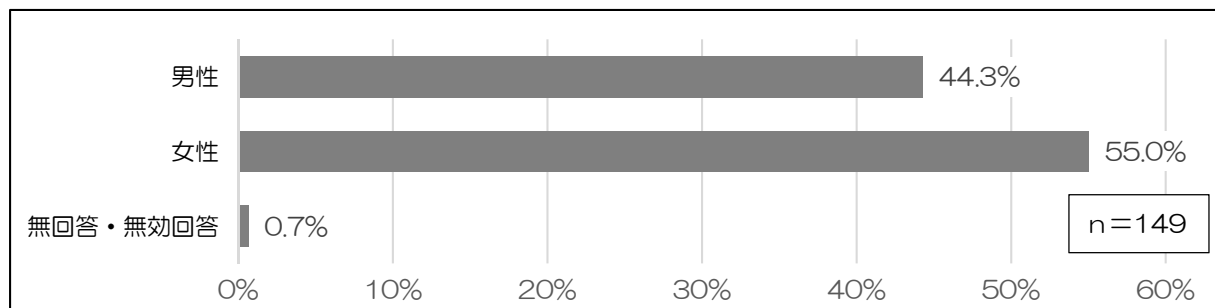
問1-2 家族構成を教えてください。（〇は1つ）

「家族などと同居」が 88.6%、「ひとり暮らし」は 10.7% でした。



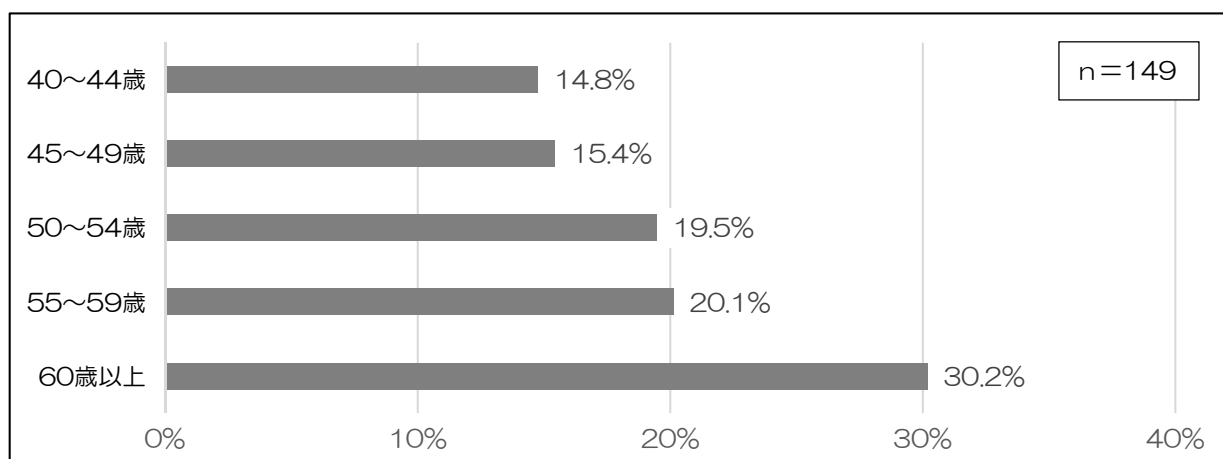
問1-3 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)
※以下「あなた」とは「調査票のあて名のご本人」となります

「男性」が 44.3%、「女性」は 55.0% でした。



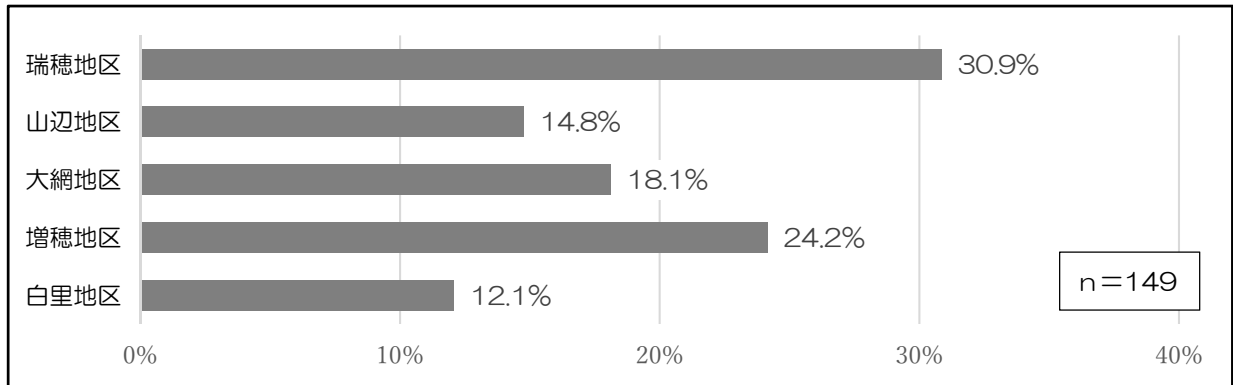
問1-4 あなたの年齢（令和4年12月1日現在）を教えてください。(〇は1つ)

「60歳以上」が 30.2%、50代は 39.6%、40代は 30.2% でした。



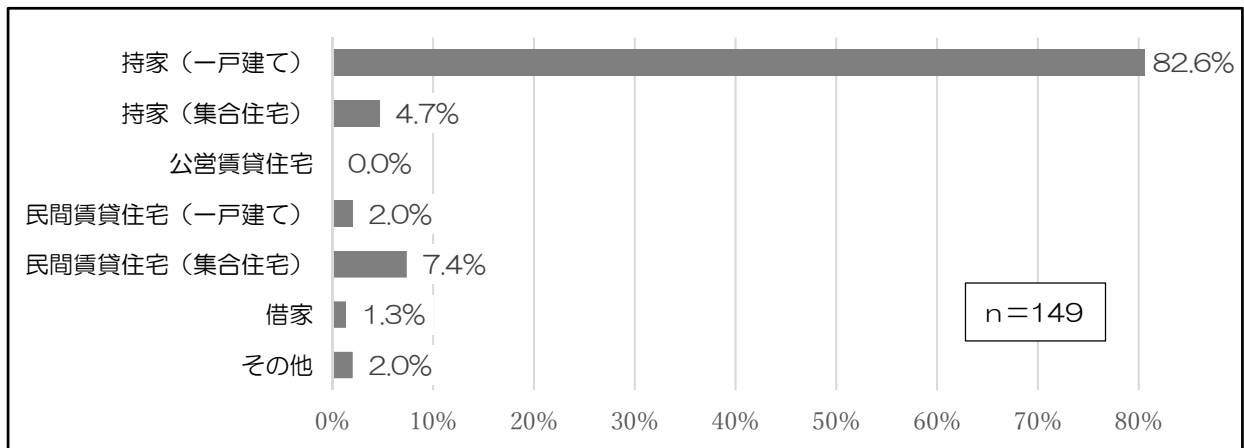
問1-5 お住まいの地域は次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

「瑞穂地区」が 30.9%、「増穂地区」が 24.2%、「大網地区」が 18.1%、「山辺地区」が 14.8%、「白里地区」が 12.1%でした。



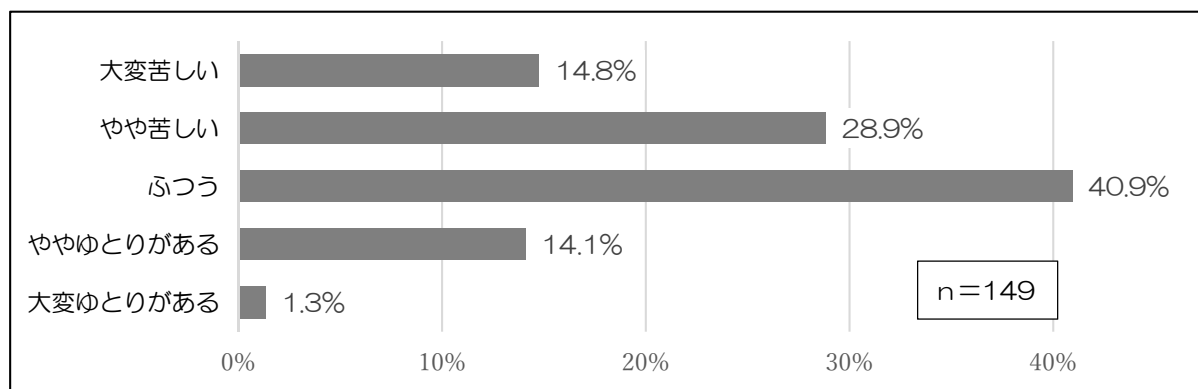
問1-6 あなたのお住まいは次のどれですか。(〇は1つ)

「持家（一戸建て）」(82.6%) が最も多く、「民間賃貸住宅（集合住宅）」(7.4%)、「持家（集合住宅）」(4.7%) と続きます。



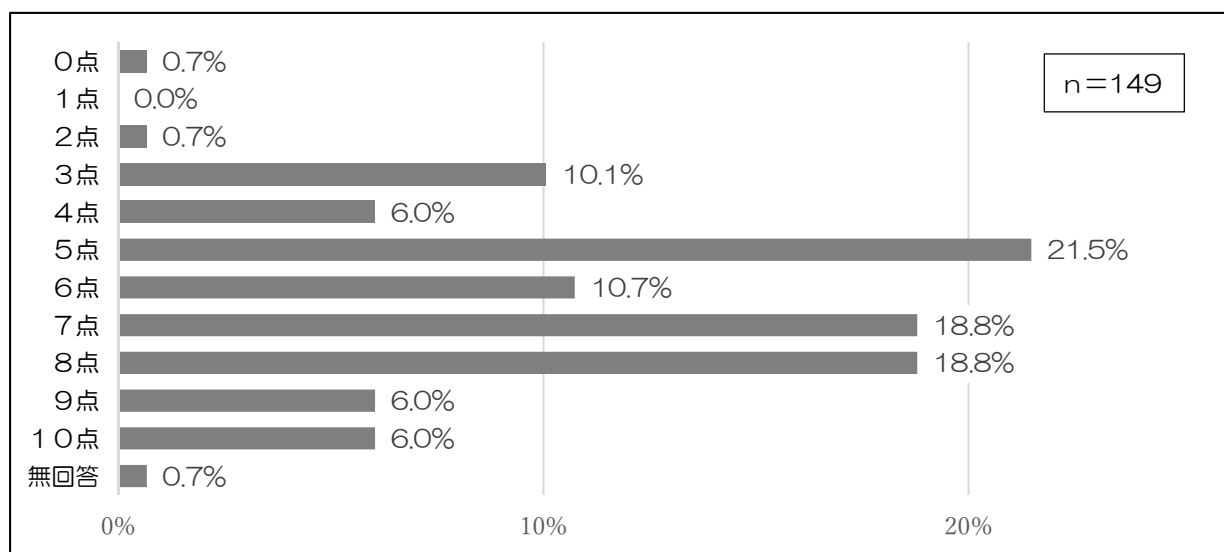
問1-7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

「ふつう」(40.9%)が最も多く、「やや苦しい」(28.9%)、「大変苦しい」(14.8%)を合わせると43.7%が苦しいと回答しています。



問1-8 あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に〇(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に〇)

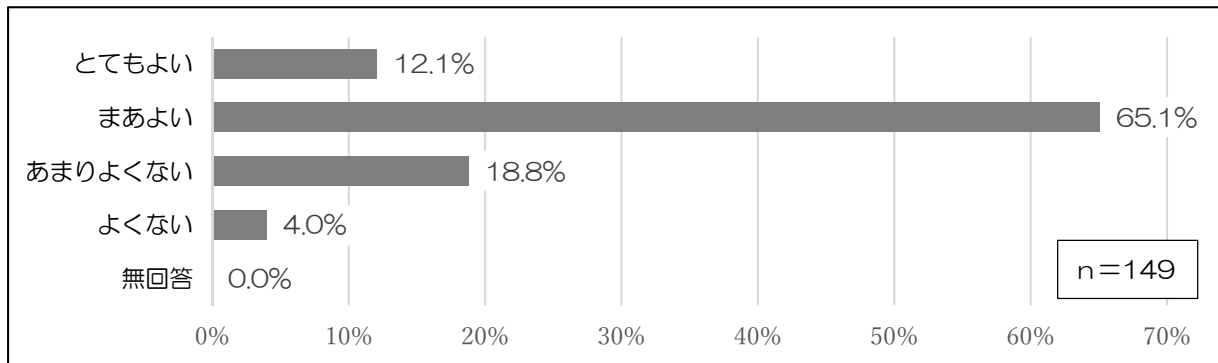
「5点」(21.5%)が最も多く、次いで「7点」「8点」(いずれも18.8%)となっています。



2 健康について

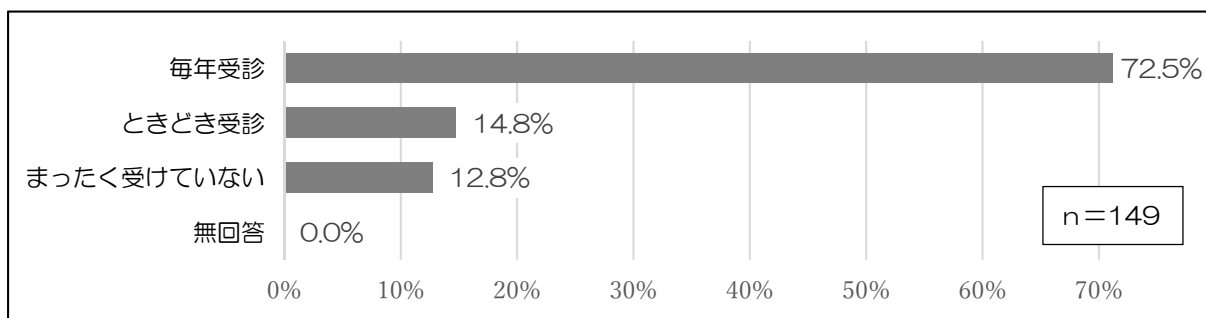
問2-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

「まあよい」(65.1%)が最も多く、「あまりよくない」(18.8%)と「よくない」(4.0%)を合わせると22.8%となります。



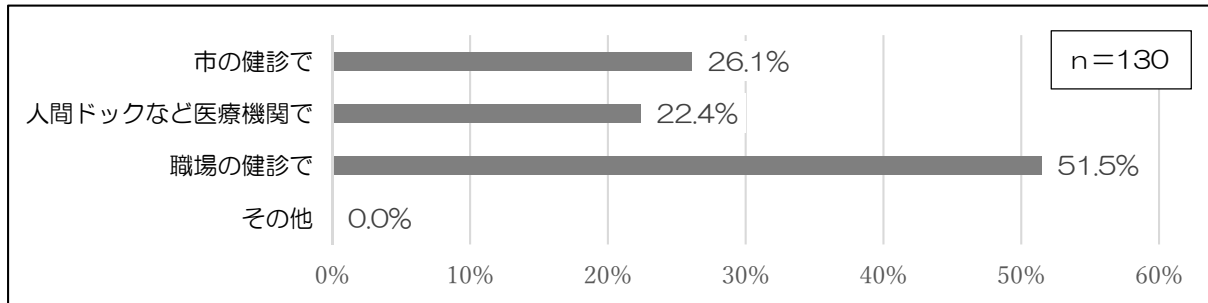
問2-2 健康診断(がん検診や人間ドックを含む)を受けていますか。(〇は1つ)

「毎年受診」(72.5%)が最も多く、「ときどき受診」(14.8%)、「まったく受けていない」(12.8%)となっています。



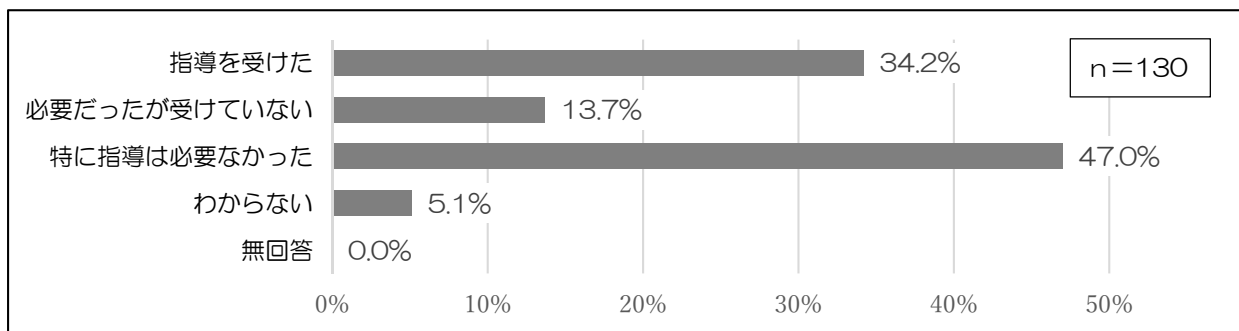
【問2-2で「1. 毎年受診」「2. ときどき受診」の方のみ】
 問2-2(1) 直近の健康診断はどこで受けましたか。(〇はいくつでも)

「職場の健診で」(51.5%)が最も多く、次いで「市の健診で」(26.1%)、「人間ドックなど医療機関で」(22.4%)となっています。



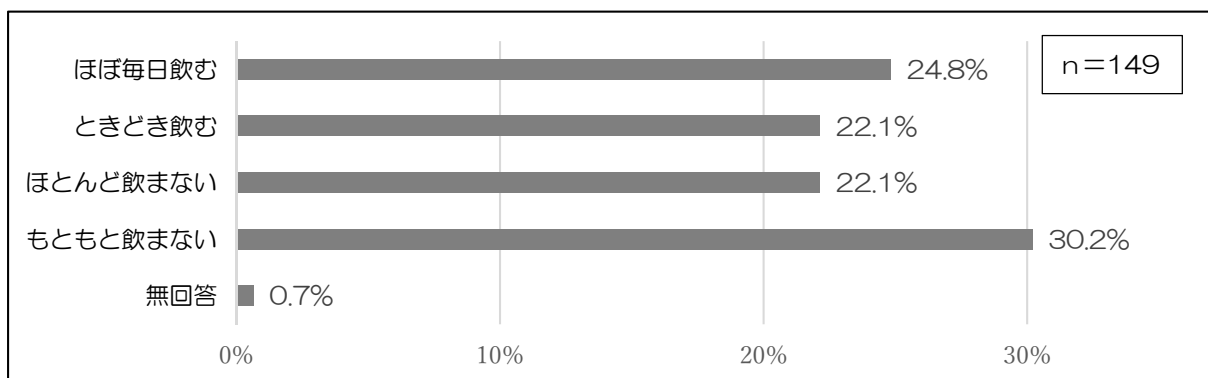
【問2-2で「1. 毎年受診」「2. ときどき受診」の方のみ】
 問2-2(2) 健診結果について何か指導を受けましたか。(〇は1つ)

「特に指導は必要なかった」(47.0%)が最も多く、次いで「指導を受けた」(34.2%)、「必要だったが受けていない」(13.7%)となっています。



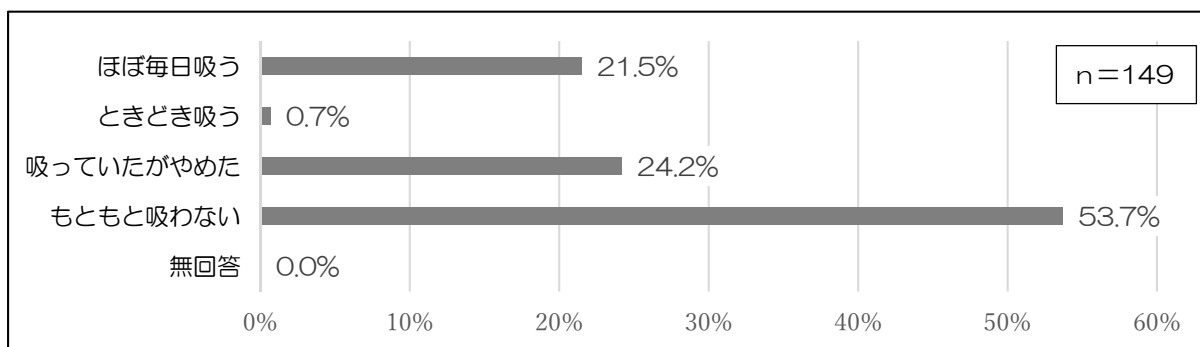
問2-3 お酒は飲みますか。(〇は1つ)

「もともと飲まない」(30.2%)が最も多く、次いで「ほぼ毎日飲む」(24.8%)、「ときどき飲む」「ほとんど飲まない」(ともに22.1%)となっています。



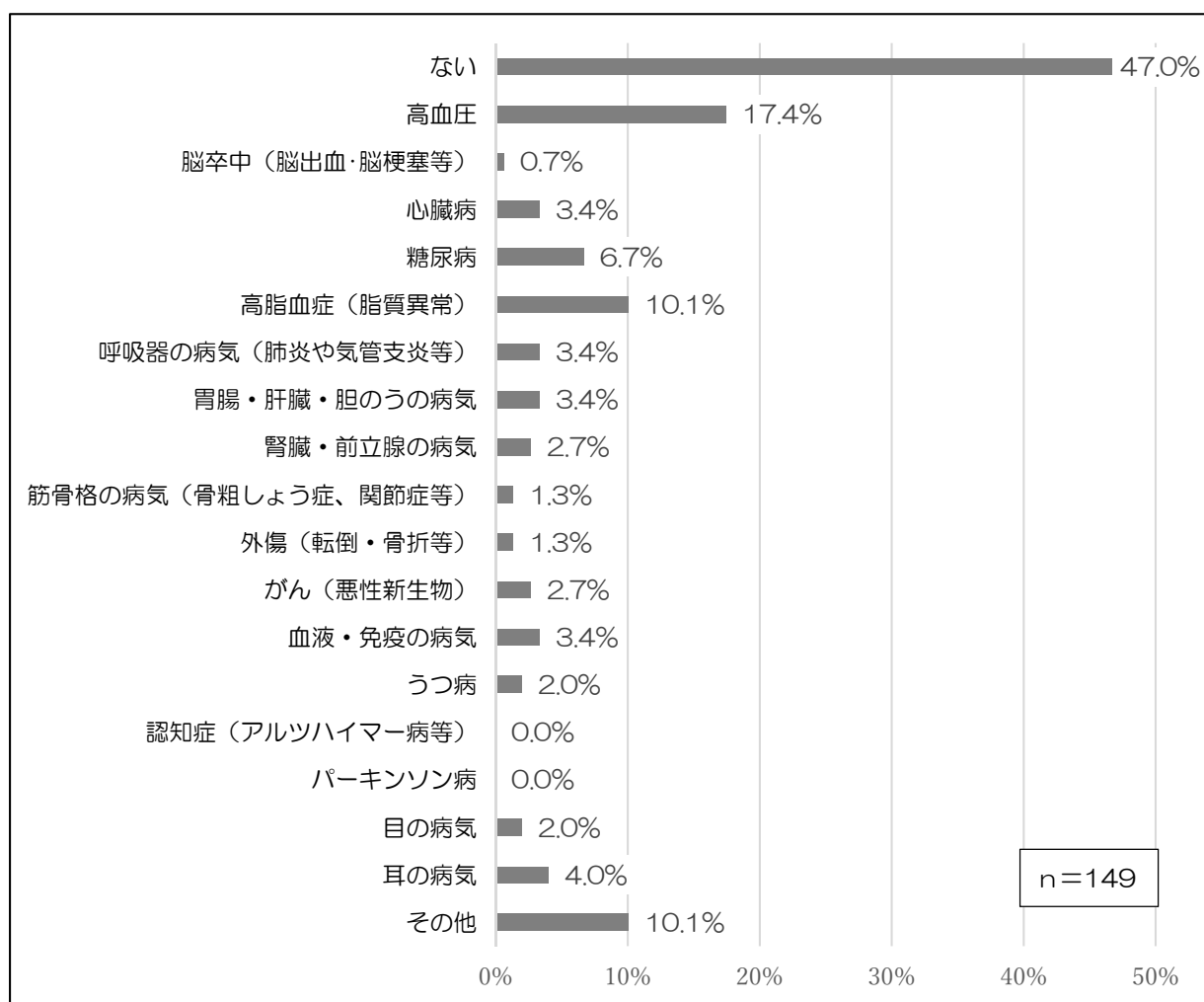
問2-4 タバコは吸いますか。(〇は1つ)

「もともと吸わない」(53.7%) が最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(24.2%)、「ほぼ毎日吸う」(21.5%) と続きます。



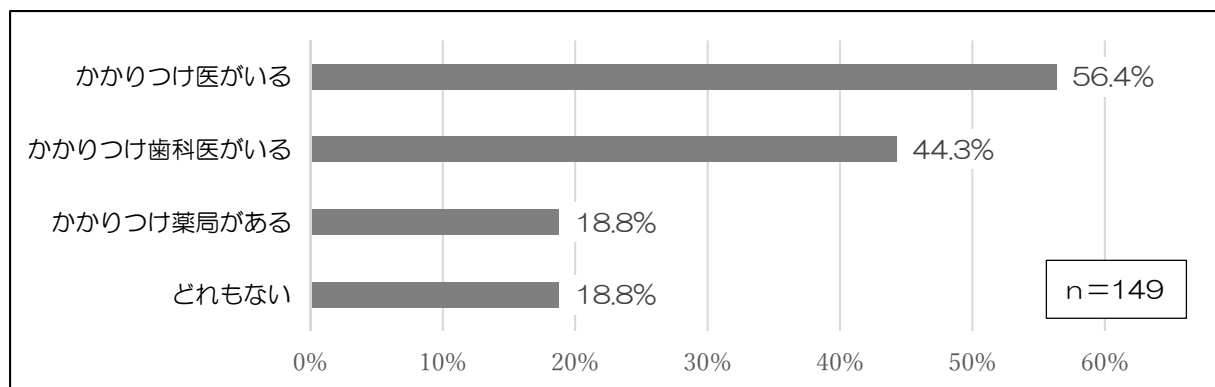
問2-5 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

「ない」(47.0%) が最も多く、次いで「高血圧」(17.4%)、「高脂血症(脂質異常)」(10.1%) と続きます。



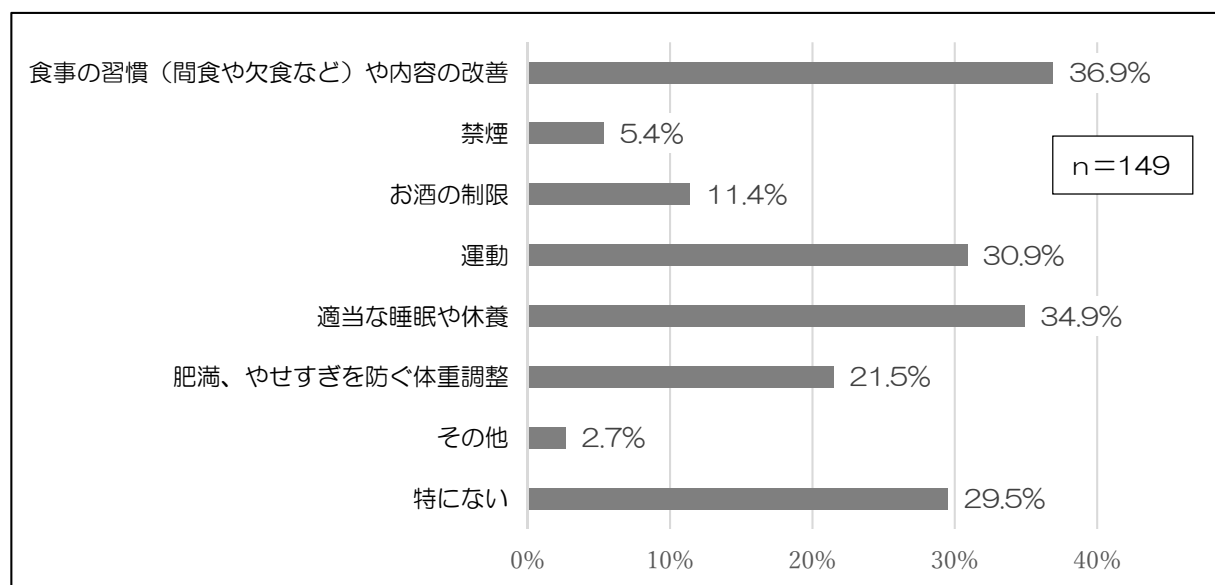
問2-6 あなたには、かかりつけ医・歯科医・薬局はありますか。(〇はいくつでも)

「かかりつけ医がいる」(56.4%)が最も多く、次いで「かかりつけ歯科医がいる」(44.3%)、「かかりつけ薬局がある」(18.8%)と続きます。



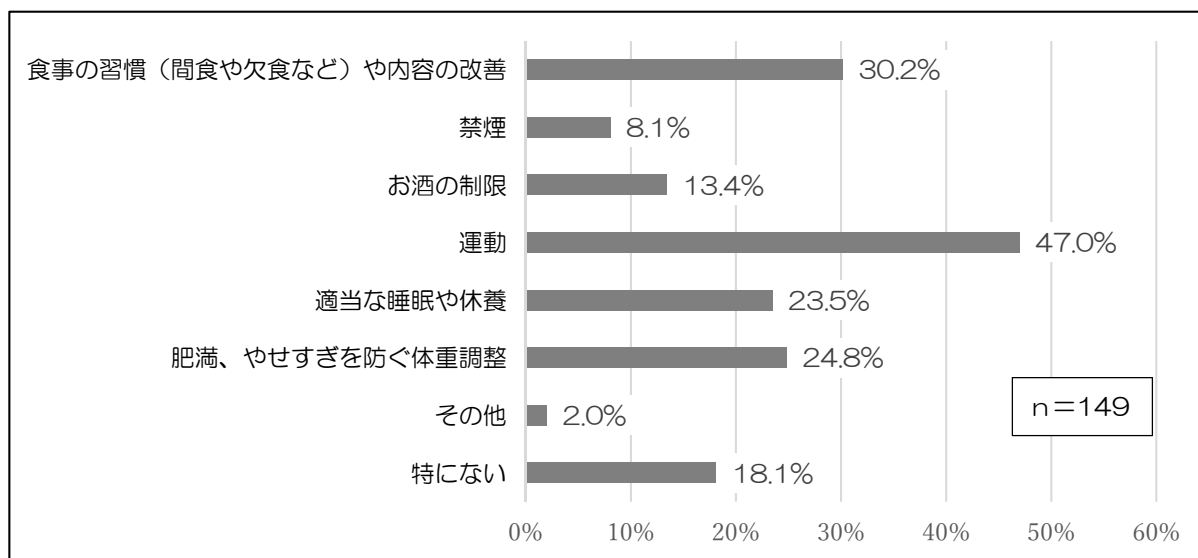
問2-7 あなたは健康のために現在取り組んでいることがありますか。(〇はいくつでも)

「食事の習慣(間食や欠食など)や内容の改善」(36.9%)が最も多く、次いで「適当な睡眠や休養」(34.9%)、「運動」(30.9%)と続きます。



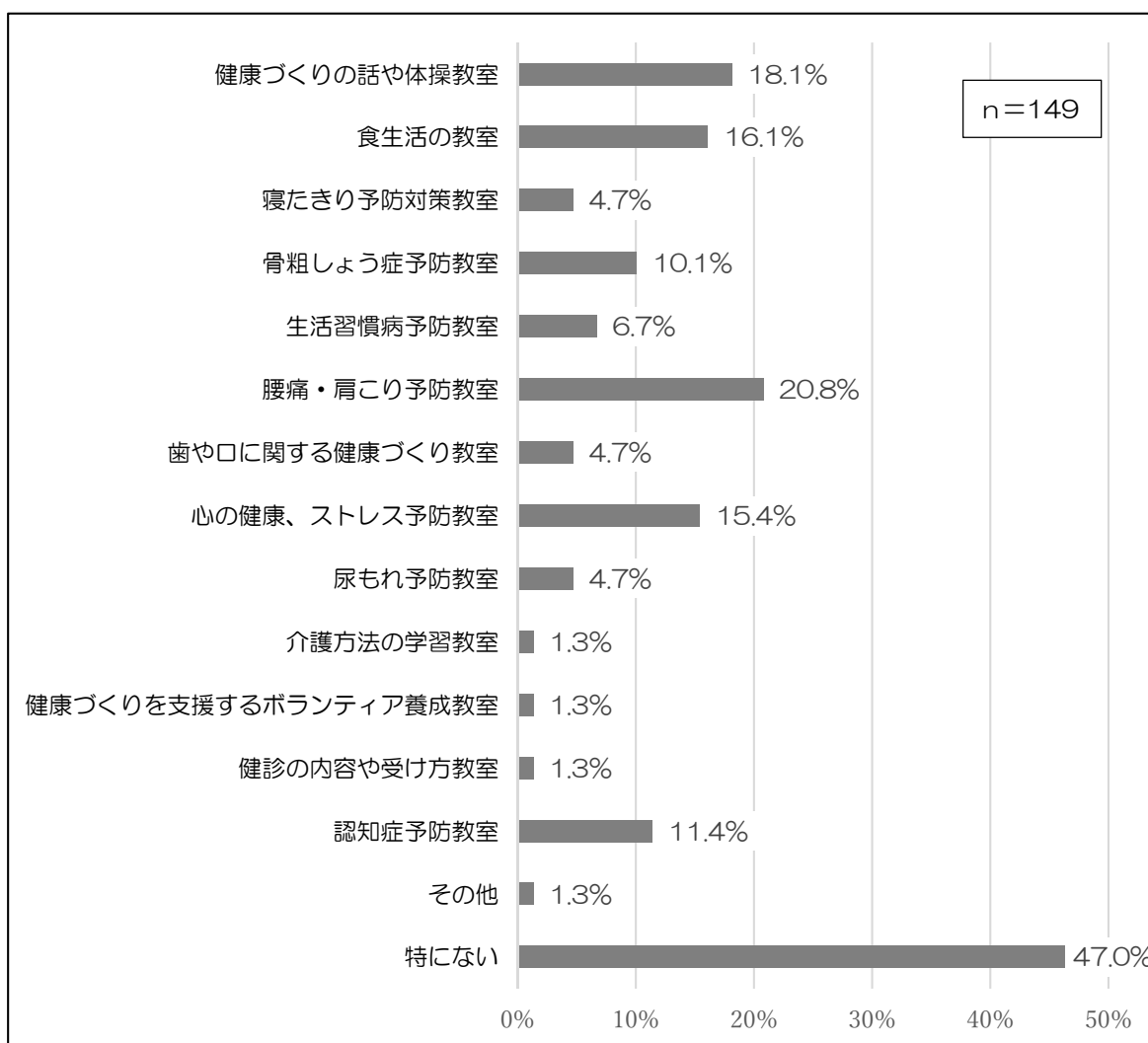
問2-8 あなたは健康のために今後取り組みたいことがありますか。(〇はいくつでも)

「運動」(47.0%)が最も多く、次いで「食事の習慣(間食や欠食など)や内容の改善」(30.2%)、「肥満、やせすぎを防ぐ体重調整」(24.8%)と続きます。



問2-9 健康に毎日を過ごしていくために、参加したいと思う学習の機会はどれですか。
(〇はいくつでも)

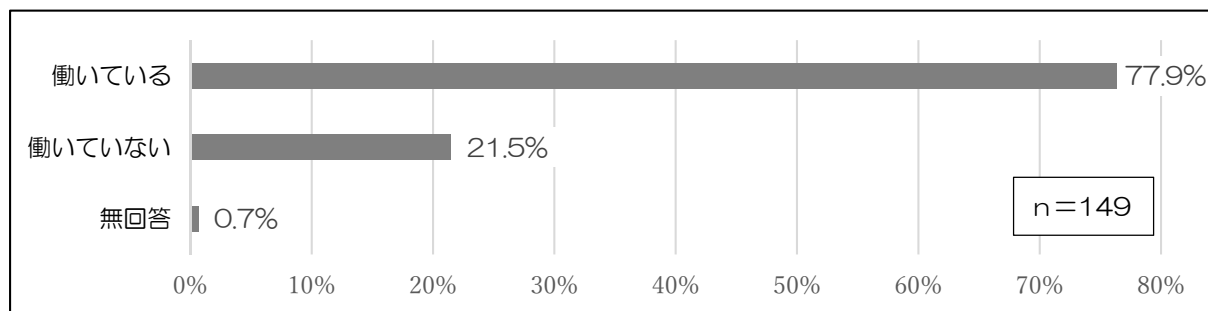
「腰痛・肩こり予防教室」(20.8%)が最も多く、「健康づくりの話や体操教室」(18.1%)、「食生活の教室」(16.1%)と続きます。「特にない」は47.0%でした。



3 就労や生きがい、ボランティア活動について

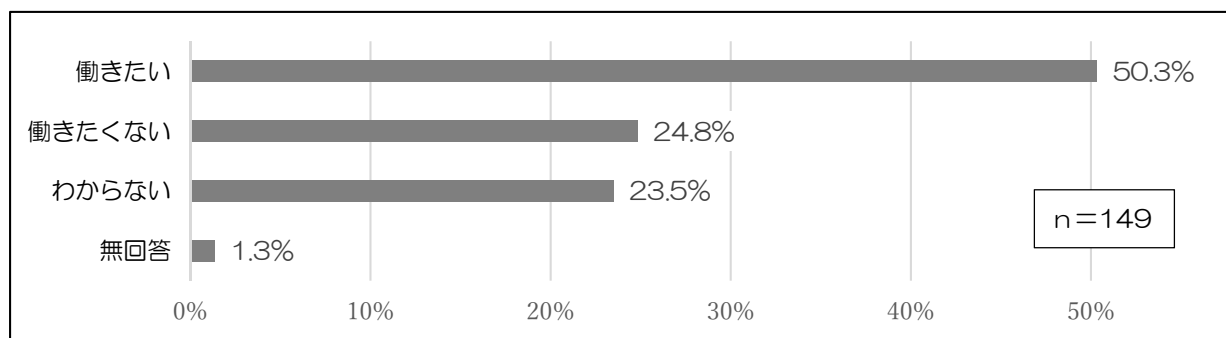
問3-1 現在、働いていますか（就労形態は問わず）。（〇は1つ）

「働いている」は77.9%、「働いていない」は21.5%でした。



問3-2 定年もしくは65歳を過ぎても働きたいと思いますか。（〇は1つ）

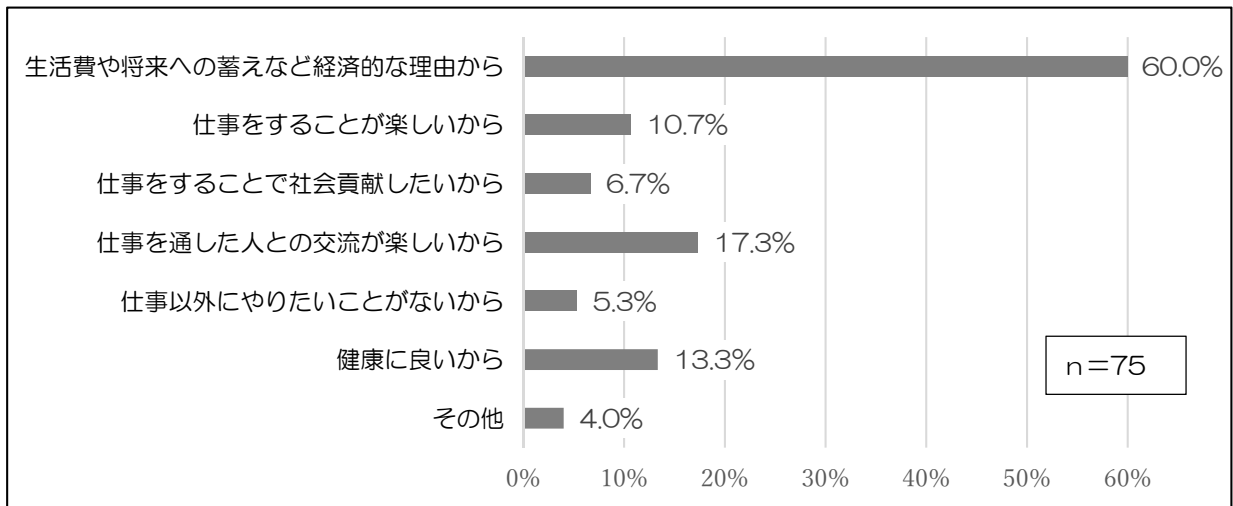
「働きたい」は50.3%、「働きたくない」は24.8%でした。



【問3-2で「1. 働きたい」の方のみ】

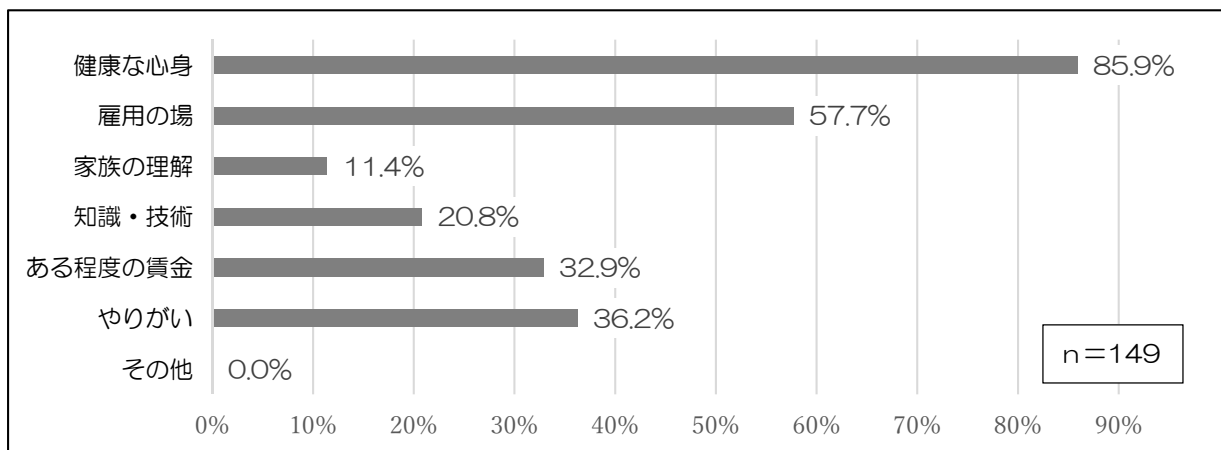
問3-2 (1) 働きたい理由は何ですか。(〇は1つ)

「生活費や将来への蓄えなど経済的な理由から」(60.0%)が最も多く、次いで「仕事を通じた人との交流が楽しいから」(17.3%)、「健康に良いから」(13.3%)と続きます。



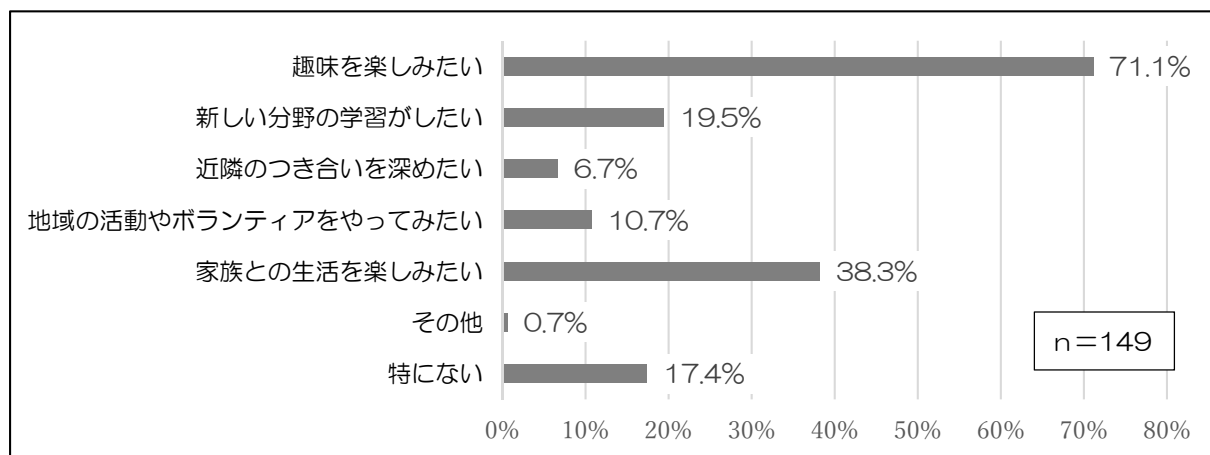
問3-3 定年もしくは65歳を過ぎて働くために必要なものは何ですか。(〇はいくつでも)

「健康な心身」(85.9%)が最も多く、次いで「雇用の場」(57.7%)、「やりがい」(36.2%)と続きます。



問3-4 定年もしくは65歳を過ぎてから、仕事以外で充実させたいと考えているものは何ですか。

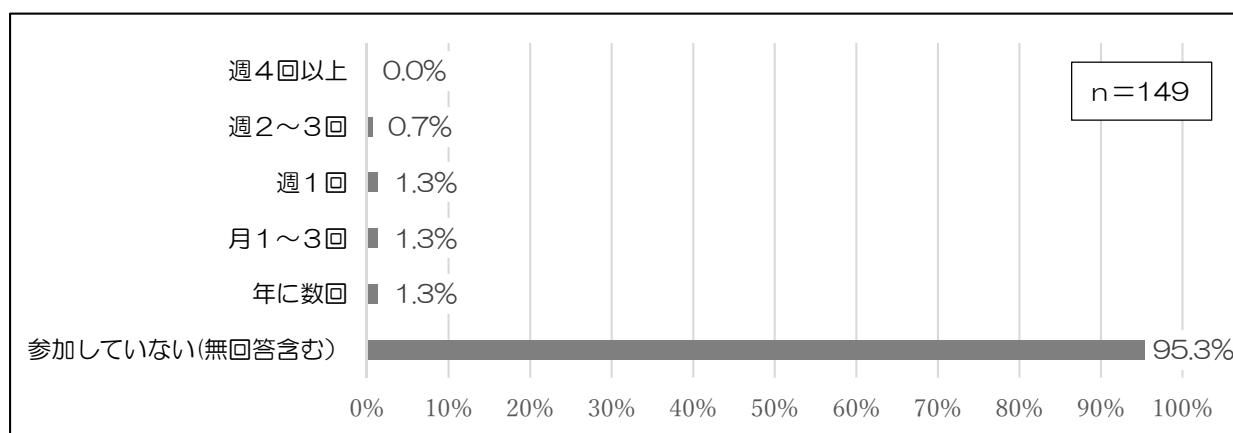
「趣味を楽しみたい」(71.1%)が最も多く、次いで「家族との生活を楽しみたい」(38.3%)、「新しい分野の学習がしたい」(19.5%)と続きます。



問3-5 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(①~⑥それぞれ〇は1つ)

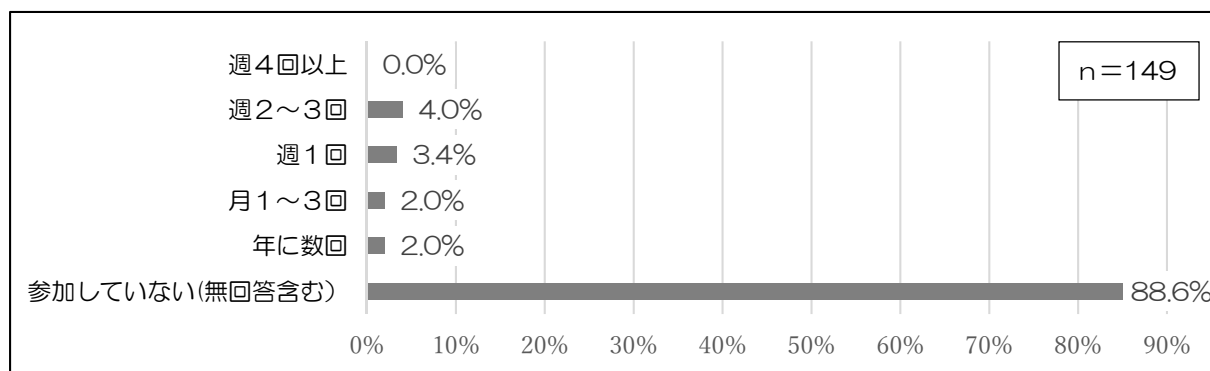
① ボランティアのグループ

「参加していない(無回答含む)」が95.3%となりました。次いで「週1回」「月1~3回」「年に数回」(いずれも1.3%)が続きます。年に数回以上参加した方は4.6%となりました。



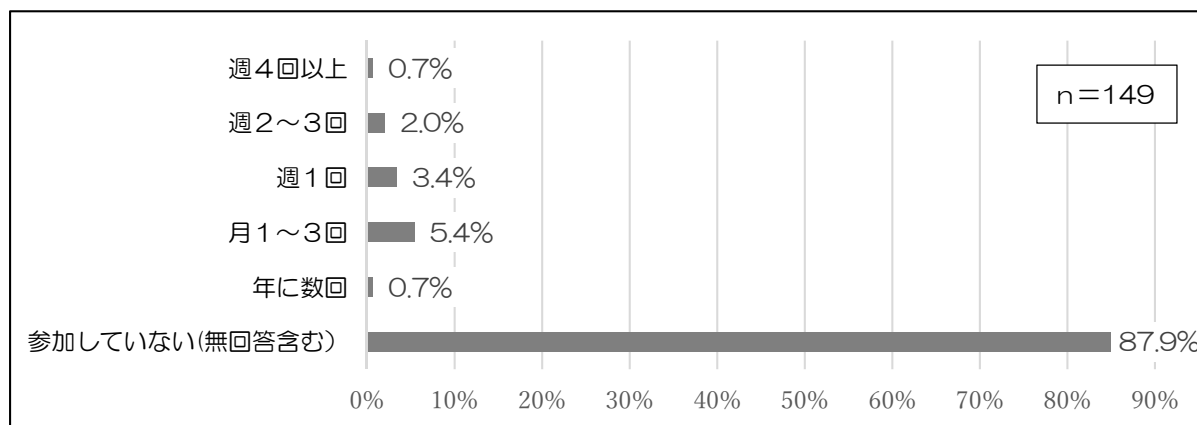
② スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない(無回答含む)」が88.6%となりました。次いで「週2～3回」が4.0%、「週1回」が3.4%となっています。年に数回以上参加した方は11.4%となりました。



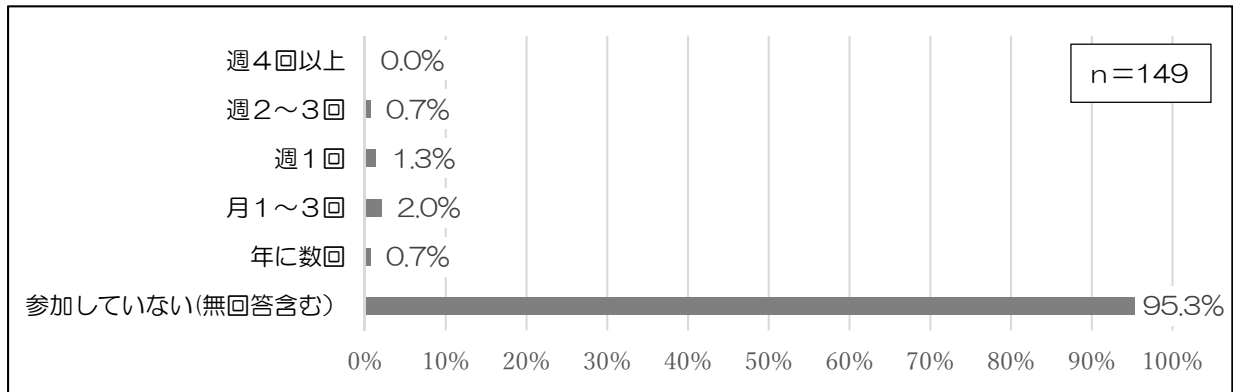
③ 趣味関係のグループ

「参加していない(無回答含む)」が87.9%となりました。次いで「月1～3回」が5.4%、「週1回」が3.4%となっています。年に数回以上参加した方は12.2%となりました。



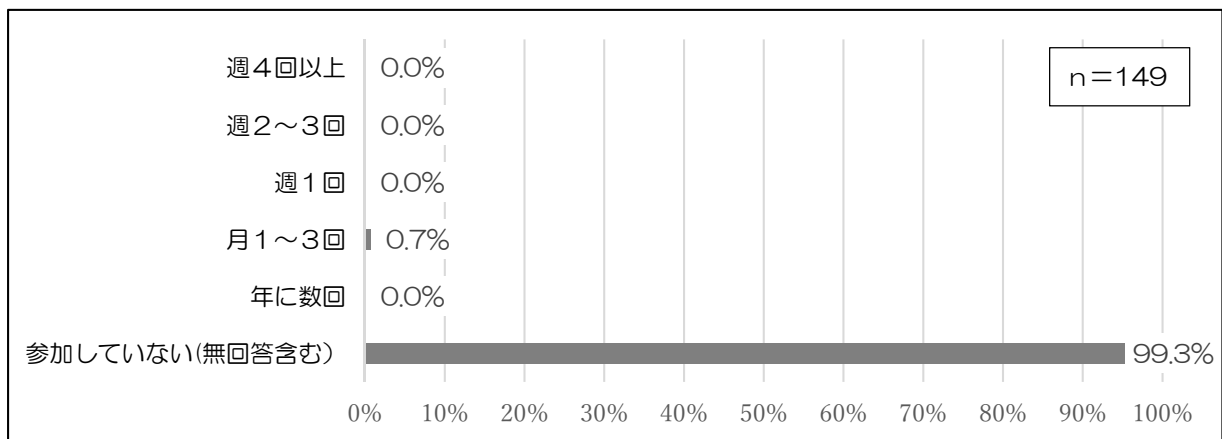
④ 学習・教養サークル

「参加していない(無回答含む)」が95.3%となりました。次いで「月1～3回」が2.0%、「週1回」が1.3%となっています。年に数回以上参加した方は4.7%となりました。



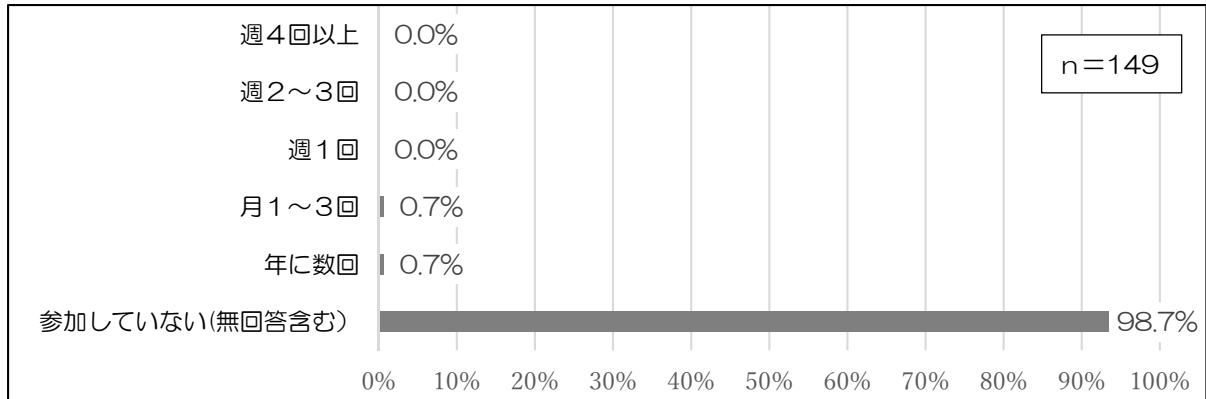
⑤ (いきいき元気クラブなど) 介護予防のための通いの場

「参加していない(無回答含む)」が99.3%となりました。年に数回以上参加した方は0.7%となりました。



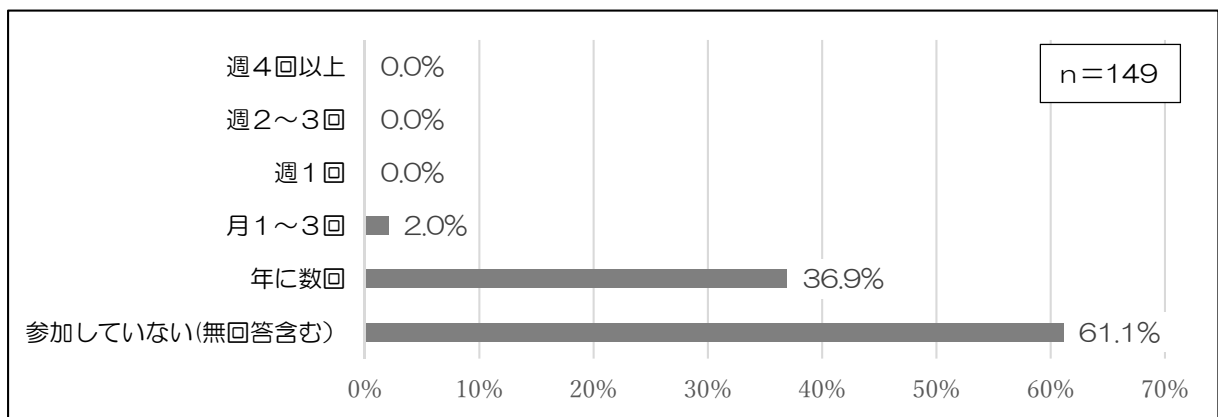
⑥ 老人クラブ

「参加していない(無回答含む)」が98.7%となりました。年に数回以上参加した方は1.4%となりました。



⑦ 区・自治会(草刈、清掃活動、集会など)

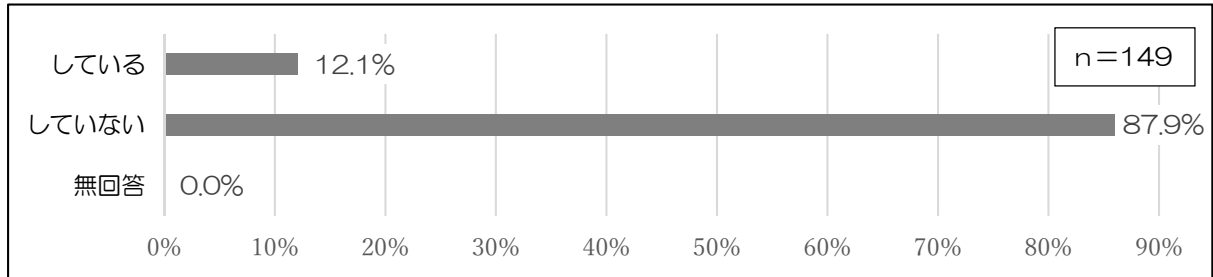
「参加していない(無回答含む)」が61.1%となりました。次いで「年に数回」が36.9%、「月1~3回」が2.0%となっています。年に数回以上参加した方は38.9%となりました。



4 ご家族の介護について

問4-1 現在、あなたは家族等の介護をしていますか。(〇は1つ)

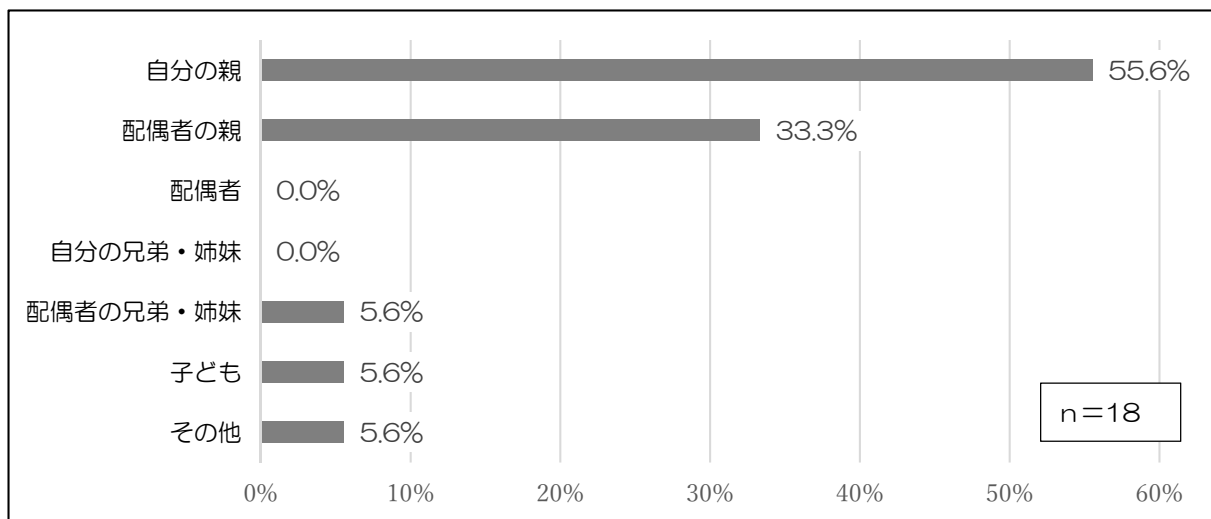
「していない」と回答した方は 87.9%、「している」と回答した方は 12.1%でした。



【問4-1で「1. している」の方のみ】

問4-1 (1) どなたの介護をしていますか。(〇はいくつでも)

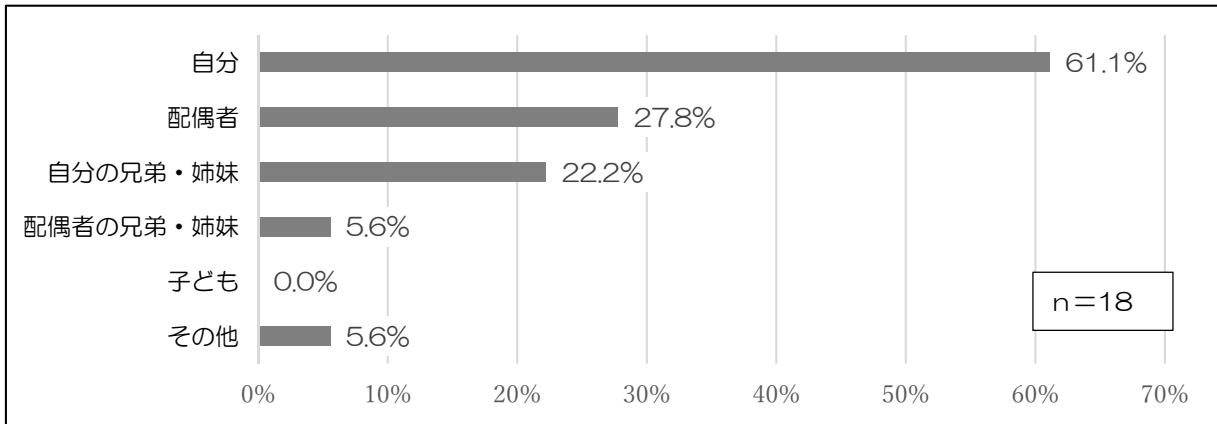
「自分の親」(55.6%)が最も多く、次いで「配偶者の親」(33.3%)となっています。



【問4-1で「1. している」の方のみ】

問4-1 (2) 主な介護者はどなたですか。(〇は1つ)

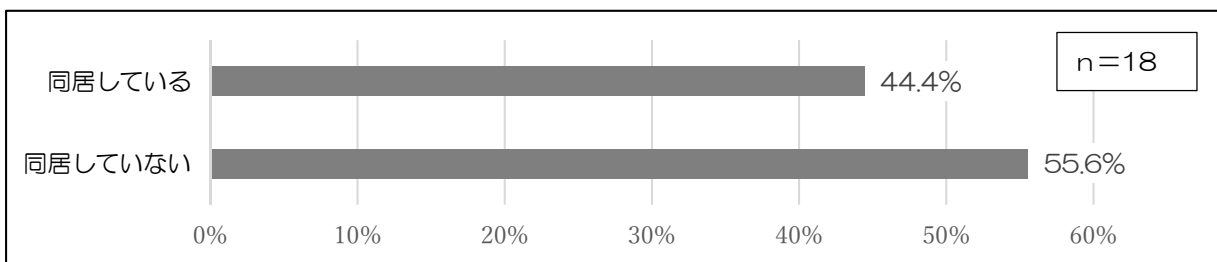
「自分」(61.1%) が最も多く、次いで「配偶者」(27.8%)、「自分の兄弟・姉妹」(22.2%) となっています。



【問4-1で「1. している」の方のみ】

問4-1 (3) 介護を受けている方とは同居していますか。(〇は1つ)

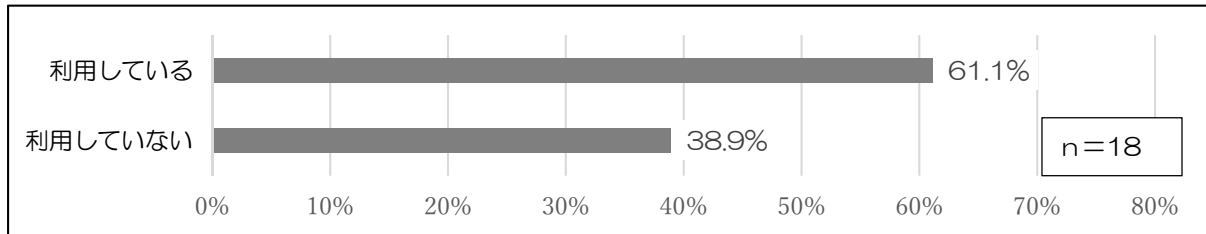
「同居していない」が55.6%、「同居している」が44.4%となりました。



【問4-1で「1. している」の方のみ】

問4-1 (4) 介護保険制度のサービスや市の福祉サービスを利用していますか。(〇は1つ)

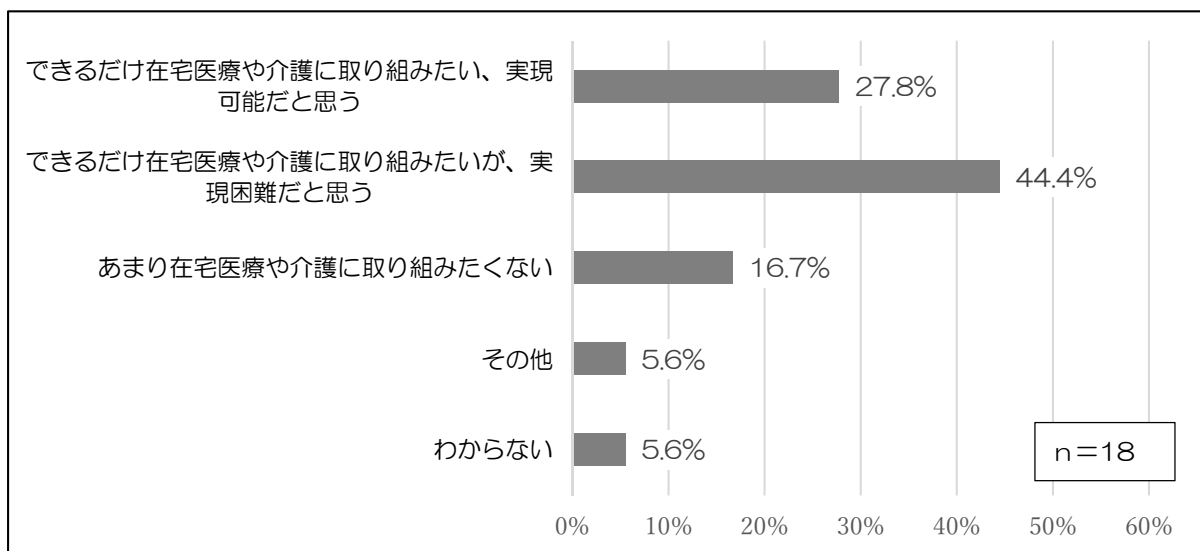
「利用している」が61.1%、「利用していない」が38.9%となりました。



【問4-1で「1. している」の方のみ】

問4-1 (5) もしも、介護を受けている方が、在宅医療や介護を希望したときは、どのようにしたいと思いますか (〇は1つ)

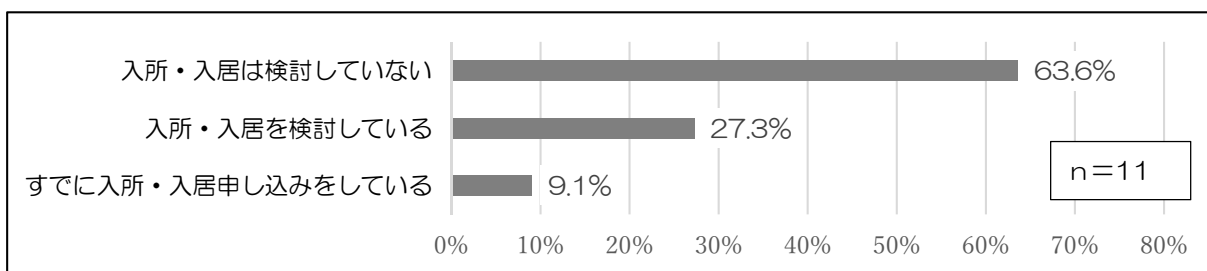
「できるだけ在宅医療や介護に取り組みたいが、実現困難だと思う」(44.4%)が最も多く、「できるだけ在宅医療や介護に取り組みたい、実現可能だと思う」は27.8%「あまり在宅医療や介護に取り組みたくない」は16.7%でした。



【問4-1(5)で「2. できるだけ在宅医療や介護に取り組みたいが、実現困難だと思う」
「3. あまり在宅医療や介護に取り組みたくない」の方のみ】

問4-1(6) 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
(〇は1つ)

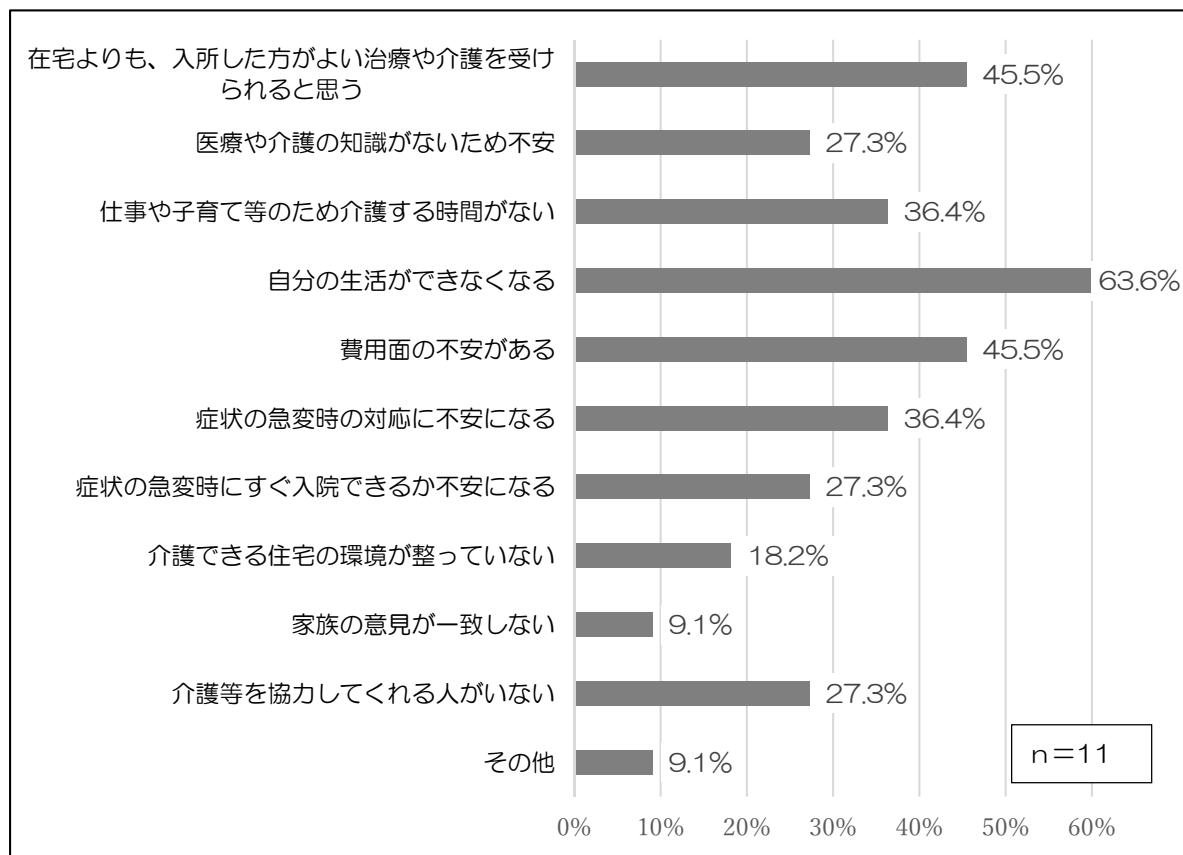
「入所・入居は検討していない」(63.6%)が最も多く、「入所・入居を検討している」は27.3%
「すでに入所・入居申し込みをしている」は9.1%でした。



【問4-1(5)で「2. できるだけ在宅医療や介護に取り組みたいが、実現困難だと思う」
「3. あまり在宅医療や介護に取り組みたくない」の方のみ】

問4-1(7) 在宅医療や介護に取り組みたくない、または実現困難だと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

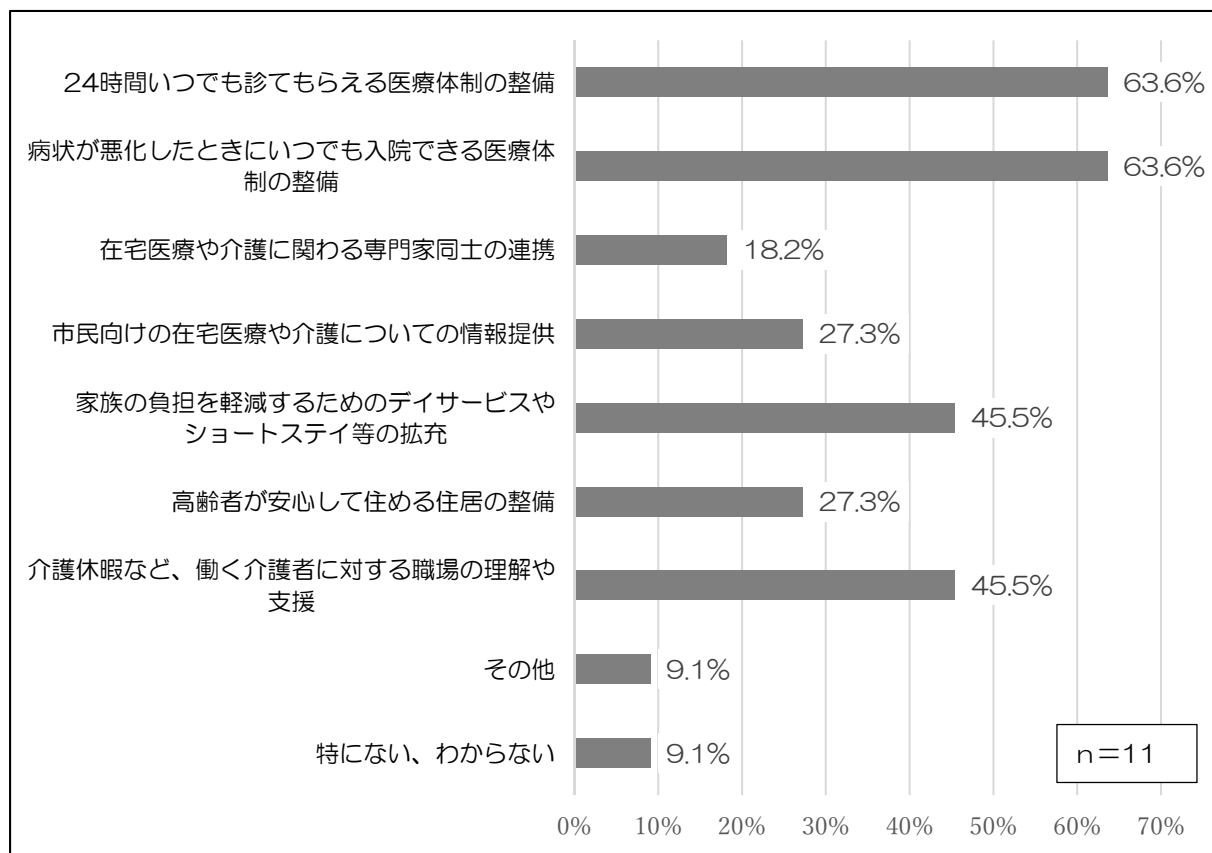
「自分の生活ができなくなる」(63.6%)が最も多く、次いで「在宅よりも、入所した方がよい治療や介護を受けられると思う」「費用面の不安がある」(いずれも45.5%)、「仕事や子育て等のため介護する時間がない」「症状の急変時にすぐ入院できるか不安になる」(いずれも36.4%)と続きます。



【問4-1(5)で「2. できるだけ在宅医療や介護に取り組みたいが、実現困難だと思う」
「3. あまり在宅医療や介護に取り組みたくない」の方のみ】

問4-1(8) 今後、在宅医療や介護を推進するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

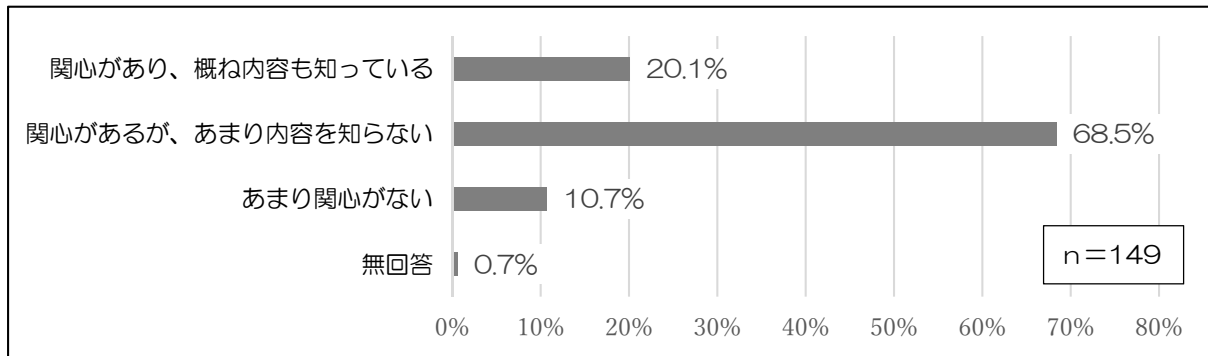
「24時間いつでも診てもらえる医療体制の整備」「病状が悪化したときにいつでも入院できる医療体制の整備」(いずれも63.6%)が最も多く、次いで「家族の負担を軽減するためのデイサービスやショートステイ等の拡充」「介護休暇など、働く介護者に対する職場の理解や支援」(いずれも45.5%)、「市民向けの在宅医療や介護についての情報提供」「高齢者が安心して住める住居の整備」(いずれも27.3%)と続きます。



5 あなた自身が介護が必要になった時の生活等について

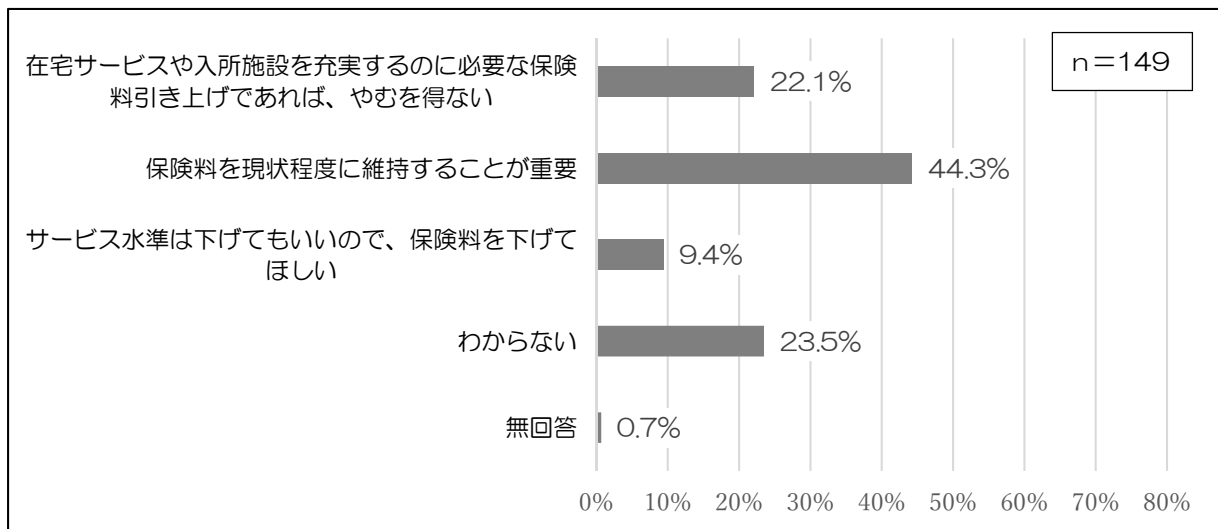
問5-1 介護保険制度の内容についてご存知ですか。(〇は1つ)

「関心があるが、あまり内容を知らない」(68.5%)が最も多く、「関心があり、概ね内容も知っている」は20.1%、「あまり関心がない」は10.7%となっています。



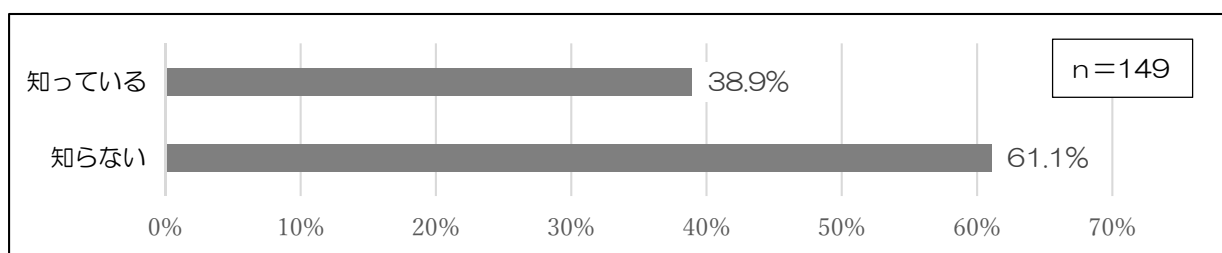
問5-2 今後の介護保険料について、お考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)

「保険料を現状程度に維持することが重要」(44.3%)が最も多く、「在宅サービスや入所施設を充実するのに必要な保険料引き上げであれば、やむを得ない」は22.1%、「サービス水準は下げてもいいので、保険料を下げたい」は9.4%となっています。



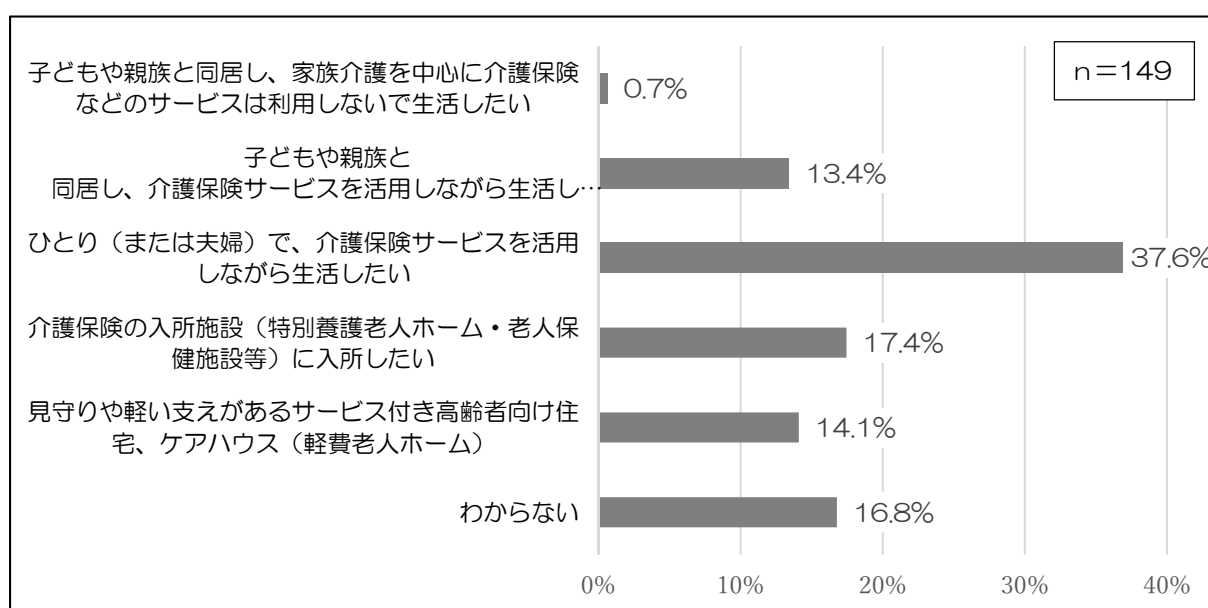
問5-3 地域包括支援センター（高齢者の介護予防のお手伝いや各種相談への対応、財産の管理や契約等の権利擁護に関する窓口で、市役所 高齢者支援課内）をご存知ですか。（〇は1つ）

「知らない」と回答した人は61.1%、「知っている」は38.9%となっています。



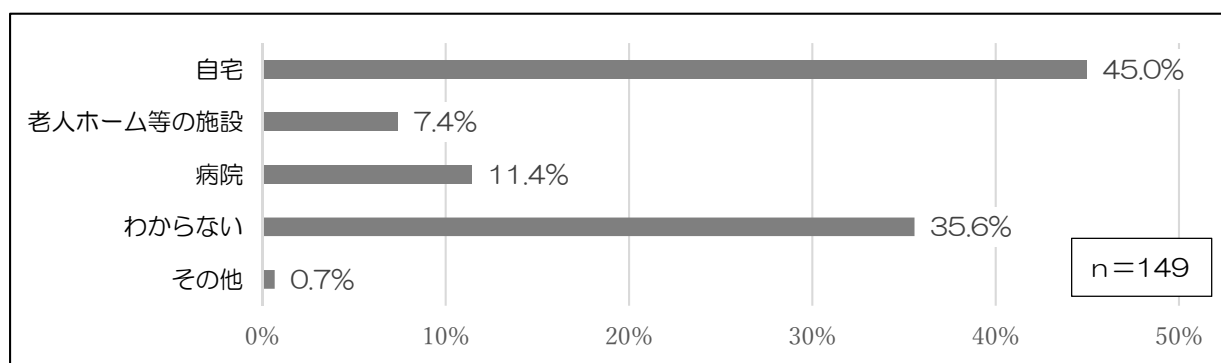
問5-4 あなたご自身は、将来的に、どこで介護を受けるのが理想ですか。現在、要介護状態でない方も、寝たきり等になったと仮定してお答えください。（〇は1つ）

「ひとり（または夫婦）で、介護保険サービスを活用しながら生活したい」（37.6%）が最も多く、「介護保険の入所施設（特別養護老人ホーム・老人保健施設等）に入所したい」（17.4%）、「見守りや軽い支えがあるサービス付き高齢者向け住宅、ケアハウス（軽費老人ホーム）」（14.1%）と続きます。



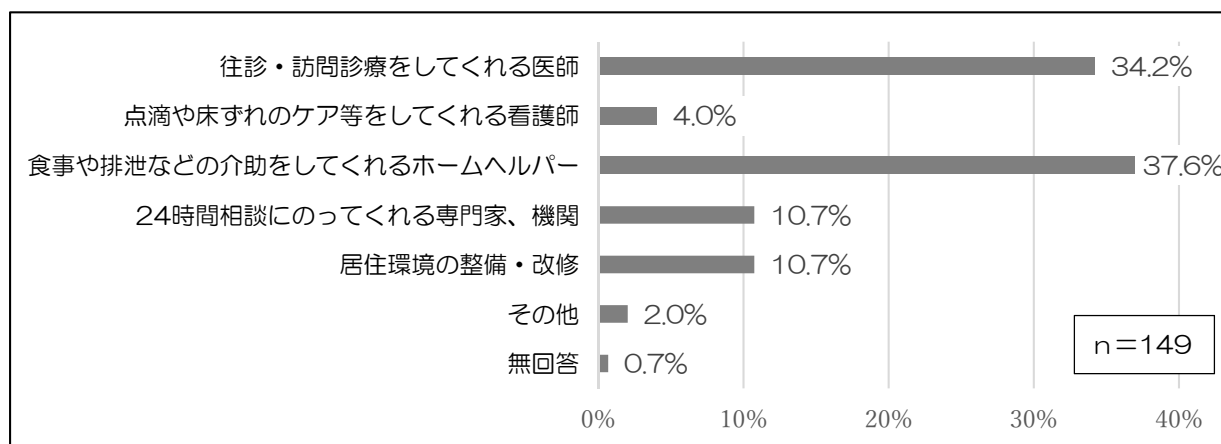
問5-5 あなたご自身は、最期をどこで迎えたいと思いますか。仮定してお答えください。
(〇は1つ)

「自宅」(45.0%)が最も多く、「病院」(11.4%)、「老人ホーム等の施設」(7.4%)と続きます。



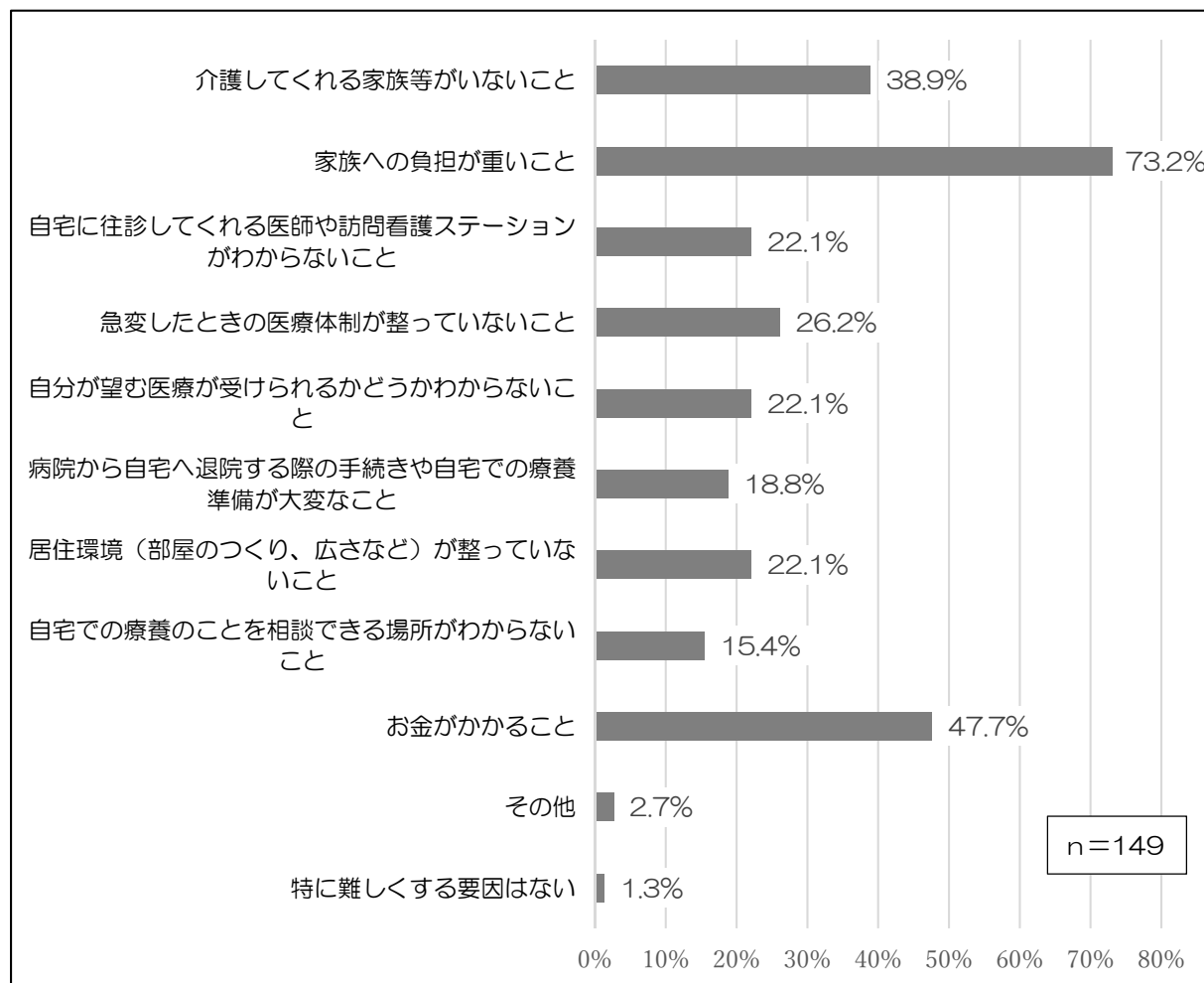
問5-6 自宅で最期まで療養するためには、主にどんなことが必要だと思いますか (〇は1つ)

「食事や排泄などの介助をしてくれるホームヘルパー」(37.6%)が最も多く、「往診・訪問診療をしてくれる医師」(34.2%)、「24時間相談にのってくれる専門家、機関」「居住環境の整備・改修」(いずれも10.7%)と続きます。



問5-7 自宅での療養を難しくする要因は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

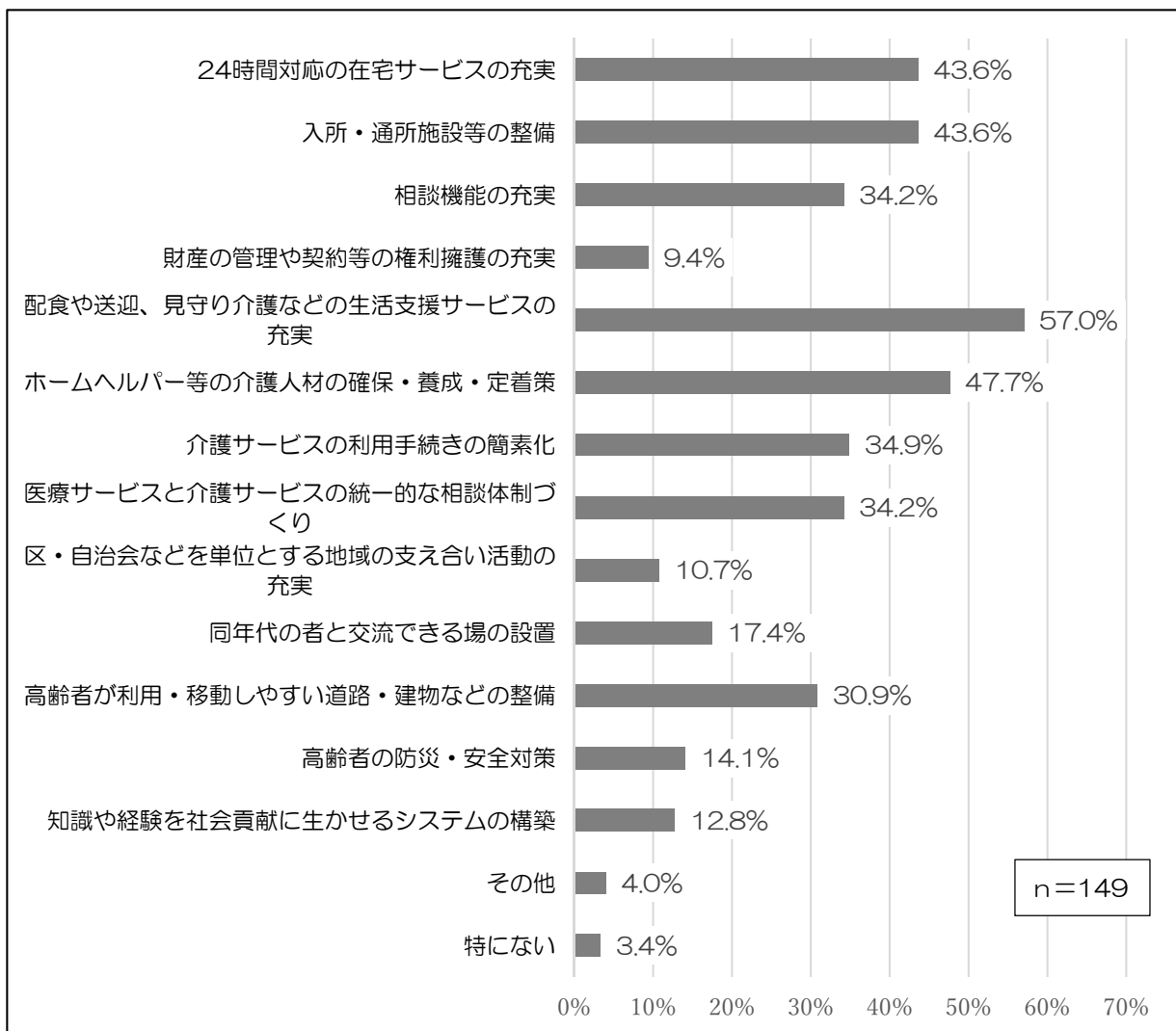
「家族への負担が重いこと」(73.2%)が最も多く、「お金がかかること」(47.7%)、「介護してくれる家族等がないこと」(38.9%)、「急変したときの医療体制が整っていないこと」(26.2%)と続きます。



6 介護保険制度や高齢者福祉施策全般について

問6-1 高齢者の住みよいまちをつくるために、今後、市においてはどのようなことが重要と考えますか。(〇はいくつでも)

「配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実」(57.0%)が最も多く、「ホームヘルパー等の介護人材の確保・養成・定着策」(47.7%)、「24時間対応の在宅サービスの充実」「入所・通所施設等の整備」(いずれも43.6%)と続きます。



大網白里市の高齢者福祉政策について、ご意見・ご提案があれば、自由に記入してください。

税金は高いけれど全く住民へのサービスが整っていないように感じる。

公共交通機関の脆弱な市内では高齢者の健康維持の為、免許（自動車）返納後、買い物に行く機会を提供する為の“足”（買い物用に各地区を回り、店等に連れていくなどの）がもっと普及されれば、家の中に閉じこもらず、五感を刺激しながら高齢者も“歩く”ことを続けられ、認知機能も衰えずに済むのではないのでしょうか？92才で亡くなった父は買い物がいつも楽しみでした。

季美の森にも巡回バスが通るようにしてほしい。小湊バスでの移動は金額が高く、利用が増えると負担が大きい。

全てかなりの不便性を感じています。良き改善を望みます。

病院まで柳橋からいけるバスを出してほしい。

生活において多少のゴミは出ます。それを出しに行くのが高齢になると大変だと思います。もう少し楽なゴミの出し方ができると良いと思います。

歳を取っても社会と交流し、生きがいを持って働ける場が欲しい。（学びなおしが出来るサポートなり情報提供が欲しい）

理想となってしまいますが、高齢者施設の街を作ることができればいいと思います。入所施設の周りに小さなお店、ひなたぼっこができるような公園など、入所している各々が自分で考え、その日の体調に合わせて日常生活を楽しめれば生きがいも感じられるのではないかと考えました。

介護は負担が重いです。介護する人々への手厚い保証が必要だと思います。人に迷惑をかけずにごせればいいのですが…。

今、高齢の親は東金の実家で老々介護で二人で暮らしています。私たち若夫婦は子供とともに大網に住んでいるため、東金の家では「安心電話サービス」を申し込んで、何か実家であればすぐ連絡がくるようにしてあります。離れて住んでいるが安心感あり助かっています。

このサービスが大網でもやっていると聞いています。（緊急通報装置のレンタル）
これはぜひ継続していただきたい。

車がなくては不便な町なので、かなり高齢の方でも運転しているところをよく見ます。コミュニティバスを増やし、路線も拡大してもらえるとよいのでは。また、他の都市のように高齢者は路線バスに無料で乗れるようにすると買い物や病院にも行きやすくなると思います。老人ホームは町中の便利な場所に増えると良いです。

将来、自分が高齢者になった場合により良い老後生活ができるような想像ができない。介護保険料等値上がりしてもよりので、福祉施設等を充実させてほしい。同時に若者の教育もしっかりお願いしたい。

高齢者が一人でも安心して生活していけるサービスや交流の場、施設等の整備をしてほしい。

この先、高齢になっても安心して簡単に利用が出来るデジタル化の推進・構築。
親世代（65歳以上）へのデジタル化の勉強会の開催⇒市役所への諸届をデジタル化することで、社会がデジタル化していることへの認識をもってもらおう。

介護保険は利用しなくても一生払い続けるので保険料の負担を軽くしてほしい。現在、どの位の人の方が利用しているのか知りたいです。数年後には年金生活になるので。（年金額も減額されているニュースも聞きます）物価があがるばかりで生活が厳しくなると思います。

高齢者を支えるためにはお金が必要。もっと大網白里市に若い世代や会社などに入ってきてほしい。市が潤わず駅、駅前もひどいままではなにも発展しない。

適度な人とのつながりをはかるため、そのきっかけとなる場がほしい。

駅周辺でない場所では、交通手段が無いので、高齢者でも運転しなければ生活できない。

介護を現在必要とする家族がいるのではないが、将来的に必要ななると思い、一度窓口相談に行った事があります。担当者は若い方でした。

丁寧に対応していただきましたが、介護を受けなくてもすむのであれば、特に話や説明をしなくても、というような感じを受けました。以来、高齢の親が1人で住んでいますが、その相談に行こうか迷っています。今すぐ必要な方優先でしょうか。そうでない人の相談窓口があったら知りたいと思いました。

夜間や土日の介護サービス支援の充実が、在宅介護（最期まで在宅で）のかなめになると思う。夜や休みの日は家族が不安。

最近ではインフォーマル（有償ボランティア）も少しずつ整ってきたが、さらなる充実が住みやすい地域づくりとなる。シニア世代の活躍の場にもなる。

自治会と市との連携が足りない。自治会まかせにせず、連携しサポートしてくれる関係づくりを積み上げてほしい。

包括のフォロー体制の充実化。（他市の動きも参考にしてほしい）

高齢になると転びやすい→打ちどころが悪いと今まで元気で寝たきりになってしまう例が多いと聞きます。道路、建物などの整備をお願いします。

移動手段の充実→市役所等公共施設にエスカレーターやエレベーターがないので整備してほしい。

福祉に携わる方の育成→大きな声ではっきりと！文書作成の仕方等寄りそいながら作成。

※私は、決して、高齢ではないですが、今年の3月に難病と診断され、今も治療中です。今までさっさとやっていたことがもたついでいて、そんな時、手を差し伸べてくれるとありがたいです。今は、どこも人手不足で、皆忙しい…はわかっているけど、よりそっていただけるとうれしいです。あと、高齢者の方は、昭和生まれが多いと思います。デジタル化が進み、仕事の能率が上がり便利だと思いますが、アナログの高齢者の方は戸惑うと思うので、早口な説明ではなく、ゆっくりと教えてあげる姿勢がほしいですね。

必要以上の介護サービスを提供しない様をお願いします。

ほぼ自立に近い高齢者が通所施設に通ったりしています。

機能訓練がほぼ無理な利用者に対して、機能訓練を行っています。

介護を必要としない、自分で生活できるレベルの身体能力を維持していくことが1番大事だと思う。

介護を必要としながら（利用しながら）長生きするよりも、健康でポックリ死んでしまいたい。

介護施設等の状況を本当の意味で把握していただきたいです。

現場が大変なのはわかりますが体制ばかり整えて状況は酷い施設のお世話になった事もあります。（家族が）どうしたらかわるのか？酷い施設を無くせるのか？自分がお世話になる事があるか？と思うと今から不安でいっぱいです。

施設のハズレが大きいように思います。

高齢者はすでに優遇されている。働き世代の税負担を軽くする方法を考えるべき、高齢者中心の日本はキツイので若者にもっと目を向けるべきです。

高齢者がもっと増えていく状況で大変だと思う。

高齢者対策も必要だが、若い人たち大網白里市に住みたいと思う施策を多くつくって欲しい。

全く知らないなので現状については知りたい。パンフレット等の紙ではなく市のホームページに専用ページをつくって体系的に説明して欲しい。

そこで問い合わせや掲示板等も活用できるようになれば便利。

公共で提供できるものには限界があると思うので、民間の提供と住民同士の助け合いも必要。

高齢者の多いまちなのに、歩道の整備がとても遅れていると思います。シルバーカーや車椅子、シニアカーでの移動中に段差が多く、狭すぎて通れない場所が多々あります。車を利用する方が多いため車ファーストのまちになっていて、これでは免許返納もできません。自転車通学の学生やベビーカーも苦労していて大変危険な場所が多々あるのは福祉の点からも真剣に取り組んでいただきたいと思います。高齢者が自由に外出できるようになればまちも活性化すると思います。

特別に何かをしてあげるのではなく、その人にとっての「普通の生活」に近づけることが重要。

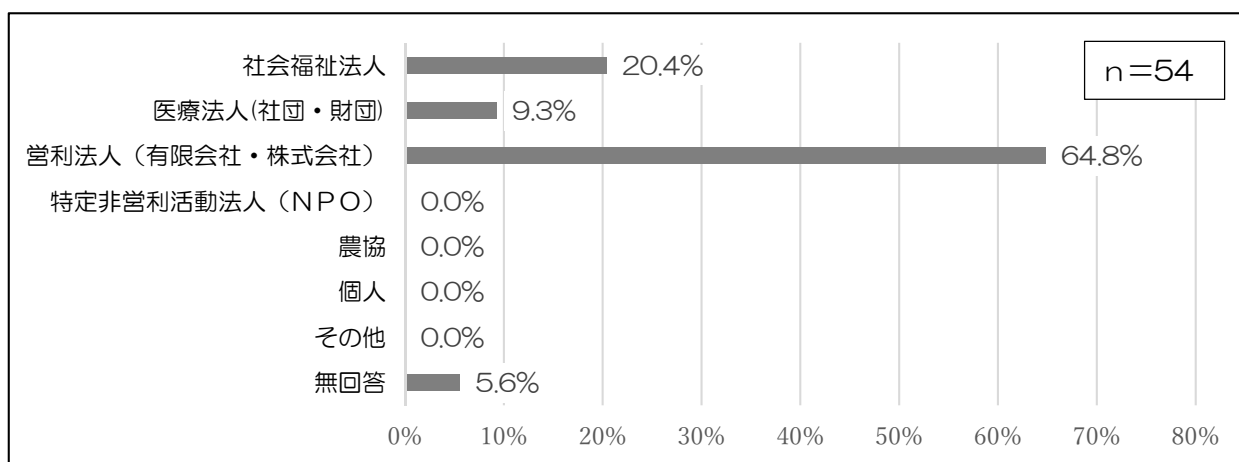
若者や高齢者に対して目が行きがちな昨今ですが、一番支えなきゃならんのは、実は、子育てや介護をしている達ですよ！

V. 介護保険サービス提供事業者 集計結果

1 貴事業所の現状と取組みについて

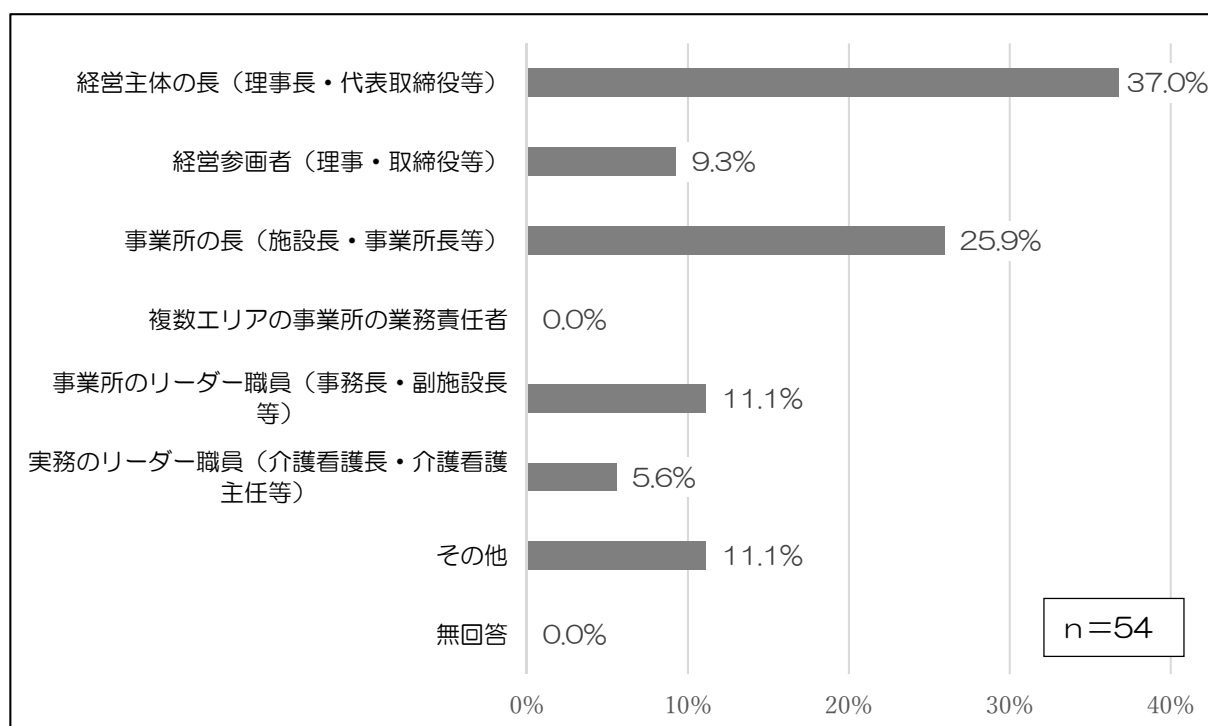
問1-1 貴経営主体は以下のどれに該当しますか。(〇は1つ)

「営利法人(有限会社・株式会社)」(64.8%)が最も多く、次いで「社会福祉法人」(20.4%)、「医療法人(社団・財団)」(9.3%)と続きます。



問1-3 この調査票はどなたがご記入されていますか。(〇は1つ)

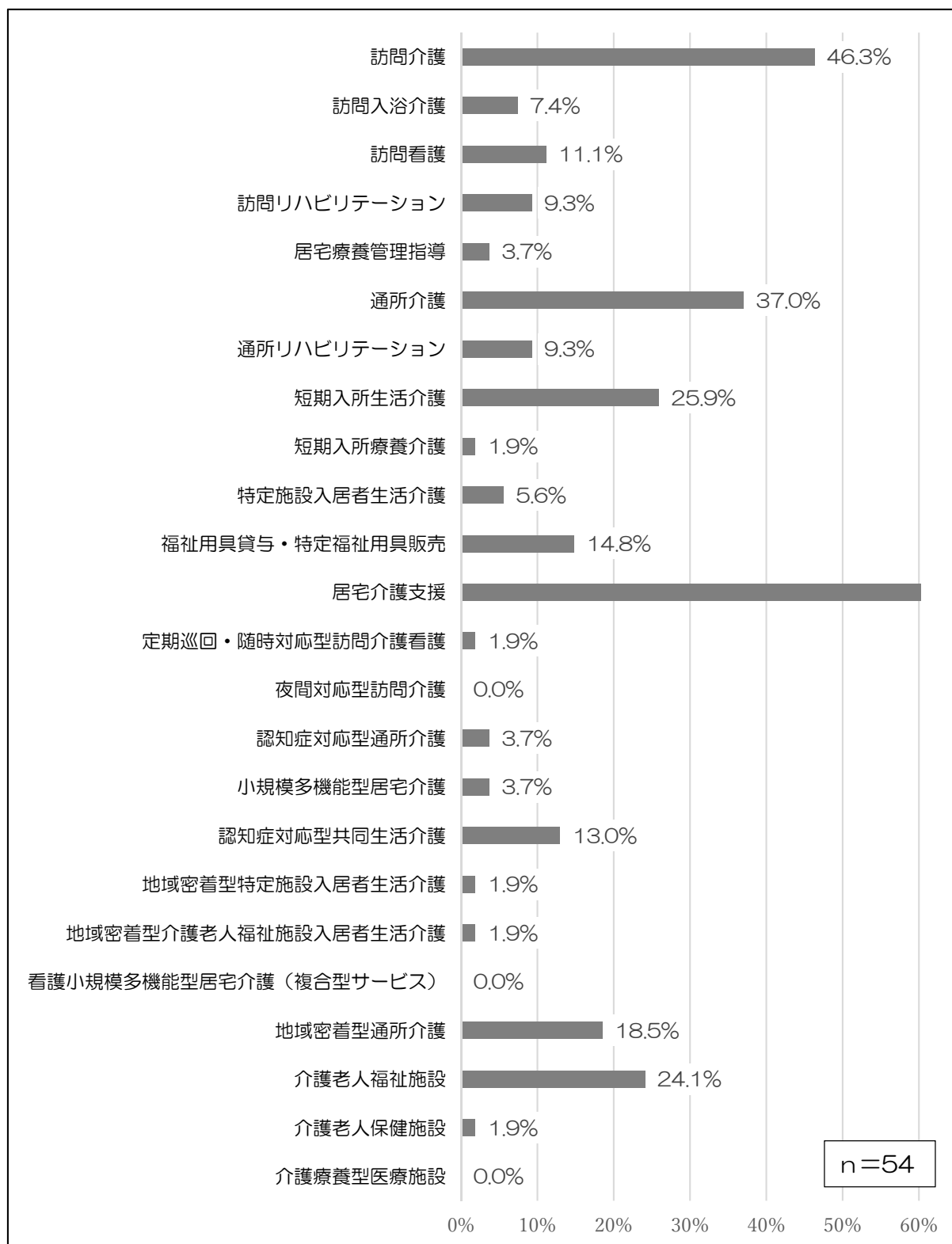
「経営主体の長(理事長・代表取締役等)」(37.0%)が最も多く、次いで「事業所の長(施設長・事業所長等)」(25.9%)、「事業所のリーダー職員(事務長・副施設長等)」(11.1%)と続きます。



問1-4 経営主体として、どの介護保険サービスを提供されていますか。(下の(1)～(4)のそれぞれに該当する番号を記入)

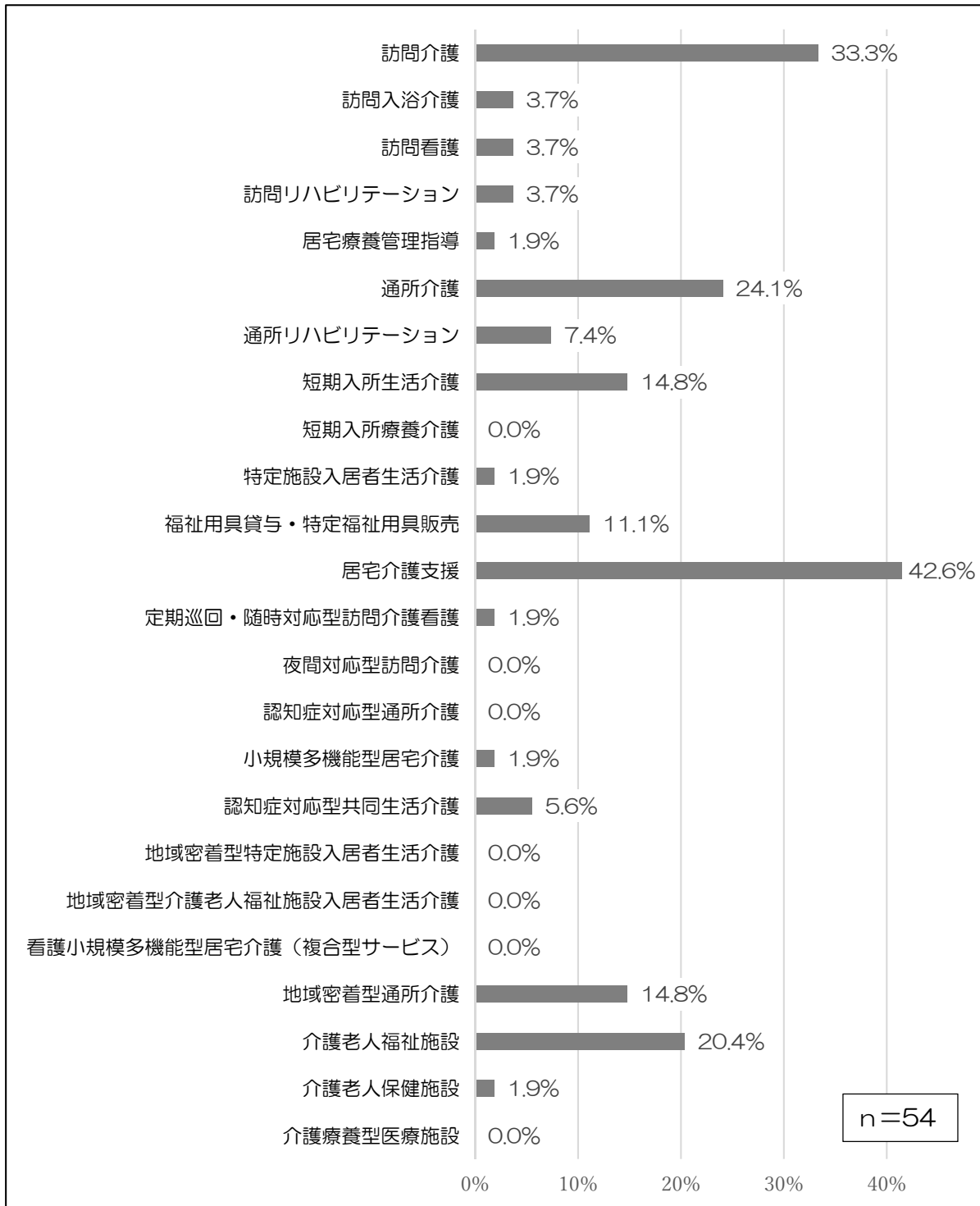
(1) 法人全体で提供しているもの

「居宅介護支援」(61.1%)が最も多く、次いで「訪問介護」(46.3%)、「通所介護」(37.0%)と続きます。



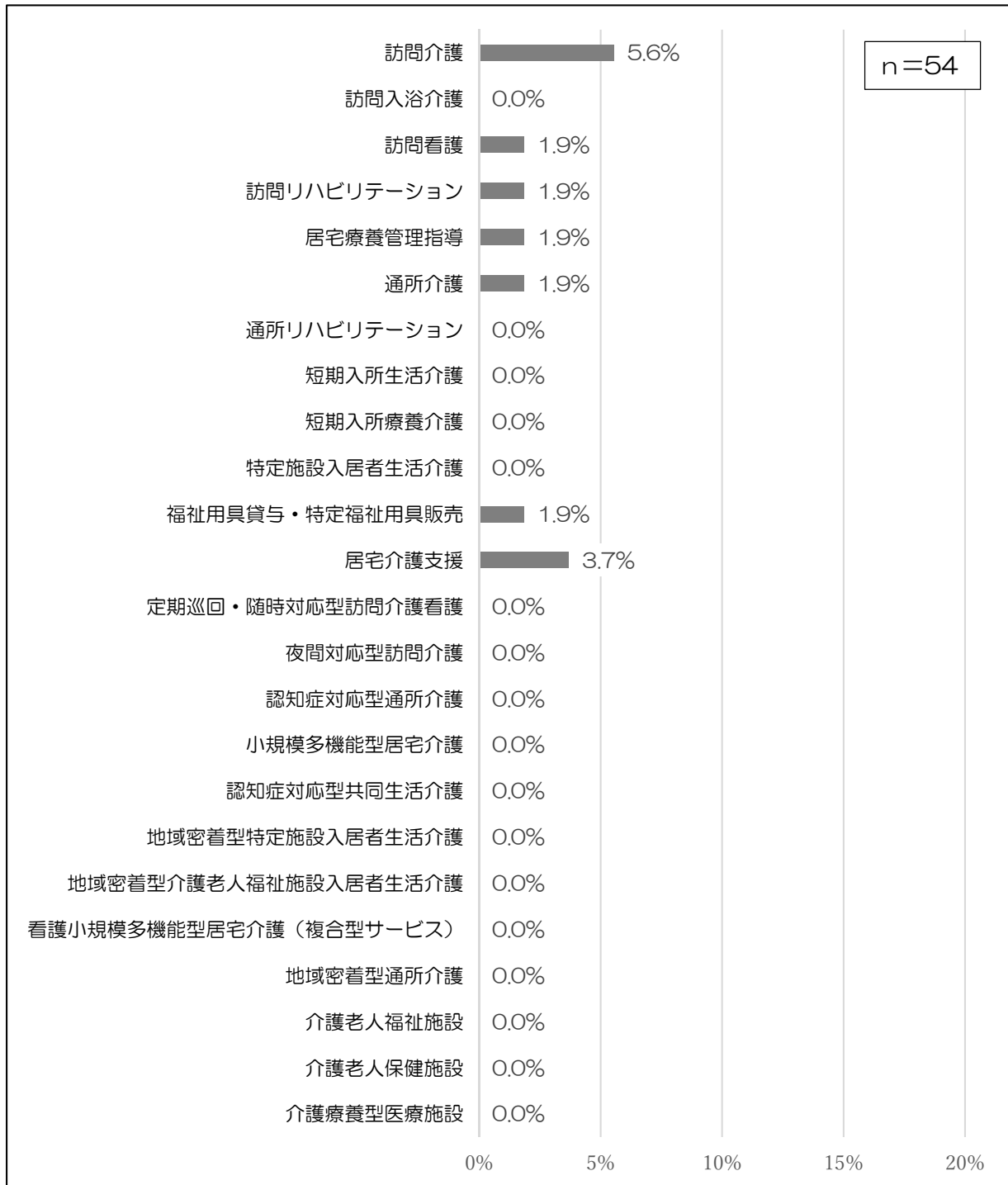
問1-4 (2) 大網白里市域を対象に提供しているもの

「居宅介護支援」(42.6%)が最も多く、次いで「訪問介護」(33.3%)、「通所介護」(24.1%)と続きます。



問1-4 (3) 市域において新設と拡充を検討しているもの

「訪問介護」(5.6%) が最も多く、次いで「居宅介護支援」(3.7%) となりました。



問1-4 (4) 市域において縮小・廃止を検討しているもの

回答した事業所はありませんでした。

問1-5 貴経営主体では、現段階において具体的に、大網白里市内に、以下の施設を新規（増床含む）に整備したい意向はありますか。意向がある場合、整備人数や開始希望年月、候補の場所を右欄に記入してください。

回答した事業所はありませんでした。

2 従業員の確保について

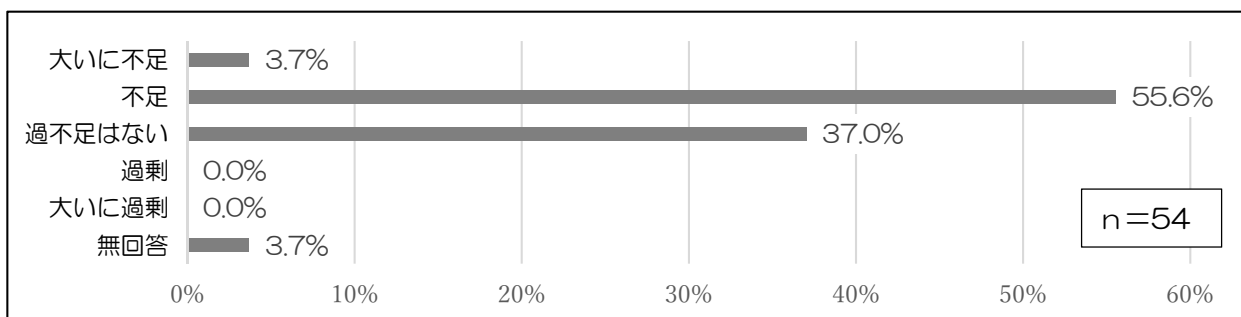
問2-1 貴事業者の従業者の人数と内訳についてお答えください。（※この設問は、4月1日を基準にお答えください。）

①従業員の平均人数	30.2人
②従業員の平均年齢	51.3歳
③男性職員の平均人数	6.1人
④女性職員の平均人数	22.0人
⑤正規職員の平均人数（男性）	5.1人
⑥非正規職員の平均人数（男性）	1.9人
⑦正規職員の平均人数（女性）	12.0人
⑧非正規職員の平均人数（女性）	11.0人
⑨1年間の平均採用人数	5.7人
⑩1年間の正規職員の平均採用人数	3.1人
⑪1年間の非正規職員の平均採用人数	2.9人
⑫1年間の平均離職者数	6.1人
⑬1年間の正規職員の平均離職人数	3.3人
⑭1年間の非正規職員の平均離職人数	3.2人
⑮離職者の平均勤続年数	3.2年

※⑨～⑭の「1年間」は令和3年4月1日～令和4年3月31日となります。

問2-2 貴事業所では、従業者の過不足についてどのように感じていますか。（○は1つ）

「不足」(55.6%)が最も多く、次いで「過不足はない」(37.0%)、「大いに不足」(3.7%)と続きます。「大いに不足」「不足」を合わせると59.3%となります。

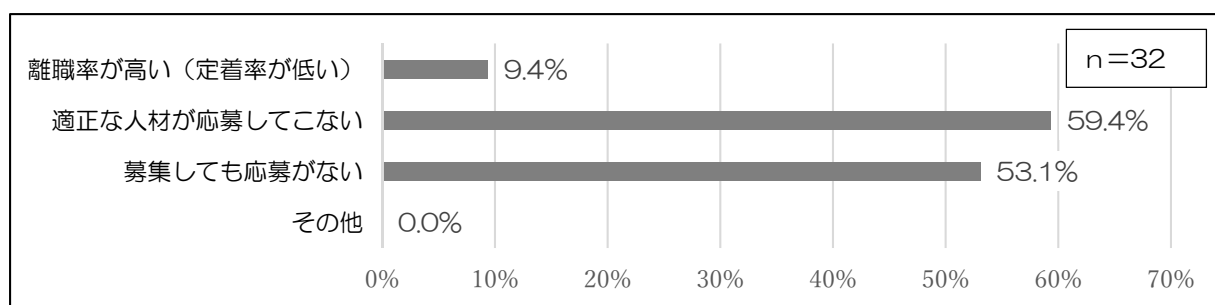


【問2-2で「1. 大いに不足」「2. 不足」の方のみ】

問2-2(1) 従業者不足を感じている場合、その不足の理由をお答えください。

(〇はあてはまるものすべて)

「適正な人材が応募してこない」(59.4%)が最も多く、次いで「募集しても応募がない」(53.1%)、「離職率が高い(定着率が低い)」(9.4%)と続きます。



問2-2(2) それぞれの理由の原因と思われるものをお書きください。(自由記述)

送迎ができないなど、必要なスキルがない。

応募の数が少ない。介護は大変な仕事というイメージがある。

ホームヘルパー(訪問介護員)のなり手の減少

ホームヘルパーの職業としての魅力がない。

賃金が合わない

コロナ禍において訪問介護から離れる人が増えている。(収入が安定しない為)

70歳以上の人たちが応募してくるが、30~50歳までの人たちは大きな事業所に応募してしまう。

いつでも入れる非社会保険加入のパートを求人しているが、正規の希望やダブルワーク等のミスマッチとなっている。

応募があっても小さい子供がいる方も多く、オンコール対応できない方が多い。

介護経験のある方の募集が少ない。

介護職:特に訪問介護のイメージ

介護を仕事としてやっていこうとする人材が少ない。

業務が細かく、利用者に寄り添う時間より書類整備に追われ、担当件数を持ちたくない人材ばかりで、居宅の収入は減り、経営困難

コロナの影響もあり、100%での受け入れには不安がある。

仕事内容が思っていたよりきつく感じたのではないか。
職種が原因か？
新規事業であったため個々の意見の相違
人口減少と高齢化による介護人材の不足。
他職種と比べ賃金が安い。
単価が上がらない（介護報酬）
地域における職種ごとの絶対数が少ない。
賃金や賞与
低賃金
特に未経験者に対して基本の指導が出来ない。
肉体的、感情的な労働に対する対価の低さ。
入居者が増えているため
ハローワークが蘇我で遠い茂原の方がよい。資格者が少ない。
訪問介護のヘルパーは1人で利用者宅に伺って仕事をするので敷居が高い。
慢性的な人材不足と同業者の増加により優秀な人材が取り合いになっている。より賃金が高い都会へと人が流れている。
夜勤可能な職員、試用期間を過ぎても1人区でシフトに組み込むことが難しい。
職種としては調理員ですが、仕事内容が大変な印象を持たれていると思われます。

問2-3 従業員の定着・退職防止のために、貴事業所で工夫されていることには、どのようなことがありますか。具体的に記入してください。（自由記述）

研修や個別カンファレンスを定期的で開催し、自信を持って仕事ができるように心がけている。
福利厚生の充実、インフルエンザ全額事業所負担での接種、コロナワクチン優先接種対応、マスク・消毒等の配付等

都合による休みを取れるように調整する。
業務負担がかたよらないようにする。

適正な人事考課、充実した福利厚生、有給使用（長期のリフレッシュ休暇）
勤務時間等、個々に合わせて働きやすいようある程度は柔軟に対応している。

<p>不満がたまらないようになるべく希望に沿うようにしている。 社有車を多めに用意している。</p>
<p>賃金ベースアップ 研修、教育体制の強化</p>
<p>1人1人のとのコミュニケーションを大事にしている。</p>
<p>OJ等をしっかりと行い、困っていることがないか常に声を掛けるようにしている。話しやすい職場づくりを心がけている。</p>
<p>家族の為、特に工夫はない。</p>
<p>希望制休日</p>
<p>キャリアパスの構築、研修。</p>
<p>経営者とスタッフがいつでも話し合うことが出来るよう言葉をかけている。</p>
<p>コミュニケーションをよくとっている。</p>
<p>残業時間の抑制、有給取得率の向上</p>
<p>実務者研修受講費用の支援など。</p>
<p>シフトで休日の希望を反映すること。 有給取得を積極的に行う。</p>
<p>社会保険完備、働きやすい環境（社会労務士を顧問で配置し、全て法定通り）を整えている。</p>
<p>従業員とのコミュニケーション</p>
<p>従業員報酬の値上げ、ボーナス支給（代表のボーナス無支給）</p>
<p>就業時の担当職員に対し独自の気配りを行なっている。</p>
<p>自由に直行直帰や振替休日を利用できるようにしている。（事務所が休日と言っている電話や緊急対応が多いので）</p>
<p>状況に応じ、本人と相談の上、勤務時間を決定している。</p>
<p>職員の主体性を大切にしている。必ずベースアップ。</p>
<p>親切指導に心掛ける。</p>
<p>信頼関係を大切にしています。</p>
<p>退職金制度、従業員向けイベント</p>
<p>誕生日祝い金、利益の分配（7月、12月）定期昇格</p>

小さな子供がいる職員も多いので、突発的な休みでも安心して休める環境・体制作りを行なっていく。
賃金UPやキャリアパス、休日（有給）の柔軟な対応など。
定期的な面談。扶養の範囲内での出勤。残業させない。学校行事は出席させる。
特に工夫はしていないが、残業代は正規は15分刻みで、非正規は5分刻みで計算している。
悩みを相談しやすくするため、日々、観察して声かけする。
働きやすい職場、残業が少ない、またはない。子供がいる場合、学校の行事等、休みやすい職場であること。
働きやすい職場環境の整備。可能な限りの賃金支給。
面接の時に仕事に対する思いや得意分野、苦手な事等、細かく聴き、当社での業務内容を具体的に説明する。
面談、ハラスメント防止委員会設立による活動、給与の見直し。
休みやすいシフト（余裕のある人員）、負担軽減。
リクルート活動の充実、外国人材の積極的な採用。
職場環境を良好に保つために、職員間のコミュニケーションを大切にするようにしています。

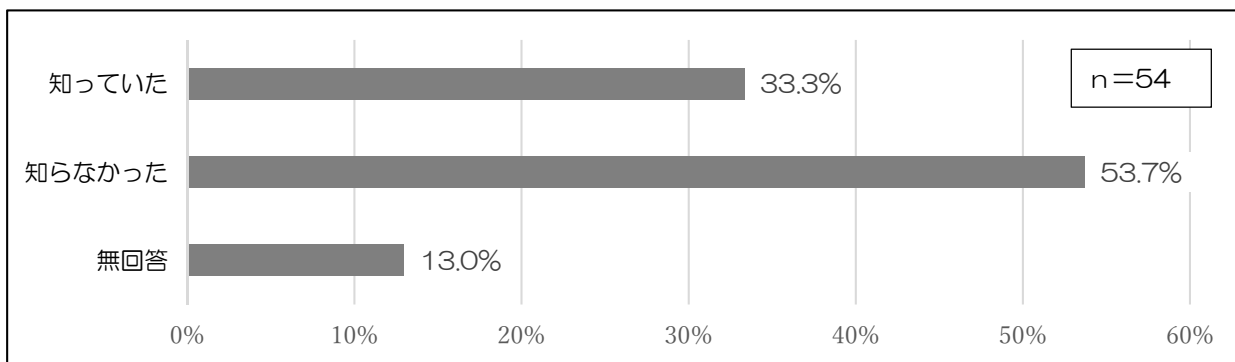
問2-4 従業員の定着・退職防止のために、貴事業所は今後どのようなことが必要だとお考えですか。具体的に記入してください。（自由記述）

給料のベースアップ
キャリアアップができる（しやすい）体制づくり スキルアップ支援
給料保障 訪問介護員としてのやりがいをもっと感じることができるような体制作り
利益の確保により、昇給を実現させること。 家事、家族の介護、見守り等と仕事の両立ができるようにすること。
明るい職場作り。

介護の仕事に自信と誇りをもてて、やりがいを感じられるような教育。
介護報酬の値上げが必用
介護保険制度の縛りが多すぎるので事業所単位で考えても難しい。
キャリアパスの構築、研修のさらなる推進
給与アップ、余裕をもたせられる人材確保と人材教育。
給与の見直し（能力の評価を適正に行う仕組み作り）
経営者側の賃金改善への意欲
貢献度の高い職員、将来性が見込める職員の判断。
これからも経営者自ら、営業、納品、引き上げ等、率先して現場に行く。また、従業員を休ませる為、土日祝日の対応も今まで通り自ら行う。
サービスの確保
仕事をやりやすい環境づくり。
従業員の平均年齢を下げたい
精神的なサポート、働きやすい環境作り。
制服支給、シューズ等の消耗品などの補助、研修費の補助、職員休憩室などの充実、福利厚生を手厚くしては？
専門職として自信を持って仕事に取り組めるよう内部、外部研修の機会を確保し、質を高めていくこと。
そもそもミスマッチのない方の採用をしていくことも重要と考えている。
待遇向上
誰もが話しやすい職場づくり。
賃金、賞与の増額
賃金改善や福利厚生の充実。
賃金面での改善（現実的になかなか難しいですが）
何でも話しやすい状況をつくる事
人間関係の構築
働きやすい、安心して働ける環境を整備することが重要だと思う。
ライフステージに合わせて勤務できるように、勤務パターンを選択出来るような取り組み。
賃金UPやキャリアパス、休日（有給）の柔軟な対応、従業員の相談窓口の充実やケアの時の方法などの改善など。
働きやすい職場環境の整備。可能な限りの賃金支給。

問2-5 大網白里市では、「介護職員初任者研修」または「実務者研修」の受講に要した費用の一部を補助していますが、このことをご存知でしたか。(〇は1つ)

「知らなかった」と回答した事業者は 53.7%、「知っていた」と回答した事業者は 33.3%でした。



【問2-5で「1.」の方のみ】

問2-5 (1) 介護職員研修（への助成について、ご意見・ご提案があれば、自由に記入してください。

仕事を始める上でとても助かると思うが、その後の定着率につながれば、なお良い事と思う。

受講できる日程がもっと選べればよいと思う。

人員不足、人員基準を考えると、研修に行ったスタッフの穴がうめられないので、営業時間外に実施していただきたいです。

ぜひ続けていただきたい。

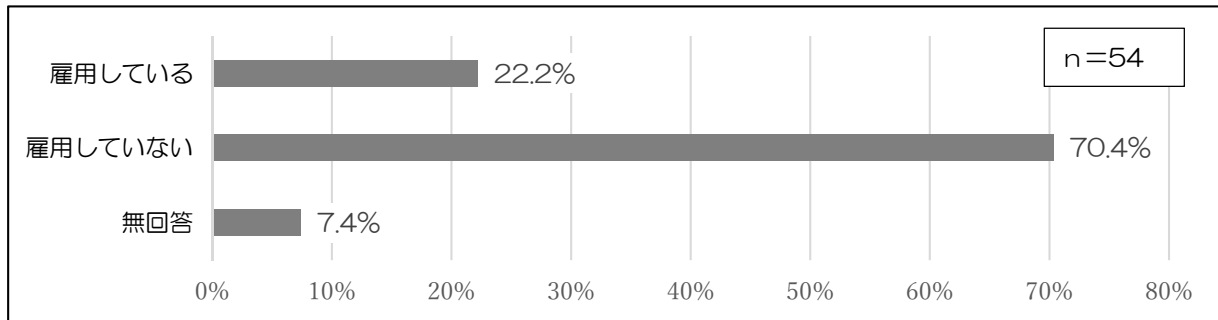
大変有効な方法であり、是非活用させていただきたい。

特になし。

費用だけではなく、研修の実施

問2-6 現在、外国人介護職員を雇用していますか。雇用している場合は、国籍と人数をご記載ください。

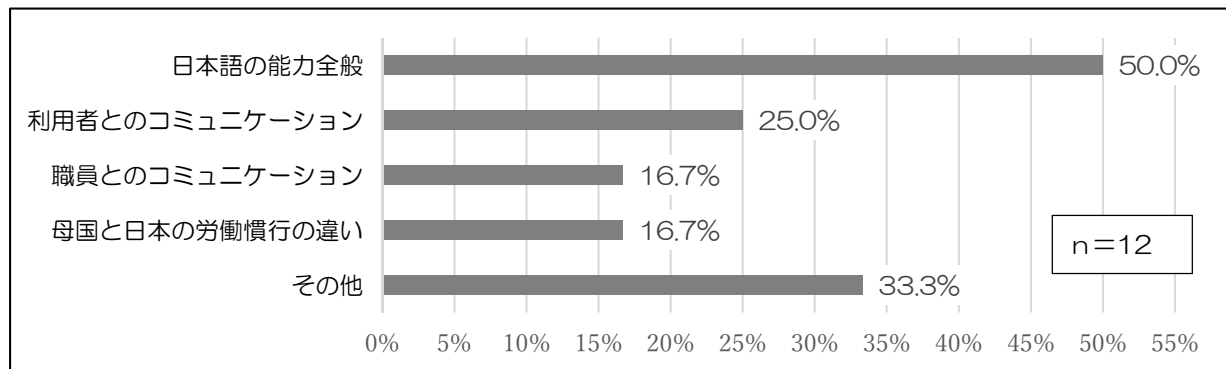
「雇用している」と回答した事業者は 22.2%、「雇用していない」と回答した事業者は 70.4%でした。



(国籍と人数は省略)

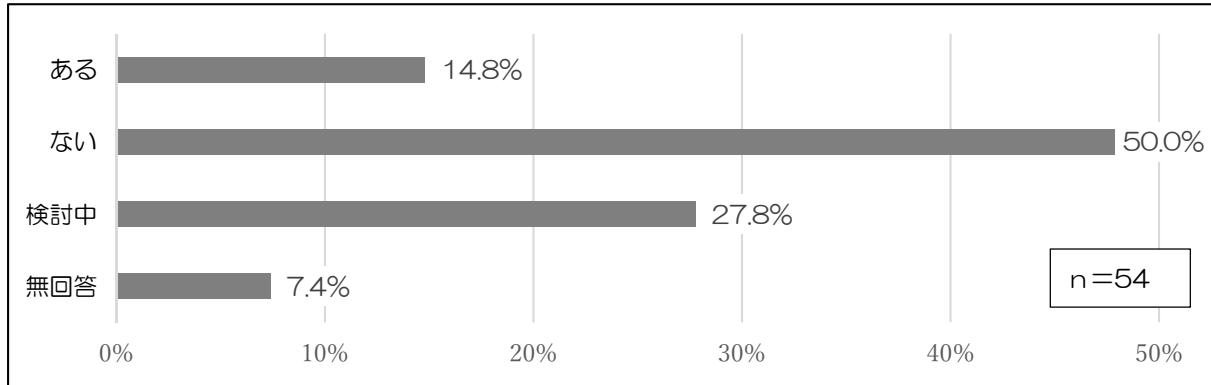
問2-6 (1) 外国人介護職員の雇用関係で困っていることはありますか。

「日本語の能力全般」(50.0%) が最も多く、次に「利用者とのコミュニケーション」(25.0%)、「職員とのコミュニケーション」「母国と日本の労働慣行の違い」(いずれも 16.7%) と続きます。



問2-7 今後、外国人介護職員を採用する予定はありますか。

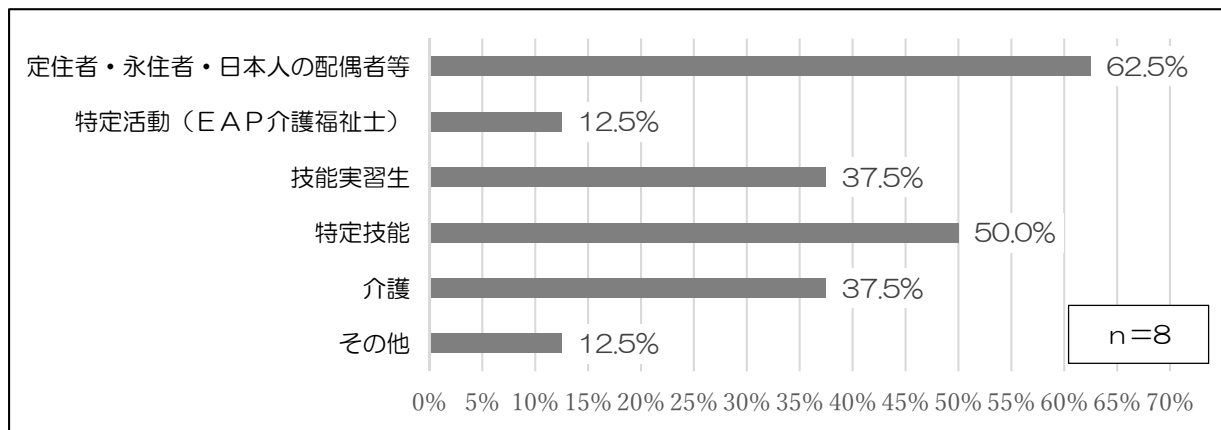
「ない」(50.0%)が最も多く、次いで「検討中」(27.8%)、「ある」(14.8%)と続きます。



【問2-7で「1.」の方のみ】

問2-7(1) どのような在留資格の外国人介護職員を採用する予定ですか

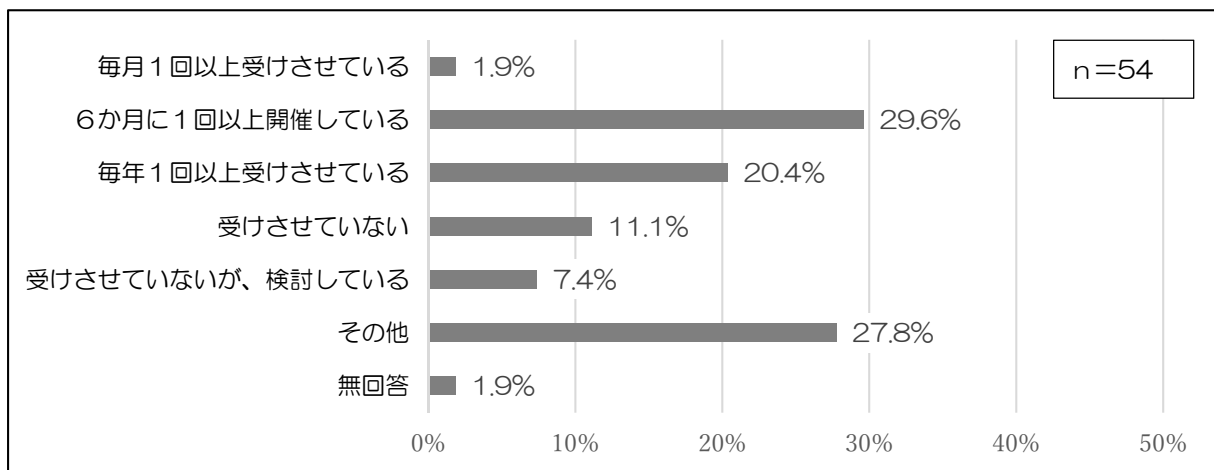
「定住者・永住者・日本人の配偶者等」(62.5%)が最も多く、次いで「特定技能」(50.0%)、「技能実習生」「介護」(いずれも37.5%)と続きます。



3 サービスの質の確保・向上について

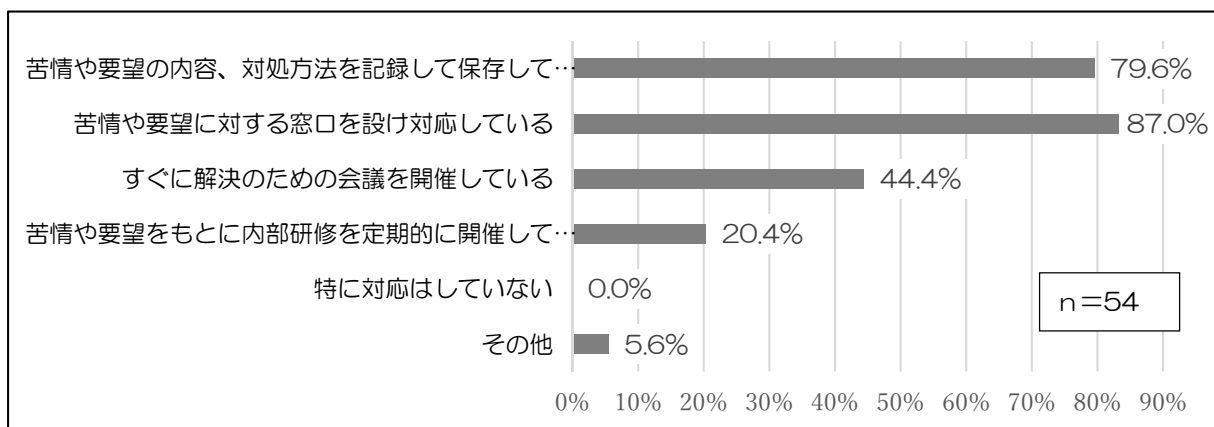
問3-1 職員の技術・知識向上のための外部研修を受けさせていますか。(〇は1つ)

「6か月に1回以上開催している」(29.6%)が最も多く、次いで「毎年1回以上受けさせている」(20.4%)、「受けさせていない」(11.1%)と続きます。



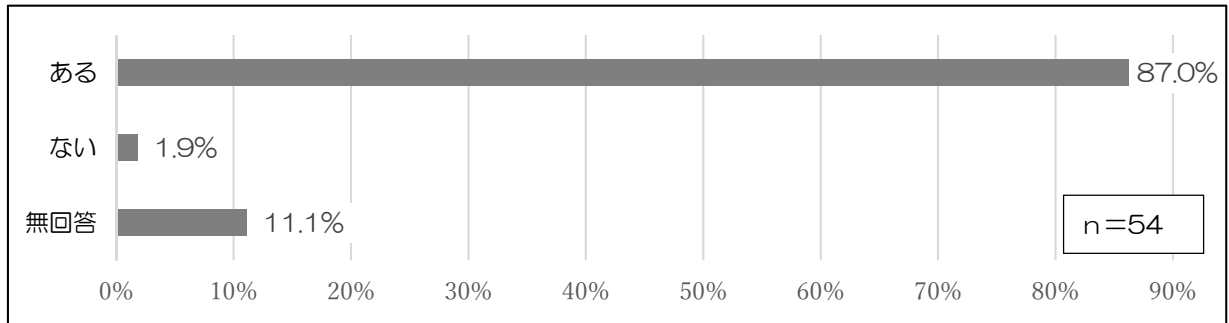
問3-2 利用者などから苦情や要望があった場合、どのような対応をしていますか。(〇はいくつでも)

「苦情や要望に対する窓口を設け対応している」(87.0%)が最も多く、次いで「苦情や要望の内容、対処方法を記録して保存している」(79.6%)、「すぐに解決のための会議を開催している」(44.4%)と続きます。



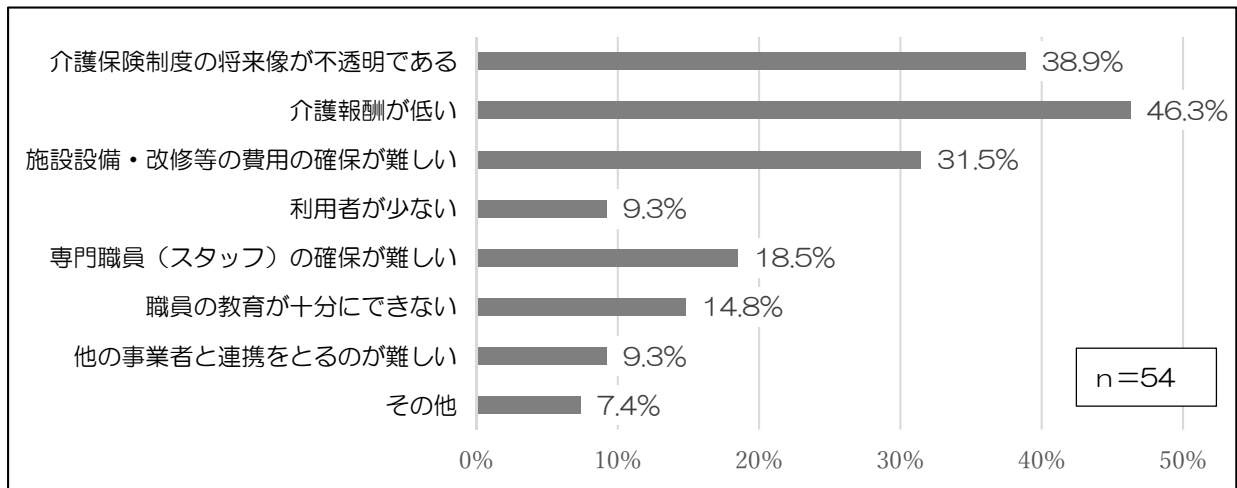
問3-3 利用者の要介護状態の維持・改善に取り組んでいることはありますか。番号に1つだけ○をつけ、ある場合は具体例を、ない場合は理由を記入して下さい。

「ある」と回答した事業所は87.0%、「ない」は1.9%でした。



問3-4 貴事業者の事業展開上、どのような課題がありますか。(○はいくつでも)

「介護報酬が低い」(46.3%)が最も多く、次いで「介護保険制度の将来像が不透明である」(38.9%)、「施設設備・改修等の費用の確保が難しい」(31.5%)と続きます。

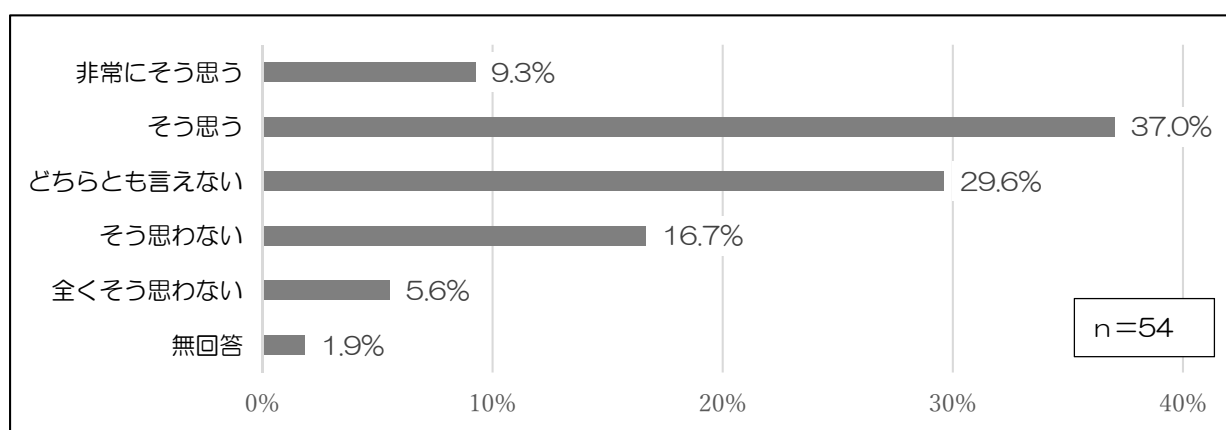


4 医療・介護の連携について

問4-1 医療機関からの退院時の支援・調整について、以下①～⑥の事柄についてどのように感じていますか。(〇はそれぞれ1つ)

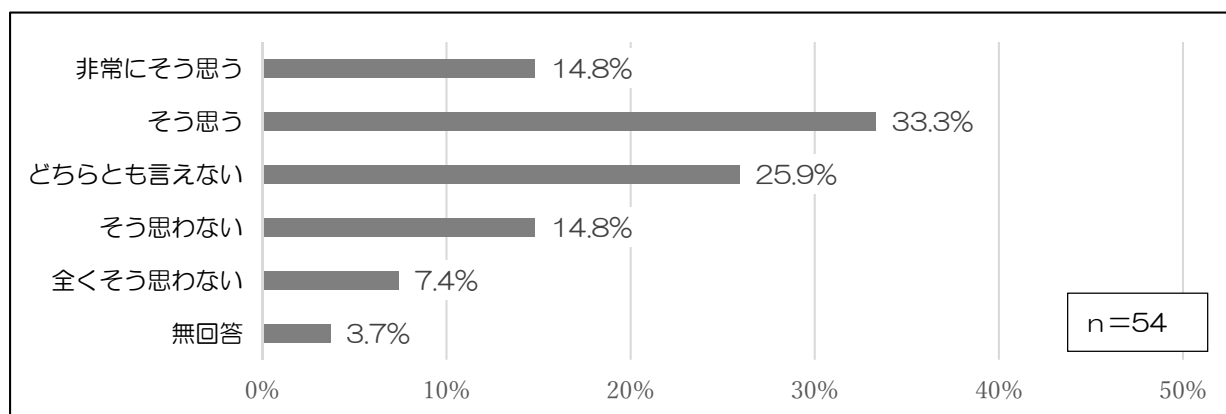
① 医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり困ることがある。

「そう思う」(37.0%)が最も多く、次いで「どちらとも言えない」(29.6%)、「そう思わない」(16.7%)と続きます。



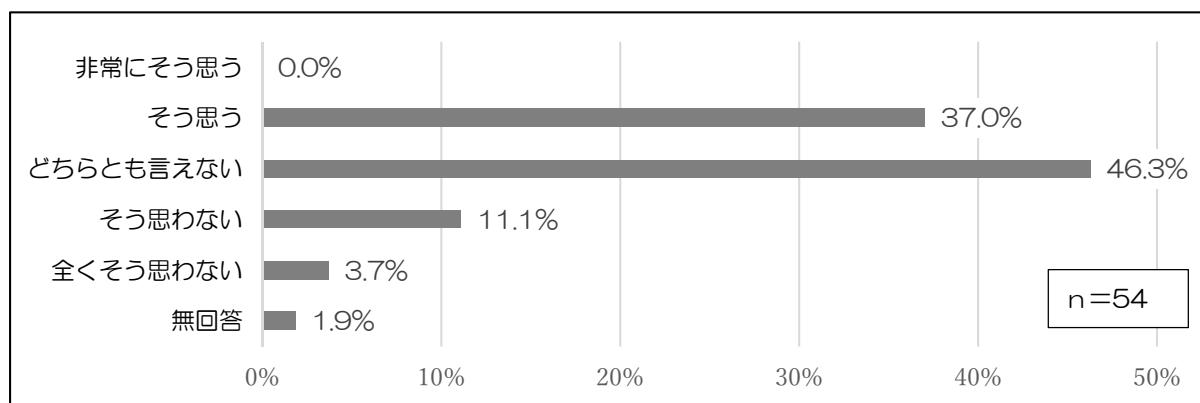
問4-1 ② 病院における退院前カンファレンスが開催される時には、必ず参加できている。

「そう思う」(33.3%)が最も多く、次いで「どちらとも言えない」(25.9%)、「非常にそう思う」「そう思わない」(いずれも14.8%)と続きます。



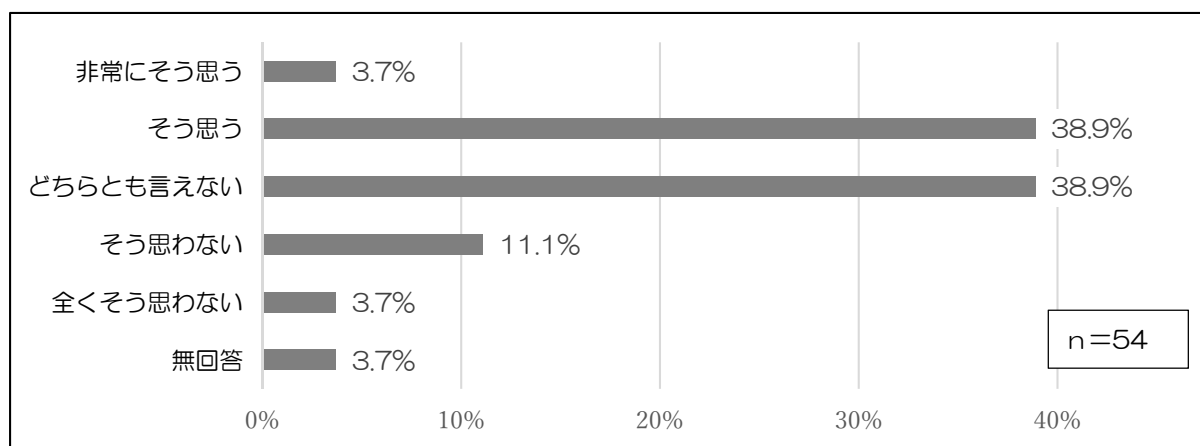
問4-1 ③ 退院時に、利用者・家族は病状について病院の主治医・看護師等から十分説明を受けて理解している。

「どちらとも言えない」(46.3%)が最も多く、次いで「そう思う」(37.0%)、「そう思わない」(11.1%)と続きます。



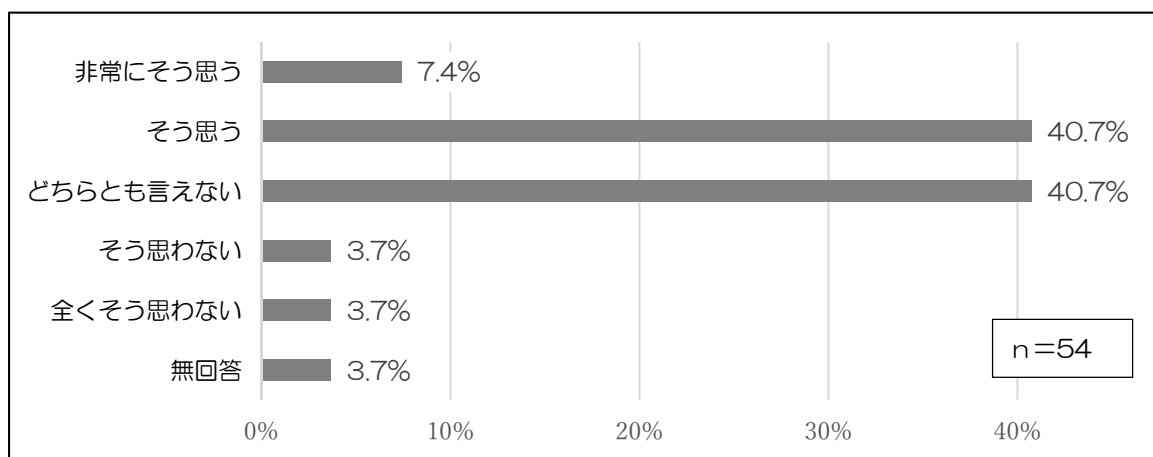
問4-1 ④ 退院時に、病院の主治医または連携担当者と円滑な連携がとれている。

「そう思う」「どちらとも言えない」(どちらも38.9%)が最も多く、次いで「そう思わない」(11.1%)と続きます。



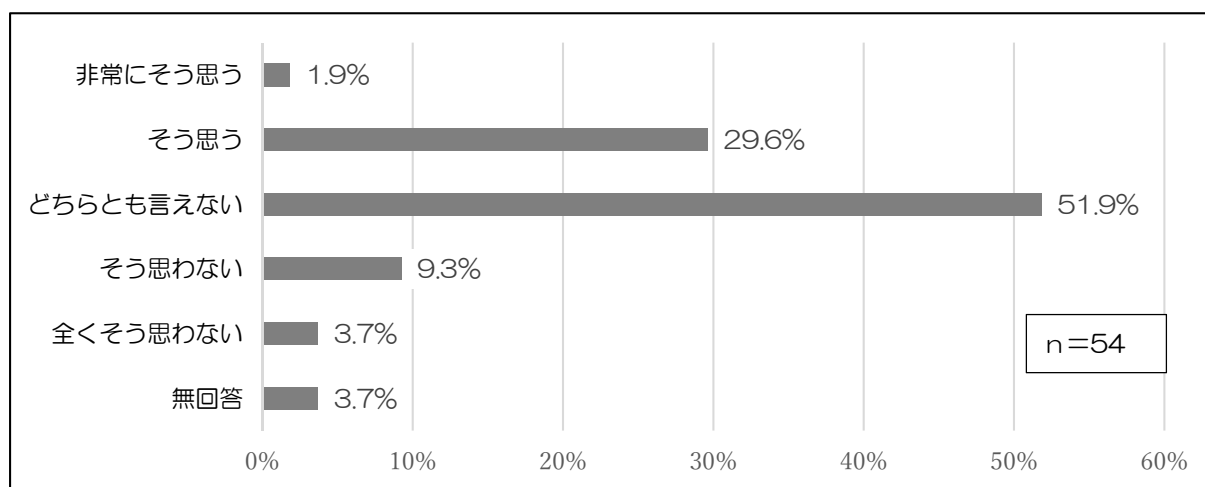
問4-1 ⑤ 入院時に、病院に対して在宅時の状況について情報提供するなど適切な連携がとれている。

「そう思う」「どちらとも言えない」(どちらも40.7%)が最も多く、次いで「非常にそう思う」(7.4%)と続きます。



問4-1 ⑥ 病院から事業所職員への適切な情報提供が行われている。

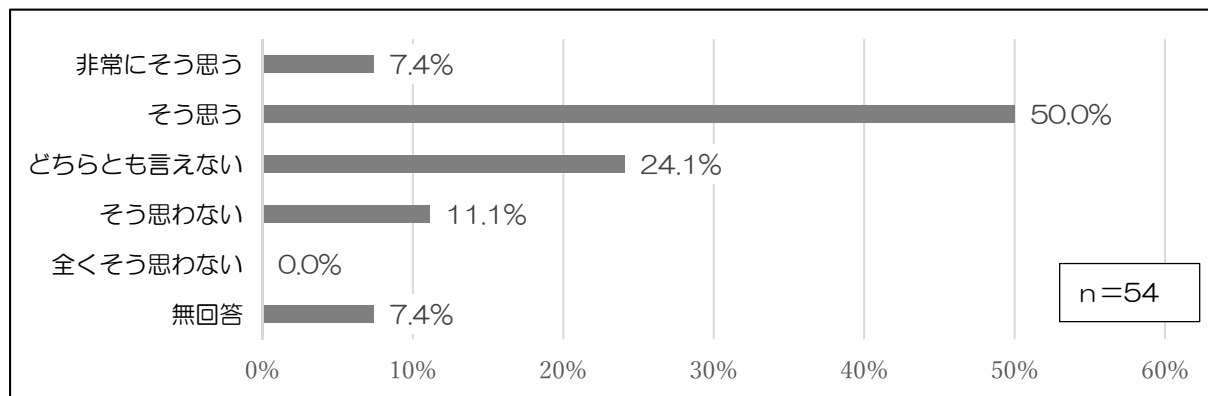
「どちらとも言えない」(51.9%)が最も多く、次いで「そう思う」(29.6%)、「そう思わない」(9.3%)と続きます。



問4-2 日常の療養支援について、以下①～④の事柄についてどのように感じていますか。
(〇はそれぞれ1つ)

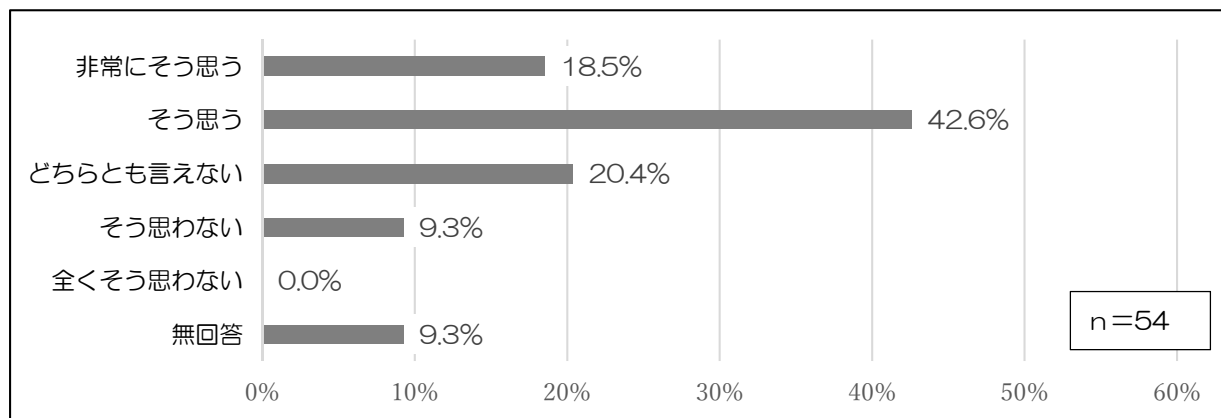
① 主治医意見書(または指示書)は遅延なく提出されている。

「そう思う」(50.0%)が最も多く、次いで「どちらとも言えない」(24.1%)、「そう思わない」(11.1%)と続きます。



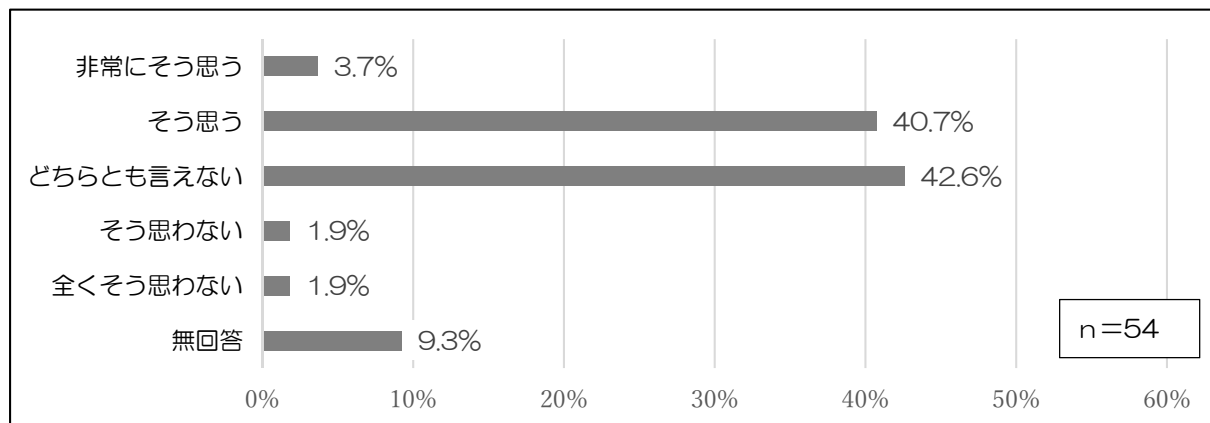
問4-2 ② 多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式(連絡票など)を作成し、運用すべきである。

「そう思う」(42.6%)が最も多く、次いで「どちらとも言えない」(20.4%)、「非常にそう思う」(18.5%)と続きます。



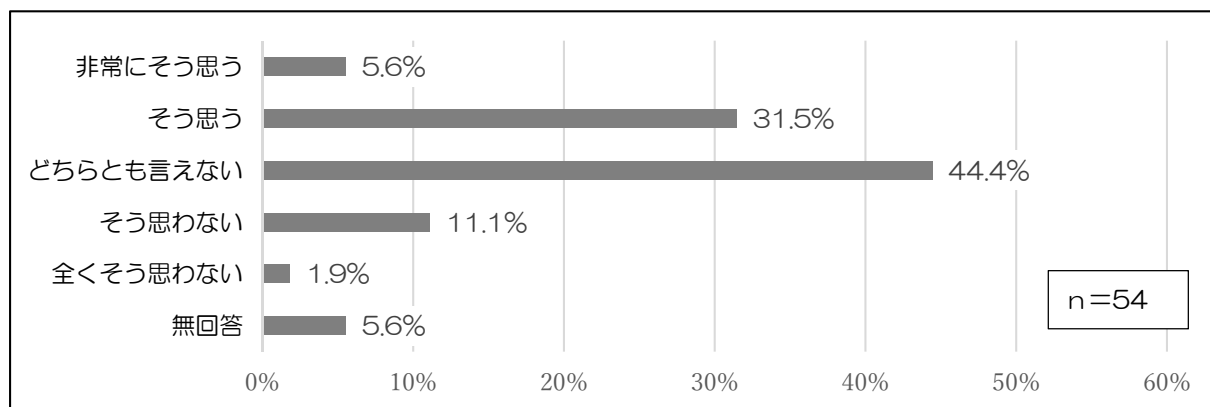
問4-2 ③ 多職種との連携強化のためには、連携する関係者との研修機会は、もっとあった方が良いと思う。

「どちらとも言えない」(42.6%)が最も多く、次いで「そう思う」(40.7%)、「非常にそう思う」(3.7%)と続きます。



問4-2 ④ 多職種との「顔が見える連携（日常的に気軽に交流できる関係）」ができてい

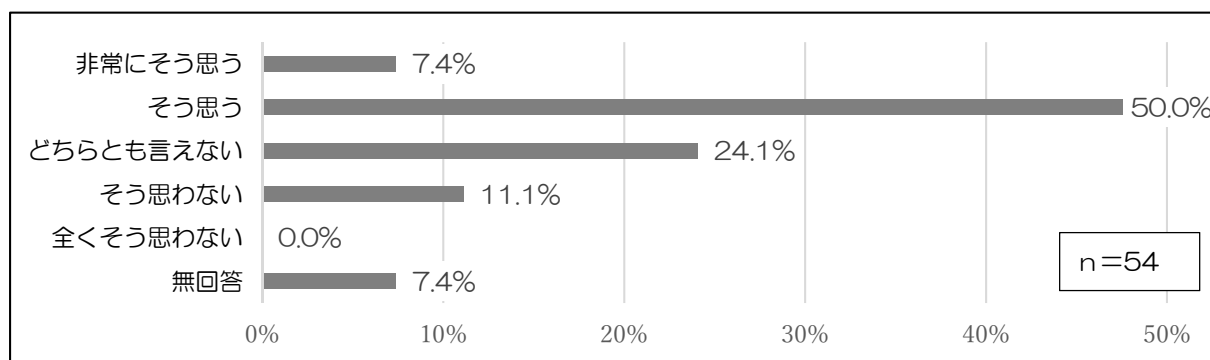
る。「どちらとも言えない」(44.4%)が最も多く、次いで「そう思う」(31.5%)、「そう思わない」(11.1%)と続きます。



問4-3 急変時の対応について、以下①~②の事柄についてどのように感じていますか。
(〇はそれぞれ1つ)

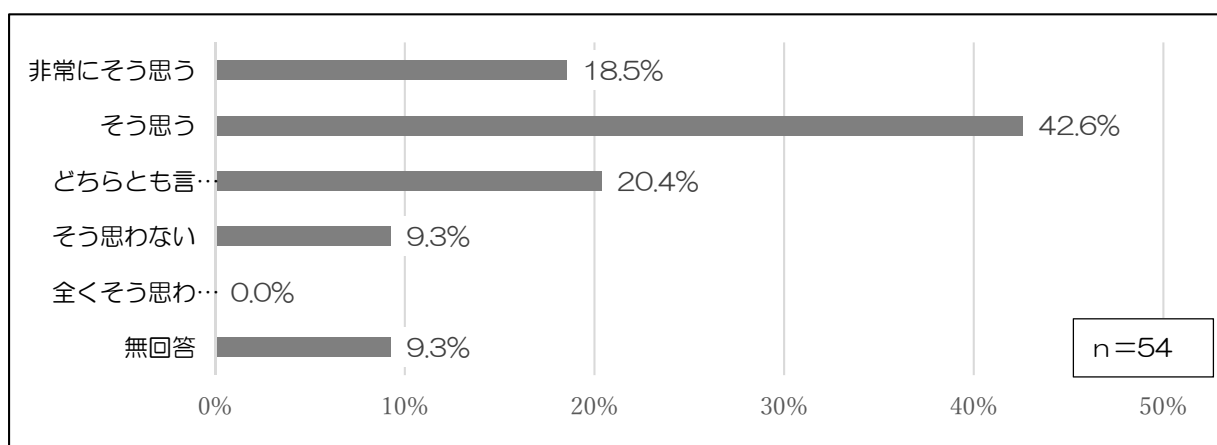
① 急変時の対応について、かかりつけ医と情報共有・連携ができています。

「そう思う」(50.0%)が最も多く、次いで「どちらとも言えない」(24.1%)、「そう思わない」(11.1%)と続きます。



問4-3 ② 休日や夜間に対応可能な地域の医療資源（訪問診療、訪問看護など）が不足していると感じることがある。

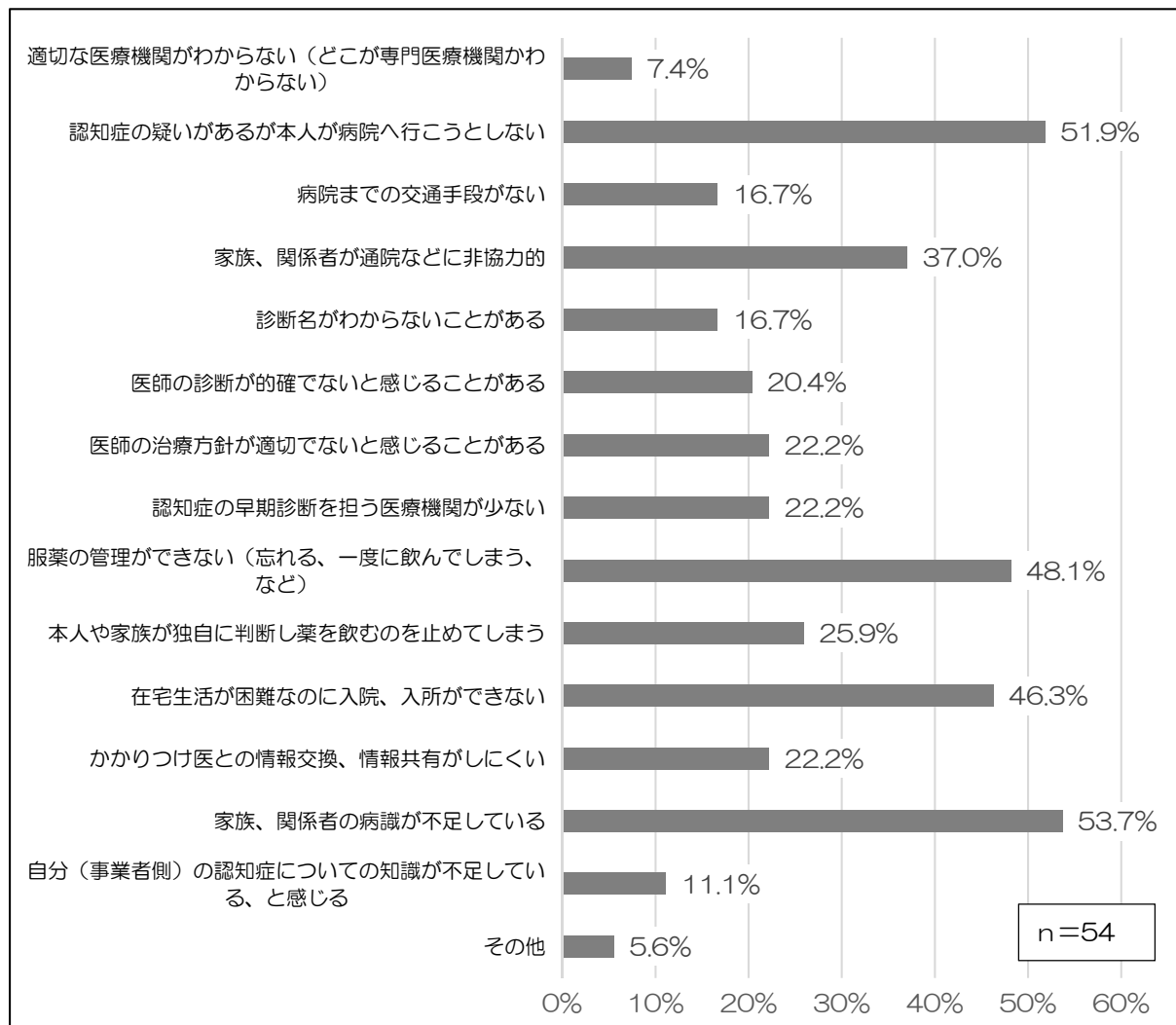
「そう思う」(42.6%)が最も多く、次いで「どちらとも言えない」(20.4%)、「非常にそう思う」(18.5%)と続きます。



5 認知症の方への支援について

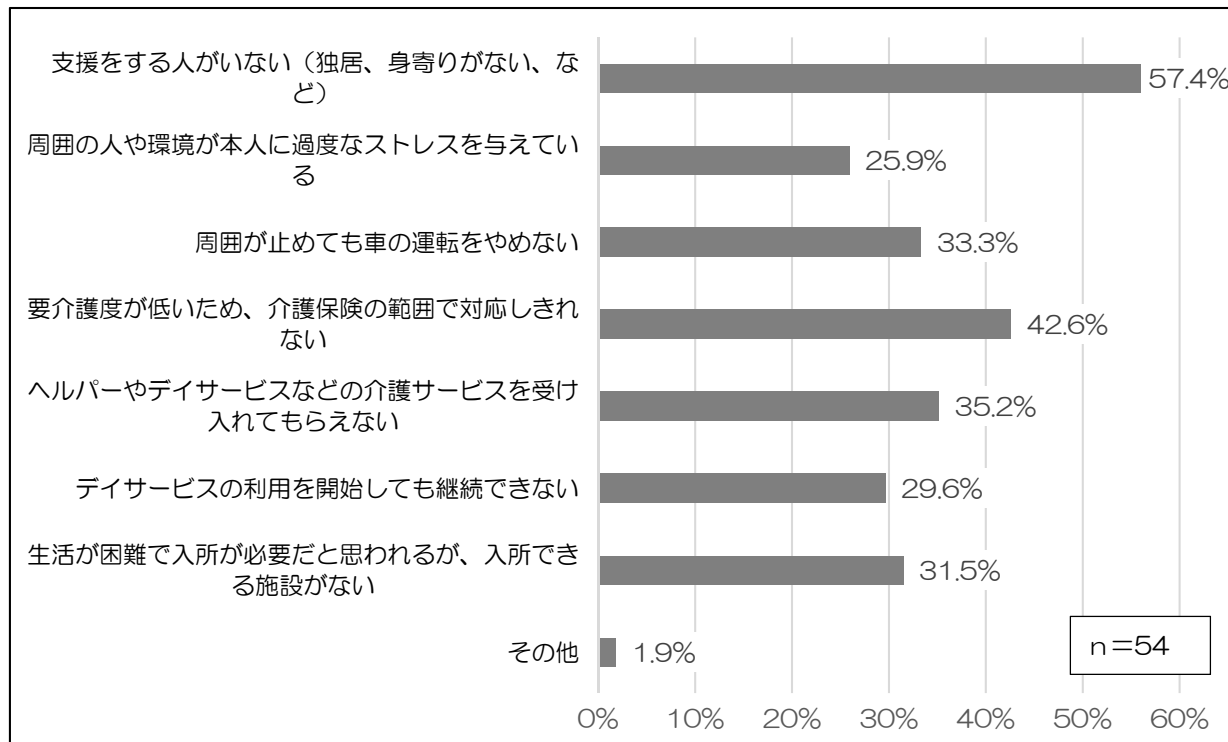
問5-1 医療面において、事業者として感じている認知症の方への支援の課題はありますか。（〇はいくつでも）

「家族、関係者の病識が不足している」（53.7%）が最も多く、次いで「認知症の疑いがあるが本人が病院へ行こうとしない」（51.9%）、「服薬の管理ができない（忘れる、一度に飲んでしまう、など）」（48.1%）と続きます。



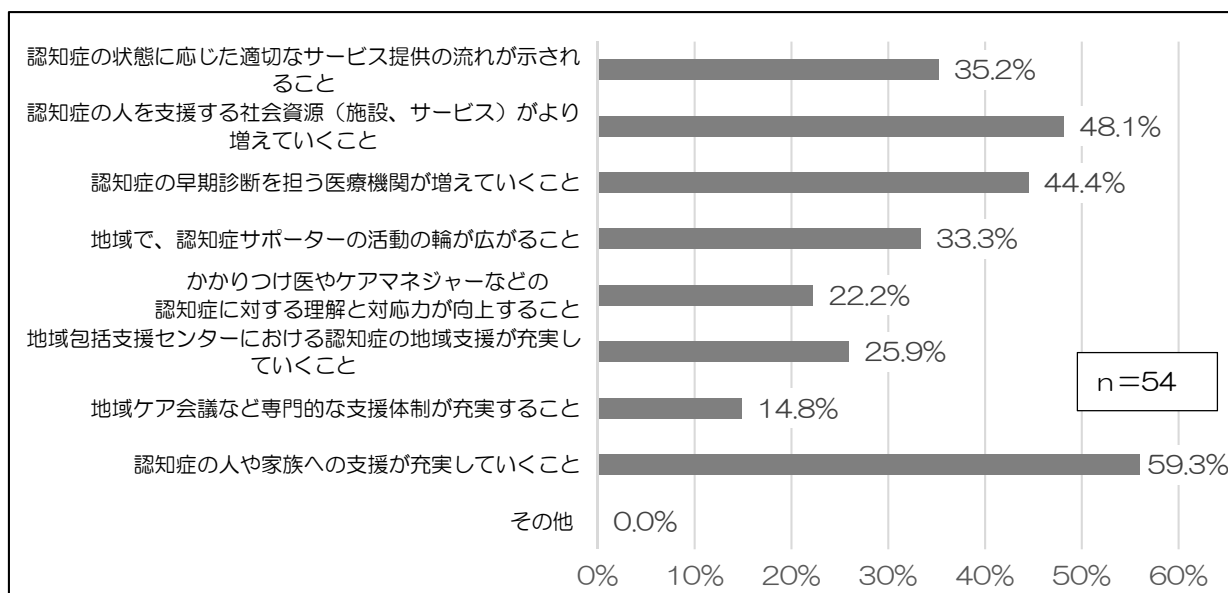
問5-2 生活面において、事業者として感じている認知症の方への支援の課題はありますか。(〇はいくつでも)

「支援をする人がいない(独居、身寄りがない、など)」(57.4%)が最も多く、次いで「要介護度が低いため、介護保険の範囲で対応しきれない」(42.6%)、「ヘルパーやデイサービスなどの介護サービスを受け入れてもらえない」(35.2%)と続きます。



問5-3 貴事業所は、認知症の方への支援について、今後どのようなことが必要だとお考えですか。(〇はいくつでも)

「認知症の人や家族への支援が充実していくこと」(59.3%)が最も多く、次いで「認知症の人を支援する社会資源(施設、サービス)がより増えていくこと」(48.1%)、「認知症の早期診断を担う医療機関が増えていくこと」(44.4%)と続きます。



6 生活支援体制整備事業について

問6-1 現在、地域全体で高齢者の生活を支える「生活支援体制整備事業」を実施しています。この事業は、住民が主役となり地域にある社会資源を活用、又は協力を得て、買物支援や通いの場の提供等のサービスを行うものです。貴事業所では、このような住民活動に対し、どのように考えますか。貴事業所で協力できることなど自由に記入してください。

グループ内でサービス以前の高齢者が集う場所の提供をしている。

専門職による生活の知恵、講座。健康管理や栄養、運動など。

長寿会等を対象に認知症を理解していただくための講演を行っている。

買物支援の実施

移動スーパー等、利用者様にとって良い事だと思います。

買物支援、地域のふれあいの場の提供 ※コロナ禍ではNG

買物支援や通いの場がなくて困ってらっしゃる方は多いと思う。そのような方に情報をうまく届けられる(伝えられる)方法があるといいと思う。(そういう手助けが受けられることを知らない方もいるのでは。

買物支援や通いの場への送迎を行っています。今後は認知症カフェの開設を検討しています。

現在コロナ禍で中止を余儀なくされていますが、地域住民の方7~8名を車に乗せて買い物支援を行っていました。(桜見学をして食事をして道の駅で買い物等)またコロナ禍が落ち着いて再開できたら、地域の方々に喜んでいただけるのではないかと思います。

現在は自施設に毎週月曜日にイオンの移動販売が来ており、利用者や近所の方々に利用していただいている。施設内には以前は地域カフェもやっており、認知症カフェとして月に1回運営されていたが、コロナの影響もあり、休業している。

時間や場所に制限がありますが、ゴミ出しの支援ができるのではないかと思います。

事業に参加したい気持ちはあるが、人材不足により出来ないことが多い。

地域全体で高齢者を支える仕組みは、これからますます必要になってくると思います。当社でも地域の皆様と一緒に取り組んでまいりたいと思います。移動の面で、当社は介護タクシーの指定を受けており、ご協力していけるのではと思います。(人員不足で現在調整中)

地域によって差があるので全体的に増えると良いと思いますが、まだまだ住民の方々の関心が薄いように思われます。

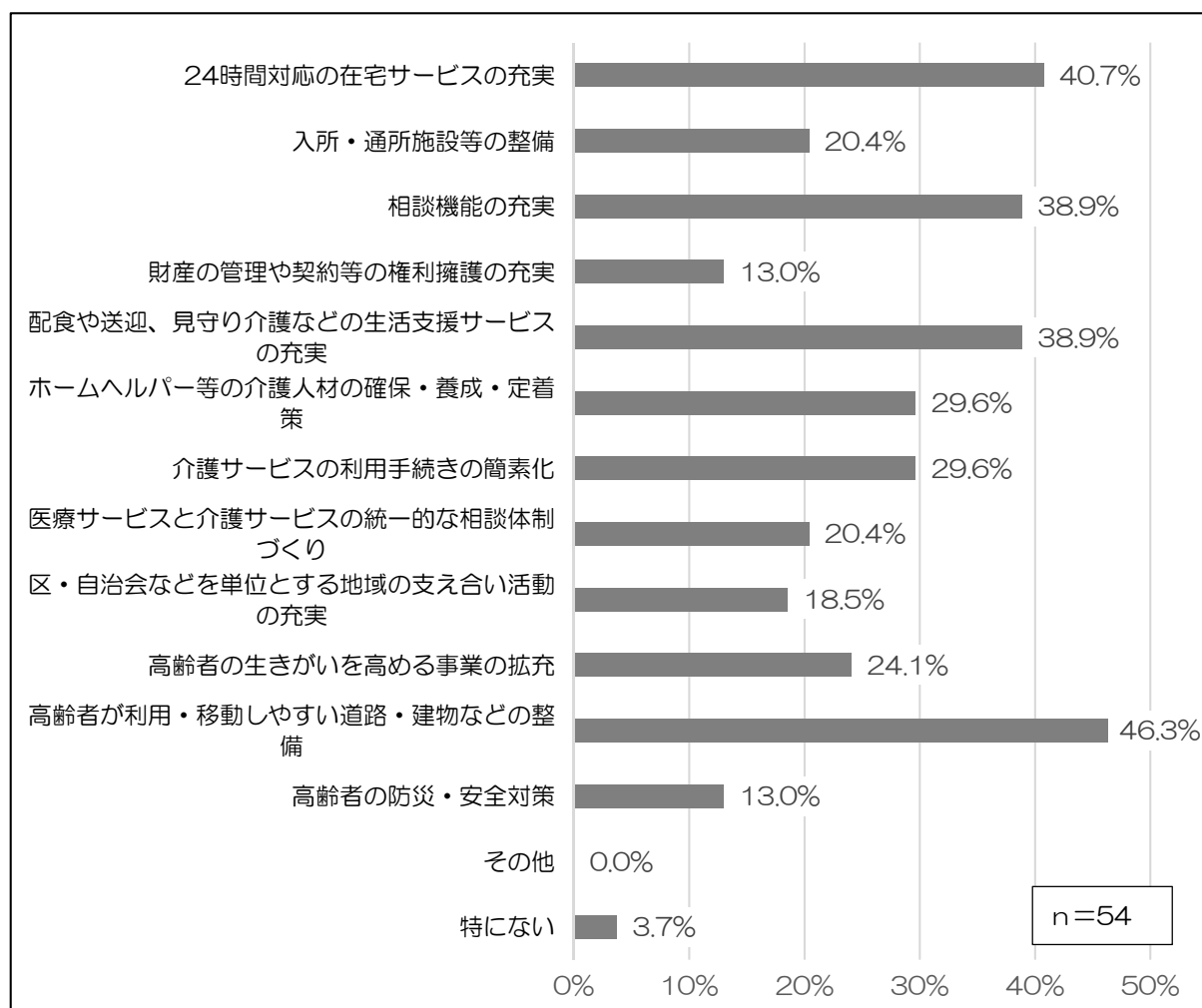
とても良いと思います。内容によりませんが、依頼があれば協力できることもあると思います。

<p>とても良い取り組みだと思います。住民間での見守り、声掛けは独居高齢者、高齢者世帯にとって、遠くにいる身内よりも安心できるシステムと思います。要支援の方を対象とした通いの場として、お役に立てればと思います。</p>
<p>とても良い取り組みだと感じる。</p>
<p>認知症にかかってしまったご家族を抱え不安になりどのように対処していけば良いのかわからず、悩んでいる住民のご相談窓口としてお役に立てます。また介護の仕方、福祉用具の扱い方など、分からないことがあればご相談に乗ることも可能です。</p>
<p>認知症に携わる家族はサービス利用時のみ休むことが出来ますが、その時間にできる事をしなければいけません。デイやショートから戻った時間は片時も目が離せない。見守り等も地域で行う等のサービスが受け入れ出来ればと思います。</p>
<p>場所の提供など、できればよいと感じます。地域のボランティア住民が増えるといいですね。ごみ捨て、買い物、通院など身近なことへの支援が広がる工夫を。</p>
<p>非常に重要だと思う。事業所としても認知症フレイル等予防に関するところは引き続き協力していきたい。また、事業所内に通いの場として提供できるスペースもあり、活用していただきたい。その他、事業所で協力できることは積極的に行なっていきたい。(住民の方の足となるような取り組みもできればと考えている。)</p>
<p>一人暮らしの方が買物をしてきて欲しいと言えば、今後もボランティアで行っていく。</p>

7 市の高齢者福祉について

問7-1 高齢者の住みよいまちをつくるために、今後、大網白里市においてはどのようなことが重要と考えますか。(〇はいくつでも)

「高齢者が利用・移動しやすい道路・建物などの整備」(46.3%)が最も多く、次いで「24時間対応の在宅サービスの充実」(40.7%)、「相談機能の充実」「配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実」(いずれも38.9%)と続きます。



問7-2 大網白里市の高齢者福祉施策に関して、ご意見・ご提案があれば、自由に記入してください。

以前、ホームヘルパーの利用を控えていると聞いたことがあります。まだ身辺のことは家族に頼るという考え方でしょうか？介護保険制度の活用を皆さんが上手に利用できると良いなと考えます。

いつもお世話になっています。毎回丁寧にご対応頂き助かっております。書類記入や不明点をご質問させて頂き、ご指導頂き有り難うございます。引き続き宜しくお願い致します。

駅前やスーパーの中などに気軽に相談できるスペースがあると、本人でなくても家族や地域の方が寄って気になることを聞くことができる。

コロナの状況が落ち着いたら、サロン会、学びの場の充実と高齢者の知識と経験を若い世代（小～中学生）に教えられる場を企画していただきたいと思います。

事業所としては人材の紹介など（一時的に人員の補充等）をしていただけると助かります。

住宅改修の事前申請等、介護保険課さんはとても早い対応をしてくれる。今後ともよろしく願います。

他職種連携が行える場作りをしてほしい。（例）病院HSWとの事例検討の研修
障害ケアマネとの事例検討や懇談の場作り。精神疾患のある高齢者への対応に悩むCWをよく見かけるので、研修してほしい。

出来ることなら施設を増し、即利用できるようにしたい。

当院で協力できる事は引き続き協力させていただきます。市内の各地区の小さなコミュニティー内で行なわれるような取り組みを増やしていくことが大事ではないかと思っています。

当事業所で地域に貢献出来ることがあればお声かけ下さい。